

大阪・関西万博
きょうとアクションプラン
実績集

令和8年3月 31 日

本実績集は、大阪・関西万博きょうとアクションプラン及び大阪・関西万博きょうと推進委員会認証制度における認証事業の実績や成果について、事業ごとに定量的・定性的に記載し、取りまとめたものである。

また、取組の成果や課題等を踏まえ、万博後どのように取り組んでいくかの方向性を万博後の取組として記載している。

参考1. アクションプランについて

- 「万博の機運醸成の取組」や「万博会場から京都府内各地への誘客など、府内の活性化を目的とする取組」の中から、イベント、会議、展示会、ツアーなどとして具体的に記載されたものをアクションプランに掲載
- 「大阪・関西万博きょうと基本構想」を踏まえ、「地域」の特色を生かした、「文化・環境」「産業」「観光」「いのち」の分野の取組を位置付け
- 事業の進捗状況等を踏まえながら、Ver. 1 から Ver. 4 まで改訂を行った。

<改訂の経過>

- 令和5年9月8日 Ver. 1 決定：57 件
- 令和6年4月18日 Ver. 2 決定：145 件（府内全市町村の取組を掲載）
- 令和6年9月13日 Ver. 3 決定：238 件（分野「いのち」を追加）
- 令和7年3月24日 Ver. 4 決定：312 件

参考2. アクションプランの構成

- (1) 大阪・関西万博きょうと推進委員会が実施した取組
- (2) 大阪・関西万博きょうと推進委員会参加団体が実施した取組
- (3) 基本構想に賛同する企業や団体が実施した取組

参考3. その他

- (2) 推進委員会参加団体の中の「フラッグシップ・アクション」とは、アクションプランの中から、京都の強みを生かした取組のうち、広域的に実施したものや、多様な主体と連携して進めた取組を抜き出したものである。

<アクションプランの集計結果> ※Ver. 4 決定後に申請のあった認証事業 14 件を含む

提出団体	文化・環境	産業	観光	いのち	合計
(1) 推進委員会					3
(2) 推進委員会参加団体					170
フラッグシップ・アクション	6	3	2	0	11
京都府・京都市	2	0	1	1	4
京都府	11	4	5	4	24
京都市	17	8	7	3	35
京都市以外の市町村	24	9	35	10	78
経済団体等関係団体	6	7	1	0	14
有識者	3	1	0	0	4
(3) 基本構想に賛同する企業や団体	73	22	37	21	153
合計	142	54	88	39	326

大阪・関西万博きょうとアクションプラン実績集【目次】

提出団体	項目	タイトル	ページ
(1) 大阪・関西万博きょうと推進委員会が実施した取組			11
(1)推進委員会	文化・環境 産業 観光 いのち	万博開幕に向けた機運醸成イベント及びプロモーション	12
		EXPO KYOTO MEETING～和のこころと地球の未来～	13
		ICHI-ZA KYOTO (関西パビリオン 京都ゾーン) 関西パビリオン 多目的エリア	14
(2) 大阪・関西万博きょうと推進委員会参加団体が実施した取組			15
(2)-1フラッグシップ・アクション	文化・環境	京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ	16
		きょうとまるごとお茶の博覧会	17
		和食と世界の食サミット	18
		KYOTO地球環境の殿堂 国際会議・未来会議	19
	産業	スタートアップイベント	20
	観光	京都の川巡り	21
	産業	けいはんな万博2025	22
	文化・環境	Music Fusion in Kyoto 音楽祭	23
		LIGHT CYCLES KYOTO (ライトサイクル キョウト)	24
	産業	京都国際マンガ・アニメフェア (京まふ) 2025	25
観光	“ほんまもん”を伝える「食の京都」レストランスペシャル	26	
(2)-2京都府・京都市	文化・環境	生物多様性センター事業	27
		「京都アート月間」	28
	観光	「まるっと京都」周遊観光	29
いのち	HVC KYOTO 2025	30	
(2)-3京都府	文化・環境	大人から子どもまで地域文化に親しむ機会の創出	31
		宇治茶文化講座	32
		宇治茶LOVE茶会	33
		持続可能な漁業につながるブルーシーフードの推進	34
		きょうと国際学生サミット2025	35
		森の京都・京都丹波EXPO	36
		宇治茶・山城ごちそうフェスタ	37
		宇治茶の魅力発信と振興	38
		「お茶と仏像の回廊」～南山城を巡る～	39
		万博に関連する資料の展示 1	40
	万博に関連する資料の展示 2	41	
	産業	乙訓地域オープンファクトリー with産業創造リーディングゾーン	42
		伝統技術と最先端技術を紹介「京都フードテックエキスポ2025」	43
		魅力ある京野菜を提供する「旬の京野菜提供店」	44
		KYOTO KOUGEI WEEK 関連事業	45
	観光	府北部の魅力を感じる広域周遊	46
		大学・学生とともにのぼす京都プロジェクト	47
		京都西山・乙訓観光推進事業	48
		大阪・関西万博に向けた丹後ブランドの展開	49
「食の京都TABLE」の周遊観光		50	
いのち	ヘルス博 KYOTO 2025	51	
	SKY人生100年フェスタ・ふれあい作品展の開催	52	
	障害のある人の作品や表現に出会える場 art space co-jin	53	
	チリと京都の大学間の医療・学生交流から広がる地域間交流	54	

提出団体	項目	タイトル	ページ
(2)-4京都市	文化・環境	生物多様性保全に係る活動交流会	55
		国際都市・京都の姉妹都市との交流を活用した万博開催の機運醸成	56
		リアルとバーチャルでの京都における新体験の発信 (NAKED GARDEN ONE KYOTO)	57
		天才アートKYOTO	58
		持続可能なまちづくり支援事業ー右京区民ふれあい文化フェスティバル	59
		持続可能なまちづくり支援事業ー南区民ふれあいまつり	60
		京都発脱炭素ライフスタイルの推進	61
		京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度	62
		食品ロス削減の推進	63
		大学・学生団体と連携した「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力発信	64
		文化と経済の好循環の創出	65
		Discover Traditional Culture of KYOTO～京の伝統文化ブランディング～	66
		居場所づくり支援	67
		天然アユをシンボルにした川の恵み継承プロジェクト	68
		北山林業の魅力発信・ブランディング事業	69
		みっけ隊アプリを活用した市民協働による公共土木施設の維持管理	70
		持続可能なまちづくり支援事業ー中京区民ふれあいまつり2025	71
		産業	「ごみゼロ共創ネットワーク」展示・活動発表<大阪・関西万博ベストプラクティス>
	万博を契機とした海外ビジネス交流促進・ネットワーク構築事業		73
	「伝統産業の日」関連事業		74
	持続可能なまちづくり支援事業ーこどもシゴト博@右京		75
	京都ならではのスタートアップエコシステムの魅力発信事業		76
	京都のビジネス環境の魅力を活かした企業誘致		77
	京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業		78
	KYOMAF B-SIDEプロジェクト		79
	観光	未来へつなぐ観光のカタチ	80
		朝・夜観光アップグレードプロジェクト	81
		文化、産業、医療、環境等をテーマとしたMICEの誘致	82
		持続可能なまちづくり支援事業ー下京・京都駅前サマーフェスタ	83
		海外に向けた「京都創生」の展開	84
		淀川最源流への誘いプロジェクト	85
		持続可能なまちづくり支援事業ー伏見地域の経済・観光振興	86
	いのち	プライド月間における性の多様性に関する取組	87
持続可能なまちづくり支援事業ーつながるマルシェ		88	
れんげを摘む会		89	
(2)-5市町村	文化・環境	夜久野の伝統文化を世界に	90
		大江山鬼伝説	91
	観光	福知山の食を味わう「ファーマーズテーブルズ」	92
		福知山で体験する観光コンテンツ	93
		市内イベントにおいて万博の機運醸成	94
		福知山イェル未来と	95
		手すき和紙の文化を発信し続けて30年『大江町和紙伝承館』	96
	いのち	献血と骨髄バンク推進の取組	97
		「誰一人取り残さない防災」の実現に向けた、防災×福祉×健康プロジェクト	98

提出団体	項目	タイトル	ページ
舞鶴市	文化・環境	赤れんが博物館企画展	99
	観光	青葉山エリアブランディング事業	100
		大阪・関西万博に向けた韓国船社等モニターツアー	101
		舞鶴かまぼこ手作り体験	102
		海軍ゆかりの港めぐり遊覧船	103
		舞鶴赤れんがガイドツアー	104
		日本遺産観光誘客促進事業	105
	いのち	舞鶴引揚記念館平和の願い次世代への継承事業	106
		引揚記念館語り部養成講座	107
引揚記念館語り部ツアー		108	
引揚記念館平和学習		109	
綾部市	文化・環境	地域伝統産業発信事業	110
	観光	あやべ水源の里トレイルラン	111
		農村文化体験プログラム	112
		～天職観光～自分の活躍の場を見つける「綾部里山交流大学」講座	113
宇治市	文化・環境	宇治発!!日本一の宇治茶の伝統と文化体験～宇治茶を堪能する1日!～	114
		文化・歴史を学ぶカタチ	115
		親子で学ぶゼロカーボンツアー	116
		宇治市環境フェスタ	117
	産業	宇治市内のものづくりの魅力にふれるオープンファクトリーツアー等	118
観光	新たな時代に輝く宇治の観光まちづくり	119	
宮津市	観光	大阪・関西万博カウントダウンイベント	120
		ようこそ「宮津天橋立」キャンペーン	121
		「股のぞき☆一龍万倍」体験	122
亀岡市	文化・環境	かめおか霧の芸術祭	123
		学びから未来につなぐ「エコna川下り」	124
		デジタル文化資料館「KAMEOKA VIRTUAL HISTORIA」	125
		美味しいプラスチックフリー「リバーフレンドリーレストラン」	126
		日本中が美しいまちへ「エコウォーカー」プロジェクト	127
産業	SDGsの取組を通じた交流による、ビジネス機会やイノベーションの創出	128	
城陽市	産業	じょうよう『完熟イチジクStroll』	129
向日市	観光	向日市ふるさとWeb検定	130
長岡京市	観光	長岡京のたけのこフェア	131
	いのち	平和を考える市民フォーラム2025	132
八幡市	観光	やわたの歴史文化ストーリー発信	133
		淀川舟運と連動した川辺のにぎわい創出	134
久御山町	産業	久御山ものづくり技術の発進展示	135
		ホテルを核とした町内産業の振興・にぎわいの創出	136
	観光	「淀川舟運×久御山町」魅力発信	137
	いのち	歩くまちくみやま推進事業～All Life Up Kumiyama Original～	138
京田辺市	観光	日本茶最高峰の”玉露”を味わうプロジェクト	139
京丹後市	文化・環境	丹後万博（市内の高校生によるSDGsの祭典）	140
		魅力的な地域資源である自然環境の保全活動	141
	産業	地域資源を活用した文化・芸術の振興プロジェクト	142
	産業	地域一体型オープンファクトリー（オープンカンパニー）	143

(2)
-5
市
町
村

	提出団体	項目	タイトル	ページ
(2) -5 市 町 村	京丹後市	いのち	第1回世界長寿サミット	144
	南丹市	文化・環境	園部城公園周辺（ラストキャッスル園部城）の回遊ツアー	145
			南丹市立文化博物館企画展	146
	木津川市	観光	木津川アート2025	147
	笠置町	観光	笠置山行場巡り	148
	大山崎町	観光	天王山ハイキング「秀吉の道」	149
	井手町	観光	インバウンド向け周遊体験ツアー構築	150
	宇治田原町	観光	「日本緑茶発祥の地」からのお茶の魅力発信・PR	151
		いのち	うじたわら健活フェスタ	152
	和束町	観光	2025茶源郷・オープンエアミュージアム（茶源郷・まるごと博物館）構想	153
	精華町	文化・環境	けいはんな学研都市文化創造・魅力発信イベント	154
		産業	けいはんな万博関連イベント「けいはんなビジネスメッセ」	155
		観光	せいか祭り	156
	南山城村	観光	むらびとのいとなみに触れる旅 産地を味わうシングルオリジン「むら茶」体験ツアー	157
	京丹波町	文化・環境	京都丹波・京丹波町！伝統芸能の魅力発信イベント	158
		観光	京都丹波・京丹波町産地ディスティネーションイベント	159
	伊根町	観光	伊根の山海うみゃーもんを再発見	160
	与謝野町	文化・環境	俳句文化振興事業	161
			ちりめん街道重伝建選定20周年記念イベント	162
よさのエコロジカルミーティング			163	
与謝野町合併20周年記念フラッグシップアクション			164	
産業		よさの知る来（シルク）旅	165	
		地域一体型オープンファクトリー	166	
観光	与謝野駅100周年記念式典	167		
(2) -6 団 体 ・ 有 識 者	池坊委員 （華道家元池坊）	文化・環境	京都発祥の伝統文化“いけばな”の展示	168
	京都商工会議所・京都経営者協会・ 京都経済同友会・京都工業会	産業	京都経済4団体による万博への協力と機運醸成活動	169
	京都商工会連合会	産業	京の味めぐり・技くらべ展	170
			大商工祭	171
		観光	大阪・関西万博：未来へ繋げようプロジェクト	172
	京都商工会議所	文化・環境	京商ECOサロン	173
			KYOTO Cross Media Experience(KYOTO CMEX)	174
			京都・観光文化検定試験	175
			文化庁京都移転関連事業	176
		産業	KYOTO Next Award	177
			知恵-1 グランプリ	178
			K-CAP(京都・知恵アントレプレナー支援プログラム)	179
			京都府下8商工会議所をはじめとした関西商工会議所連合会における 大阪・関西万博に向けた機運醸成の取り組み	180
	京都文化交流 コンベンションビューロー	文化・環境	古典がつなぐ世界の和	181
			京都迎賓館を通じた京都の魅力発信	182
山極委員 （総合地球環境学研究所）	文化・環境	京都文化&環境アカデミックフェスティバル	183	
山地委員 （(公財)地球環境産業技術研究機構）	文化・環境	「RITE未来の森」（ネガティブエミッション技術の実証）	184	
(公社) 京都工業会	産業	(公社) 京都工業会会員企業が有する展示施設情報等の収集と発信	185	

提出団体	項目	タイトル	ページ	
(3) 基本構想に賛同する企業や団体が実施した取組 (認証事業)			186	
(3) 企業・団体・大学他	文化・環境	EXPO KYOTO D&I 実行委員会	EXPO酒場京都店	187
		特定非営利活動法人 けいはんなアバターチャレンジ	けいはんな学研都市で、アバター (遠隔操縦ロボット) 体験	188
		株式会社SEASONS	ENJOY COFFEE TIME	189
		京都超SDGsコンソーシアム	地球環境ユースサミット	190
		京都超SDGsコンソーシアム	ごみゼロ共創ネットワーク	191
		公益財団法人 小倉百人一首文化財団 一般財団法人	嵯峨嵐山文華館「万博・日本画繚乱」展	192
		公益財団法人 福田美術振興財団	福田美術館「万博・日本画繚乱」展	193
		学生団体Uni-Com	人にも地球にも優しい「捨てる」がない社会	194
		公益財団法人泉屋博物館	泉屋博物館 収蔵庫増築および改修工事	195
		公益財団法人泉屋博物館	開館65周年リニューアルオープン記念名品展	196
		能文化を世界に広める会	京都の伝統文化である能の発信と振興 < Noh to the World >	197
		一般財団法人 花山宇宙文化財団	花山天文台 土日限定 見学ツアー～昭和初期のモダン建築と太陽観測～	198
		KYOTO FUKU	アジアの美を楽しむ ～舞踊と箏曲～	199
		三井住友信託銀行株式会社 京都支店	地域貢献・住みよい町づくり	200
		三井住友信託銀行株式会社 京都支店	地域に向けた金融教育セミナーの企画	201
		きぬがさ農園Kreis	世界各国の花で人々を笑顔に！！	202
		お茶と宇治のまち 歴史公園 茶づな 第一生命保険株式会社 京都総合支社	茶づなミュージアム 茶摘み体験プログラム	203
		日本髪技術者の会	創りだそう共感のGoodサイクルプロジェクト	204
		株式会社大垣書店	美のエクスカッション 髪結技術を見に京都へ	205
		嵐電沿線 フジバカマプロジェクト	第19回 大垣書店 読書マラソン 2025	206
		株式会社ユニオン・エー	フジバカマ湯IN嵐山 ～京都の文化を世界へ～	207
		株式会社 京王教育	フリーマガジン活用で京の伝統文化の未来商品を紹介	208
		ciel bleu 株式会社	万博についての英語教材の作成と授業の実施	209
		京都光華女子大学	KAHORI PROJECT 2025	210
		株式会社花工房	産官学連携プロジェクトe ～EXPO KYOTO論 未来と世界の変え方～/京都光華女子大学	211
		洛北ビニール有限会社	万博への関心を高めるためのワークショップ開催	212
		株式会社ニッセン	モダンな和の彩り- 京都から世界へ	213
		特定非営利活動法人 桜茶meet	伝統工芸ワークショップを通して京都文化の周知活動	214
		株式会社岡野太陽堂	茶の湯外交 ～ワシントンDCでの大阪万博PR～	215
		学校法人大和学園 京都調理師専門学校	あたたかい京都のおもてなし	216
		学校法人大和学園 京都製菓製パン技術専門学校	taiwa food expo～京都から食文化を世界へ発信～	217
		京都超SDGsコンソーシアム	京都太秦Taiwa Museum活用事業～DX×食文化～	218
かやぶき音楽堂	きょうとSDGsフェア2024 ～DX・GXによるSDGs推進の取組紹介～	219		
株式会社JDPドローン	2025秋のかやぶきコンサート	220		
洛西紙工株式会社	子どもたちが考える“ドローンが描くみらい社会”	221		
ビューティーグレース株式会社	ダンボール端材を活用した知育ワークショップ展開	222		
ビューティーグレース株式会社	KIMONO RUNWAY COLLECTION	223		
株式会社読売新聞大阪本社	和装家パフォーマー	224		
エースジャパン株式会社	日本の伝統的な技法やデザイン、日本美術などを用いた大阪・関西万博公式ライセンス商品の製造・販売	225		
		万博エコ・ベンチ・プロジェクト	226	

提出団体	項目	タイトル	ページ
株式会社グローバル・ホテルパート ナーズ	文化・環境	宿泊場所の提供だけでなく、京都の文化や食体験を発信	227
株式会社伊と幸		絹の伝統工芸ワークショップ	228
KANSAI感祭実行委員会		KANSAI感祭 in KYOTO～伝統文化とデジタル演出の融合による特別体験～	229
有限会社南條工房		「おりん」を通じた伝統工芸、精神文化、宗教文化など、京都の重層的な魅力発信	230
公益財団法人京都文化財団		堂本印象没後50年記念・「堂本印象と大阪」展	231
ガールスカウト京都府連盟		ガールスカウトフェスタ～世界旅行へ行こう！～	232
大阪・関西ブレ万博実行委員会京都 支部		「京都みやこEXPO」	233
アトリエミツチキョウト		伝統文化×科学の融合 命に彩りを、温もりを	234
一般社団法人 文化継承機構		茶祖の寺・建仁寺で茶道や礼法を楽しく学べる「たしなみ塾」	235
特定非営利活動法人 桜茶meet		在京外交官を招き、「万博」と「3つの京都」をPRする初釜茶会	236
独立行政法人国立美術館 京都国立 近代美術館		〈若きポーランド〉－色彩と魂の詩 1890-1918	237
公益財団法人DNP文化振興財団		モダン・エキスポ・ポスターズ: グラフィックで見る現代の万博	238
学校法人 京都産業大学		企画展「西村製作所と中村要～反射望遠鏡にかけた夢～」	239
独立行政法人国立文化財機構 京都 国立博物館		大阪・関西万博開催記念 特別展「日本、美のつぼー異文化交流の軌跡ー」	240
独立行政法人国立文化財機構 京都 国立博物館		特別展「宋元仏画ー蒼海（うみ）を越えたほとけたち」	241
京都・大学ミュージアム連携		京都・大学ミュージアム連携紹介パンフレットによる誘致	242
第76回華道京展運営委員会		第76回華道京展 花結びつながろう花と、人と。	243
京都外国語大学		EXPO2025 関西パビリオン京都ゾーン 翻訳事業	244
(3) 企業・団体・大学他 公益財団法人並河靖之有線七宝記念 財団		並河靖之七宝記念館 並河七宝と万国博覧会	245
京都文化博物館		特別展「和食～ 日本の自然、人々の知恵～」	246
京都文化博物館		特別展 アニメ「鬼滅の刃」全集中展 - 刀鍛冶の里編・柱稽古編 -	247
京都文化博物館		特別展「青の祓魔師（エクソシスト）展」	248
京都文化博物館		企画展「創立80周年記念 京都工芸美術作家協会展 煌（きらめき）ーKOGEI・つながる 未来ー」	249
京都文化博物館		総合展示「令和7年 新指定 国宝・重要文化財」	250
京都文化博物館		総合展示「ガラスの丹後王国の世界」	251
京都文化博物館		総合展示「祇園祭ー山鉾巡行の歴史と文化ー」	252
京都文化博物館		総合展示「池大雅展 大雅からのたより」	253
京都文化博物館		総合展示「今井憲一 幻想とリアルのあわい」	254
株式会社アークコーポレーション		大阪・関西万博開催記念 マークエステル展ー日本神話と美しい色彩の花々ー	255
京都いけばな協会、祇園商店街振興 組合、四条繁栄会商店街振興組合		第39回 ～祇園祭にいける～ いけばな展	256
公益財団法人京都市都市緑化協会		梅小路公園開園30周年記念事業	257
象印マホービン株式会社		ONIGIRI WOW! プロジェクト	258
京都文化博物館	総合展示「未来へのおくりもの 京都府×京都市 指定文化財」	259	
エムケイ株式会社	万博記念ナンバープレートをEV車両に装着	260	
株式会社大垣書店	店頭での「京のおみやげ」取扱いの拡大	261	
株式会社文化資本創研、東京工業大学オー プンイノベーション機構を発起人とした国際産学 官連合	グローバル産学官エコシステム「DOIC」構築に向けた文化体験講座企画	262	
株式会社京都蒸溜所	京都にこだわり京都に根付いた商品づくり	263	
京都市向日市激辛商店街	インバウンド受け入れに向けたセミナー及びKARA-1万博グランプリの開催	264	
株式会社 CCHサウンド	世界初の軟骨伝導製品の展示	265	
京都府酒造組合連合会 京都府酒造協同組合	Visit & Drink in KYOTO	266	
公益社団法人京都府茶業会議所	宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い	267	
京都北都信用金庫	海の京都エリア 未来へつなぐ共創プロジェクト	268	

提出団体	項目	タイトル	ページ
株式会社KOMOIKEあずき	産業	日本最大の小豆「薦池大納言」をはじめとした農産物加工品販売	269
株式会社ニッセン		伝統産業の技術と現代プロダクトへの融合	270
洛西紙工株式会社		展示会等のイベント仕器をダンボール化し、人にも環境にも優しいものづくり	271
ビューティーグレース株式会社		ウォーキングパフォーマー・エンターテインメント	272
三井住友海上火災保険株式会社 京都支店		万博を通じた人材育成と企業の新たなチャレンジをサポート	273
(一社)京都物産出品協会		(一社)京都物産出品協会 大阪・関西万博ブース「おこしやす 京の小路」出展	274
有限会社量工房ヨシオカ		ミニ量作り体験、または、量コースター作り体験	275
株式会社big picture stars		京都は昔、首都だった。再度、世界に認知プロモーションを開始する	276
小笹商店		国内唯一 京都清水寺にも採用されたシルクの写刺織工場見学	277
三菱ロジスネクスト株式会社		三菱ロジスネクスト「物流の視点で考える未来社会のデザイン」	278
与謝野ホップ振興協議会		与謝野ホップでこころをつなぐ	279
コミュニティ・バンク京信		イノベーションが起こるEXPO酒場の開催	280
公益社団法人京都府物産協会		京都まるごと物産紹介&京ののれんめぐりキャンペーン	281
エムケイ株式会社		観光	京都駅八条口前に訪日外国人向けトラベルセンター開設
エムケイ株式会社	外国語ドライバー育成のため海外留学制度3ヶ月に拡大		283
カルチュラル・エデュ・ツーリズム	世界と日本をつなぐ学生アンバサダーが伝え、創る日本の未来。		284
万葉倶楽部株式会社	京都西山の観光資源「竹」をテーマに西山エリア全体での誘客		285
グローバル京都	関西・大阪 MY古都日本酒ツーリズム		286
和東家	万博期間限定：和東茶蕎麦&八つ橋作り体験プラン		287
株式会社キャビック	京都市内⇄万博会場 ジャンボハイヤー定額直行便		288
京都三条会商店街振興組合	魅力発見！外国人観光客向け商店街ツアー		289
お茶と宇治のまち 歴史公園 茶づな	茶づなミュージアム 茶臼から抹茶づくり体験プログラム		290
株式会社大垣書店	地域ゆかりの書籍にもとづいたイベント開催		291
株式会社東映京都スタジオ	太秦江戸酒場		292
一般社団法人Design Week Kyoto実行 委員会	KYOTO Local Wisdom Experience		293
季の美ハウス	季の美ハウス訪問と京都でしかできない体験ツアーの企画		294
NAKED桜まつり 2024製作委員会	NAKED桜まつり 2024 世界遺産・二条城		295
京都駅ビル開発株式会社	MIXTURE STATION		296
株式会社福寿園 宇治茶工房	宇治茶カフェにて「金箔入り抹茶とお菓子」の提供		297
株式会社福寿園 宇治茶工房	茶畑や宇治の風景を見ながら「抹茶の点て方体験」		298
株式会社福寿園 宇治茶亭	抹茶ソフトクリームの金箔入り抹茶がけ		299
株式会社福寿園	「お茶をたべる×フレンチの融合」を体験する		300
株式会社福寿園	万博3種飲み比べ体験		301
株式会社福寿園	宇治茶をおいしく、楽しく味わうための京焼・清水焼茶陶展		302
株式会社福寿園	お茶とアートの融合したギャラリー体験		303
株式会社黒香師工房	Kimono イベント		304
学校法人大和学園 京都ホテル観光 ブライダル専門学校	KYOKANトラベル×宮津市 活性化プロジェクト		305
株式会社小谷常	未来に残したい健康長寿の町の食文化	306	
福知山まちづくり株式会社	MONPAKU！2024 スイーツのまち福知山 モンブラン博	307	
一般社団法人森の京都地域振興社	森の京都QRトレインツアー	308	
トランスファコミュニティランド	京都共生地域支援プロジェクト	309	
京都国際文化交流協会	世界に向けて京都の新しい観光体験の実施	310	
EZYCAFE	キッチンカーでのカフェメニューの提供	311	

(3) 企業・団体・大学他

	提出団体	項目	タイトル	ページ
(3) 企業・団体・大学他	一般社団法人森の京都地域振興社、 京都府南丹広域振興局、京都府中丹 広域振興局	観光	森の京都ジビエフェア	312
	京都産業大学井手応援隊		産学連携イルミネーションイベント いでみらくる	313
	リリーレース・インターナショナル 株式会社		LACE MUSEUM【LOOP】 レースを使用したミャクミャク商品開発と西陣エリアに海 外の方がお越しいただけるようナイトミュージアムの実施	314
	一般社団法人森の京都地域振興社		京丹波・郷土芸能 和知太鼓日帰り体験ツアー	315
	一般社団法人森の京都地域振興社		「お得に巡ろう！森の京都もりもりガイド」作成	316
	大阪・関西万博2025「メタバース流 行」実行委員会		日本のエンターテインメント体験	317
	株式会社エリアプロモーションジャ パン		料亭で本物の京料理芸舞妓さんのおもてなし体験 The genuine OMOTENASI experience in Kikunoihonnten	318
	京都光華女子大学	いのち	光華ワクワク×健やかフェス2025	319
	立命館大学 国際平和ミュージアム		立命館大学国際平和ミュージアム 常設展示	320
	道の駅丹後王国 「食のみやこ」		“いのちをつむぐ”京丹後の魅力的なグルメの提供	321
	道の駅丹後王国 「食のみやこ」		“いのちを高める”京丹後の魅力的な自然の中での体験の提供	322
	AMUSE株式会社		すべての方が楽しめる京都府内のバリアフリーツアー企画	323
	NPO法人地域共生開発機構ともつく & OCHIKOCHI株式会社		TUMUGIプロジェクト	324
	京都大学防災研究所アートイノベーション 産学共同研究部門		大阪・関西万博を契機とする防災都市京都のアピール	325
	株式会社ゆめ工房		文化首都・京都から 『インクルーシ文化』を発信！	326
	株式会社ケーエスケー		地域で取り組もう！健康街づくり	327
	公益社団法人 認知症の人と家族の会		万博機運醸成イベント 京都発：Live！ライトアップ2024	328
	公益社団法人 認知症の人と家族の会		認知症啓発ブース出展・ミニ講演会・Live！ライトアップ2025中継	329
	まあいいかlaboきょうと		まあいいかCafé	330
	株式会社リカバリー		平衡感覚チェック靴下（らく下）体験プログラム	331
	株式会社サン・クロレラ		Health is Wealth ～地球といのちに優しいヘルスフード『クロレラ』で未来の健康貯蓄を～	332
	ユニオン株式会社		「安心・安全・まごころで差別のない世界を」	333
	株式会社小谷常		ユニバーサルツーリズム・カスタマイズする宿泊を発信	334
	一般社団法人KYOTANGO THREAD CARAVAN		京丹後こども・みらいプロジェクト	335
	レザミ		「遊びながら学ぶ」3つのレザミスタイル	336
	インキュベーション・サークル welfare valley		認知症にやさしいEXPO	337
	WAKAZO		LASTWORDS	338
	一般社団法人夢洲新産業・都市創造 機構	第3回日本国際芸術祭	339	

(1) 大阪・関西万博きょうと推進委員会が実施した取組

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博に向けて、万博を契機とした京都の取組を発信することで、京都府全体の万博の機運を高め、府内への誘客を促進した。
 - 令和5年度
 - 12月1日、1895年（明治28年）に政府主催の内国勧業博覧会が開催され、歴史的にも万博と縁のある岡崎エリア（みやこめっせ）で大阪・関西万博500日前を契機とした機運醸成イベントを開催。
 - 令和6年度～令和7年度
 - ・万博の開催1年前（4月13日）にあわせて、京都タワーなど府内各所を大阪・関西万博のイメージカラー（赤色及び青色）にライトアップ
 - ・10月12日に京都駅前広場、ホテルグランヴィア京都及びJR京都駅6番のりばで開催半年前機運醸成イベント「京都イロドリEXPO こといろ」を開催。
 - ・令和7年3月には開幕1か月前に合わせて府内各所のライトアップや推進委員会公式SNSでのプレゼントキャンペーン、府内外でのフラッグシップ・アクションを紹介するデジタルサイネージやポスターの掲出等、集中プロモーションを実施。
 - ・大阪・関西万博きょうと推進委員会公式サイト（EXPO KYOTO Official site）及び公式SNSにおいて、京都の万博関連情報を一体的に発信。公式SNSでは、府内の万博関連イベントと連携し、万博入場チケットやノベルティ等が当たるキャンペーンを実施。

【実施成果】

- 500日前機運醸成イベント「MEETS #EXPO KYOTO」（令和5年12月1日）：参加者数 約800人
- 開催半年前機運醸成イベント「京都イロドリEXPO こといろ」（令和6年10月12日）：来場者数 約3,500人
- 大阪・関西万博きょうと推進委員会公式SNS：総フォロワー数 約3万人

実施主体

大阪・関西万博きょうと推進委員会 ほか

実施場所

京都府内各所

実施時期

令和5年度～

関連HP

大阪・関西万博きょうと推進委員会公式サイト（EXPO KYOTO Official site）<https://expokyoto.jp/>

その他

—

【問い合わせ窓口】推進委員会事務局（京都府総合政策環境部 万博・地域交流課、京都市産業観光局産業企画室）



万博後の取組

万博公式スタンプや府内の万博関連スポット等を活用し、引き続き万博を契機とした京都の魅力発信を行うことで、多くの方に府内へ足を運んでいただけるよう取組を展開する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 令和7年4月23日に、大阪・関西万博会場内のEXPOホール「シャインハット」において、「EXPO KYOTO MEETING～和のこころと地球の未来～」を開催。当日は、京都の豊かな魅力やこれからの世界、人類、地球の在り方について、京都から世界へ「問い」を発信する5つのトークセッションと、伝統芸能から高校生、大学生のユース世代まで、1000年の時間軸でのパフォーマンスをステージ上で披露した。

【実施成果】

- ▶ 来場者実績（延べ）5,676名
- ▶ 京都の多様な魅力を国内外に発信できた。
- ▶ 事業者、団体、有識者など、多様な人材・企業等の新たな出会い、交流が促進され、次代を担う高校生、大学生等ユースの成長の場にもなった。

実施主体

大阪・関西万博きょうと推進委員会

実施場所

万博会場内 EXPOホール（愛称：シャインハット）

実施時期

令和7年4月23日（水）

関連HP

大阪・関西万博きょうと推進委員会公式HP
（EXPO KYOTO Official site）

その他

日⇔英対応を実施



【問い合わせ窓口】推進委員会事務局
（京都府総合政策環境部万博・地域交流課、京都市産業観光局産業企画室）

万博後の取組

- ・本取組を契機として生まれた「新たなつながり・出会い」の機会を継続していくため、万博終了後の11月22日（土）には「EXPO KYOTO MEETING+（プラス）」を京都市内で開催。当日は、高校生・大学生のユースとEXPO KYOTOメンバーが、京都の伝統や未来について語り合った。
- ・今後も、万博での様々な取組で生まれた新たな出会いや多様な人材や企業、団体の交流、次代を担うユースたちの活躍の場をレガシーとして途切れさせることなく、京都の着実な発展に繋げていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 大阪・関西万博会場（夢洲）内に関西広域連合が整備する関西パビリオンに京都ゾーンを184日間出展した。京都ゾーンでは、「文化」「食」「産業」「環境」「観光」「いのち」の各分野の中で、概ね1週間ごとに展示を入れ替えながら、24のテーマで様々な京都の魅力を発信。展示に加え、来場者が出展者と交流し、心を通わせ、一体感を生み出すような実演や体験イベントを実施した。また、テーマにリンクした府内のイベント情報や府域を周遊する企画を来場者に案内し、府域への誘客を促進した。
- ▶ 多目的エリアでは、GW（4月29日～5月4日）には物産展とオムニバス形式のステージで構成される「MEET UP KYOTO」を、閉幕直前（10月1日～10月6日）にはお茶・お酒・食をテーマに京都の食の魅力を結集した「KYOTO FOOD EXPO」を実施した。

【実施成果】

- ▶ 来場者：約53万人、出展者：128団体（いずれも多目的エリアを含む） ※関西パビリオン全体の来場者は約148万人
- ▶ 京都ゾーン来場者アンケートにおいて、「展示が面白かった、印象深かった」と回答した方は約95%。
そのうち約99%が「京都に行ってみたい」と回答（実施期間：35日間、回答者数：3,574人）

実施主体

大阪・関西万博きょうと推進委員会

実施場所

万博会場内 関西パビリオン

実施時期

令和7年4月13日～10月13日

関連HP

EXPO KYOTO Official site
<https://expokyoto.jp/kyotobooth/>

その他

—

【問い合わせ窓口】推進委員会事務局（京都府総合政策環境部 万博・地域交流課）



万博後の取組

- 京都ゾーンで使用した備品等を府内施設において展示（12月19日現在、京都府庁及び府立京都学・歴彩館）
- 万博公式スタンプをはじめ、万博関連スタンプ4種を府立京都学・歴彩館に移設し、令和8年3月まで設置

(2) 大阪・関西万博きょうと推進委員会参加団体が実施した取組

実施概要及び成果

【実施概要】

➤ 万博会期中、京都駅周辺エリアを玄関口として府域への誘客を促進するとともに、駅周辺一帯で京都の文化・芸術や地域の魅力に親しむ機会を創出した。

(1) 府域への誘客促進

- (主な取組)
 - ・EKISpot KYOTO：京都の万博関連情報発信拠点を京都駅に設置し、府域の魅力を経験できるイベントの実施や専属スタッフによるニーズに応じた目的地の案内を実施。
(設置期間：令和7年4月17日～10月19日(186日間)、延べ利用者数 約15万2千人) ※府民・市民生活と調和した観光推進の啓発を併せて実施
 - ・周遊企画：大人気ゲーム「桃太郎電鉄」とコラボした街歩きイベント「リアル桃太郎電鉄～ホンマの京都・万博編～」や府内周遊スタンプラリーを実施(参加者数 約5,300人)。

(2) 京都の文化・芸術や地域の魅力に親しむ機会の創出

- (主な取組)
 - ・GATEWAY.KYOTO：東・西本願寺エリアを中心に、5月～10月にわたり、いけばな、日本画、写真、彫刻、工芸美術の作品展示等を開催。(参加者数約3万5千人)
 - ・京都駅ビル芸術祭：京都駅ビルを舞台に、現代アート・伝統工芸・音楽パフォーマンスがジャンルを超えて響き合い、新たな文化体験を創出。(参加者数 約32万人)
 - ・京都鉄道博物館における万博関連企画展「1970年 あの頃の交通展」：55年前に開催された万博の様子とともに、1970年頃の京阪神エリアの鉄道を中心とした交通の発展について紹介する企画展(参加者数 約9万8千人)
 - ・Lightseeing Kyoto South：京都駅東部・東南部エリアの複数の拠点を舞台に、京都で活動する若手アーティストの作品展示などによる周遊型アートイベント。
(参加者数約1万5千人)

【実施成果】

- 京都駅及び周辺エリアにおいて、府内各地の魅力体験、イベント情報を発信する拠点の設置やオープニングイベントの開催、楽しみながら府内全域を巡っていただける周遊企画等を実施することにより、万博を契機とした府域全域への新たな人流を生み出した。
 - ・EKISpot KYOTOでは、府内の魅力を体験・体感できるイベントを通じ利用者の興味や関心を引き出し、約3万7千人に専任スタッフがニーズに応じた目的地の案内を行うなど、より確度の高い府域への誘客促進を行うことが出来た。
 - ・構成団体間で各事業を共有・連携することにより、プロモーションや誘客促進において相乗効果を生み出すことが出来た。
- 万博会期中、GATEWAY.KYOTOをはじめ、京都の多彩な魅力を感じていただけるイベントや展覧会等をエリア全体で展開(延べ34事業)することにより、京都駅周辺をいつ訪れても京都の文化・芸術や地域の魅力を感じられるウェルカムエリアとすることが出来た。
 - ・京都駅周辺エリアをひとつのゾーンとして捉え、一体的な取組を進めることができた。

実施主体	京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ事業実行委員会 (京都駅ビル開発株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、京都府、京都市)
実施場所	京都駅周辺エリア及び府内全域
実施時期	令和7年3月～令和8年3月
関連HP	https://expkyoto.jp/flagshipaction/kyotogw.html

【問い合わせ窓口】京都府総合政策環境部



万博後の取組

引き続き京都駅周辺エリアが、京都の文化・芸術や地域の魅力を感じられるウェルカムエリアであるとともに、府内各地への誘客を促す玄関口となるよう様々な主体において取組を継続していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都の茶文化を支える茶人や茶商、茶の生産者から茶器や茶道具、茶菓子の職人までが一緒になって、府内各地でお茶に関する様々な事業を展開するとともに、万博を契機に京都を訪れるお客様をもてなす「きょうとまるごとお茶の博覧会」を開催
 主な実施会場：東本願寺前市民緑地、かめきたサンガ広場、福知山城周辺、木津川運動公園、天橋立公園周辺、茶づな、京都学・歴彩館、北野天満宮など府内一円
- ▶ お茶を通じた国際交流やお茶をテーマに自由な発想で考えた取組を実施
 府内の小中高・支援学校生が万博参加国等出身者とお茶を通じて交流したり、大学生がお茶に関する企画を自由に考えて実施

【実施成果】

- ▶ 4月のオープニングから10月のグランドフィナーレまで、府内の民間団体や行政機関等が府内各地で様々な取組を実施し、国内外から訪れた多くの方々に京都の茶文化に親しんでいただける機会を提供することができた。（きょうとまるごとお茶の博覧会 総取組数 144件）
 主な実施会場の来場者数：東本願寺前市民緑地 約1,000人、かめきたサンガ広場 約1,000人、福知山城周辺 約4,000人、木津川運動公園 約2,000人、天橋立公園周辺 約650人、茶づな 約1,200人、京都学・歴彩館（シンポジウム・展示）約2,400人（10/20現在）、北野天満宮 約31,700人
- ▶ 府内小中高・支援学校生と万博参加国等出身者がお茶や両国の文化を通じて国際交流を実施した。参加校数：22校（19か国）
- ▶ 府内大学生がお茶をテーマとした商品開発やイベント開催、創作茶室の建築等を行った。参加校数：8大学（約60名）

実施主体

京都府、きょうとまるごとお茶の博覧会実行委員会

実施場所

京都府内各地

実施時期

令和6年～

関連HP

<https://www.teaexpo.kyoto>

その他

—

【問い合わせ窓口】京都府文化生活部文化政策室



万博後の取組

今後も様々な形で府民をはじめ国内外の人々に京都のお茶に親しんでいただける機会を創出していく。

和食と世界の食サミット

フラッグシップ・アクション

実施概要及び成果

【実施概要】

- ユネスコ無形文化遺産「和食」をはじめとする「食」の魅力発信と交流を図るイベントを開催
- ① 4月26日～7月6日 特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」(京都文化博物館) ⇒和食の歴史・文化を紹介する特別展(和食展)を開催
 - ② 5月11日 和食展後援シンポジウム「京都の食文化と和食」(京都学・歴彩館) ⇒大学関係者による和食文化のシンポジウムを開催
 - ③ 5月14日～19日 京都 食の博覧会(京都高島屋S.C.) ⇒老舗料亭等と連携した特別弁当や府域の特選グルメの販売、出汁の飲み比べ体験、京の料理人講演会等を実施
 - ④ 6月15日 「おいしさでつながる世界」シンポジウム(大阪・関西万博E X P Oメッセ「W A S S E」) ⇒食のサスティナビリティや伝統の継承と革新をテーマとしたシンポジウムの開催
 - ⑤ 10月18日、19日 京丹波マルシェ2025/全国モンブラン大会2025(京都府立丹波自然運動公園) ⇒地域の食の魅力を発信するマルシェやステージイベントを実施

【実施成果】

- ① 来場者実績32,290人。世界で注目の高まる和食について、バラエティ豊かな標本や資料とともに科学や歴史などの多角的な視点から紹介した。
- ② 参加者数90人程度。和食(日本料理)と京都とのつながりを食材の提供(市場)と食材の調理(京料理)というふたつの視点から考えた。
- ③ 府内82店舗のグルメ販売、出汁の飲み比べなど「京都で開催する京都展」だからこそ実現できた品揃えや体験を提供した。
- ④ 国内外の万博来場者や関係者等150名が来場。テレビや雑誌等、国内外の約80媒体に取り上げられた。
- ⑤ 来場者数23,000人。地元事業者等による京丹波ならではのメニューや商品の販売や、全国各地の栗産地が集まり、今年No1のモンブランを決定する「全国モンブラン大会」等を実施し、地域の食の魅力をPR。

実施主体

- ① 京都府、京都文化博物館、朝日新聞社、MBSテレビ
- ② 和食文化学会、京都府
- ③ 京都食の博覧会実行委員会
- ④ 「食のサスティナビリティの追求と最高峰の食の提案」実行委員会
- ⑤ 京丹波町等

【問い合わせ窓口】

- ①～④ 京都府 商工労働観光部 観光室
- ⑤ 京都府総合政策環境部万博・地域交流課

実施場所

- ① 京都文化博物館(京都市)
- ② 京都学・歴彩館(京都市)
- ③ 京都高島屋S.C.(京都市)
- ④ E X P Oメッセ「W A S S E」(大阪市)
- ⑤ 京都府立丹波自然運動公園

実施時期

上記のとおり

関連HP

—

その他

—

①



②



③



④



⑤



万博後の取組

- ・万博を契機に、世界の食文化との交流が深まるとともに、和食をはじめとした府内各地の食の魅力を多くのメディアにも取り上げられ、広く発信することができた。
- ・万博後も京都の食の魅力を継続的に発信し、「食＝京都」を定着させることで、誘客促進とブランド価値の向上を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

・京都議定書誕生の地・京都において、同議定書発効20周年、創設15年の節目となる令和7年に「KYOTO地球環境の殿堂」について、万博を機にスペシャルバージョンとして取組を実施

○国際会議

- ▶ 歴代の殿堂入り者等が「気候変動」や「生物・文化多様性」のテーマごとに議論
- ▶ 万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に通じる人と地球の未来のあるべき姿について宣言

○未来会議

- ▶ 国内外の高校生・大学生等が、自然環境と京都文化との関係について3つのワークショップを通じて探究
- ※ワークショップ：「古来文学」探究プロジェクト、「伝統産業」探究プロジェクト、「森里海」探究プロジェクト

【実施成果】

- ・国際会議・未来会議 当日来場者数：1,100人。未来会議 参加学生数：106名（高校生42名、専門学校生1名、大学生：63名）
- ・環境先進地・京都を世界に向け発信するとともに、未来を担う若者が、探究活動を通じて地球の環境保全への理解を深めた。
- ・参加者が探究を通じて得た学びや気づきを基に、教材を作成し府内高校へ配布することで、実際に体験していない若者にも学びの機会を提供した。

実施主体

KYOTO地球環境の殿堂運営協議会

【問い合わせ窓口】KYOTO地球環境の殿堂運営協議会

（事務局：京都府脱炭素社会推進課・京都市地球温暖化対策室）

実施場所

国際会議：国立京都国際会館
未来会議：府内各所

実施時期

国際会議：令和7年9月20日（土）
未来会議：令和7年4～9月

関連HP

<https://www.pref.kyoto.jp/earth-kyoto/>

その他

—



国際会議



未来会議（探究プロジェクト）

万博後の取組

- ① 次世代を担う若者の探究心を育み、未来の環境リーダー育成に資する取組が求められている。
- ② 今後の殿堂事業において、「未来への宣言」をレガシーとして引き継ぎ、若者が文化と多様な自然の共存・調和について探究・発表する機会を継続。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博を契機に世界からスタートアップ企業や投資家等を一層呼び込むため、スタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」である大阪や神戸と連携し、万博開催期間中、京阪神の街中で交流会、商談会、ピッチコンテスト等を実施。その中核として、国際的な大型スタートアップイベント「IVS」を、内容を拡充して開催。次世代イノベーター会議「IVS Youth」も新設。

【実施成果】

- 「IVS」は過去最多となる参加者実績13,000人以上。うち海外比率20 %（参加国籍 70以上）。
- 「ディープテックステージ」を新設し、京阪神のアカデミアと世界の起業家、投資家との接点創出。
- 「IVS Youth」を新設し、学生の起業に対する意識改革と仲間づくりを促進。参加者240人以上。

実施主体

IVS KYOTO実行委員会（京都府・京都市・(株)Headline Japan）

【問い合わせ窓口】京都府商工労働観光部産業振興課、京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室

実施場所

みやこめっせ、ロームシアター京都ほか

実施時期

IVS2025：令和7年7月2日(水)～4日(金)
※IVS Youth：令和7年7月5日(土)

関連HP

<https://www.ivs.events/ja/2025>

その他

全セッションにおいて同時通訳対応



万博後の取組

- ・万博を契機に呼び込んだ海外のスタートアップ企業や投資家等の京都への定着を図る。
- ・「IVS2026」を京都で開催（令和8年7月1日～3日）するとともに、さらに海外ネットワークを拡充するため、「IVS」をハブとして、海外カンファレンスとの連携・相互誘客に取り組む。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 淀川舟運の復活を契機に、淀川沿川の自治体が連携し、観光船の特別運航やステージイベント、トレインマーケットなどからなる「淀川舟運フェスティバル」を令和7年5月10日及び11日に開催（実施会場：京都市伏見区、宇治市、八幡市、久御山町、枚方市）

【実施成果】

- 乗船者を含む伏見港公園エリアの来場者実績約10,000名。
- 乗船者アンケートでは「また観光船にのりたい」「定期的に舟運があれば良い」などの意見が数多く寄せられ、淀川舟運の観光コンテンツ化に向けた機運醸成が図られた。

実施主体

京都府、淀川沿川市町等

【問い合わせ窓口】京都府商工労働観光部観光室

実施場所

京都府内各地等

実施時期

令和7年5月10日及び11日

関連HP

—



その他

—

万博後の取組

- ・ 万博を契機に復活した淀川舟運を、京都の歴史や文化を活かした新たな観光コンテンツとして、地域振興や分散観光に繋げていく。
- ・ 府域の様々な河川に関わるコンテンツを活用したモデルコースやツアーの造成など、「京都の川」をテーマにした新たな観光コンテンツにより府域周游客の増加に取り組んでいく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「未来社会への貢献～次世代への解～」をテーマに、4つの分野で「誰もが幸せに楽しく暮らせる社会」をともに考え、学び、創り上げるイベントを展開
- 「ロボット・アバター・ICT」：遠隔操作ロボットによるパレード・買い物競争、観光ツアー、自動運転バス等次世代モビリティの走行
- 「ウェル・ビーイング」：健康、食、環境、いのちに関する多数の展示や講演、さらに裏千家千玄室大宗匠の講演、フードテックシンポジウム、メタバース茶会等を展開
- 「スタートアップ」：スタートアップフェスや万博会場でのイベント開催ー国内外の大学、企業、支援機関が集結し、革新的アイデア、社会課題解決の最前線を紹介
- 「サイエンス&アート」：けいはんなみゅーじあむや木津川アート、観月の夕べ等科学を掛け合わせた文化イベントや、住民と未来を考える未来創造セッションを実施
- 「オープンラボ・テックツアー」を延べ8日間開催。国内外の訪問者に、けいはんな学研都市に集積する研究機関・企業の先端技術を案内
- 「国際イベント」として、ノーベル賞受賞者2名によるシンポジウムをはじめ、「京都スマートシティエキスポ」や「京都国際学生サミット」「香港食祭」等を開催

【実施成果】

- 期間中74のイベントの実施、来場者人数ー延べ 約200,000人（令和7年10月22日現在速報値）
- 大阪・関西万博の会場内での取り組みを踏まえ、本イベントを契機としたけいはんな学研都市への訪問者の増加に加え、参加者による閉幕後も継続したイベント連携や事業実施等への意欲醸成、更には今後のけいはんな学研都市発展の推進体制構築の第一歩に繋がった。

実施主体

けいはんな万博2025運営協議会

【問い合わせ窓口】(公財)関西文化学術研究都市推進機構

実施場所

けいはんな学研都市 等

実施時期

令和7年4月13日～10月13日

関連HP

<https://keihannaexpo.org/>

その他

狂言の英語字幕対応や国際イベントでの英語対応等



万博後の取組

- ・けいはんな万博2025の開催を通じ、立地機関・関係者の連携や、国際交流の促進、住民参加の機運が高まったことを踏まえ、大阪・関西万博の成果を継承する「ポスト万博シティ」として、大阪・関西万博のレガシーを継承し、継続的な国内外への都市の求心力を高めていく。
- ・石黒浩氏のシグネチャーパビリオン「いのちの未来」のアンドロイド7体を京都府が無償譲渡を受け、けいはんなオープンイノベーションセンターで展示するほか、「RITE 未来の森」のガイダンスホールもけいはんな学研都市内に展示されることから、万博の「レガシー」を体感いただく機会や、学生・生徒が最先端の科学技術に触れる機会を創出するイベントなどを実施予定。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 今回のために特別編成されたオーケストラによるコンサートを綾部、宇治で開催。小編成で行う室内楽コンサートを、京丹後、宮津、与謝野、亀岡、井手において、社寺等の文化財や歴史的建築物等を会場に開催。
- こども向け教育プログラムではプロの音楽家等による鑑賞型・参加型プログラムや、府内5会場での楽器体験会、堀川音楽高等学校と企画した合同演奏体験会を実施。
- 府民参加の合同演奏会「ブラス・ジャンボリーin京都」や、0歳から入場できる親子向けクラシックコンサートを実施。

【実施成果】

- オーケストラ・室内楽コンサート（7会場）来場者数：1,677人
- 教育プログラム・鑑賞型（学校訪問含む）参加者数：1,064人、体験会（楽器体験等）参加者数：846人
- 親子向けコンサート来場者数：328人、府民参加型演奏会来場者数：854人（演奏参加312人に観覧者含む）

実施主体

京都府
Music Fusion in Kyoto 音楽祭実行委員会

【問い合わせ窓口】

京都府文化生活部文化政策室

実施場所

京都府内各地

実施時期

令和7年8月～令和8年2月

関連HP

イベント特設サイト
<https://music-fusion.kyoto/>



万博後の取組

- ・ 万博を契機に、オーケストラコンサートや室内楽コンサートへ府外からの来場者が増えることに期待するとともに、地域の魅力発信に寄与する事業プログラムを展開する。
- ・ 市町村や民間団体・企業と連携して運営することで「オール京都」の一体感を創出し、長く続く音楽祭を目指す。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都府立植物園で、最新テクノロジーを活用したメディアアートのインスタレーションを実施。
- インスタレーションは、日本人が大切にしてきた自然への敬愛を表したメッセージが込められており、日本文化の魅力を発信するとともに、作品を通じて子ども達にも分かりやすい形で植物や生物多様性への興味・関心の向上も図る。

【実施成果】

- 入場者数：約10万人

実施主体

京都府・京都府立植物園アートナイトウォーク実行委員会

【問い合わせ窓口】京都府立植物園アートナイトウォーク実行委員会
(事務局：京都府文化生活部文化芸術課)

実施場所

京都府立植物園 (京都市)

実施時期

令和7年5月～令和8年3月

関連HP

<https://lightcycles-experience.com/kyoto/>



その他

外国語による案内対応できるスタッフの配置・ホームページの作成等

万博後の取組

本事業の経験を踏まえ、今後も、子ども達にも分かりやすい形で植物や生物多様性への興味・関心の向上を図ることができる様々な企画等に取り組むとともに、国内外からの観光客等にも、京都府立植物園の魅力を発信し、植物園はもとより、地域のさらなる発展に貢献できるよう、一層の取組を進める。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都市勧業館みやこめっせ・ロームシアター京都をメイン会場、京都国際マンガミュージアムを第2会場として開催。
- ▶ みやこめっせB1階の「京都伝統産業ミュージアム」内にて、京都の伝統産業体験や、マンガ・アニメ・ゲームに関連したワークショップ、人気キャラクターとのグリーティングが楽しめるファミリーコーナーを設置。
- ▶ 京都府との共同プロモーションやBitSummitとの相互出展など、府市連携による広報を実施。
- ▶ 万博会場内（EXPOメッセ「WASSE」）で開催された内閣府主催のイベント「クールジャパンショーケース／アニメ・マンガツーリズムフェスティバル」に京まふブースを出展。京まふオリジナルのノベルティグッズを配布するなど万博の機を捉えた広報を実施。

【実施成果】

- ▶ 総来場者数：2日間で36,143人※速報値
(みやこめっせ・ロームシアター京都：29,078人、その他：7,065人※京都国際マンガミュージアム含)
- ▶ 66の企業・団体がブース出展し、人気作品のグッズ販売、限定映像の放映、フィギュア展示などを展開。
- ▶ 人気アニメ作品の声優等が登壇するトークショーなどのステージイベントを全25プログラム実施。

実施主体

京都国際マンガ・アニメフェア実行委員会、京都市

実施場所

京都市勧業館みやこめっせ
ロームシアター京都
京都国際マンガミュージアム 等

実施時期

令和7年9月20日、21日

関連HP

公式HP (<https://kyomaf.kyoto/>)

その他

外国語に対応できる京都外国語大学の学生がボランティアスタッフとして従事（英語、中国語、韓国語等）

【問い合わせ窓口】

京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室



万博後の取組

西日本最大級のマンガ・アニメ・ゲームの総合見本市として、若者や外国人など新たな観光客の掘り起こしや、マンガ・アニメ・ゲーム文化の発信によるコンテンツ都市・京都のブランド向上に向けた取組を引き続き実施。

“ほんまもん”を伝える「食の京都」レストランスペシャル

フラッグシップ・アクション

実施概要及び成果

【実施概要】

- 参加店舗エリアを京都市内から京都府全域へと拡大し、京都を訪れる国内外の観光客の方はもちろん、地元京都の方にも京料理をはじめとした京の食文化の体験を通じ、多彩な「食の京都」の魅力を感じていただくとともに、京都の食材や伝統工芸など京都の伝統も感じていただけるイベントとして実施

【実施成果】

- 参加店舗数：156店舗
- 利用人数：10,630名（うち海外からの利用者1,594名）
- 利用金額：91,540,000円

実施主体

主催：京都市、京都レストランスペシャル実行委員会
共催：京都府

実施場所

京都府内一円

実施時期

令和7年5月12日から7月6日

関連HP

<https://krws.kyoto.travel>

その他

英語版チラシの作成、HP英語対応

【問い合わせ窓口】

京都市産業観光局観光MICE推進室



万博後の取組

- ・ 参加店舗や利用者からの評価を踏まえ、取組の継続を検討する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ①淀川水系における流域連携の取組として、森里街川での保全活動の支援
 (1)7/6 <里×川> たんぼのいきものツアー (2)11/16 <森×街> 保全団体交流会 (3)2/15 食味会
- ②-1文化の観点からの生物多様性の発信
 (1)10/26「植物の生命と色」 (2)12/6「茶の湯」と生物多様性
- ②-2多様な地域、年代へ普及啓発を図るため、府内3地域で「きょうと☆いきものフェス」を開催
 (1)6/22 北部会場 (2)9/27,28 京都市会場 (3)3/20 南部会場

【実施成果】

- ①(1)参加者：20人 (2)参加者：9団体、14人 (3)参加者：25名
- ②-1計85人 ②-2(1)来場者約800人、出展18団体 (2)来場者12,053人、出展94団体 (3)来場者3,045人、出展26団体
- 上記①②のイベントにより、府民・保全団体・企業・自治体等多様な主体が交流することができた。

実施主体

きょうと生物多様性センター

【問い合わせ窓口】きょうと生物多様性センター
 京都府総合政策環境部自然環境保全課
 京都市環境政策局環境保全創造課

実施場所

- ①亀岡市、京都市
- ②-1京都市
- ②-2(1)府立丹後海と星の見える丘公園（京丹後市）
 (2)府立植物園（京都市）
 (3)けいはんな記念公園（精華町）

実施時期

令和7年7月～令和8年3月

関連HP

<https://www.pref.kyoto.jp/biodic/index.html>（センターHP）



①(1)



②-1(1)



②-2(2)

その他

「平安時代から続く京の鳴く虫文化」や「外来種を用いた生け花」を実施し、文化と生物多様性の関わりを伝えた。

万博後の取組

- 多様なイベントを開催し、多くの方に参加いただいた一方で、担い手育成に繋がらず、保全団体の高齢化が顕著化してきており、資金面/人材面の課題が大きい。
- 保全団体と企業のコーディネートを積極的に進めるとともに、各地において交流の推進と担い手育成のためのセンター友の会（仮称）の設立等に注力していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 10月～11月を「京都アート月間」として、京都市内各地で開かれるアートイベントや展覧会をつなぎ、京都ならではの文化や風景のなかでアートを満喫できる機会をつくる。
- 「コラボレーション」をコンセプトに展開する現代美術のアートフェア「Art Collaboration Kyoto」や、美術のアカデミックな領域とマーケットの循環を促進する「CURATION⇔FAIR Kyoto」などと連動する。

【実施成果】

- 新たな公式ウェブページの開設やチラシ・ポスターの作成、SNS広告等による一体的な情報発信。
- 会場間をつなぐシャトルバスの運行や相互割引の実施。

実施主体

京都府、京都市

実施場所

京都市内各地

実施時期

10月～11月

関連HP

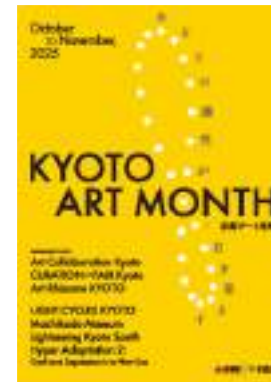
<https://kyoto-art-month.jp>

その他

—

【問い合わせ窓口】

京都府文化生活部文化芸術課
京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課



万博後の取組

来年度もチラシ・ポスターの作成やSNS広告等を実施し、一体的な情報発信を図りながら継続して事業を実施していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 府市の多様なエリアの魅力を活かした周遊観光ツアーを造成
- ▶ 時間の分散化や地域の新たな賑わいの創出、周遊観光の促進を図るため、京都府内で行われる夜間・早朝イベント、ツアー等の造成を支援
- ▶ KANSAI MaaSに「まるっと京都」周遊モデルコースを掲載

【実施成果】

- ▶ 府市周遊観光ツアーの造成支援数：35ツアー
- ▶ 『京都 朝・夜観光』推進事業補助金採択件数：34事業者36件（コンテンツ造成支援31件、ツアー販売支援5件・19ツアー）
- ▶ KANSAI MaaSへのモデルコース掲載数：10本（3月末現在）
- ▶ 観光Naviの朝夜観光ページをリニューアルし、府市の朝夜観光情報を掲載（リニューアル2/19）

実施主体

京都府、京都市、京都府観光連盟、京都市観光協会

【問い合わせ窓口】京都府商工労働観光部観光室
京都市産業観光局観光MICE推進室

実施場所

府内各地

実施時期

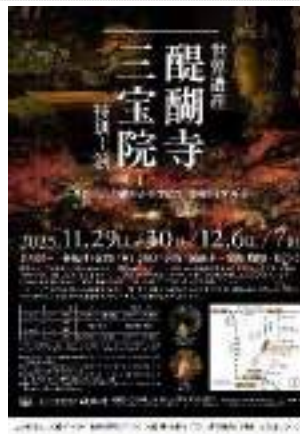
令和7年6月～

関連HP

<https://totteoki.kyoto.travel/category/area/marutto/>

その他

—



万博後の取組

- ・府・市をつなぐ周遊観光ツアーの造成や朝・夜の観光コンテンツ等の造成を促進することで、団体観光客を中心に場所及び時間の分散化を図ることができた。
- ・万博後は個人観光客向けに観光コンテンツの楽しみ方を分かりやすく伝えるとともに、朝・夜観光の専用ホームページ等により宿泊を伴う旅行の動機付けを促すような情報発信を強化していくことで、地域での滞在時間を延ばし、観光消費の拡大に繋げていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

Healthcare Venture Conference KYOTO (HVC KYOTO)

世界を舞台にヘルスケア領域で活躍するスタートアップを輩出するため、優れたビジネスプランを持つスタートアップ等のビジネス展開を支援する日本最大級のヘルスケア領域に特化したスタートアップ育成プログラム兼プラットフォーム。

- 英語によるスタートアップのビジネスピッチ、事業提携や出資先を探索するパートナーとのマッチングの機会を創出 (DemoDay)
- 最新の技術動向・法規制等を発信するシンポジウムの開催
- 支援スタートアップの事業進捗や取組を発信するショーケースの開催 等

【実施成果】

6月28日～30日の間、バイオ分野の研究成果を製品化・事業化へ導く関西スタートアップアカデミア・コアリション (KSAC) 主催の人材育成プログラム「BIE Workshop in Japan supported by SPARK Global」を実施し、DemoDayと併せて、HVC Weekとして4日間開催した。

(DemoDay実績)	登壇スタートアップ：15社
	個別商談数：111件
	参加者：338名

実施主体

京都府、京都市、京都リサーチパーク(株)、
(独) 日本貿易振興機構

【問い合わせ窓口】HVC KYOTO 事務局 (京都リサーチパーク(株))
京都府 商工労働観光部 経済交流課
京都市 産業観光局 スタートアップ・産学連携推進室

実施場所

京都リサーチパーク

実施時期

4月～3月 (事業全体)
6月30日、7月1日 (DemoDay)

関連HP

<https://www.krp.co.jp/hvckyoto/>



万博後の取組

万博後も引き続きヘルスケアスタートアップのビジネス展開を支援し、国内外で認知されるプロジェクトとする。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 特別編成されたオーケストラによるコンサートや、コンサートに参加する音楽家等による、子供向け鑑賞型・参加型プログラムを実施。
- ▶ 府域に配置された地域アートマネージャーにより、文化活動の振興を図るため、そして、文化・芸術活動の担い手を育成するための取組を実施。
- ▶ 府内各地でお茶に関する様々な事業を展開するとともに、万博を契機に京都を訪れる方に茶文化を発信する「きょうとまるごとお茶の博覧会」を開催。

【実施成果】

- ▶ プロの音楽家による演奏や、クラシック楽器に触れる貴重な機会となり、参加者アンケートでも満足の声が多かった。
- ▶ 府内の民間団体や行政機関等が府内各地で様々な取組を実施し、国内外から訪れた多くの方々に京都の茶文化に親しんでいただける機会を提供することができた。

実施主体

京都府

【問い合わせ窓口】京都府文化生活部 文化芸術課
文化政策室

実施場所

府内（京都市他）

実施時期

令和5年～7年

関連HP

—

その他

—

万博後の取組

万博後も、府内各地で府民が参加できるプログラムやイベントを開催し、府民が気軽に文化芸術に親しむ機会を創る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 宇治茶の世界文化遺産登録に向け、万博の開催に合わせて府民、地元住民、茶業関係者の理解促進と気運醸成のため、歴史、文化、生産など多様なテーマから宇治茶の魅力を発信する講座やワークショップを開催。
(講演会：『永谷宗円が煎茶を発明した』は何であったのか」「宇治茶の美味しさを世界へ発信」等)
(その他：「製茶工場見学 in 南山城村」「抹茶アート体験」等)

【実施成果】

- 講座参加者数：延べ約1,100名
- これまで講座の中では「宇治茶の歴史に関する新たな発見があった。宇治茶のことをもっと深く理解したい。」という声を得られた。

実施主体

京都府、京都文教大学

【問い合わせ窓口】京都府農林水産部農産課 宇治茶・特産振興係

実施場所

京都文教学園宇治キャンパスほか

実施時期

令和7年11月～令和8年2月に6回開催

関連HP

<https://ujicha.kyoto/>

その他

世界文化遺産に関するチラシ、宇治茶のパンフレットについて英語版を用意

万博後の取組

- ・講座参加者は知的好奇心が高い方が多く、改めて「宇治茶」や「宇治茶の歴史や文化」等への関心の高さが伺えた。
- ・万博後も、様々なテーマから講座を継続して実施し、府内外に幅広くコアな宇治茶ファンを育てていくこととする。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 宇治茶の世界文化遺産登録に向けて幅広く宇治茶の新規ファンを獲得するため、万博の開催に合わせて、和束町と宇治田原町にて茶生産者が講師となり、呈茶体験や茶畑歩き、茶生産者との語らいなど、宇治茶の文化や景観の魅力を発信するためのイベントを開催。
- 府内だけでなく、近畿内や関東からも参加され、地域や宇治茶の魅力を幅広い層に発信し、京都山城地域と宇治茶のファンを育てることができた。

【実施成果】

- 参加者数：20名

実施主体

宇治茶世界文化遺産登録推進プラットフォーム

【問い合わせ窓口】京都府農林水産部農産課 宇治茶・特産振興係

実施場所

和束町及び宇治田原町

実施時期

令和8年1月19日（月）

関連HP

<https://ujicha.kyoto/>



その他

世界文化遺産に関するチラシ、宇治茶のパンフレットについて英語版を用意

万博後の取組

・万博後も、京都山城地域の様々な宇治茶生産地をターゲットに地域の魅力を発信するイベントを実施し、府内外に幅広く宇治茶の新規ファンを育てていくこととする。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 関西パビリオンやJR京都駅構内では、京都府が養殖技術を開発し、ブルーシーフードガイド京都府版に掲載されている海藻の「アカモク」を紹介。実物大写真展示や試食により、来場者に「アカモク」の魅力をPR
- ブルーオーシャンドームでは、（一社）セイラズフォーザシー日本支局と「海と未来」をテーマに合同セッションを開催するとともに、農林水産部長が京都府の水産資源管理の取組を来場者に紹介

【実施成果】

- 8月下旬に関西パビリオンで計1400食を来場者に試食提供するなどアカモクの需要拡大に貢献
- 京都府の持続可能な水産業の取組を来場者への周知（来場者数約50人）、ブルーシーフードパートナー（東京都や神奈川県葉山町）とのネットワーク構築

実施主体

京都府農林水産部水産課

【問い合わせ窓口】 075-414-4990

実施場所

- ① 関西パビリオン、JR京都駅
- ② ブルーオーシャンドーム

実施時期

- ① 令和7年4月19日～23日、8月25日～31日、9月18日～20日、10月5日～6日
- ② 令和7年10月10日

関連HP

- ① <https://www.pref.kyoto.jp/suiji/1329380488099.html>
- ② <https://sailorsforthesea.jp/>



その他

ブルーシーフードガイド京都府版の配布
 昨年、（一社）セイラズフォーザシー日本支局と包括連携協定締結（名誉会長：ロックフェラーJr）

万博後の取組

- ① アカモク需要を増やし、アカモク養殖を増やす。またアカモクの機能性を科学的に実証し、アカモクを使ったレシピや販売店を紹介するHPの作成、アカモクを使った新たな加工品開発など身近な食品として意識してもらう取組を実施
- ② （一社）セイラズフォーザシー日本支局との連携を更に強化し、そのネットワークを活かした世界的な著名人への府内産水産物の訴求や京都のフードテックの共同研究を推進

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博を契機に国際交流を促進するため、世界各地と京都府との「かけ橋」としての役割を担う名誉友好大使や留学生が京都の魅力を発信するプレイベントを5月3日に関西パビリオンで開催。
- 京都府が協定を締結する友好提携州省及びベトナム・フエ市から学生を招へいし、「きょうと国際学生サミット2025」を8月1日から4日間にわたり開催。サミット後も交流を継続するため、オンラインでのフォローアップイベントを2月19日に開催。

【実施成果】

- プレイベントでは、名誉友好大使・留学生の計9名が、関西パビリオンで京都の魅力を発信。
- サミットでは、海外7か国と日本の学生の計27名が、4日間にわたり国際交流を実施。
- フォローアップイベントでは、外国人学生と日本人学生の計8名が、オンラインでワークショップを実施。
- 名誉友好大使・留学生やサミット参加学生との交流を通じて、京都の魅力や国際交流を広く発信するための基盤ができた。

実施主体

京都府

【問い合わせ窓口】京都府国際課

実施場所

関西パビリオン、
けいはんな学研都市 他

実施時期

プレイベント：令和7年5月3日
サミット：令和7年8月1日～8月4日
フォローアップイベント：令和8年2月19日



関連HP

<https://www.pref.kyoto.jp/kokusai/news/kyotogakuseisammit.html>

その他

—

万博後の取組

- ・万博を契機に、名誉友好大使・留学生やサミット参加学生との交流を通じて、京都の魅力や国際性をアピールできた。
- ・万博後も継続して、京都の魅力や国際交流の取組を国内外に広く発信するとともに、留学生の誘致を推進する。

森の京都・京都丹波 E X P O

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都ポルタにおいて、南丹広域振興局管内の道の駅等9店舗が出店し、特産品等を販売
- 管内の市町が万博に出展したコンテンツの一部（環境や歴史に関する展示等）を再現する「京都丹波プチ万博」
- J R西日本京都統括駅と生身天満宮による絵馬奉納コーナー
- V Rヘッドセットを使った観光資源の魅力発信（保津川ラフティング、かやぶきの里）
- 全国都市緑化フェアのP R など

【実施成果】

- 物販コーナーには約1,000名、京都丹波プチ万博には約450名が来場
- 来場者の約半数が京都市内、約25%が近畿圏の方
- 万博のコンテンツも含めた京都丹波の魅力を、多くの方に知っていただく機会となった。

実施主体

京都府、森の京都D M O

【問い合わせ窓口】南丹広域振興局企画・連携推進課

実施場所

京都ポルタ

実施時期

令和8年1月30日、31日

関連HP

<https://morinokyoto.jp/event/petitmarche2026/>

その他

—



万博後の取組

- ・来場者アンケートの結果から、京都丹波のイメージとして「豊かな自然」、「良質な食」等が挙げられ、地域の強みを再認識
- ・万博後も、年ごとにテーマを設定の上、地域への誘客につなげる取組を継続的に実施する。

実施概要及び成果

【実施概要】

宇治茶をはじめとした京都・山城地域の「食」が一堂に会するイベントを万博期間に合わせて開催

- 宇治茶や京野菜など地元食材を使ったグルメやスイーツ、特産品の販売に加え、協賛企業や実行委員会構成団体の情報発信、工作体験、おたのしみステージなどを実施
- きょうとまるごとお茶の博覧会「やましろ茶会」を同時開催し、地元高校生による呈茶席や茶香服などを実施

【実施成果】

- 来場者実績約17,000名（やましろ茶会約2,000人）、出展者数104店舗146ブース（過去最多）
- 「やましろ茶会」において、小中高生によるおもてなしを企画したことにより、若年層の参加者が増加した。
- 出店規模が拡大し、協賛企業ブースも新設したことで、バリエーションが広がり、京やましろ産食材の魅力を発信することができた。（来場者の声：地域の特産品をたくさん味わえて、体験コーナーも充実していてよかった。）

実施主体

宇治茶・山城ごちそうフェスタ実行委員会

【問い合わせ窓口】山城広域振興局 企画・連携推進課

実施場所

京都府立木津川運動公園

実施時期

令和7年9月21日

関連HP

—



その他

やましろ茶会エリアでブース名の英語表記を並記

万博後の取組

万博を契機にPRを強化したことで、京都府外からの来場者の割合が増え、山城地域の魅力を幅広く発信することができた。万博後も、京やましろ産食材の魅力を出店者や消費者により強力に発信するとともに、小中高生等の若い世代が宇治茶に親しむ機会を拡充することで、京やましろ産食材の使用・消費拡大や宇治茶の文化継承の促進を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 宇治茶ムリエ講座
宇治茶の歴史や生産を学ぶ講座と美味しい宇治茶（玉露）の淹れ方実習を対面及びオンラインで開催

【実施成果】

- 対面式で8回、オンラインで7回の講座を開催し、288名が受講
- 京都、大阪からの受講者が中心であるが、オンライン開催を実施したことにより秋田県から長崎県まで広く受講していただくことができた
- アンケートでは96%以上の方から玉露の美味しい入れ方や宇治茶の歴史、生産状況について理解できたと回答

実施主体

京都府山城広域振興局、
宇治茶の郷づくり協議会

【問い合わせ窓口】京都府山城広域振興局農林商工部
農商工連携・推進課農業・宇治茶振興係

実施場所

宇治茶会館、オンライン他

実施時期

5月～9月

関連HP

<https://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/ocha/index.html>

その他

—



万博後の取組

玉露の淹れ方や美味しさを実感していただくとともに、その歴史や生産状況を知っていただくことにより宇治茶ファンを増やすことにつながった。万博後も宇治茶ムリエ講座を開催するとともに、小学生を対象に宇治茶に関する知識・淹れ方等を楽しみながら学ぶキッズ茶ムリエ検定を開催する予定であり、宇治茶の魅力発信の取り組みを継続的に実施することにより、美味しい宇治茶を知る消費者の裾野拡大を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- JR関西本線・学研都市線、国道163号など東西を結ぶ動線を活かし、ゆったりと歴史や自然を体感する南山城エリアの周遊観光を促進する取組を実施
- 観光列車「WEST EXPRESS銀河」を「走る茶室」と見立てた、お茶体験などを楽しむ周遊ツアー及び関連イベント「あつまれ茶問屋フェス」を実施。
 - 相楽東部エリアの自然を活用した「京都きづ川アクティビティキャンペーン」等の体験観光イベントを実施
 - 恭仁宮発掘体験ツアーの実施<恭仁宮跡>を実施
 - 府立木津高等学校と連携しお茶摘み・お茶の淹れ方等を体験する山城生活文化セミナーを実施

【実施成果】

- 来場者実績2,200名
- ツアー参加実績44名
- 恭仁宮発掘体験ツアー参加実績24名（インバウンド14名含む）
- 山城生活文化セミナー参加実績 一般47名、児童・生徒18名

実施主体

山城広域振興局、学研都市推進機構、各市町村、恭仁宮跡活用事業実行委員会、お茶の京都DMO

実施場所

木津川市、笠置町、和束町、精華町、

実施時期

令和7年春～秋

関連HP

茶問屋ストリート：<https://shop.fukujuen.com/n/chast/>
 恭仁宮跡：<https://kunikyuu.com/>
 笠置寺：<https://kasagidera.net/>



その他

外国語対応等是一部、対応済

【問い合わせ窓口】

京都府山城広域振興局
 総合政策環境部地域政策室
 教育庁指導部文化財保護課

万博後の取組

○周遊ツアーは即完売し、関連イベントにも多数の来場があり、また、体験観光イベントでは定員を上回る申込によりキャンセル待ちがでるなど、注目度や需要の高さが確認できたことから、万博後も同様の企画を継続的に実施するとともに、民間企業（交通、旅行等）やDMO、行政等構成する組織を組成し、南山城地域の周遊観光に繋がるコンテンツを持続的に造成していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博開幕を前に、府立図書館が所蔵する万博・博覧会関連資料（特に70年大阪万博に関する資料）を展示、ブックリストの作成等で紹介し、利用者・府民の大阪・関西万博開催の機運を高める。（各階(地下1階・1階・2階)の展示・資料紹介コーナーを利用して、展示・資料紹介を行う。）

【実施成果】

- 来館する利用者に、70年大阪万博を中心としつつ、諸外国の万博・博覧会の歴史まで射程を広げ、万国博覧会自体への興味・関心を喚起させることにつながった。

実施主体

京都府立図書館

実施場所

京都府立図書館

実施時期

令和7年3月28日～5月21日
(ブックリストの配布等は10月13日まで)

関連HP

京都府立図書館HP
<https://www.library.pref.kyoto.jp/>

その他

—

【問い合わせ窓口】京都府立図書館



万博後の取組

70年大阪万博の資料を収集・保存したことにより、今回展示に活用できたことを踏まえ、大阪・関西万博に関する資料（特に京都に関する資料）や記録・成果物等も、引き続き積極的に収集・整理し、利用に供するとともに、保存していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

第4回内国勧業博覧会が明治28年に京都で開催されて130年の今年、明治期に誕生した京都府立図書館の蔵書をもとに、「100年前の京都インバウンド」をテーマとし、明治から昭和初期の京都博覧会や京都名所ガイドブックなどの資料展示会を行い、かつARによるエンターテインメント性も高めながら、京都の歴史をあじわう。

【実施成果】

ARコンテンツ等を取り入れながら、京都府立図書館の歴史や第4回内国勧業博覧会に関する資料を展示することにより、明治期の京都の文化や産業の発展への来館者の関心を高めることができた。

実施主体

京都府立図書館

【問い合わせ窓口】京都府立図書館

実施場所

京都府立図書館2階ナレッジベース

実施時期

令和7年11月8日～12月14日

関連HP

京都府立図書館HP
<https://www.library.pref.kyoto.jp/>



その他

—

万博後の取組

引き続き、京都の歴史にふれる本を魅せる機会を継承していく。

実施概要及び成果

※①アート&テクノロジー（ATVK）、②脱炭素産業、③乙訓エリア

【実施概要】

- アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都の入居企業による十人十色の企業取組の紹介(マクセルブース等)及び企業同士のコラボによる体験企画の実施(ATVK博覧会(仮称)及びイオンモールと連携したイベント等)
- 向日町に新設する脱炭素関連スタートアップ拠点「ZET-BASE KYOTO」の施設公開・スタートアップ交流イベントの開催
- 乙訓エリアの地元ものづくり企業等のオープンファクトリーを実施

【実施成果】

- ATVK博覧会：(ビジネス交流博(9月26日 来場者73名)、子ども探究博(10月19日 来場者1000名))を実施し、入居企業PRやATVK参画企業のオープンイノベーションを推進した。また、イオンモールと連携し、子ども探究博(8月20日 来場者1000名)を実施した。
- オープンイベント(4月21日 来場者57名)やスタートアップ交流イベント(8月25日 来場者155名)を実施し、地域住民の多様な層に対するマーケティングの場に発展、また新たなサービスや高付加価値製品の共同開発に向けた連携事業が創出された。
- インキュベーション施設として、企業支援機関だけでなく、大企業や住民・学生等、幅広い層への認知度向上を実現できた。
- ダイハツ工業京都工場(@大山崎町 来場者1032名)、三菱電機システムサービス SASK(@長岡京市 来場者39名)、松栄堂 長岡京工場(@長岡京市 来場者30名)がオープンファクトリーを実施した。

実施主体

京都府、(公財)京都産業 2 1

実施場所

乙訓地域

実施時期

令和7年4月～10月

関連HP

<https://atvk.kyoto/>
<https://leading-zone.kyoto/>

【問い合わせ窓口】京都府総合政策環境部 地域政策室、
 商工労働観光部 産業振興課、
 山城広域振興局、(公財)京都産業 2 1



アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都(ATVK)



万博後の取組

- ①産学公連携による新事業創出と社会実装の加速に向けた交流・実証機能の強化を図る。
- ②「ZET-BASE KYOTO」を活用した交流・共創機会の創出、令和10年度まちびらきに向けた社会実装事例の創出を目指す。
- ③乙訓エリアのオープンイノベーション促進に向け、ATVKやZET等と地元ものづくり企業との連携企画・交流機会の場を継続開催する。

伝統技術と最先端技術を紹介 「京都フードテックエキスポ2025」

京都府

産業

実施概要及び成果

【実施概要】

- 試食や体験も交えながら来場者との活発な交流が行われたほか、「スマート農業の最前線」や「和食文化とフードテックの融合による食の未来」をテーマとしたセッション、未利用資材に着目したシンポジウム、スタートアップピッチコンテスト、美味しさの見える化やスマート農林水産業など幅広いテーマによるセミナーや交流会を開催

【実施成果】

- 企業・スタートアップ企業・大学等の42団体による技術展示
- 来場者11,000人。
- フードテック分野における国内外の出展者・参加者が、今後の連携につながる交流を実施

実施主体

京都府

【問い合わせ窓口】流通・ブランド戦略課

実施場所

けいはんなイノベーションセンター

実施時期

令和7年10月2日（木）～3日（金）

関連HP

<https://smartcity.kyoto/expo2025/>

その他

—



万博後の取組

・国内外へ「京都ならではのフードテック」情報を発信し、産学公連携や共同研究の推進を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「いつでも、おいしい京野菜が食べられるお店」として京都府内産京野菜等を食材に使用する京都府内及び東京都特別区内の飲食店を「旬の京野菜提供店」に認定し、京野菜等と京の食文化をPRすることにより、京都府内産京野菜等の恒常的な消費の拡大と定着を通じた生産拡大を図るため、認定店舗での新たな取組を検討するための調査実施

【実施成果】

- 232店（京都府内171店（市域156店、府域15店）、東京都内61店）に対して調査を実施中。

実施主体

（公社）京のふるさと産品協会

【問い合わせ窓口】京都府農林水産部 流通・ブランド戦略課
075-414-4941

実施場所

京都府内または東京都特別区内の飲食店

実施時期

実施中

関連HP

https://kyoyasai.kyoto/shop_all



その他

—

万博後の取組

- ・「旬の京野菜提供店」を通じたPRにより、京の食文化の魅力を発信し、京都府域への誘客を促進する。
- ・「旬の京野菜提供店」での新たな取組を検討するための調査を実施している。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博開催1ヶ月前に当たる、令和7年3月12日～15日に「DIALOGUE 2025」を開催。
(12,13日は招待客のみ、14,15日はどなたでも来場可)
- 会場であるホテル客室等を活用した若手職人等の商品を集めた展示販売の他、工芸をテーマとしたトークイベントやプレ展示も実施。

【実施成果】

- 来場者実績：1,920人
- 商談件数は887件、成約見込件数は325件。
- 商談の結果、ミュージアムショップや飲食店等での取り扱い、国内百貨店でのPOPUP出展等につながる見通し。

実施主体

京都府、KYOTO KOUGEI WEEK 実行委員会

【問い合わせ窓口】京都府商工労働観光部染織・工芸課

実施場所

ホテル カンラ 京都ほか

実施時期

令和7年3月12日～15日

関連HP

<https://dialoguekyoto.com/wp/news/>



その他

—

万博後の取組

- ・前回と比較して、商談件数は約12%増加した一方で、来場者数は約8%減少した。
- ・次回は、複数会場での開催や関連イベントの増加など、事業内容を拡充させるとともに、海外への発信を強化させることで事業の推進を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博会場や関西国際空港、大阪道頓堀エリアにおいて、海の京都エリアの魅力进行PR
- 海の京都エリアを楽しむツアーやコンテンツ造成を通じて、誘客を促進。

(内訳)

- ・地元団体13回の出展支援（7団体）により、万博来場者に向けて海の京都の周知が広がった
- ・フランスエージェントのインバウンドツアー（33人）では、関西万博への来訪もあった
- ・令和7年6月23日～10月13日関西空港、9月4日～12日31日道頓堀でPRに努めた

【実施成果】

- 令和7年度夏期間(7月～8月)の主要観光施設等利用状況が過去最高の1,287千人

実施主体

一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社

【問い合わせ窓口】海の京都DMO（総合企画局）

実施場所

関西万博会場、大阪道頓堀

実施時期

令和7年4月13日～10月13日

関連HP

<https://www.uminokyoto.jp/>



その他

—

万博後の取組

日本国内の行き先検討をしているインバウンド客に対して、日本に来てから海の京都へ来てもらうことの困難さを踏まえ、インバウンドに対する認知度向上のための海外PRの強化と個人旅行者向けの予約システムの整備

大学・学生とともにのぼす京都プロジェクト

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都の学生が、京都府内でのフィールドワーク等を通じて貴重な経験・学びを得ていくとともに、大阪・関西万博きょうとアクションプランにおける「フラッグシップ・アクション」をもとに、京都府を知らない人に対しても京都を良く知ってもらえるようなキービジュアルを学生ならではの目線やアイデアで作成。

【実施成果】

- ▶ 本事業には4大学12人の学生が参加し、それぞれの専門知識と個性を融合させ、京都の特徴をユニークに表現した11種類のキービジュアルを作成した。キービジュアルは、京都府やEXPO KYOTO Official siteのホームページで活用し、万博の機運醸成等を高めることに寄与した。

実施主体

京都府

【問い合わせ窓口】京都府総合政策環境部大学政策課

実施場所

京都府内

実施時期

令和6年7月～令和7年1月

関連HP

<https://www.pref.kyoto.jp/fu-daigaku/news/2024digkrnki/2024teambanpaku.html>
<https://www.expokyoto.jp/flagshipaction/>

その他

—



万博後の取組

- ・大学の枠を超えて学生が集まることによって、学生らしいフラッグシップアクションのキービジュアルが完成することができた。
- ・今後は、大学のまち京都の特徴を生かし、多くの学生たちの交流を促進することを通じて、京都の未来を担う人材の育成や京都の活性化に向けた取組を推進

実施概要及び成果

【実施概要】

- 消費単価の高い体験商品を1ページ1コンテンツ形式（ポストカード）でわかりやすくまとめた体験広報用冊子を作成
- 京都の万博情報発信拠点 EKI spot KYOTO <魅力発信ブース> でPR（8月3日～8月6日 京都駅ビル）
- 大阪・関西万博会場ブース「KANSAI Tourist Information」でPR（7月14日～7月15日）
- 関西国際空港内観光PRブース出展（9月9日～9月11日）

【実施成果】

- 京都西山で取り組まれる体験商品を観光商談会等を通じて広く発信するとともに、商談会に参加した旅行業者と定期的な情報交換ができ、ツアー造成の可能性が広がった
- EKIsport KYOTO（魅力発信ブース）入場者実績 4日間合計 5,208名
- 関西国際空港内観光PRブース 参加者実績 3日間合計 743名（海森お茶との人気投票を実施し、225名が竹の里・乙訓エリアに投票）

実施主体

京都府

【問い合わせ窓口】京都府山城広域振興局

実施場所

京都西山地域

実施時期

令和7年度

関連HP

<https://otokuni-kyoto.sakura.ne.jp/wp/>



その他

—

万博後の取組

- 万博を契機に、京都西山の体験商品を観光連盟等を通じて様々な機会でのPRツールとして活用するとともに、SNS及びHPにも掲載して広くPRしていく

実施概要及び成果

【実施概要】

- 丹後の食の認知度を高めるため、大阪市内等の百貨店や水産事業者と連携した食の魅力を発信する「丹後フェア」（令和7年1月）、京都市内の料理店と連携した「丹後グルメフェア」を開催（令和6年11月、令和7年10月）
- 京阪神に宿泊する観光客を丹後へ誘客するため、ホテル関係者向けに丹後の文化資源等を巡るファミツアーを実施するとともに、地元宿泊事業者との協業商品の造成を支援
- 丹後の文化資源の宣材資料を作成し、旅行会社等の観光商品造成を促す取組を推進

【実施成果】

- 「丹後フェア」参加事業者数 令和6年度:延べ11事業者 売上1,625千円、令和7年度: 2月開催予定
PR動画や観光パンフレット等を興味深く見ていただき、接客時に「久しぶりに丹後に行きたい」等の声を多くいただいた。
- 「丹後グルメフェア」参加店舗数 令和6年度: 8店舗、令和7年度:15店舗
「丹後地域を感じ美味しくいただいた」「現地に足を運んで丹後の食を楽しんでみたい」という意見が得られた。
- 「ファミツアー」参加事業者 京都市や大阪府内のホテルコンシェルジュ等 令和6年度:17事業者、令和7年度:10事業者
・ツアー実施後、一部の参加ホテルから宿泊予約や問合せがあった。
・アンケートでは、「海外宿泊客やこだわりの強い国内宿泊客に丹後を案内したい」「（宿泊客を丹後に案内する際は、）交通面含めアドバイスいただけると有難い」といった声が寄せられた。
- 旅行会社等を対象とした文化観光のファミツアーを実施 参加事業者数 令和6年度: 4事業者

実施主体

京都府丹後広域振興局

実施場所

府内各地 他

実施時期

令和6年～令和7年

関連HP

—

その他

—

【問い合わせ窓口】

京都府丹後広域振興局 企画・連携推進課
農商工連携・推進課



万博後の取組

万博後も、引き続き、丹後地域のブランド向上、誘客につなげる取組を実施する

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都府は、「食」を目的とした観光誘客を促進するため、地域の拠点となる農林水産物直売所や道の駅を「食の京都TABLE」として選定している。来場者の方々に府内各地の食の魅力を体感いただくため、この「食の京都TABLE」で販売されている商品など京都府内の魅力ある食品を販売する「特選フェア」を開催。

【実施成果】

- 来場者数約2000人。
「食の京都TABLE」を初めて知った、実際行ってみたくなったという声を得られた。

実施主体

「食の京都」情報発信拠点推進協議会

実施場所

「食の京都」情報発信拠点（京都市中央卸売市場第一市場内）

実施時期

令和7年5月10日、11日

関連HP

https://www.pref.kyoto.jp/agribusiness/news/2022kyoto-table_present.html

その他

—

【問い合わせ窓口】京都府農林水産部 流通・ブランド戦略課
075-414-4941



万博後の取組

- ・道の駅には食の観光誘客拠点としての魅力があり、万博後も「食の京都」情報発信拠点の活動においては、道の駅を含めた府内各地の食の魅力を発信していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 企業・団体展示
- トークイベント
- きょうと健康づくり実践企業表彰式
- 健康づくりセミナー

【実施成果】

- 26団体が出展し、企業の健康経営担当者や市町村の保健事業担当者との商談が行われた。
- 健康づくりセミナーでは、「健康経営・健康づくり施策」「睡眠」をテーマに開催し、特に後者については、多くの府民が聴講し、健康づくりの意識付けにつながった。

実施主体

京都府・きょうと健康長寿推進府民会議・京都府がん対策推進府民会議

【問い合わせ窓口】京都府健康福祉部健康対策課

実施場所

京都産業会館ホール

実施時期

令和7年11月26日

関連HP

ヘルス博HP (<https://healthhaku-kyoto.com/>)



その他

—

万博後の取組

- ・来場者が各企業・団体展示ブースに立ち寄る姿が多く見受けられたが、取組のマッチングにつながったか評価する必要がある。
- ・今後は、企業・団体とのマッチング事例を把握するとともに、効果的な取組について横展開を図ることで府民の健康づくりにつなげたい。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 人生100年時代を豊かに過ごしていただくために、シニアの暮らしをサポートする「情報コーナー」や「スマホの勉強会」、世代交流の「高校生横丁」と「シニアと子どもの遊び体験ひろば」、生きがいづくりの「SKYサークル体験・紹介」などのコーナーを中心にフェスタを開催
- シニアの創作による日本画、洋画、彫刻、工芸、写真等の作品を展示する作品展を開催し、文化活動を支援

【実施成果】

〔来場者数〕 フェスタ：2,833人 作品展：1,490人

実施主体

(公財) 京都SKYセンター

【問い合わせ窓口】 京都府高齢者支援課

実施場所

みやこめっせ (京都市勧業館)

実施時期

フェスタ：令和7年11月29日～30日
作品展：令和7年11月28日～30日

関連HP

<https://www.kyoto-sky.net/>



その他

—

万博後の取組

万博後も、人生100年時代を豊かに過ごしてもらうため、高齢者の生きがいづくりにつなげる取組を継続

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ ギャラリースペースart space co-jin（京都市上京区）にて障害のある方の表現を紹介する企画展を開催
- ▶ 「Catchy Catch」令和7年5月7日～8月3日、「Dub Dub Draw」令和7年9月3日～11月30日（開催中）
- ▶ 京セラギャラリー（京都市伏見区）にて京都府内の障害のある方の作品や表現をアーカイブする「アートと障害のアーカイブ・京都」の作品を展示する展覧会を実施

【実施成果】

- ▶ 来場者実績：502名（Catchy Catch）、10月13日時点357名（Dub Dub Draw）、2,608名（京セラギャラリー）
- ▶ 京セラギャラリーにてワークショップを実施し2日間計46名が参加
- ▶ アンケートを実施し、それぞれ「どちらも作られたものから声が聞こえてきそうな臨場感。」「力強い作品。さわやかな、繊細な作品、どちらもこれでもかこれでもかと描き込まれている。手の動きと心の動きが呼応している。すばらしい。」「デジタルで見ていた作品を実物で真近で見ることができ感動した。」との感想をいただいた

実施主体

きょうと障害者文化芸術推進機構

【問い合わせ窓口】京都府健康福祉部障害者支援課

実施場所

art space co-jin
京セラギャラリー（伏見区）

実施時期

令和7年5月7日～8月3日(Catchy Catch)
令和7年6月7日～7月26日(京セラギャラリー)
令和7年9月3日～10月13日(Dub Dub Draw)



関連HP

<https://co-jin.jp/>
<https://kyoto-aapd.jp/>

その他

—

万博後の取組

- ・きょうと障害者文化芸術推進機構、京セラ株式会社で連携し企画展を開催することにより、多くの方に障害のある方の芸術作品を知ってもらう機会となった。
- ・万博後も継続して障害のある人の造形作品等を展示することにより、社会との接点強化を図り、新たな才能の発掘、育成を通じて障害者の理解と社会参加を促進する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都府立医科大学はチリのロスアンデス大学と学生、医師の国際交流のための協定に基づき、国際交流を更に促進するため、医療、地理、文化面での交流イベントや本邦で増加している大腸癌および最先端の医療技術についての公開セミナー等を実施。

【実施成果】

- ▶ 万博2025連携京都・チリ交流公開セミナーでは40名、万博での関西パビリオンにおける京都ブースに延べ10,000名が来場され、本事業を通じて日本、チリ両国の共通問題である大腸癌の現状把握及び検診の重要性に関する啓発に寄与した。

実施主体

京都府立医科大学

【問い合わせ窓口】京都府立医科大学消化器内科

実施場所

京都府内

実施時期

令和6年6月以降

関連HP

<https://www.kpu-m.ac.jp/doc/news/2025/20250627>

その他

—



万博後の取組

日本では大腸癌の罹患が最も多く、女性の癌による死亡において大腸癌が首位を占める。一方、チリでは大腸癌検診が行われておらず、進行してから発見されるため、死亡率が5割を超えている。以上の課題を踏まえ、万博後も大腸がん検診に関するセミナーや京都府立医科大学の学生や医師をチリのロスアンデス大学へ派遣し、内視鏡医の育成などを行い、引き続き日本やチリにおける大腸癌検診についてさらなる普及を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博を見据え、「森・里・街・川」のつながりの重要性を知り、各エリアにおける取組事例・課題等を共有したうえで、参加者同士が交流することを目的に活動交流会を開催（きょうと生物多様性センター主催「生物多様性に関する流域連携のキックオフ・フォーラム」と同時開催）。活動交流会で新たなつながりを得た各エリアの保全活動の取組展開を進め、流域連携の機運の醸成を図った。

日時：令和7年3月9日 午後1時～午後5時15分

場所：イオンモール京都桂川 イオンホール

【実施成果】

- 参加者：179名（オンライン86名含む）

実施主体

京都市

【問い合わせ窓口】京都市環境政策局環境保全創造課

実施場所

イオンモール京都桂川

実施時期

令和7年3月9日

関連HP

<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/activity/#link3>



その他

—

万博後の取組

生物多様性に係る基調講演、森里街川の各エリアでの取組紹介、流域連携を呼びかけるパネルディスカッション及び交流会を実施した。「これまで関心外にあった人たちをどう取り込んでいくか」という各エリア共通の課題が共有されたことから、今後は生物多様性保全の保全と持続可能な利用の推進及び多様な主体のネットワーク形成を目指し、更に「自分ごと」と思ってもらえるようなプログラムでの開催を目指す。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博の機運醸成に向けた、京都市における姉妹都市交流事業、世界歴史都市会議での情報発信等

【実施成果】

- 令和5年度実績：ケルン姉妹都市提携60周年
- 令和6年度実績：西安友好都市提携50周年、第19回世界歴史都市会議開催
- 令和7年度実績：フィレンツェ姉妹都市提携60周年

実施主体

京都市

【問い合わせ窓口】京都市総合企画局国際都市共創推進室
国際担当

実施場所

市内、事業開催地

実施時期

実施中

関連HP

—



その他

—

万博後の取組

都市間交流において、文化に加えて、経済発展や都市の課題解決などにつなげることのできる交流を進める。

リアルとバーチャルでの京都における新体験の発信 (NAKED GARDEN ONE KYOTO)

実施概要及び成果

【実施概要】

- ONE KYOTO実行委員会と京都市が伝統文化を生み出す人々等とともに、リアルとバーチャルで京都の新体験を届けるアートプロジェクト。令和7年度夏は7月～8月にかけて、平和への祈りをテーマに、二条城、伏見稲荷大社、八坂神社にてプロジェクトを実施した。

【実施成果】

- 来場者数合計：約35,000人
- 平和をテーマに子どもたちが描いた絵をプロジェクトに使用するなど地域共創にも取り組みながら、文化遺産の新たな魅力発信に取り組んだ。

実施主体

ONE KYOTO実行委員会

【問い合わせ窓口】京都市文化芸術企画課

実施場所

京都市内ほか

実施時期

令和7年3月～

関連HP

<https://garden.naked.works/kyoto/>



その他

二条城：英語スタッフを配置。フード提供ではヴィーガンかき氷や、ヴィーガン餃子などを提供
伏見稲荷大社・八坂神社：体験プログラムの説明を日英併記で看板に記載

万博後の取組

- ・実施会場それぞれの歴史等を踏まえた文化的価値を十分に尊重し、新たなコンテンツと相互に高め合うプロジェクトの造成をさらに模索すべきとの意見があった。
- ・今後、各企画を精査し、国内外への京都の新たな魅力、文化遺産の活用策等について、さらなる発信を目指す。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 障害のある方の多くがもっている優れた感性と表現力、そこから湧き出る独創的なアート作品を展示する「天才アート展」を開催。
 - ・天才アートEXPO展① 開催期間：令和7年7月2日（水）～7月6日（日）
 - ・天才アートKYOTO展2025 ② 開催期間：令和8年1月22日(木)～2月3日(火)

【実施成果】

- 天才アートEXPO展は、5日間の会期中、来場者は延べ3,185人で、通路から鑑賞した人を含めると数万人にのぼる。
- 天才アートKYOTO展2025は、11日間の会期中、延べ630人の来場者があり、グッズ類の販売も好調であった。

実施主体

特定非営利活動法人障害者芸術推進研究機構

【問い合わせ窓口】 特定非営利活動法人障害者芸術推進研究機構
京都市保健福祉局障害保健福祉推進室

実施場所 及び 実施時期

- ①万博会場WASSE、令和7年7月2日～6日
- ②堀川御池ギャラリー、令和8年1月22日～2月3日

関連HP

<http://tensai-art.kyoto/>

その他

—



万博後の取組

障害者の文化芸術活動の可能性を切り拓き、障害者の社会参加の促進を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 区基本計画に掲げるまちづくりや、すべての人に「居場所」と「出番」がある「突き抜ける世界都市 京都」の実現に向け、市民に最も身近な区役所・支所の「結節点」としての機能を強化し、地域内外の人材の交ざり合いによる多様なコミュニティの形成を支援するなど、持続可能なまちづくりを推進する。(例として右京区での取組を記載する。)
- 右京区民、各種団体等、地域社会を構成している様々な人たちの参加、協力のもと、区民相互のふれあいと地域の活性化を図る。また、大阪・関西万博に向けた機運醸成や、多様な団体が連携するきっかけの場・日頃の文化活動の成果を発表する場を提供し、右京区民の交流をさらに深めることを目的として「右京区民ふれあい文化フェスティバル」を開催する。

【実施成果】

- 令和6年度実績 10月26日(土)に「右京区民ふれあい文化フェスティバル」を右京ふれあい文化会館・太秦安井公園で開催
- 令和7年度実績 10月25日(土)に「右京区民ふれあい文化フェスティバル」を右京ふれあい文化会館・太秦安井公園で開催

実施主体

右京区民ふれあい事業実行委員会、右京区役所

実施場所

右京ふれあい文化会館、太秦安井公園周辺

実施時期

令和7年度日程：10月25日(土)

関連HP

—

その他

—

【問い合わせ窓口】京都市右京区役所地域力推進室まちづくり担当



万博後の取組

区民相互の交流と地域の活性化につながるよう、継続的に「右京区民ふれあい文化フェスティバル」を開催する。

実施概要及び成果

区基本計画に掲げるまちづくりや、すべての人に「居場所」と「出番」がある「突き抜ける世界都市 京都」の実現に向け、市民に最も身近な区役所・支所の「結節点」としての機能を強化し、地域内外の人材の交ざり合いによる多様なコミュニティの形成を支援するなど、持続可能なまちづくりを推進する。

(例として南区での取組を記載する。) 「人とまち、交流とふれあいでまちづくりを!」をスローガンに、区民の皆様のまちに対する愛着意識を高めさせていただくとともに、区民相互の交流とふれあいを深めるため「南区民ふれあいまつり」を開催する。

まつり会場では、学区主催の各種模擬店や南区産野菜の販売、子ども向けの木工ワークショップの他、南区内の企業の協賛により提供物品を景品としたお楽しみ抽選会(前売り券購入者対象)を開催し、南区民の幅広い世代がお楽しみいただくと共に、相互交流と親睦を図る催しとして実施する。

【令和6年度実績】11月10日(日)に実施、来場者数約5,000人。

【令和7年度実績】11月9日(日)に実施、来場者数約3,000人。

実施主体

南区民ふれあい事業実行委員会

実施場所

唐橋西寺公園、唐橋小学校

実施時期

令和7年11月9日(日) 10:00~15:00

関連HP

<https://www.city.kyoto.lg.jp/minami/page/0000344677.html>

その他

—

【問い合わせ窓口】南区役所地域力推進室
Tel075-681-3417



万博後の取組

区民相互の交流と地域の活性化につながるよう、継続的に「南区民ふれあいまつり」を実施する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 脱炭素型のライフスタイルへの転換を促すプロジェクトを、「2050京創プラットフォーム」に参画する企業と連携して創出・実証
- 大阪・関西万博期間中に来訪者がプロジェクトに参加することで、理念や取組を国内外へ発信

(プロジェクトの取組例)

- ・京都ならではの脱炭素な取組を集約し、参加することでライフスタイルの転換にも繋がるツアーコンテンツの提供
- ・環境配慮商品・サービスのCO2削減効果や持続可能なものづくりのストーリーを発信
- ・インバウンドの需要が高く、環境負荷の低い菜食対応メニューを提供する飲食店等の情報発信
- ・ファッションロゼロを切り口に、古着を中心に様々な物の資源循環を体験できるイベントの開催

【実施成果】

- 京都市では、各プロジェクトについて、事業者の自走化に向け、2年間の伴走支援を実施（万博終了後も継続して実施）。
 - ・ツアーコンテンツ数8種類、累計ツアー参加者数61名 ※令和7年2月末時点
 - ・環境配慮商品の可視化、260社・980商品以上 ※令和7年5月末時点
 - ・ヴィーガンMAP登録数450店舗、ヴィーガンウォーキングツアー開催数6回 ※令和8年2月末時点
 - ・古着の回収量約18.8万着、リユース量4.4万着 ※令和6年6月時点

実施主体

京都市、連携企業

【問い合わせ窓口】京都市環境政策局地球温暖化対策室

実施場所

京都市内

実施時期

実施中

関連HP

<https://doyoukyoto2050.city.kyoto.lg.jp/>

その他

—



脱炭素を体験できるツアーの様子

万博後の取組

企業等と連携したプロジェクトの取組を推進し、京都発の脱炭素ライフスタイルを国内外に広く発信

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都らしさを支える生物多様性の持続可能な利用を図るため、京都らしさを支えてきた生きものの保全、再生及び持続可能な利用の取組を実施する団体又は個人の方を認定
- 大阪・関西万博のテーマウィークにて「地球の未来と生物多様性」というテーマが設定されたことを踏まえ、令和7年度は、さらに団体及び個人への周知を強化し、認定を促進

【実施成果】

- 令和8年3月16日時点：団体209団体、個人323名認定

実施主体

京都市

【問い合わせ窓口】京都市環境政策局環境保全創造課

実施場所

京都市内

実施時期

実施中

関連HP

<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/prj-select/>
(京・生きものミュージアム)

その他

-



武田薬品工業株式会社京都薬用植物園による
「オケラの保全及び五條天神宮節分祭への神朮の奉納」

万博後の取組

生物多様性の保全と持続可能な利用の推進

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 食品・観光関連事業者の取組支援
食べ残しゼロ推進店舗認定制度（令和8年2月末時点実績：約1,700店舗）や事業者報告制度、優良事業所認定制度等における食品ロス削減の優良事例を、飲食店や宿泊施設、食品小売店等の食品・観光関連事業者と積極的に情報共有し、食品ロス削減の取組を支援する。
- ▶ 食品ロス削減に資する技術・サービスの情報発信
大阪・関西万博のテーマウィークにて「食と暮らしの未来」において「フードロス」が主な対象分野として設定されたことも踏まえ、食品ロス削減に取り組む事業者・団体間の連携促進を図るとともに、フードテックを活用した食品ロス削減に取り組む事業者との連携により、食品関連事業者の取組を推進し、市民の行動変容を促すことで、更なる食品ロスの削減につなげていく。

【実施成果】

- ▶ 令和7年8月8日 フードシェアリングサービス「TABETE」を運営している株式会社コークッキングと、連携協定を締結。
- ▶ 令和7年10～11月 市内事業者向けキャンペーンを実施。登録店舗数が連携協定前から約3割増加したことに加え、ユーザー（市民）によるTABETEの利用により約1,000食分（約500kg相当）の食品ロス削減効果があった。

実施主体

京都市

実施場所

京都市内

実施時期

実施中

関連HP

<http://sukkiri-kyoto.com/nintei>
<http://sukkiri-kyoto.com/omusubi/>

その他

—

【問い合わせ窓口】京都市環境政策局資源循環推進課



万博後の取組

業者・団体間の連携やフードテックの活用を促進することで食品ロス削減の推進を図る。

大学・学生団体と連携した 「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力発信

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 令和7年4月23日にオール京都で開催したイベント「EXPO KYOTO MEETING～和のこころと地球の未来～」に京都学生祭典が参加し、「京炎 そでふれ！」のおどりを披露した。
- ▶ 京都学生広報部が、万博会場内の京の名産品販売ブース「おこしやす 京の小路」（京都物産出品協会出展）を取材。老舗から人気の名店まで、京都を代表する多彩なお店が集結したブースの魅力について、ウェブサイト「コトカレ」やSNSで情報発信を行った。

【実施成果】

- ▶ 今年で23回目の開催を迎えた京都学生祭典本祭（10月12日）では、おどりや音楽をはじめ、食やアートなど子供から大人まで楽しめる様々な催しを企画。万博関連イベントでのおどり披露による認知度向上の効果もあり、約11万人の観客が訪れた。
- ▶ 万博関連の取材記事掲載により、学生広報部のウェブサイトやSNSの閲覧数が向上するとともに、活動の周知につながった。

実施主体

京都市、大学コンソーシアム京都、各学生団体など

【問い合わせ窓口】京都市 総合企画局 国際都市共創推進室 大学政策担当

実施場所 及び 実施時期

大阪・関西万博会場（令和7年4月23日）
平安神宮前岡崎プロムナード一帯（令和7年10月12日）等

関連HP

○京都学生祭典
<https://www.kyotogakuseisaiten.com/>
○京都学生広報部 <https://kotocollege.jp/>

その他

—



上：京都学生祭典 京炎そでふれ披露
左：京都学生広報部 ウェブサイトコトカレ

万博後の取組

国内外での「大学のまち京都・学生のまち京都」の更なるブランド力向上を目指す

実施概要及び成果

【実施概要】

- アート市場活性化の取組の推進
市内宿泊施設や商業施設等で作品の展示・販売を行う「ARK(Art Rhizome KYOTO)」の実施
 - アート×ビジネス、カルチャープレナーなどに係る取組
アーティスト等の芸術関係者と企業等との交流会、相談会などを定期的に行い、多様な人が交流する機会を創出
カルチャープレナーの実践事例のリサーチやアワード実施により文化芸術に投資する新しい潮流を生み出す
 - 京都芸大を核とした文化芸術都市の新たなシンボルゾーンの創出
京都の玄関口・京都駅周辺において、令和5年10月に移転した京都芸大を核として、国際的に様々な人が集い、交流し、まちが賑わい、世界に発信する文化芸術を基軸としたまちづくりを推進（万博期間中に、アーティストの創作活動を通じた周辺地域との連携・交流の場づくり、若い芸術家やアート関心層などの交流人口の増加につながる取組等を実施）。
- 文化庁移転及び京都芸大移転を契機とした文化芸術の発信の取組
美術館の夜間活用を広域で展開し、ナイトタイムエコノミーのモデルを関西から発信。
上記取組の成果や知見や生活文化をはじめとする京都の文化の奥深さの発信、子ども向けアート情報の総合サイトの運営

【実施成果】

令和8年2月末現在も、継続して実施中

実施主体

京都市

実施場所

京都市内

実施時期

実施中

関連HP

【問い合わせ窓口】京都市文化芸術企画課



京都芸術センター



京都市立芸術大学新キャンパス

万博後の取組

期間中各事業の成果を踏まえ、取組を推進することで、文化芸術全体の価値を高め、芸術家や文化関係者の活動基盤の充実や活発な創作活動を創出するとともに、その成果や生活文化をはじめとする京都の文化の奥深さを発信し、市民生活の豊かさ、文化の継承・創造につなげていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

約350万人のインバウンド来訪が見込まれる万博を契機とし、京都の伝統文化の顧客目線での磨き上げとプロモーションを一体的に推進。「Traditional Culture of KYOTO」のブランド化（大阪・関西万博のレガシー）を目指す。

- 京都の伝統文化の鑑賞に必要な情報（公演情報及び鑑賞ポイント等）をまとめた特設ページの作成、PR動画作成などのプロモーション
- ・ 京都や関西の観光・宿泊事業者、国内メディア等に京都の伝統文化の魅力を知っていただくため、伝統文化のレクチャー及び公演を組み合わせたファミトリップ
- ・ 本市主催の伝統文化公演である市民狂言会をモデルケースとした、国内外の観光客を対象とした利便性及び満足度向上のための環境整備

【実施成果】

令和8年2月末現在も、継続して実施中

【問い合わせ窓口】京都市文化市民局文化芸術企画課

実施主体

京都市

実施場所

京都市内 他

実施時期

実施中

関連HP

<https://ja.kyoto.travel/traditionalculture/>

その他

多言語パンフレット、音声ガイドなどニーズに併せた対応を実施



万博後の取組

引き続き、京都の伝統文化の磨き上げとプロモーションを推進する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 青少年活動センターで実施する取組を通じた若者同士の交流
- 若者世代への情報発信、万博の機運醸成
(取組例)
 - ・ 各青少年活動センターでのロビー企画

【実施成果】

- 青少年活動センターでのロビー企画を通じて、若者同士の交流や他者の価値観に触れる機会を創出するとともに、若者世代へ大阪・関西万博の情報発信を行った

実施主体

青少年活動センター

実施場所

青少年活動センター

実施時期

～令和7年10月

関連HP

<http://ys-kyoto.org/>

その他

—

【問い合わせ窓口】京都市子ども若者はぐくみ局
子ども若者未来部育成推進課



※ ロビー企画の写真

万博後の取組

大阪・関西万博を契機とした若者同士の交流を、青少年活動センター等を拠点に継続実施

実施概要及び成果

【実施概要】

天然アユは、冬に夢洲周辺など「大阪の海」で生育、夏に鴨川など「京都の川」へ遡上し、旬を迎える。京の食文化を支える天然アユ“AYU”は、京都と大阪が繋がる豊かな川のシンボルであり、都市と共生する川の恵みをいのち輝く未来社会へ継承するために、大阪・関西万博きょうと推進委員会にて示されたキーワードである「川」や「水」を踏まえ、以下の活動を展開する。

- **保全活動**：魚道（遡上できる環境）づくり※3-5月に3~4か所実施、産卵場づくり、河川清掃、モニタリングなどの実施
- **食文化体験**：夏の川床料理に欠かせない「アユ塩焼き」や「ゴリ茶漬け」などの食味学習会（利き鮎、串打ち 他）の開催※10月26日実施
- **担い手育成**：「アユ友釣り」や「ゴリ押し漁」などの漁業体験を小学校等の授業で実施
- **大阪と連携**：漁協・有識者等で構成する活動組織※が流域連携による保全活動や食文化体験（天然ウナギ、シジミ 他）を展開

※ 国・府・市の水産多面的機能発揮対策交付金の活動組織：京の川の恵みを活かす会【京都市】、淀川河口域を考える会【大阪市】

【実施成果】

- ・保全活動 魚道：鴨川に3か所設置 産卵場づくり：4か所で実施 河川清掃、モニタリング：実施継続
- ・食文化体験 令和7年10月26日食味学習会実施(参加者100名) ・担い手育成 漁業体験授業(6回計234名)
- ・大阪と連携 合同シンポジウム開催(令和7年6月14日) 連携フォーラム開催(令和7年10月19日・11月12日)

実施主体

京都市、京の川の恵みを活かす会 他

実施場所

京都市内 他

実施時期

実施中

関連HP

<https://ikasukai.web.fc2.com/index.html> (京の川の恵みを活かす会 HP)

その他

英語対応可能
各活動について、一般の方も参加可（詳細はHP参照）※担い手育成の活動は除く

【問い合わせ窓口】京都市産業観光局 農林振興室、北部農業振興センター、南部農業振興センター



木でつくる鴨川魚道（丸太町）を遡上する天然アユ 天然アユの串打ち、塩焼きなどの体験

万博後の取組

都市と共生する豊かな川の自然・食文化を継承するために、活動組織をはじめ連携した事業を広域で展開

実施概要及び成果

【実施概要】

- 国内外に向けて発信できる北山杉のPRツールの作成及び当該ツールを活用した普及啓発
- 北山杉の育林や北山丸太の加工職人、北山丸太を使用した建築物を訪ねる現地ツアーの実施
- 北山林業や北山丸太を使用した建築など、「木の文化」のストーリーテラーの育成
- 万博を見据え、国内外における北山丸太の需要等を調査し、マーケティング戦略を立案
- 万博会場における北山杉の展示、北山林業や「木の文化」の発信

【実施成果】

【令和6年度実績】

- ・京都・北山杉PRBOOKを活用し、イベントで北山林業をPR
- ・北山丸太の国外需要拡大に向けた調査及びマーケティング戦略立案
- ・建築士を対象としたエクスカージョンツアーを開催

【令和7年度実績】

- ・関西パビリオンの京都ゾーンにて、北山丸太を使ったワークショップや映像、PRツールを用いた北山杉の展示を通じて北山杉の普及啓発を実施

実施主体

北山杉利用推進プロジェクト

【問い合わせ窓口】京都市農林振興室

実施場所

京都市内（北山林業地他）、万博会場

実施時期

実施中

関連HP

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000106000.html>

その他

—

万博後の取組

万博期間中に獲得したネットワークを活用して国内外に北山林業や北山丸太を使用した建築物の魅力を発信し、北山丸太の需要を誘引



みっけ隊アプリを活用した市民協働による 公共土木施設の維持管理

実施概要及び成果

- 万博開催にあたり、近畿圏域の観光客の増加が見込まれる中、京都市域の道路等の損傷箇所をアプリで投稿するよう呼びかけ、安心・安全な道路環境を構築

【実施成果】

令和8年2月末現在も、継続して実施中

実施主体

京都市

【問い合わせ窓口】建設局土木管理部土木管理課

実施場所

京都市域（みっけ隊アプリ内ミッション機能等）

みっけ隊 P R チ ラ シ



みっけ隊 ミ ッ シ ョ ン



実施時期

実施中

関連HP

<https://mikketai.city.kyoto.lg.jp/>

その他

（外国語対応、宗教や文化の多様性に配慮した食事への対応など）

万博後の取組

アプリの利用者増加を図り、みっけ隊を通して持続可能な市民協働型の維持管理を推進する。

実施概要及び成果

【実施概要】

区基本計画に掲げるまちづくりや、すべての人に「居場所」と「出番」がある「突き抜ける世界都市 京都」の実現に向け、市民に最も身近な区役所・支所の「結節点」としての機能を強化し、地域内外の人材の交わり合いによる多様なコミュニティの形成を支援するなど、持続可能なまちづくりを推進する。

（例として中京区での取組を記載する。）中京区基本計画に掲げる「響きあう 人・まち・文化 中京区」の実現を目指し、「中京区民ふれあいまつり」を開催した。中京区内の自治連合会をはじめ、学校や企業など様々な団体が連携するきっかけの場として、また、日頃の文化活動の成果を発表する場として実施することにより、子どもから高齢者まで幅広い世代の中京区民の交流を深めることを目的としている。

【実施成果】

当日来場者数約7,000名

実施主体

中京区民ふれあい事業実行委員会

実施場所

中京区内

実施時期

令和7年10月26日

関連HP

—

その他

中京区防災フェアの同時開催、リユース食器の使用、ステージにおける手話通訳対応など

【問い合わせ窓口】

京都市中京区役所地域力推進室まちづくり担当



万博後の取組

区民相互のふれあいと地域の活性化につながるよう、継続的に中京区民ふれあいまつりを開催する方針。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都超SDGsコンソーシアムが取り組む「ごみゼロ共創ネットワーク」の『「ごみゼロ」アプリで持続可能な社会を共創！』がベストプラクティスとして選定されたことを受け、大阪・関西万博の会期中、常設展示を行った。
- ▶ 7月10日には受賞者による取り組み発表や交流イベント「Best Practices Day」において活動の発表を行った。当日の様子はYouTubeに掲載されている（<https://youtu.be/Tsk09KheeBo>）。

【実施成果】

- ▶ 展示では、海洋プラスチックに代表される散乱ごみ問題に対して、国内外で解決に向けた共創を進めることの重要性の普及を行った。活動発表では、ごみゼロアプリを利用した活動紹介のほか、万博会場内でもできるごみゼロアクションをクイズ形式で紹介することで、一人一人ができるごみゼロ活動について啓発した。その結果、意識向上に繋がり、アプリの新規登録者も増えた。

実施主体

ごみゼロ共創ネットワーク
事務局：京都超SDGsコンソーシアム

実施場所

フューチャーライフヴィレッジ

実施時期

（発表日）令和7年7月10日

関連HP

<https://www.expo2025.or.jp/co-creation-index/bestpractices/>

その他

活動発表の際は、英語の即時通訳を行った。

【問い合わせ窓口】京都市総合企画局国際都市共創推進室



万博後の取組

取組の明瞭さによる市民の理解度の高さと活動に対する共感を実感し、活動の広がりの可能性を感じた一方、よりスピード感をもって活動を広げていくために、あらためて企業や自治体などとの連携が欠かせないことを再認識した。京都超SDGsコンソーシアムの加盟企業や大阪府との連携は継続しながら、その輪を広げる活動に力を入れていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ・関係機関との連携を図りながら、京都市内等のライフ・バイオ・グリーン分野をはじめとするディープテック系のスタートアップやグローバルニッチトップの中小企業、大学・研究機関等に関心がある海外の投資家や政府関係者等を対象とした国際的なPR活動を進める。
 - ・その一環として、多くのビジネス関係者が訪れる大阪・関西万博を契機に、ビジネス関連イベントや視察（企業、大学や研究機関、インキュベーション施設等）を組み込んだテクニカルツアー及びファミルトリップ※を実施。
- ※ 誘致促進のため、ターゲットに対して発信力を持つ事業者などに視察してもらう機会のこと。

【実施成果】

【令和6年度実績（ファミルトリップ開催）】

- ・駐日外交団による視察ツアーを実施（R6.10）、関西領事団向け視察ツアーを実施（R7.1）

【令和7年度実績（令和8年2月末時点）】

- ・31件、28か国・地域へのテックツアーを実施。

実施主体

京都市

【問い合わせ窓口】京都市スタートアップ・産学連携推進室

実施場所

京都市内

実施時期

実施中

関連HP

<https://kyoto-tech-companies.com/>

その他

英語版のPRコンテンツを制作



万博後の取組

- ・大阪・関西万博を契機として関係機関間の連携を深め、好事例を創出することで、大阪・関西万博後も継続的に海外へのPR・テクニカルツアーを実施。
- ・スタートアップを含む市内企業等への海外からの資金調達や海外企業との連携・誘致、更には、京都企業の海外進出の充実につなげていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

伝統産業の日（春分の日）を中心に2月～3月の集中期間に開催する各種イベントを、万博開催記念イベントとしても位置付けて実施した。

- 令和7年3月に開催の『匠エキスポ』において、万博のテーマ（未来、いのち、SDGs）にちなんだ展示を実施
- 民間等の自主事業において万博のテーマによる各種イベントの開催
- インバウンドをより一層意識した広報の作成（英語版の広報物作成等）

【実施実績】

- 『匠エキスポ』（令和7年3月15日～16日、京都市勧業館みやこめっせにて実施、来場者数：4,749人）

実施主体

京都市、「伝統産業の日」実行委員会

【問い合わせ窓口】京都市産業観光局クリエイティブ産業振興室

実施場所

京都市内

実施時期

毎年2～3月を中心に年間を通じて開催

関連HP

<https://densan.kyoto/>

その他

外国語に対応した周知を行う



万博後の取組

国内外における京都の伝統産業のPRを続け、その振興を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 区基本計画に掲げるまちづくりや、すべての人に「居場所」と「出番」がある「突き抜ける世界都市 京都」の実現に向け、市民に最も身近な区役所・支所の「結節点」としての機能を強化し、地域内外の人材の交わり合いによる多様なコミュニティの形成を支援するなど、持続可能なまちづくりを推進する。（例として右京区での取組を記載する。）
- 地域の企業と大阪・関西万博後を担う子どもたちが主役となり、私たちの暮らしを支える職業の体験を通して、子どもたちに身近にある幅広い職業やその魅力を知ってもらうことを目的に、右京区役所及び「右京子ども職業体験実行委員会」が「こどもシゴト博@右京」を開催する。

【実施成果】

- 令和6年度実績：11月30日（土）に「こどもシゴト博@右京2024」を京都先端科学大学 京都太秦キャンパスで開催し、小学生約800名が体験した（来場者数約1700名（保護者等を含む。））。
- 令和7年度実績：11月1日（土）に「こどもシゴト博@右京2025」を京都先端科学大学 京都太秦キャンパスで開催し、小学生約740名が体験した（来場者数約1,800名（保護者等を含む。））。

実施主体

右京子ども職業体験実行委員会、
右京区役所

実施場所

京都先端科学大学
京都太秦キャンパス

実施時期

令和7年11月1日

関連HP

<https://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/page/0000279580.html>

その他

—

【問い合わせ窓口】右京区役所地域力推進室 まちづくり担当



万博後の取組

区民相互の交流と地域の活性化につながるよう、継続的に「こどもシゴト博@右京」を開催する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博を見据えた、スタートアップ支援や産学公連携による新産業・新事業創出
→社会課題の解決に資する起業、成長の機会の創出
 - ・「京都スタートアップ・海外展開支援プロジェクト」において、海外進出に取り組むスタートアップ等を対象に、国際的なスタートアップ・カンファレンスへの出展支援や、海外での商談機会の提供等の個別支援を行う
 - ・「世界に羽ばたく社会課題解決型スタートアップ創出プロジェクト」において、ピッチ形式による補助金の公開審査会や交流会を開催
 - ・「京都スタートアップ起業・経営人材誘致・発掘事業」において、首都圏VC等が有するつながり・資金力等を京都の大学研究者やスタートアップ等の経営人材・資金調達につなげる交流イベント・会員サロンの実施
 - ・VCやインパクト投資家が参加するスタートアップイベント※への参画 等 ※R7.7開催の「IVS2025 KYOTO」等

【実施成果】

- 令和6年度実績：「IVS2024 KYOTO」（R6.7）の運営に参画、1.2万人の来場を記録（海外比率15%）
- 令和7年度実績：「IVS2025」（R7.7）の運営に参画、1.3万人の来場を記録（海外比率20%）
「京都スタートアップ・海外展開支援プロジェクト」令和8年2月末現在も、継続して実施中

実施主体

京都市、（公財）京都高度技術研究所

実施場所

京都市域

実施時期

一部実施中

関連HP

—

その他

—

【問い合わせ窓口】京都市スタートアップ・産学連携推進室



万博後の取組

国内外から京都へ、企業、投資、人材が集積することを目指す。

実施概要及び成果

【実施概要】

都市の活力を生み出す都心部や、ものづくり産業の基盤となる工業の集積地、知恵産業に貢献する研究開発拠点など、京都市内各地域の特色を活かした企業立地（市内企業の事業拡大・企業誘致）を促進。なかでも、京都駅からのアクセスが抜群で、京都を代表する企業も立地する京都駅南においては、オフィス・ラボ誘導プロジェクト「京都サウスベクトル」を推進。大阪・関西万博の開催も一つの契機とし、万博来場者や入洛者をターゲットに次の取組を加速させ、より一層の企業集積を目指す。

- 京都のビジネス環境の魅力をPR
 - ・ Webサイトなど情報発信媒体の内容充実、英語化
 - ・ 市域、首都圏等におけるセミナー開催 など
- 国内外の企業の京都進出を支援
 - ・ 補助金交付
 - ・ 不動産マッチング など

【ビジネス拠点としての京都市の強み】

- ① 伝統と革新から生まれた京都ブランド
- ② 人材の宝庫・知の集積地
- ③ 自然が近いコンパクトシティ
- ④ ビジネス視点での豊富な京都ロケーション
- ⑤ 良好なアクセス&災害に強いまち
- ⑥ 企業立地をトータルサポート

【実施成果】

令和8年2月末現在も、継続して実施中

【問い合わせ窓口】 京都市企業誘致推進室

実施主体	京都市
実施場所	市域他
実施時期	実施中
関連HP	https://kyo-working.city.kyoto.lg.jp/
その他	Webサイトなど情報発信媒体の英語化



万博後の取組

引き続き、国内外から京都への、企業集積を目指す。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ソーシャルビジネスに取り組む企業や、それらを応援する人々が京都に集い、京都から日本の未来を切り拓く「京都市 ソーシャル・イノベーション・クラスター構想」を推進。
- 大阪・関西万博の開催目的・趣旨にも沿う、京都で長い年月をかけて培われてきた「めきき」「たくみ」「きわめ」「こころみ」「もてなし」「しまつ」などの視点があり、社会的課題を解決する革新的な手法と、未来をも見据えた「四方良し」の経営を実現している企業を認定。（令和7年度認定企業数19社）
- 大阪・関西万博を契機に取組を国内外に発信し、支援パートナーとともに、企業の目指す未来に向けた成長と発展をサポート

【実施成果】

令和8年2月末現在も、継続して実施中

実施主体

京都市

実施場所

京都市域

実施時期

実施中

関連HP

<https://tumugu-1000nen.city.kyoto.lg.jp/>

その他

—

【問い合わせ窓口】

京都市産業観光局スタートアップ・産学連携推進室



これからの
1000年を紡ぐ
企業認定

CERTIFICATE TO AN ENTERPRISE
WEAVING A THOUSAND YEARS
INTO THE FUTURE

万博後の取組

認定企業を中心に、地域企業の持続的発展を推進

実施概要及び成果

「KYO-CCE-Lab」を発展させた事業として、「KYOMAF B-SIDE」を実施。引き続き、芸術系の大学や撮影所、世界的なゲーム関連企業など、豊富な資源が集積する強みを生かし、コンテンツ企業やクリエイター人材が集まり多彩な人材による交わり合いを促進するとともに、企業や人材の誘致を見据えた首都圏への情報発信にも取り組む。

【実施概要】

- コンテンツ企業やクリエイターを対象としたビジネス創出・スキルアップに係るセミナーやハッカソン、交流会等の開催
- 京都におけるコンテンツ企業の集積に向けた首都圏等の企業の調査・情報発信
- クリエイターやプロデューサー等と市内企業や市内への進出を検討する企業のマッチング機会の創出

【実施成果】

- コンテンツ企業やクリエイター向けのセミナー、ハッカソン、交流会の開催などビジネス創出・スキルアップの取組に加え、首都圏のコンテンツ関連企業やクリエイターが集まるカンファレンスへの出展など、コンテンツ企業・人材誘致に向けた取組を行った。

実施主体

京都市

【問い合わせ窓口】 京都市クリエイティブ産業振興室

実施場所

市域他

実施時期

実施中

関連HP

<https://kyomaf-b-side.city.kyoto.lg.jp>

その他

—



万博後の取組

引き続き、コンテンツ企業やクリエイターに向けたビジネス創出・スキルアップ支援に取り組むとともに、京都におけるコンテンツ企業・人材の集積に向けた、首都圏等の企業の調査・情報発信、誘致に向けて取り組む。

実施概要及び成果

【実施概要】大阪・関西万博も見据え、以下の主な取組を推進

- 京都市民と観光客が交流を楽しむとともに、市民が京都の歴史や文化に触れ、京都の魅力を再認識できる機会の創出
- 環境への配慮（カーボンニュートラル）を重視した観光の推進
- 京都に受け継がれてきた生活文化、伝統産業、先端産業など、伝統と革新を体感できるコンテンツの造成
- 万博開催期間中、世界遺産や国宝など通常非公開となっている貴重な文化財の特別公開
- 文化財等を活用した伝統文化・伝統産業・食など特別な体験を味わえる事業の実施
- インバウンド、ラグジュアリー層向け商談会における万博のPR
- 交通事業者と連携した全国からの誘客

【実施成果】

万博開催期間中の非公開文化財特別公開（京の夏の旅） 日中8箇所 夜間3箇所公開

実施主体

京都市、京都市観光協会、
交通事業者 等

【問い合わせ窓口】 京都市産業観光局観光MICE推進室

実施場所

京都市内

実施時期

実施中

関連HP

—

その他

外国語に対応したコンテンツを造成する。



万博後の取組

市民、観光客、観光事業者・従事者等で持続可能な京都観光をつくりあげていく。

実施概要及び成果

【実施概要】大阪・関西万博も見据え、以下の主な取組を推進

- 京都の歴史、文化、自然、食など、多様な魅力を感じられる朝・夜体験コンテンツの造成
- 文化財の特別公開や早朝・夜間開館などにより施設の新たな魅力や価値を創造する事業の実施
- 文化財等を活用した伝統文化、伝統産業、食など特別な体験を味わえる事業の実施【再掲】
- インバウンド、ラグジュアリー層向けの高付加価値コンテンツの造成

【実施成果】（令和8年2月末時点）

朝・夜体験コンテンツ造成数：44件（朝17件、夜27件）

実施主体

京都市、京都市観光協会

【問い合わせ窓口】京都市産業観光局観光MICE推進室

実施場所

京都市内

実施時期

実施中

関連HP

<https://ja.kyoto.travel/tourism/article/asakanko-yorukanko/>



その他

外国語に対応したコンテンツを造成する。

万博後の取組

京都観光の多彩な魅力を感じられる特別なコンテンツを発展・継続させていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博を契機に、更なるMICE誘致を進めるほか、ユニークベニューのさらなる開拓と積極的な活用を行う。

【実施成果】

【令和6年度実績】

- 商談会への出展や営業活動等を通じたMICEの誘致
 - ・IMEX Frankfurt (令和6年5月@フランクフルト)
 - ・AIME 2025 (令和7年2月@メルボルン)
- ハイブランド展示商談会でのユニークベニューの活用
 - ・IBTM World 2024 (令和6年11月@バルセロナ)

【令和7年度実績】

- 商談会への出展や営業活動等を通じたMICEの誘致
 - ・The Meetings Show APAC 2025 (令和7年4月@シンガポール)
 - ・AIME 2026 (令和8年2月@メルボルン)
 - ・IMEX Frankfurt (令和7年5月@フランクフルト)

実施主体

京都市、京都文化交流コンベンションビューロー

実施場所

京都市内

実施時期

実施中

関連HP

—

その他

外国語に対応したコンテンツを造成する。

【問い合わせ窓口】京都市産業観光局観光MICE推進室



(出典) ユニークベニューガイド



万博後の取組

サステナブルかつ国際的なMICE都市を目指して、MICE誘致の取組を推進していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「下京・京都駅サマーフェスタ」は、まちの賑わいづくりを目的に平成24(2012)年度から開催。
- 令和7年度は、西本願寺、東本願寺、興正寺、京都駅ビル開発(株)、下京区役所が連携し、本願寺納涼盆踊りを皮切りに、「駅ビルウィーク」「まちなかウィーク」と題して、約1か月間にわたり多彩なイベントを実施した。

【実施成果】

- 第37回本願寺納涼盆踊り(7月31日・8月1日)〔実績 14,500人〕
- 駅ビルウィーク(8月2日～8月11日)
 - ・ 京都駅ビル デジタル花火大会「HANABI STATION」〔実績 10,385人〕
 - ・ THE★盆おどり〔実績 3,524人〕、NEO盆踊り〔実績 5,883人〕
 - ・ 夏休み自由研究企画「ぶたいのしくみ」〔実績 123人〕ほか
- まちなかウィーク(8月1日～8月31日)
 - ・ 西本願寺・東本願寺・興正寺 合同企画・・・下京サンテラ朝参り抽選会〔実績 102人〕、シネマ上映会「下京サンテラシネマ」〔実績 西本願寺120人(8月9日-8月22日)、東本願寺380人(8月25日-8月31日)、興正寺10人(8月22日)〕、非公開エリア特別公開〔実績 西本願寺312人(8月19日-8月22日)、東本願寺3,482人(8月18日-8月30日)※「京の夏の旅」の一環で公開、興正寺26人(8月21日うらてRaめぐり)〕
 - ・ 興正寺フェス～きっず報恩講～2025〔実績 1,300人〕ほか

実施主体

下京・京都駅前サマーフェスタ実行委員会

実施場所

西本願寺、東本願寺、興正寺、京都駅ビルほか

実施時期

令和7年8月

関連HP

<https://www.city.kyoto.lg.jp/shimogyo/page/0000343061.html>

【問合せ窓口】

下京区役所地域力推進室



万博後の取組

今後も、まちの賑わいづくりを目的に「下京・京都駅前サマーフェスタ」を開催する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 海外の方々に、より深く京都の魅力を御理解いただき、更なる支援の輪を広げるべくウェブでの発信、インバウンド向けリーフレット等によるPRを継続
- グローバル都市としての京都が取り組むべき方策について議論
- 令和7年度以降は、万博による海外との交流機会を最大限に活かして「グローバルな関係人口」の拡大・交流の強化に取り組み、一層の海外からの人・投資を呼び込む仕組みを検討

【実施成果】

- 令和6年度実績：海外向け情報発信WEBサイトを「Preserve Kyoto」としてリニューアル。また、民間企業と連携した取組を開始し飲食店などで使用できる電子ギフト券を返礼品として寄付を呼びかけるPreserve Kyoto Giftを開始。また、グローバルな関係人口の拡大に向けて「デジタルノマド」等の誘致に向けた検討を開始。
- 令和7年度実績：令和7年8月8日、万博会場内で開催された日台デジタルノマドサミットに参加し、日本、台湾のデジタルノマド推進に関わる政府・自治体関係者、民間推進団体と交流、意見交換した。これを契機に引き続き情報交換をしていく予定。
また、昨年度に引き続き、海外向けの情報発信として、WEBサイト「Preserve Kyoto」等を通じた情報発信のほか、万博会場内での周知活動等を通じて、グローバルな関係人口の拡大に向けて取り組んだ。

実施主体

京都市

実施場所

京都市内・オンライン

実施時期

実施中

関連HP

<https://preservekyoto.city.kyoto.lg.jp/>

その他

—

【問い合わせ窓口】京都市人口戦略室 京都創生担当



万博後の取組

京都の持続可能な発展を実現し、その魅力や価値を未来に継承するため、万博の機会を捉えて構築した「グローバルな関係人口」の更なる拡大や交流を進め、海外からの人・投資の呼び込みを活性化させていく。

淀川最源流への誘いプロジェクト

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 大阪・関西万博を見据え、きょうと推進委員会にて示されたキーワードである「川」や「水」にちなみ、大阪・関西万博の会場「夢洲」に注ぐ淀川（桂川）の最源流に、日本一の樹高62.3mの「三本杉」（東幹62.3m 1位、北西幹60.7m 2位、西幹57.2m 5位）がそびえたち、京都 最果ての自然が創造した奇跡のパワースポットについて、この機会を捉え発信を強化
- ▶ 併せて、左京区北部山間地域における「北山友禅菊」などオンリーワンの自然や農山村の魅力を発信

【実施成果】

- ・関係団体等によるモニターツアーの受け入れ、各種PRを実施
- ・北山友禅菊祭りの開催（例年7月下旬～8月上旬）、各種PRを実施

実施主体

北部農林業地域振興協議会

実施場所

京都市左京区北部山間地域

実施時期

実施中

関連HP

林野庁HP：花脊の三本杉（測定結果）
京都市左京北部山間地域自治連絡協議会HP
京都市HP：夏の風物詩『北山友禅菊』

その他

—

【問い合わせ窓口】京都市産業観光局 農林振興室、京北・左京山間部農林業振興センター、北部農業振興センター



左京区花脊原地町 大悲山国有林
花脊の三本杉 林野庁京都大阪森林管理事務所
による樹高測定（H29.11.28）



左京区久多の北山友禅菊（7月下旬）

万博後の取組

奇跡のパワースポット「三本杉」を世界に発信、エコツアー受入体制の整備

実施概要及び成果

【実施概要】

- 区基本計画に掲げるまちづくりや、すべての人に「居場所」と「出番」がある「突き抜ける世界都市 京都」の実現に向け、市民に最も身近な区役所・支所の「結節点」としての機能を強化し、地域内外の人材の交わり合いによる多様なコミュニティの形成を支援するなど、持続可能なまちづくりを推進する。（例として伏見区での取組を記載する。）
- 京都と大阪をつなぐ淀川舟運の拠点・京都の玄関口であり、日本唯一の「川のみなと」である伏見港エリアにおいて、大阪・関西万博を見据え、淀川舟運活性化協議会、関係機関等と連携し、舟運の活性化や賑わいづくりを展開する。ひいては周辺エリアも含めた京都の活性化につなげる。
- 伏見の持つ文化や歴史、産業等の資源を活かし、伏見へのより一層の観光客の誘客と、伏見の企業への経済的好循環を創出する。

【実施成果】

- 令和6年度実績：淀川クルーズフェスティバル（令和6年10月13日）の一環として、十石舟乗船、利き酒体験を実施。
- 令和7年度実績：ふしみなーとフェスタ（令和7年11月8日開催 来場者約5,000人）
Eポート川下り&とっておき体験（令和7年10月4日開催）

実施主体

「川のみなとオアシス 水のまち 京都・伏見」運営・まちづくり協議会、伏見区役所 他

【問い合わせ窓口】京都市伏見区役所 地域力推進室

実施場所

伏見港エリアなど伏見区内

実施時期

実施中

関連HP

<https://www.city.kyoto.lg.jp/fushimi/page/0000299341.html>

その他

－



万博後の取組

淀川舟運等を含め、伏見への集客の拡大と経済活性化

実施概要及び成果

【実施概要】

- 性の多様性に関する啓発パネル等を、市役所分庁舎 1 階ロビーや本庁舎地下連絡通路、京都駅のデジタルサイネージに掲示。本ネットワークメンバーにおいても啓発パネル等の展示を各団体で実施。
- 四条繁栄会商店街に約200本のレインボーフラッグを掲出。公共施設を6色のレインボーカラーにライトアップ。
- 本ネットワークメンバーで連携し、プライド月間の周知・啓発を共同で実施。講演会・トークショー等を各団体で実施。

【実施成果】

- 啓発パネル等について、市役所分庁舎 1 階ロビーと本庁舎地下連絡通路に合計12点掲示。来庁者が足を止め、パネルを読まれる姿が見受けられた。また、併せて配架した啓発チラシ等も多くの方に配布できた。
- 万博開催に伴う特設会場での啓発や本ネットワークメンバーで連携して取り組んだことで、例年以上に充実した取組を実施することができた。

実施主体

京都市、市民ぐるみ「多様な性の在り方が尊重される京都」推進ネットワーク

実施場所

京都市内

実施時期

令和7年6月

関連HP

<https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000341208.html>

その他

—

【問い合わせ窓口】京都市共生社会推進室



市役所分庁舎 1 階ロビー



本庁舎地下連絡通路

万博後の取組

- ・ 今後、取組に賛同いただける企業、団体、教育機関等に本ネットワークを紹介し、加入メンバーの拡充を目指すことで、性の多様性の理解促進や困難を抱える方への更なる支援等の取組を推進していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 区基本計画に掲げるまちづくりや、すべての人に「居場所」と「出番」がある「突き抜ける世界都市 京都」の実現に向け、市民に最も身近な区役所・支所の「結節点」としての機能を強化し、地域内外の人材の交ざり合いによる多様なコミュニティの形成を支援するなど、持続可能なまちづくりを推進する。（例として右京区での取組を記載する。）
- 「つながるマルシェ」では、京北、水尾、宕陰など右京区の北部山間部の特産品を販売している。地域経済の活性化はもちろん、地元の新鮮な食材を通じて、その土地の気候や歴史、人々の暮らしに触れることができ、地域への深い理解と愛着につながっており、マルシェに訪れた人と地域を支える生産者が直接触れ合うことで、地域のつながりを実感できる機会となっている。令和8年2月現在、8店舗が出店している。

【実施成果】

令和8年2月末現在も、継続して実施中

実施主体

右京区役所地域力推進室
まちづくり担当

【問い合わせ窓口】京都市右京区役所地域力推進室まちづくり担当

実施場所

サンサ右京1階区民ロビー

実施時期

主に毎月第2・第4金曜日

関連HP

<https://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/page/0000280715.html>



その他

—

万博後の取組

区民相互の交流と地域の活性化につながるよう、継続的に「つながるマルシェ」を開催する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 歴史的風土特別保存地区に指定され、田園風景自体が保存対象となる北嵯峨地域のうち、広沢池西側の農地において、近くの保育園児や幼稚園児が集まりれんげの花に親しむようになった風習を、昭和46年より「れんげを摘む会」として、右京区民ふれあい事業に位置付けて実施。（日 時：令和7年4月16日 午前9時～午後3時）

【実施成果】

- 参加者実績 1,682名（保育園・幼稚園等1,580名、一般102名）
- 北嵯峨周辺は、嵐山等から自転車や徒歩で往来する外国人観光客も多く、幼児が自然と触れ合う様子を観光客が微笑ましく見守る様子も多くみられた。

実施主体

右京区民ふれあい事業実行委員会、右京区役所

【問い合わせ窓口】

京都市右京区役所地域力推進室まちづくり担当

実施場所

広沢池西側の農地一帯

実施時期

令和7年4月16日

関連HP

<https://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/page/0000336708.html>

その他

—



万博後の取組

・地域のご理解のもと長年にわたって続いてきた本事業について、子どもたちだけでなく、地元住民や観光客など、一般の方も気軽に参加いただき、本イベント関係人口の増加が図れるよう情報発信を工夫しながら、今後も事業を継続する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 6月23日から6月29日の7日間、大阪・関西万博「関西パビリオン 京都ゾーン」で伝統工芸「丹波漆」の展覧を行った。
- 万博会場において、夜久野地域に伝わる漆掻き技術や漆製品の展示に加え、金継ぎ技術での文化財修復実演や、京都府指定無形民俗文化財である「丹波の漆かき」の現場とのオンラインで繋いだリアルタイム交流などを行い、「丹波漆」の魅力を発信した。

【実施成果】

- 大阪・関西万博期間中の来場者実績：約20,000名
- 万博出展以降、丹波漆に関する問い合わせや、メディアへの掲載が増加した。

実施主体

京都府福知山市

【問い合わせ窓口】 福知山市夜久野支所

実施場所

京都府内、大阪・関西万博

実施時期

令和7年6月～

関連HP

<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/64/13903.html>



その他

外国語対応のためAI通訳機を導入

万博後の取組

- ・万博出展の企画段階から万博当日の運営まで、地域住民との協力体制のもと取組みを進めたことで地域の伝統文化に対する地元住民の関心が高まり、万博終了後も今後の活用についてのワークショップ等を開催している。
- ・万博出展を契機として、丹波漆のPR手法としてSNSの積極的な活用や、ECサイトでの販売も検討を進めている。

実施概要及び成果

【実施概要】

最強の鬼・酒吞童子などの大江山鬼伝説が残る京都府福知山市。鬼に親しむ独自の文化をもとに、大江山を中心にさまざまな取組を行う。

- 第44回大江山酒吞童子祭り：令和7年10月26日(日)
- 日本の鬼の交流博物館 特別展・イベント（毎年春・夏・秋実施。令和7年秋季特別展は万博出展と連動した「大江山酒吞百鬼夜行展」（会期：令和7年10月21日（火）～12月7日（日）開催中）
- 世界鬼学会 鬼シンポジウム：令和7年12月6日（土）開催

【実施成果】

- 第44回大江山酒吞童子祭り 来場者数1800人
- 日本の鬼の交流博物館 総来館者数（2月現在）9,080人
- 鬼シンポジウム 参加者数60名

実施主体

福知山市、大江山酒吞童子祭り
実行委員会、世界鬼学会ほか

【問い合わせ窓口】福知山市 大江支所(祭り)、文化・スポーツ振興課
(博物館、鬼学会)

実施場所

大江山周辺（日本の鬼の交流博
物館、酒吞童子の里）ほか

実施時期

秋を中心に、通年

関連HP

<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/onihaku/index.html>

その他

日本の鬼の交流博物館は英語パンフレットあり



万博後の取組

今後も取組を継続実施する中で、引き続き資源の磨き上げや事業連携、SNS等を活用した情報の発信強化を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

万博開催期間中の誘客に向けて、本市の観光資源である「食」を活用したイベントを開催する

- スイーツのまち、肉のまちのPR
- 丹波くり、ジビエなどの食材を活用
- 海の京都エリアの食材（フルーツ、魚介類など）を活用

【実施成果】

- 開催日時：令和7年5月6日（火） 11:00～16:00
- 来場者数：5,000人

実施主体

福知山市

【問い合わせ窓口】福知山市商業観光課

実施場所

JR福知山駅北口周辺等

実施時期

令和7年5月

関連HP

<https://www.farmers-tables.jp>

その他

—



万博後の取組

今後もイベントを通じて本市の食を中心に、海の京都エリアや等の近隣エリアの食も活用しながら交流人口・関係人口の拡大を図り、観光消費額増加につなげる。

また、イベント単体の取り組みだけでなく、他イベントと連携する等、相乗的な効果につなげる。

福知山で体験する観光コンテンツ

実施概要及び成果

【実施概要】

本市には、福知山城や元伊勢三社などの歴史的資源のほか、丹後和紙や丹波漆などの文化的資源、丹波くりやジビエなどをはじめとした豊かな食があり、万博を通してその魅力を発信し、ここでしか得られない体験を提供する。

〔観光コンテンツの一例〕

- ▶ 狩猟体験 & ジビエフレンチ堪能ツアー
- ▶ ウッドキャンドル作り & 古民家ランチ体験
- ▶ 野菜の収穫 & 囲炉裏で食事体験など

【実施成果】

- ▶ 体験コンテンツ数 約30

実施主体

福知山市、サードプレイスツーリズム協議会

【問い合わせ窓口】福知山市商業観光課

実施場所

福知山市内

実施時期

通年

関連HP

<https://www.kitairo.jp/>



その他

—

万博後の取組

今後も本市でしか体験することができない観光コンテンツを提供し、国内外の観光客の来訪を促す。また、SNSの投稿により魅力を発信し、認知度向上や体験利用につなげる。

市内イベントにおいて万博の機運醸成

実施概要及び成果

【実施概要】

例年市内で開催しているイベントにおいて、河瀬直美プロデューサーが手がけるテーマ事業河瀬館「いのちのあかし」に本市の小学校の廃校が活用されること、本市が共創パートナーや共創チャレンジに登録していることなどをPRするコーナーを設け、万博開催の機運醸成を図る

- 福知山お城まつり（例年4月開催）
- 福知山ドッコイセまつり（例年8月開催）
- 福知山産業フェア（例年10月開催）

【実施成果】

- 福知山お城まつり 開催日時：令和7年4月5日、6日 来場者数：22,000人
- 福知山ドッコイセまつり 開催日時：令和7年8月12日、14日、15日 来場者数：19,700人
- 福知山産業フェア 開催日時：令和7年10月18日、19日 来場者数：25,000人

実施主体

福知山市

【問い合わせ窓口】福知山市商業観光課

実施場所

福知山市内

実施時期

令和7年4月、8月、10月

関連HP

—



その他

—

万博後の取組

今後も福知山お城まつり、福知山ドッコイセまつり、福知山産業フェアを開催し、イベントを通じて交流人口・関係人口の拡大を図り、観光消費額増加につなげる。

実施概要及び成果

【実施概要】

京都府福知山市のシンボルである福知山城が挑戦の舞台に！地域団体や学生が光による様々な仕掛けを創り、夜にしか見られない空間×地域の誇りを掛け合わせ、新たな価値を創出し続ける事業として発展している。

※第29回ふるさとイベント大賞にて「大賞・内閣総理大臣賞」受賞。

※“イル未来と”は、イルミネーションとライトアップを掛け合わせた造語で、福知山にいる人たちの未来へとつながるという意味も含んでいる。

【実施成果】

○令和6年度実績

開催日時：令和6年10月19日（土）～10月20日（日） 13:00～21:00 来場者数：約3,900人

来場者居住地：福知山市内81%、福知山市外（京都府内）13%、京都府外6%（来場者アンケートより・回答者120人）

来場者年齢：10代以下54%、20代11%、30代16%、40代以上19%（来場者アンケートより・回答者129人）

○令和7年度実績

開催日時：令和7年10月25日（土）～10月26日（日） 14:00～21:00 来場者数：約4,000人

実施主体

福知山イル未来と実行委員会

【問い合わせ窓口】実行委員会事務局

実施場所

福知山城周辺

実施時期

秋

関連HP

https://instagram.com/fukuchiyama_illumilight/



その他

—

万博後の取組

地域資源を活かしたコンテンツを提供し、交流人口・関係人口のさらなる拡大を図るとともに、市内での一体的なイベント実施により、滞在時間の延長を図る取組の展開を引き続き検討する。

手すき和紙の文化を発信し続けて30年『大江町和紙伝承館』

実施概要及び成果

【実施概要】

- 通年では、丹後二俣紙の歴史、製法等の常設展示、年4回の企画展示、手漉き和紙体験
- 限定では、開館30周年特別イベント開催（年3回）、福知山公立大生によるイベント開催（年2回）
- 関西国際空港PRブースにて、丹後二俣紙の紹介パンフレットやポスター、しおり等を活用したPRを実施

【実施成果】

- 大江町和紙伝承館の利用者数
令和5年度 711人 ⇒ 令和6年度 936人 ⇒ 令和7年度 1,010名（令和8年2月末時点）
- 地域の貴重な文化である手すき和紙の歴史や技術の展示・体験できる場として、和紙伝承館の存在を広くPRできた。

実施主体

福知山市、丹後二俣紙保存会

【問い合わせ窓口】福知山市大江支所

実施場所

福知山市大江町和紙伝承館

実施時期

通年

関連HP

<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/so-shiki/65/10654.html>



その他

大江町和紙伝承館の看板に英語表記を並記、丹後二俣紙パンフレットの英語表記。

万博後の取組

- ・手すき和紙体験は職人の指導者を必要とし、事前予約制及び団体客10名以上の制約があり、一見客や単独行の多いインバウンドなどの需要を取り込めなかった。
- ・大江町和紙伝承館を「見る」中心の施設からいつでも誰でも手すき和紙が「体験できる」施設に転換する

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 大阪・関西万博のイベントである「地方創生SDG s フェス」に献血と骨髄バンクをテーマとしたブース出展を行った。献血と骨髄バンクの啓発パネル展示、福知山公立大学と共同開発した献血をテーマとしたゲームや献血と骨髄バンクのクイズを用いてイベントに来場していただいた方々に楽しく学んでもらえるよう啓発活動を行った。

【実施成果】

- ▶ 来場者数 5日間で計4,466人の方にブースに来場していただいた。出展したものがゲームコンテンツだったため、ゲームにひかれた若年層に多数体験していただいたことで、十分に行えた。また、今回の出展を通して「献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」としての活動はまだまだ知られていない現状を知った。献血・骨髄バンクは、社会全体で取り組む必要があるが、若年層からの協力は他の年代と比べて割合が低い状況である。同イベントの出展により、ゲームコンテンツは関心を広げる効果的なコンテンツであったため出展後もこれを活かした啓発活動を行った。(地域のイベント・児童クラブでのゲーム体験、ゲームコンテンツの企業・団体への貸出)

実施主体

福知山市献血推進協議会

【問い合わせ窓口】福知山市健康医療課

実施場所

大阪・関西万博、福知山市内

実施時期

令和7年5月28日～10月13日

関連HP

<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/16/74817.html>



その他

- ・大阪・関西万博に出展したゲーム及びクイズの英語verの製作
- ・展示していた啓発パネルの英訳をHPに掲載

万博後の取組

ゲームコンテンツという若年層が興味を持ちやすいコンテンツとなっているため、全国的な課題となっている若年層への啓発に効果的である。福知山市は、献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言を行っており、その活動をより多くの方に知っていただくことが課題である。今後の取り組みとして、ゲームコンテンツを用いた啓発で若年層に関心を持ってもらい、より多くの方に献血・骨髄バンクの理解や協力を得られるよう取り組む。(地域のイベント・児童クラブでのゲーム体験、ゲームコンテンツの企業・団体への貸出)

「誰一人取り残さない防災」の実現に向けた、 防災×福祉×健康プロジェクト

福知山市

いのち

実施概要及び成果

【実施概要】

- ①福祉専門職や地域と協働した要配慮者の個別避難計画作成や訓練の実施
- ②災害関連死対策をテーマにした医療、介護、福祉の専門職による多職種連携チームの避難所運営訓練の実施
- ③「介護予防は究極の防災対策である」ことから、健康寿命を延ばす介護予防事業「貯筋体操」（イスに座って行う体操）の実施
- ④年齢や属性を問わず誰もが地域の中で支え合いながら暮らせる社会をめざし、地域みんなでつながるイベントの開催

【実施成果】

- ①個別避難計画訓練→要配慮者とその家族122人、支援者175人
- ②避難所運営訓練→避難者61人、名専門職等146人
- ③貯筋体操→522回8,567人
- ④地域みんなでつながるイベント延べ参加者数534人

実施主体

防災×福祉×健康プロジェクト

【問い合わせ窓口】福知山市地域包括ケア推進課

実施場所

福知山市内

実施時期

通年

関連HP

—

その他

—



万博後の取組

取組を実施する中で、個別避難計画の実効性向上、多職種連携の強化、地域資源の把握、住民参加の促進など、防災×福祉×健康を一体的に進める体制づくりが着実に進展している。一方でこれらを持続的に機能させるためには、継続的な取組を進めていくことが求められる。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 舞鶴の中でも現存する最古級の鉄骨れんが建造物である赤れんが博物館で、小企画展を実施
 - ①小企画展「フラワースリック フラワータイル」展（5月3日～7月21日）
 - ②戦後 80 年小企画展「れんがは語る、戦後 80 年」（8月2日～9月23日）

【実施成果】

- 「フラワースリック フラワータイル」展 入館者数：12,326人
- 「れんがは語る、戦後80年」展 入館者数：12,702人

実施主体

舞鶴市(赤れんが博物館)

【問い合わせ窓口】 舞鶴市立赤れんが博物館

実施場所

赤れんが博物館

実施時期

令和7年8月2日(土)～9月23日
(火・祝)

関連HP

https://akarenga-park.com/facility/facility_01/

その他

—

万博後の取組

戦後80年と連動した企画により、舞鶴市ならではの展示コンテンツを提供し、国内外の観光客の来訪を促した。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 舞鶴市・高浜町にまたがる「吉坂堡壘砲台」について、観光素材としての可能性を探ることを目的にモニターツアーを実施することで、今後の観光拠点形成に向けた環境整備の基礎資料を収集。

【実施成果】

- 吉坂堡壘砲台見学会については定員を超える申し込みがあるなど、大変好評（11月10日 20人参加）

実施主体

舞鶴市・高浜町

【問い合わせ窓口】舞鶴市観光振興課

実施場所

舞鶴市・高浜町

実施時期

令和6年

関連HP

—



その他

—

万博後の取組

舞鶴市ならではの体験コンテンツの提供により、国内外の観光客の満足向上に努め、来訪を促す

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博を契機とした地域への経済波及効果と観光誘客の取り組みとして、9月に韓国船社をお招きし、実務者協議及び寄港地視察を実施した（9月9日～9月12日）。

【実施成果】

- 今後の寄港にもつながる有意義な協議、寄港地案内ができた。
クルーズ乗客数 令和6年 外国人：4,189人、日本人：7,812人
令和7年 外国人：8,318人、日本人：1,520人（万博閉幕時点）

※船社等からの聞き取りによるもので、実数とは異なる

実施主体

舞鶴市

【問い合わせ窓口】みなと振興・国際交流課・観光振興課

実施場所

舞鶴市ほか京都府北部5市2町等

実施時期

令和6年～7年

関連HP

—

その他

—



万博後の取組

日韓国際フェリーの定期就航を視野に今後も継続した協議を実施し、航路就航を目指す。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「舞鶴かまぼこ工房」で、最高品質の魚のすり身を使い、独自の2段蒸しによるプリとした食感が人気のかまぼこ作り体験を実施。アツアツの平てん、焼きたてちくわとともに、自分流のかまぼこ作りを楽しむことができる。

【実施成果】

- 蒸し立てかまぼこの試食は本体験のみの体験であり、好評を得ている
令和6年度795人、令和7年度（4～2月）528人

実施主体

舞鶴かまぼこ協同組合

【問い合わせ窓口】 舞鶴観光協会

実施場所

舞鶴かまぼこ工房

実施時期

通年(12月10日～1月10日
は休館日)

関連HP

<https://maizuru-kanko.net/archives/experience/1338>

その他

—



万博後の取組

舞鶴市ならではの体験コンテンツの提供により、国内外の観光客の満足向上に努め、来訪を促す

実施概要及び成果

【実施概要】

- 舞鶴に来たら外せない人気スポット！海上自衛隊、北吸係留所も遊覧船から見る事ができる所要時間約35分のコースを運航

【実施成果】

- 護衛艦の真横を航行するコースは舞鶴ならではの、大変好評を得ている。
令和6年度49,147人、令和7年度（4～2月）52,081人

実施主体

(有) 舞鶴港遊覧船
(一財) 舞鶴交通安全協会

【問い合わせ窓口】 舞鶴観光協会

実施場所

赤れんがパーク内遊覧船乗り場

実施時期

3月中旬～12月末

関連HP

<http://maizuru-kanko.net/recommend/cruise>

その他

—



万博後の取組

舞鶴市ならではの体験コンテンツの提供により、国内外の観光客の満足向上に努め、来訪を促す

実施概要及び成果

【実施概要】

- 限定公開！非公開施設（重要文化財）に入れるツアー
普段は入ることができない重要文化財の施設をガイド付きで見学できるツアーを実施。

【実施成果】

- 非公開施設をめぐる限定ツアーの実施は好評を得ている
令和6年度774人、令和7年度（4～2月）590人

実施主体

舞鶴観光協会

【問い合わせ窓口】 舞鶴観光協会

実施場所

赤れんが博物館 受付カウンター発着

実施時期

3月中旬～7月中旬

関連HP

<https://maizuru-kanko.net/archives/experience/278>

その他

—



万博後の取組

舞鶴市ならではの体験コンテンツの提供により、国内外の観光客の満足向上に努め、来訪を促す

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 「赤れんがパークと海軍食」を活用した旅行商品の開発及び多言語サインの設置による案内機能を充実

【実施成果】

- ▶ モニターツアー（台湾人、中国人等5人参加）
- ▶ 音声ガイドデータの作成（2言語13箇所）
- ▶ 赤れんがパーク多言語サインの制作(2箇所)

実施主体

舞鶴市

実施場所

舞鶴市

実施時期

令和7年4月から順次運用開始

関連HP

<https://maizuru-kanko.net/>

その他

—

【問い合わせ窓口】舞鶴市観光振興課



旅行商品の造成



多言語サインの設置

万博後の取組

新規開発コンテンツの商品化により、インバウンド向け認知度向上・誘客促進及び国内観光客の誘客を図る

概要

【実施概要】

- 戦後・海外引揚開始80年、ユネスコ世界記憶遺産登録10周年という大きな節目を迎え、「舞鶴引揚記念館」で収蔵する世界的重要な資料の公開や中高校生を中心とした「学生語り部」が次世代による継承事業を実施

【実施成果】

事業を通して、次世代への継承の推進を実施

- 企画展(6年度年4回、7年度10月末までに2回 来場者数計 91,477人)、
- 無料公開イベント(6年度5月・10月、7年度5月、8月、10月 来場者数計 4,866人)
- 平和未来ワークショップ(令和7年7月 中~大学生70人、一般30人)

実施主体

舞鶴市

【問い合わせ窓口】 舞鶴引揚記念館

実施場所

舞鶴市(舞鶴引揚記念館ほか)

実施時期

令和6年~7年

関連HP

m-hikiage-museum.jp

その他

—



万博後の取組

国内外の博物館や都市ともさらなるネットワークを広げ、国際ブランドの向上に取り組む

実施概要及び成果

【実施概要】

- 引き揚げ当時の時代背景や展示資料に込められた想い、また、「引き揚げ」や「シベリア抑留」の史実とあわせて、あたたかく引揚者を迎えたまちの歴史を語り継ぎ、より充実した継承事業を行うため「語り部」を養成。

【実施成果】

- 語り部の養成により、おもてなし力の向上を図った。令和7年度18人（修了生17人）

実施主体

舞鶴引揚記念館

【問い合わせ窓口】 舞鶴引揚記念館

実施場所

舞鶴引揚記念館

実施時期

12月～2月

関連HP

<https://m-hikiage-museum.jp/index.html>



その他

—

万博後の取組

「語り部」を養成することで、おもてなし力の向上を図り、国内外の観光客の来訪を促す

実施概要及び成果

【実施概要】

- 土日祝日限定で、「NPO法人舞鶴語りの会」による館内を一緒に回る「語り部ツアー」を実施。時間は午前11時～、午後1時30分～の1日2回。

【実施成果】

- ツアーの認知が向上し、大変好評を得ている。
令和6年度123回、令和7年度（4～2月）228回

実施主体

舞鶴引揚記念館

【問い合わせ窓口】 舞鶴引揚記念館

実施場所

舞鶴引揚記念館

実施時期

通年(土日祝日限定)

関連HP

<https://m-hikiage-museum.jp/index.html>

その他

—

万博後の取組

舞鶴引揚記念館ならではの体験コンテンツを提供し、国内外の観光客の来訪を促す

実施概要及び成果

【実施概要】

- 引揚記念館では、引き揚げとシベリア抑留の史実を通して、悲惨さの中にある当時の人々の希望や他者への思いやりを感じることによって、現代の私たちが「実感」を持って平和の尊さを学ぶ平和学習を実施。

【実施成果】

- 語り部付きのグループ別見学が大変好評であり、引揚の史実理解に貢献している。
令和6年度33校1981人、令和7年度（4～2月）32校2,098人

実施主体

舞鶴引揚記念館

【問い合わせ窓口】 舞鶴引揚記念館

実施場所

舞鶴引揚記念館

実施時期

通年

関連HP

<https://m-hikiage-museum.jp/index.html>


その他

—

万博後の取組

舞鶴市ならではの体験コンテンツを提供し、子どもたちの来訪を促す

実施概要及び成果

【実施概要】

- 二度の万博出展に製品や素材を持っていった。また、随時黒谷和紙の紙漉き体験を行った。
 - ・6月23日～6月29日 関西パビリオン京都ブースに出展
 - ・10月4日 関西パビリオン京都ブースに一部出展「今日の京都～市町村職員が日替わりでおすすめを紹介～」

【実施成果】

- 6月23日～6月29日万博出展
- 10月4日万博（一部）出展
- 万博期間中の和紙漉き体験（来館者数：1,346人（前年度比19人増） 体験者数：226人（前年度比48人減）

実施主体

黒谷和紙協同組合

【問い合わせ窓口】黒谷和紙協同組合

実施場所

黒谷和紙会館

実施時期

3月～11月

関連HP

<https://kurotaniwashi.kyoto/>



その他

7日前までに事前申し込み要

万博後の取組

万博を契機に、黒谷和紙を周知することができた。
 今後は、黒谷和紙のPRを市内外問わず積極的に行い、次世代への継承につなげたい。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 第3回目を迎える「あやべ水源の里トレイルラン」を開催。アスリートだけでなく自然愛好者など多くの参加者をお迎えし、水源の里集落の住人とふれあい、日本の原風景に近い自然の織り成す雄大な美しい景観に触れながら、現地ならではの暮らしや文化に理解を深めた。（開催日：令和7年4月6日）

【実施成果】

- 出走者数：788人
- 会場では地元の特産品の販売や、地元の方によるエイド等でのおもてなしを行い、RUNNETの大会ランキング（トレイルラン）において第1位の高評価を得た

実施主体

FunTrails合同会社

【問い合わせ窓口】綾部市観光交流課

実施場所

綾部睦寄町他

実施時期

令和7年4月6日（日）

関連HP

<https://fun-trails.com/race/ayabe/>


その他

-

万博後の取組

地元の方の協力もあり、大会ランキング1位を獲得できた。今後も水源の里への理解や自然に親しめるスポーツとして広域的な誘客に努め、スポーツを機会とした関係人口の拡大につなげたい。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 農家民宿を通じて得られる、自然での学びや農村での生活の知恵、歴史ある伝統文化などを、通年実施して伝えた。また、万博を契機とした商談会などでPRした。
 - ・7月11日 オンライン
 - ・9月12日 オンライン
 - ・9月25日-26日 Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）
- また、e-bikeを使って綾部市を巡るツアーのモデルコースと、イメージ動画を作成した。

【実施成果】

- 7月11日 5社と商談を行った
- ・9月12日 4社と商談を行った
- ・9月26日27日 20件の商談を行った
- ・FAMトリップに繋がった。
- モデルコースや動画を万博内外で広報に使用した。 E-bike利用者数：19人（前年度比6人減）

実施主体

綾部農泊推進地域協議会

【問い合わせ窓口】ゲストハウス クチュール
(協議会事務局)

実施場所

綾部市内

実施時期

通年実施

関連HP

<https://www.kyoto.ayabenuhaku.com/>

その他

- ・一部の農家民宿において外国語対応可
- ・予約時においてビーガン料理や外国人対応も可
- ・万博へ訪れた方への希望に合ったオーダープログラムも対応



万博後の取組

商談会を経て、綾部の農泊の魅力は確かなものであると確信した。特に、近年の京都市内のオーバーツーリズムの影響で、郊外の需要の高まりを感じた。一方で、全ての農家民宿で外国語対応・ビーガン料理対応ができるわけではないこと、市内の案内看板が観光客目線では不親切なことが課題としてあがった。

～天職観光～ 自分の活躍の場を見つける 「綾部里山交流大学」講座

綾部市

実施概要及び成果

【実施概要】

- 半農半Xの発祥の地である綾部の講座を通して、田舎暮らしの原点を学ぶことのできる里山交流大学を実施。
(7月15日第1部オンライン・第2部全国町村会館(東京都千代田区永田町))
- 第1部ではオンラインでマイファーム代表・西辻一真氏と綾部市出身の半農半X提唱者・塩見直紀氏のセミナーを行った。
第2部では東京で、綾部市長と塩見直紀氏の対談を行った。

【実施成果】

- 来場実績…第1部(オンライン)48人 第2部(東京)10人
- セミナー終了後、参加者から半農半X塩見直紀氏との連携依頼があるなど、つながりができた。

実施主体

綾部里山交流大学

【問い合わせ窓口】NPO法人里山ねっと・あやベ

実施場所

綾部市内

実施時期

通年実施

関連HP

<https://ayabesatoyamacollege.net/wp/>



その他

・一部の講座において外国語対応可

万博後の取組

東京での開催により、これまで綾部市を知らなかった人にも周知することができた。しかし、参加者が想定より少なかった。今後、里山交流大学を定期的に都市部で開催し、綾部市の魅力のPRに努める。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 茶づな、市営茶室対鳳庵、匠の館、市内の茶園など、数ある市内の茶の関連施設で、覆下茶園での手摘み体験や製茶体験、玉露の淹れ方・抹茶の点て方講座など宇治のお茶文化を余すことなく体験できる市内の施設やイベントについて宇治市公式ホームページにて一元的に紹介

【実施成果】

- 宇治市内で体験できるお茶関連の情報や体験ルートの例を、宇治市公式ホームページで一元的に紹介することで、情報へのアクセスが容易になり、来訪意欲の向上につながったと考える。

実施主体

宇治市

【問い合わせ窓口】 宇治市農林茶業課

実施場所

茶づな、市営茶室対鳳庵、宇治市内の茶園など



実施時期

万博会期中

関連HP

<https://www.city.uji.kyoto.jp/site/uji-cha/85199.html>

その他

外国語対応

万博後の取組

「宇治茶の伝統と文化」の継承と「宇治茶ブランド」のさらなる発展のため、関西万博をきっかけとして、“宇治茶ファン”を増やし、世界に向けて販路拡大を図る。また、今回の取組を契機に、より一層効果的な情報発信に向け、内容の精査や発信手段の最適化を検討し、さらに、今後、近畿圏内や遠方におけるPR活動においては、QRコード等で当ページを周知するなど、宇治市への誘客のツールとして活用し、引き続き、お茶の文化、伝統、体験など、宇治市のお茶の魅力を広くPRしていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

源氏物語の世界観を始め様々な文化・歴史の魅力を伝える取組及び「紫式部ゆかりのまち宇治」の魅力発信を推進

- 源氏ろまん事業として、宇治田楽まつり、宇治十帖スタンプラリー、源氏物語セミナー等を実施
- 今ある宇治の魅力を発信し、宇治の文化を未来へつなぐ「宇治アートプロジェクト」の取組として、合同作品「屏風」の市内巡回展示（令和7年5月～令和8年3月、源氏物語ミュージアム 他）をはじめとする情報発信等を実施

【実施成果】

- 源氏ろまん事業…宇治田楽まつり（令和7年10月18日）参加者数630人、宇治十帖スタンプラリー（令和7年10月1日～11月30日）踏破者数8,362人、源氏物語セミナー（令和7年11月26日）参加者数168人
- 源氏物語や平安時代にゆかりのある地を中心とした様々な時代の『うじ』の文化・魅力を広く発信することが出来た。

実施主体

宇治市・宇治市教育委員会
宇治田楽まつり実行委員会

【問い合わせ窓口】 宇治市文化スポーツ課

実施場所

市内各所

実施時期

万博会期中～令和8年3月

関連HP

<https://www.city.uji.kyoto.jp/site/bunkakatsudou/6425.html>



その他

宇治市ホームページ等において外国語への対応を実施

万博後の取組

- ・ 万博後も継続して、宇治の文化・歴史を次世代へ継承するとともに、外国語対応も視野に入れた国内外へ魅力を発信する事業を実施することにより、『うじ』の文化の魅力を世界に向けて発信し、魅力あるまちづくりに取り組む。

親子で学ぶゼロカーボンツアー

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 市内在住の小学5・6年生とその保護者を対象に、10組20名の参加者で3回にわたりツアーを実施する
- ▶ 大阪・関西万博で脱炭素に関連する施設を見学し、先進的なカーボンニュートラルについて学ぶ
- ▶ ツアーを通して参加者が、環境問題を自ら考え、環境にやさしい行動を実践できるようになることを目的とする

【実施成果】

- ▶ 30組60名が参加
- ▶ 大阪・関西万博では「循環」をテーマとする日本館を見学し、万博会場で出たごみが分解・再資源化される過程などを学ぶことで、参加者がカーボンニュートラルへの理解を深めることができた。
- ▶ 脱炭素に関する専門講師が全行程に同行し、会場内外での解説や対話を通じて、参加者の環境意識の向上を図ることができた。

実施主体

宇治市

【問い合わせ窓口】
宇治市環境企画課

実施場所

大阪・関西万博 日本館など

実施時期

9月14日、20日、21日

関連HP

-

その他

-



万博後の取組

- ▶ 環境問題を「自分ごと」として捉え日常生活の中で実践していくには、継続的な学びの機会や体験の場が引き続き必要であると感じられた。
- ▶ 今後も「親子で学ぶゼロカーボンツアー」の継続的な実施を検討するとともに、「宇治環境フェスタ」などの市民参加型イベントを通じて、より広く環境意識の向上を図る広報・啓発活動に取り組んでいく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 宇治市と宇治市地球温暖化パートナーシップ会議（ecoット宇治）の共催によりイベントを開催
- 行政・教育機関、事業者等が環境関連の取り組みを紹介するブースを出展し、来場者の環境意識向上を目的として実施
- 親子で学ぶゼロカーボンツアー（目的地：大阪・関西万博）の活動記録を展示する専用ブースを設置

【実施成果】

- イベント来場者数：580名
- 親子で学ぶゼロカーボンツアー参加者の学習内容や活動写真を展示
- ツアー参加者の学びを広く共有し、来場者に対してカーボンニュートラル等に関する理解促進と環境意識の向上を図ることができた

実施主体

宇治市、宇治市地球温暖化パートナーシップ会議（ecoット宇治）

実施場所

宇治市生涯学習センター

実施時期

11月23日

関連HP

—

その他

—

【問い合わせ窓口】

宇治市環境企画課



万博後の取組

- ▶ 環境フェスタにおいて親子で学ぶゼロカーボンツアーのブースを設置することで、ツアー参加者のみならず子どもから大人まで幅広い層の来場者に展示を見ていただき、理解を深めていただくことができた。
- ▶ 今後も親子で学ぶゼロカーボンツアーの継続的な実施を検討するとともに、宇治市環境フェスタなどの市民参加型イベントを通してより広く環境意識の向上を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ものづくり体験や工場見学などを通じて宇治市内のものづくり企業の魅力を発信
- ①市内大型店舗での市内企業のものづくり体験（参加企業数：延べ10社）
- ②宇治市産業振興センターでのものづくり体験（参加企業数：10社）及び近隣企業の工場見学（参加企業数：10社）
- ③インテックス大阪で開催された「未来モノづくり国際EXPO2025」へ合同企業出展

【実施成果】

- ①約150人が参加。普段できない体験を通じて、ものづくりの魅力をPRできた
- ②約300人が参加。日常生活で接することができない工場を見学することで、市内ものづくり企業を身近に感じていただけた
- ③4社出展、製品説明件数約900件。幅広い層に対し、出展の企業の技術や製品の周知に加え、市内産業のPRが行えた

実施主体

宇治市・デザインウィーク京都 他

【問い合わせ窓口】 宇治市産業振興課

実施場所

市内各工場・工房 他

実施時期

4月26日、7月16日～19日、7月31日

関連HP

—

その他

—



万博後の取組

取組を通じて、ものづくりの魅力を広く発信できたこと、参加企業同士の連携が深まったことから、国内外へのPRを意識した工場見学やものづくり体験、合同出展等の取組を継続して実施していきたい。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 宇治川の鶺鴒（①）
- ▶ トレインマーケット宇治の開催（②）
- ▶ 親子で天ヶ瀬ダム探検ツアー（③）

【実施成果】

- ▶ ①宇治の夏の風物詩宇治川の鶺鴒。広報にも力を入れ集客を図ったことで、伝統的文化の伝承や保存、周知ができた。（乗船者数：2,503人（令和6年）、3,418人（令和7年））
- ▶ ②京阪宇治駅のホームに列車を停車させ、淀川沿線自治体の特産品等を列車内で販売することで、広域的な観光PRを実施できた。（来場者数：3,387人）
- ▶ ③普段は体験することができない天ヶ瀬ダムのキャットウォーク散策や点検放流を見学し、市街地から徒歩圏内にある天ヶ瀬ダムの壮大さと宇治川の自然豊かな景色を親子で楽しみながら学ぶ機会を創出した。（参加人数：32人）

実施主体

宇治市、観光協会、連携団体・企業

実施場所

天ヶ瀬ダムから宇治橋間を中心とした宇治川流域

実施時期

随時

関連HP

—

その他

—

【問い合わせ窓口】宇治市観光振興課



万博後の取組

様々な観光資源を活かし、宇治ならではの体験を提供することができた。一方、インバウンドへの多言語対応や、天ヶ瀬ダムまでの交通手段、告知方法など様々な課題もある。

これらの課題に向き合いながら、引き続きプレミアムな体験を提供していく。

実施概要及び成果

【実施概要】大阪・関西万博の各サブテーマに沿ったイベント等をカウントダウン形式で実施。機運醸成を図った。

- 万博250日前イベント [Saving Lives (いのちを救う)] [Empowering Lives (いのちに力を与える)] (①)
- 大阪・関西万博開催半年前機運醸成イベント「京都イロドリEXPO こといる」観光ブース出展 (令和6年10月12日) (②)
- 万博150日前イベント [Connecting Lives (いのちをつなぐ)] [Saving Lives (いのちを救う)] (③)
- 万博30日前イベント [Saving Lives (いのちを救う)] (④)

【実施成果】

- ① ➢ 天橋立砂浜のライトアップ (令和6年7月6日～10月14日) ⇒ 実施支援
 - みやづBay花火 (令和6年7月14日～9月21日の土日祝日等 20:30から5分間計75発又は20:00から7分間計100発の花火を打ち上げ延9回実施) ⇒ 実施支援
 - 特務艇「はしだて」の寄港 (令和6年7月27日～7月28日) ⇒ 5年ぶり2回目の寄港
- ② 宮津市出展ブースに約300名が来場
- ③ ➢ 日本遺産北前船フォーラム&北前船物産展 (令和6年10月20日) ⇒ 実施支援
 - 歴史資料館 特別開館&企画展示「宮津城下町と北前船」 (令和6年10月20日～11月24日) ⇒ 期間中448名来場
 - 宮津市街地ライトアップ (和火) (実行委員会協議の結果、令和6年度未実施)、成相寺ライトアップ (令和6年11月16日～11月17日) ⇒ 実施支援
- ④ ➢ 万博スペシャルサポーター 帆船「BLUE OCEAN みらいへ」の寄港 (令和7年3月8日～3月9日) ⇒ 宮津市民限定体験航海で58名のお客様が体験
 - 宮津田井海まちフェスタ (SDGsフェスタと同時開催) (令和7年3月9日) ⇒ 800名が来場 浜町会場～田井会場間に汽船の特別運航を行い、252名乗船

実施主体	宮津市ほか	【問い合わせ窓口】宮津市産業経済部観光係
実施場所	宮津市内ほか	
実施時期	①7～9月頃 ②10月12日(土) ③10～11月頃 ④3月頃	
関連HP	—	
その他	—	



万博後の取組

令和7年度の大阪・関西万博開催に向け、イベント等を実施することにより、市民や観光客の機運を醸成することができた。万博会場において本市の魅力をしっかりPRし、万博終了後は、より多くの人にリピーターや新たなファンになってもらえるよう、万博レガシーを地域に残していく必要がある。

ようこそ「宮津天橋立」キャンペーン

実施概要及び成果

【実施概要】

- 7月初旬より、ようこそ「宮津天橋立」キャンペーンを万博閉会の10月中旬まで開催し、交流人口の創出を目指した。
- 市内各種イベントを可能な限り万博実施期間中に集約し、土日祝の市内の盛り上がり演出することで、顧客満足度の向上と滞在時間の延長を図った。

【実施成果】

- 天橋立まち灯り [砂浜ライトアップ (令和7年7月5日～9月23日)、みやづBAY花火 (令和7年7月19日～8月9日の土日祝日等 20:30から5分間計75発 又は7分間計100発の花火を打ち上げ 延8回実施)] ⇒ 実施支援
- 阿蘇海フェスタ (令和7年7月13日) ⇒ 開催場所の府中地区公民館に300名が来場
- 宮津燈籠流し花火大会 (令和7年8月16日) ⇒ 実施支援
- 周遊スタンプラリーの実施 ⇒ システム構築の遅延で期間内未実施
- 学生レストラン in 宮津天橋立 (令和7年8月29日～8月31日) ⇒ 61名が参加
- 歴史の館特別開館 (令和7年8月9日～8月29日) ⇒ 63名が来場
- 丹鉄10周年感謝祭 (令和7年9月6日) ⇒ みやづ歴史の館に730名が参加
- 第34回天橋立ツーデーウォーク (令和7年9月27日～28日) ⇒ 2日間で891名が参加
- 第5回宮津田井海まちフェスタ (令和7年10月5日) ⇒ 300名が来場。宮津棧橋・天橋立棧橋～田井会場間に汽船の特別運航を行い、93名乗船
- みやづSDGsフェスタ ⇒ 実施時期を変更し、現状未実施 ①宮津市海洋釣り場こども海つり体験会 (令和7年7月21日) ⇒ 105名が参加

実施主体

宮津市ほか

実施場所

宮津市内

実施時期

7月初旬～10月中旬

関連HP

—

その他

—

【問い合わせ窓口】宮津市産業経済部商工観光課観光係



万博後の取組

万博期間中に多様なイベントを展開し市内の賑わい創出に寄与した一方、万博来場者の地方誘客は想定ほど伸びず来訪拡大には課題が残った。今後は万博で高まった本市の認知度を基盤に、効果的なPRや地域イベントとの連動を強化し、滞在時間の延長や観光消費の拡大につなげていくとともに、観光から移住への誘導に取り組んでいく。

「股のぞき☆一龍万倍」体験

宮津市

実施概要及び成果

【実施概要】

- 宮津市の天橋立には龍にまつわる伝説が多く残っている。龍の姿そのものにも例えられる神秘的な天橋立だが、股の間からさかさな景色をのぞくと、まるで龍が空を舞っているかのように見えることから、縁起の良い景色として知られている。「股のぞき☆一龍万倍」体験は古くから象徴される、天に昇った龍が如意宝珠（意のままに願いを叶える玉）を授かり降臨する姿「昇龍・降龍」にちなんだ体験。天橋立傘松公園または天橋立ビューランドの展望所で自分の叶えたいお願いに合った「龍の願い玉」を6種類の中から選んで購入頂き、具体的なお願い事を「願い用紙」に記載し、「龍の願い玉」を手を持ちながら股のぞきをして、龍が舞っているような景色からパワーを頂いた後、歴史・文化に裏付けされた寺社仏閣（智恩寺または元伊勢籠神社または成相寺）へ奉納をすることで、宮津市の歴史文化を感じながら開運体験ができるプログラム。

【実施成果】

- 4月～9月期間の龍の願い玉の販売個数について、前年度は1,560個であったが、今年度は876個と前年度比でほぼ半減の結果となった。

実施主体

宮津市ほか

【問い合わせ窓口】宮津市産業経済部商工観光課観光係

実施場所

宮津市内

実施時期

通年実施中

関連HP

<https://matanozoki.jp/>

その他

-

万博後の取組

「リアル桃太郎電鉄～ほんまの京都・万博編～」などの周遊施策による増加効果は見込まれたものの、万博来場者の地方誘客には寄与できなかったと認識。今後はより一層の情報発信を行い、「天橋立は開運を導いてくれる場所」であるという、「股のぞき」+αの価値を提供するブランディングを地域一体で図っていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- かめおか霧の芸術祭はアートイベントではなく、地域の「課題解決」をテーマとする通年の活動。
- アーティストだけでなく自治会や農家、学生、事業者など、地域に関わる様々な人々が協働し、環境・農業・観光など多分野に従来の行政手法とは異なるアプローチで取り組み、アートの力を活用した魅力あるまちづくりを推進している。

【実施成果】

- 実施事業数（4月～10月13日）： 6事業
- 参加者数（4月～10月13日）：4,775人

実施主体

かめおか霧の芸術祭実行委員会

【問い合わせ窓口】 亀岡市文化芸術課

実施場所

亀岡市内

実施時期

通年

関連HP

<https://kameoka-kiri.jp/>

その他

-

万博後の取組

万博期間中に子どもから大人まで幅広い年代の方に参加してもらえるイベント6事業を実施した。いずれも地域資源を生かし、世代や分野を超えた交流を促す機会となった。一方で、広報手段の工夫や効果的な集客が今後の課題として挙げられる。今後は、より多くの人に興味関心を持ってもらえるよう発信力を高め、地域に根ざした持続的で、魅力あるアート企画を実施することで芸術文化の展開を目指していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 環境への取組を広めるため、亀岡の観光資源である保津川下りをしながら、川ごみの現状を知ってもらい環境学習をしてもらう取組を実施している。
- 万博を契機にこれらの取組を世界へ発信し、持続可能な未来を共創する意識の醸成を図る。

【実施成果】

- エコna川下り利用者数：令和7年4月～10月 101名（保津川下り 83名、ラフティング 18名）
- 環境学習により、海ごみ発生抑制のためには内陸部からの取り組みが重要であることを働きかけることができた。

実施主体

亀岡市・民間事業者

【問い合わせ窓口】 亀岡市環境政策課

実施場所

亀岡市内（保津川流域）

実施時期

通年

関連HP

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/21/69349.html>


その他

—

万博後の取組

- ・国内外問わず毎年多くの観光客が保津川下りに訪れるが、当初想定していたよりもエコna川下りの利用者が少なかった。
- ・協定を締結している旅行代理店と連携しながらエコツアーとして周知し、エコna川下り利用者の増加を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 「KAMEOKA VIRTUAL HISTORIA」は、亀岡市文化資料館が所蔵する文化財をはじめ、市内各地の伝統芸能・祭事・風習・自然などの歴史文化資源を再現したメタバース空間。
- ▶ 参加者同士の交流を目的としたメタバース空間とは違い、クエスト型のゲームに似たストーリー性を付加することで、「学び」の要素と「遊び」の要素を掛け合わせた、“亀岡ならではの”体験を世界に向けて提供する。

【実施成果】

- ▶ メタバースPV数：1,874回、ホームページPV数：14,331回（令和7年4月～10月13日）
- ▶ メタバース体験会の実施：66名（令和7年9月7日）

実施主体

亀岡市

【問い合わせ窓口】亀岡市文化芸術課

実施場所

オンライン

実施時期

通年

関連HP

<https://museums.city.kameoka.kyoto.jp/>

その他

ブラウザの外国語翻訳機能を使用すれば、どの言語でも対応可能



万博後の取組

メタバースを体験するための窓口となるホームページには期間中14,331回のアクセスがあり、前年同期間比30.8%増加した。一方、メタバースの体験については、アクセスの集中や端末の状態等により、繋がりにくさや動作が不安定になる事象が見受けられ、体験機会を十分に提供できなかった。万博後も、継続してアクセス状況の改善やバグの修正等に取り組み、体験をきっかけとした交流の創出と歴史文化の継承を実現する。

美味しいプラスチックフリー「リバーフレンドリーレストラン」

亀岡市

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 発泡スチロールの容器や使い捨て食器を使用しない、無料で給水ができるなど環境に配慮した一定条件を満たす飲食店を「リバーフレンドリーレストラン」として認定し、万博を契機に、亀岡市公式ホームページや広報誌、SNSなどでの情報発信や、海の無い内陸の地域亀岡市から海洋プラスチック汚染問題に取り組む活動を継続している川と海つながり共創プロジェクトのホームページにおいて広く情報を発信することにより、消費者のエシカル消費につなげ、飲食店とその利用者が環境にやさしい行動につながる「リバーフレンドリーレストランプロジェクト」に取り組む。

【実施成果】

- ▶ リバーフレンドリーレストラン登録店舗数：24店舗（令和7年4月～10月で2店舗増加）

実施主体

亀岡市・飲食店

【問い合わせ窓口】 亀岡市環境政策課

実施場所

亀岡市内

実施時期

通年

関連HP

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/riverfriendly-mizu/>

その他

—



万博後の取組

- ・環境に配慮した取組を実践する飲食店を認定し情報を発信することで、さらに取組の輪を広げる

日本中が美しいまちへ「エコウォーカー」プロジェクト

亀岡市

実施概要及び成果

【実施概要】

- ウォーキングや散歩をしながら、また、通勤・通学をしながらごみ拾いを行う、身近で気軽に自由な新感覚の清掃活動「エコウォーカー」の緩やかなネットワークを全国に広げ、日本中のまちからポイ捨てごみを無くすことを目指す。
- また、次代を担う子どもたちが将来にわたり環境を守り続ける意識を醸成することも重要だと考え、保育所等教育機関と連携したエコウォーカー活動も展開しはじめている。

【実施成果】

- エコウォーカー登録者数：令和7年4月～10月 285名、エコウォーカーキッズ登録：1機関（50名）
- 清掃活動の緩やかなネットワークの普及、環境を守り続ける意識を醸成に繋がっている。

実施主体

亀岡市

【問い合わせ窓口】 亀岡市環境政策課

実施場所

亀岡市内

実施時期

通年

関連HP

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/kankyoku/2693.html>

その他

—



万博後の取組

- ・年間の目標登録者数（500名）に向けて、想定通り登録者が増加している。
- ・ポイ捨てされているごみ拾いを始めとした、市民参加型の事業（スポGOMIなど）を実施し、環境美化の意識醸成を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- かめおかSDGsパートナー宣言制度のプラットフォーム化（SDGsパートナー企業を対象にした研修会や意見交換会の実施）
- 広域/官民連携によるSDGsプロジェクトチーム（京滋SDGsプロジェクト）として、京都市・大津市・京都新聞社と連携し、大阪・関西万博における地方創生SDGsブースでの取り組みパネルの展示による情報発信を行った。

【実施成果】

- パートナー企業同士の交流会 万博開催期間中の実施はないが、女性の働きやすい職場づくりなど自社でできるSDGsに関する取り組みの意見交換などにつながっている。
- かめおかSDGsパートナー宣言制度 登録団体 94社（令和7年10月31日現在）
- 地方創生SDGsブースパネル展示 5日間（令和7年5月28日～6月1日）

実施主体

亀岡市、連携企業

【問い合わせ窓口】 亀岡市企画調整課

実施場所

亀岡市内

実施時期

通年

関連HP

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/sdgs/list419-958.html>



その他

—

万博後の取組

一定制度の浸透ができてきているものの、登録者数が鈍化傾向にあることから、更なるパートナー企業の開拓が必要。今後は、登録企業同士の交流の場をさらに増加させることで、プラットフォームとしての価値を高めていく必要がある。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 令和7年9月1日～10月15日の1か月半の期間で、「イチジクスタンプラリー2025」を開催
- 期間中に城陽市にある協賛店舗や施設でイチジクを使った商品を購入・飲食し、スタンプを2つ集めて応募すると、抽選で80人の方に参加店舗で使える商品券をプレゼントするもの

【実施成果】

- 協賛店舗数28店舗
- 応募件数766件 応募者数611名
- 市内からの応募件数313件、市外からの応募件数453件。市外からの応募者の割合が前年度より増加し、東京都や愛知県からも応募があった。（全体の応募件数のうち、市外からの応募件数の割合は4.5%増。1日あたりの市外からの応募件数の割合は22.6%増えた。）

実施主体

城陽市

【問い合わせ窓口】城陽市農政課・商工観光課

実施場所

城陽市内

実施時期

9月1日～10月15日

関連HP

イチジクスタンプラリー2025HP

その他

英語版の「イチジクスタンプラリー2025」ホームページを作成



万博後の取組

府外は東京都や愛知県の方からご応募いただき、城陽市外からの応募者の割合が増加し、半数以上を占めるなど、市内外で「完熟イチジクのまち 京都城陽」を認知されている状況である。また、英語版HPの効果により、直売イベントにおいて、海外の方がイチジクを購入される光景が見受けられた。今後も認知度向上のため、PR活動を行っていく予定。

実施概要及び成果

【実施概要】

市内外の方々に、歴史や自然あふれる「ふるさと向日市」の魅力に触れてもらえるよう、DXの技術を活用した「向日市ふるさとWeb検定」を実施する。

歴史や文化など市のことを学び、おもてなし力を高めることで、万博を始めとする観光客受入れの機運を醸成する。

- 実施区分：初級、中級、上級
- 出題範囲：歴史、文化、自然、観光、産業、市政一般など
向日市に関すること全般に加え、万博に関連した問題も出題

【実施成果】

- 受検者数：初級432人、中級6人、上級5人
- 合格者数：初級172人、中級4人、上級4人

実施主体

向日市

【問い合わせ窓口】向日市産業振興課

実施場所

Web

実施時期

9月8日～12月21日

関連HP

向日市HP
<https://www.city.muko.kyoto.jp/soshiki/15/13261.html>

その他

検定合格者（中級・上級）には記念品を贈呈



万博後の取組

引き続きWeb検定を通じて「ふるさと向日市」の魅力発信につなげていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 長岡京市は「京都式軟化栽培法」と呼ばれる伝統農法で手間暇かけてたけのこを育てており、京たけのこの名産地として知られている。それらのたけのこを味わえる店を網羅したマップを作成し、掲載店舗を訪れてアンケートに回答した人に抽選でプレゼントを贈る企画を実施することで、長岡京市を訪れ、楽しんでもらう動機を創出する。

【実施成果】

- 春の観光まつりに、長岡京のたけのこフェアのパンフレットを配布。約1,000部のパンフレットが完配し、多くの方へ長岡京市を知ってもらいきっかけにつながった。
- 長岡京のたけのこフェアの参加店舗による新メニューの開発や、新規の掲載店舗が増える等 事業者の自発的な取組につながった。
- Webアンケートは105件の回答があり、フェアによって長岡京市を知った層が22.9%、初めてたけのこを食べた層が38.1%といずれも前年度数値より向上しており、地域ブランドイメージを高めることにもつながった。

実施主体

長岡京市・長岡京市観光協会

【問い合わせ窓口】長岡京市商工観光課

実施場所

長岡京市内

実施時期

令和7年3月29日～5月6日

関連HP

<http://www.nagaokakyo-kankou.jp/index.html>

その他

—



万博後の取組

・Webアンケートの結果を分析すると、年代では50代が31.4%、40代が25.7%と前年度よりも40代の回答の割合が伸びる結果となったが、若年層からの回答が伸び悩んだ。アンケートの結果を元に、ターゲット毎の最適な情報発信方法の検討を行い、観光目的地としてまちの魅力発信を行う必要がある。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 今から80年前の昭和20年7月19日に新神足村で米軍の空襲を受け、1人の犠牲者と数人の負傷者を出した。二度とこのような悲劇を繰り返さないことを誓い、平和の尊さを後世に伝えるため、平成元年に7月19日を「平和の日」と定め、毎年7月に平和を考える市民フォーラムを実施し、市民の皆様は平和について考える機会としている。

【実施成果】

- 平和フォーラム当日の参加者は延べ280人であるが、講演会では親子連れも多く参加いただいた。また、事前に募っていた「折り鶴」の献納者数は、昨年より2倍となっており、戦後80年の節目の年として、広い世代に対し平和の大切さについて考える機会を提供することができた。

実施主体

長岡京市・長岡京市教育委員会

【問い合わせ窓口】 共生社会推進課

実施場所

長岡京市立中央公民館 他

実施時期

令和7年7月19日

関連HP

<https://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000001585.html>



その他

講演会には、託児・手話通訳・要約筆記・ヒアリンググループ使用対応有

万博後の取組

戦争を体験された方が少なくなってきた中、戦争の記憶が風化し、平和が当然のように受け止められていることが課題である。今後も戦争の記憶を記録として受け継ぎ、平和の大切さについて継続した啓発活動を通じて次世代に戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えていきたい。

実施概要及び成果

【実施概要】

未来社会に対し、伝統・文化を見返すテーマとし、石清水八幡宮を中心に発展した八幡のまちのストーリーを、社寺を活かしたイベントやお茶の体験イベントの実施により発信

- ①石清水八幡宮でのライトアップイベント
万博閉幕後も見据えた継続的な賑わい創出のため、国宝「石清水八幡宮」ライトアップイベントとして「鎮守の杜ナイトウォークinやわた」を開催
- ②市内社寺などの文化財特別公開
市内社寺においてガイド協会のガイドとともに重要文化財等の特別公開を実施
- ③茶道をはじめとした文化体験イベント
八幡市立松花堂庭園・美術館で開催する月釜会、日曜茶席等を実施

【実施成果】

- ①・来場人数3,000人
・夜間特別解放し、ライトアップされた石清水八幡宮の境内等を散策していただくことで、市内外からの来場者に対して、本市が取組む歴史的資源を活用した文化観光まちづくりをPR
- ②・各社寺において、重要文化財を含む特別拝観・公開がガイド協会のガイドとともに実施されることで市内外からの拝観者に対して、本市の歴史文化を発信
- ③・総参加人数 753人（月釜会 計5回 参加人数458人、日曜茶席 計6回 参加人数176人、忌茶会 1回 参加人数119人）

実施主体

- ①鎮守の杜ナイトウォーク実行委員会(八幡市、八幡市観光協会 他)
- ②市内社寺③松花堂庭園・美術館・松花堂月釜会

【問い合わせ窓口】 八幡市商工観光課

実施場所

- ①石清水八幡宮②市内社寺③松花堂庭園・美術館

実施時期

- ①10月11日(土)～10月13日(月・祝)② 4月下旬～5月中旬③ 4月中旬～10月中旬

関連HP

- ①②(一社)八幡市観光協会HP
<https://www.kankou-yawata.org/>
- ②八幡ストーリー & ガイド
<https://www.city.yawata.kyoto.jp/yawata-story/>
- ③八幡市立松花堂・庭園美術館 <https://shokado-garden-art-museum.jp>



その他

—

万博後の取組

- ①1. 境内の夜間特別解放及びライトアップを行うことで特別感を演出したことにより、一定の集客効果があり、来場者アンケートも高評価が多いことから歴史的資源を活かしたイベントの有効性を把握したが、山上でのイベントであった為、山下の店舗や市内の他の観光地等との繋がりをもたせる工夫が課題となった。
2. 本イベント単体のみではなく、同時開催で日中は市内の歴史文化施設等や市内店舗を知ってもらえるよう、市内を周遊してもらえるイベントやコンテンツの造成等の実施を検討する必要があると考えており、市内民間事業者とも連携しつつ、関係人口を創出することが必要。
- ②1. 各社寺でそれぞれ特別公開等を行っている為、各社寺の特別公開情報等の歴史文化を活かした事業の周知方法について検討が必要。
2. 秋には市内社寺等による文化財一斉公開を行っており、一元的に情報発信が行われている為、それに準じた情報発信の検討が必要であり、継続的に市内歴史文化の魅力発信を行う。
- ③茶道をはじめとした文化体験は、日本文化を世界に発信する上で重要である。今後とも継続的な情報発信と茶会の実施が必要。

実施概要及び成果

【実施概要】

かわまちづくりの拠点となる背割堤周辺での民間活力による水辺のアクティビティ創出や、万博開催後を見据えた、国・府等が中心となり実施する舟運イベントと連動したにぎわい創出イベントの実施

①三川マルシェwith八幡アクティビティ

淀川沿川の5つの会場で開催された、淀川を活用したイベント「淀川舟運フェスティバル」の八幡会場として、背割堤にて「三川マルシェwith八幡アクティビティ」を実施

②木津川川下り

流れ橋（上津屋橋）から淀川河川公園背割堤地区まで、カヤック、SUP(スタンダップパドルボード)、ラフティングボートでの木津川川下りを実施

【実施成果】

①・来場者数1,200人（2日間合計）

・マルシェやスポーツ体験、はたらくるまの展示、講演会などを実施し、桜の時期以外にも川辺のにぎわいを創出

②・参加者数19名（定員20名）

・木津川での水辺のアクティビティを実施することで、川辺のにぎわいづくりの取組をPRするとともに、ニーズの調査を行った。

実施主体

- ①八幡市かわまちづくり協議会（八幡市、淀川河川公園管理センター 他）
- ②主催：八幡市、主管：株式会社アオキカヌーワークス、協力：淀川河川公園管理センター

【問い合わせ窓口】八幡市政策企画課

実施場所

- ①淀川河川公園背割堤地区
- ②上津屋橋から淀川河川公園背割堤地区

実施時期

- ①5月10日（土）～5月11日（日）
- ②7月27日（日）

関連HP

—

その他

—



万博後の取組

- ①1.ブースの内容については一定の集客効果があることが分かったが、広報の面で課題が残る。また、天候の影響により路面の状況が悪く、大型車両などブースの配置に注意が必要となった。
- 2.引き続き情報発信を続けながら、実証実験を積み重ねることで川辺のにぎわいづくりの取組について周知を図る。また、ブース出展場所の路面整備など、必要な整備について検討を進める。
- ②1.アンケートの結果などから、水上アクティビティへの参加意欲が高く、リピート意向の高さも伺えた。一方、更衣室やシャワー室等の設備面、料金設定等については検討が必要。
- 2.継続的に実証実験を実施し、機材搬入など運営面も含めて必要となる整備方法等について検討を進める。

実施概要及び成果

【実施概要】

- デザイン・設計に東京大学川添研究室を迎え、「ものづくりのまち」久御山の企業が連携し技術力を結集して製作した「久御山町『黄金の茶室』」を久御山町役場 1 階ロビーに常設展示している。
- 大阪・関西万博開催半年前機運醸成イベント「京都イロドリEXPO こといろ」に、「久御山町『黄金の茶室』」のポスター、パンフレット等を配置しPRを行った。
- 関西パビリオン多目的エリアにおける「KYOTO FOOD EXPO」にて、「久御山町『黄金の茶室』」を展示する。

【実施成果】

- 10月1日から5日間「KYOTO FOOD EXPO」にて「久御山町『黄金の茶室』」を展示し、多くの万博来場者に「ものづくりのまち」久御山を周知することができた。また、茶室内で行ったお茶席では、5日間で165名の方に久御山の特別なお抹茶で茶席体験いただくことができた。

実施主体

久御山町および町内企業

【問い合わせ窓口】 久御山町事業環境部産業・環境政策課

実施場所

久御山町役場 1 階ロビー
関西パビリオン多目的エリア

実施時期

万博期間中
※ KYOTO FOOD EXPO
令和 7 年10月 1 日～ 5 日

関連HP

<https://www.town.kumiyama.lg.jp/0000002648.html>

その他

—

万博後の取組

万博後もイベント等の開催に合わせて『黄金の茶室』を展示することで、久御山町内企業のものづくりの技術力を発進する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ・令和7年3月に開業したホテルを核としたビジネス支援および観光入り込み客数増加
- ・まちの駅クロスピアくみやまオープン15年記念イベントとクロスピア市を年合計10回程度開催
- ・まちの駅クロスピアくみやまで、事業者間の交流等を目的として、電源設備、Wi-Fi、フリードリンク、防音ブースなどを整えたコワーキングスペースを本格実施し、有機肥料栽培の野菜や、町内事業所の加工品など、久御山の特産品などの販売コーナーの機能を強化
- ・ホテルに滞在する町内企業訪問のエンジニア等に対するまちの駅クロスピアくみやまの利用促進
- ・お茶の京都DMOや山城地域の市町村と連携した観光振興（万博を含む）
- ・ホテル立地支援協力会議によるコンテンツの検討

【実施成果】

- ・まちの駅クロスピアくみやまにおいて、コワーキングスペースを本格実施し、利用者は大幅に増えている。また、オープン15周年イベントに加えてクロスピア市を開催し、令和7年度上半期で約5,000人の集客を得た。
- ・ホテル開業以降の利用率は高く、観光入込客数は増加している。（ホテル開業以降の観光入込客数集計は令和7年度末）

実施主体

久御山町

【問い合わせ窓口】 久御山町事業環境部産業・環境政策課

実施場所

まちの駅クロスピアくみやま

実施時期

令和7年春、10月19日、その他

関連HP

<https://www.town.kumiya.ma.lg.jp/0000000520.html>

その他

—



万博後の取組

万博後もホテルとまちの駅クロスピアくみやまと連携し、南大内地区のにぎわい創出に取り組む。

「淀川舟運×久御山町」魅力発信

実施概要及び成果

【実施概要】

- ・淀川舟運活性化協議会の参画団体による、淀川の舟運を活かしたにぎわいづくり
- ・久御山町の魅力を発信するため、淀川舟運と連携した取組の検討
- ・久御山町かわまちづくり構想の策定
- ・令和6年度に整備予定の仮設船着場を活用して、宇治川周辺市町による連携イベントの検討

【実施成果】

- ・万博開幕 6ヶ月前イベント「トレインマーケット宇治」に出展し、久御山町の農産物等を販売・P Rした。
- ・淀川舟運フェスティバル開催に合わせ、久御山町の船着場でもBMX体験をはじめ様々な体験やイベントを実施した。
イベントには約700名が参加し、参加者からは、幅広い世代が楽しめる多数コンテンツによって楽しめた等の意見があった。

実施主体

淀川舟運活性化協議会、久御山町

実施場所

淀川沿線市町村 他

【問い合わせ窓口】 久御山町事業環境部産業・環境政策課
久御山町都市整備部建設課

実施時期

令和5年度～

※万博開幕 6ヶ月前イベント：令和6年10月13日

関連HP

—

その他

—



万博後の取組

万博後も淀川舟運事業と連携し、久御山町の魅力を発信する。

実施概要及び成果

【実施概要】

公共交通との調和や環境負荷の低減、住み続けたいと思える魅力あるまちづくりなど、健康増進のみをターゲットとする事業ではなく「“歩く”をテーマとしたまちづくり」まで昇華する事業展開を実施。

本事業の推進により、健康増進や介護予防に住民が自ら取り組み「健康寿命の延伸」や「医療費の削減」、「生涯スポーツの推進」を目指す。また、“歩く”ことを通し、地域連携強化による防災力の向上、地場産野菜生産者等との交流、官民学連携による取組などを実施。

- ▶ 歩くまち宣言記念イベント（ウォーキングイベント）
- ▶ 歩くまちシンポジウム（効果的な歩き方・“歩く”効果等に係る講演会）
- ▶ 住民主体による“歩く”情報発信・町内企業や官民学連携ウォーキングイベント 等

【実施成果】

令和6年11月3日実施の歩くまち宣言記念イベントでは、町制施行70周年記念に因んだイベントとして、「タイムトラベルウォーク」と題したイベントに約70人の参加があり、町内を巡った。

令和7年2月16日実施の歩くまちシンポジウムでは、一般社団法人ブレインインパクト理事長の山川義徳氏を講師として招き、「脳を良くするまち歩き」と題した講演に41名の参加があり、効果的なウォーキング等を学んだ。

- ▶ 上記イベントや日々の情報発信等により、歩く文化の定着に向けて事業を推進し、参加者の健康寿命延伸を図る取組ができた。
- ▶ 令和7年10月25日実施の「ナイトウォーク」では、住民主体の協議会が中心となったウォーキングイベントを実施し、約100名の参加があった。

実施主体

久御山町
久御山町歩くまちくみやま推進協議会

【問い合わせ窓口】 久御山町生涯学習応援課
久御山町民生部国保健康課

実施場所

久御山中央公園
久御山町役場 等

実施時期

令和6年11月3日
令和7年2月16日 ほか

関連HP

—

その他

- ・あらゆる人のライフスタイルにあった“歩く文化”の定着を図る。
- ・身体に障がいを持つ方、外国籍の方の参加など、あらゆる人の参加を求める。



万博後の取組

“歩く”ことを通した事業推進により、町民・在勤者等の健康寿命の延伸を図る取組等を万博後も継続して実施。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ①京たなべ玉露庵において、玉露の淹れ方もしくは抹茶の点て方体験および案内所職員やボランティアガイド協会会員による観光案内を行う。
- ②「京田辺DEひとやすみキャンペーン」を実施する。
 - ・キャンペーンチラシの原本を持参すると、京たなべ玉露庵で玉露の淹れ方もしくは抹茶の点て方を無料で体験できる。
 - ・口頭で「京田辺DEひとやすみキャンペーン」と伝え、市内の飲食店・小売店などの対象店舗をお得に利用できる。

【実施成果】

- ①京たなべ玉露庵において、玉露の淹れ方もしくは抹茶の点て方体験および案内所職員やボランティアガイド協会会員による観光案内を行った。
万博閉幕までの玉露の淹れ方もしくは抹茶の点て方体験利用者数：187人
- ②京田辺市への誘客および市内の消費額の増加を促した。
キャンペーンでの玉露の淹れ方もしくは抹茶の点て方体験利用者数：169人 店舗特典利用者数：65人
感想：玉露の美味しさに驚きました。キャンペーンがなければ訪れる機会がなかったので良い機会でした。など

実施主体

京田辺市、(一社)京田辺市観光協会

【問い合わせ窓口】京田辺市産業振興課、(一社)京田辺市観光協会

実施場所

京田辺市観光案内所、他

実施時期

7月19日～12月28日

関連HP

<https://www.city.kyotanabe.lg.jp/0000022509.html>

その他

—

万博後の取組

- ・万博を契機に京都・大阪・奈良を訪れる人に京田辺市へ一足のぼしていただくとともに、京たなべ玉露庵でのお茶体験等を通じて特産品である玉露やまちの魅力を直接感じてもらえる機会となった。
- ・万博終了後も、誘客事業として年内まで実施した。

丹後万博（市内の高校生によるSDG s の祭典）

京丹後市

実施概要及び成果

【実施概要】

- 令和4年から大阪・関西万博開催の前年まで3年間実施
- 市内高校生を中心に組織された実行委員会により運営され、SDG s の祭典として開催
- ステージではファッションショーやダンスの披露、展示・販売では健康長寿食や地元食材を生かしたオリジナルフードを販売するなど市の特色を生かした出展となった

【実施成果】

- 来場者実績 3年間で延べ約7,500人（毎年2,500人が来場）
- 市内高校生を中心に、地域の様々なステークホルダーが参画し、地域でSDG s の理念の浸透を図ることができた。

実施主体

丹後万博開催実行委員会

【問い合わせ窓口】丹後万博開催実行委員会 事務局
（京丹後市 政策企画課）

実施場所

京丹後市内

実施時期

令和4年10月～令和6年10月

関連HP

<https://kyotango-sdgs.jp/blog/1008/>


その他

—

万博後の取組

- ・万博開催前より実施することで、結果的に機運を高める取組の一つとなった。しかし、万博開催年度に実施することが叶わなかった。
- ・2030年のSDG s 達成の年に向け、万博後においては学生が参加し、発表の場となりうる取組の実施を検討する。

魅力的な地域資源である自然環境の保全活動

実施概要及び成果

【実施概要】

- 山陰海岸ジオパークの景観や自然環境保全のため「水晶浜大作戦」「ビーチ斉グリーン作戦」など多くの取組を実施
- 「ワンハンドビーチクリーン」や「はだしのコンサート」により観光客の方にもビーチクリーンに参加していただいた
- 新緑を楽しみながら森の働きを学ぶブナ林観測会も実施

【実施成果】

- 参加者実績 約860名
- 参加者に対して、本市が誇る豊かな自然環境への保全意識の普及・啓発を行うことができた
- 市民のみならず来訪者にも環境保全のアクションを取っていただくことで「観光SDGs」のまちとして取組を推進できた
- アンケートからは「大自然に触れることができ大変よかった」「参加できてよかった」など、参加者の満足度は高かった

実施主体

環境保全活動を行う民間団体、
京丹後市

【問い合わせ窓口】京丹後市生活環境課

実施場所

京丹後市内

実施時期

令和6年6月～令和7年9月

関連HP

—



その他

—

万博後の取組

- ・ビーチクリーンをバケツリレー形式で行うなど、女性・子どもでも参加しやすい取組としたことで、山陰海岸ジオパークの景観や自然環境を守る機運を高めることができたが、ますますの参加者の確保に努めたい。
- ・万博後においても市民や来訪者をはじめ、誰もが参加しやすい取組の実施を進める。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 令和7年4月に網野銚子山古墳史跡整備完了記念イベントが開催され、式典だけでなくブース出展や古墳巡りツアーを行った。
- 令和7年9月～12月にかけてアートフェスティバルを行い、市内で多くの文化芸術活動が実施された。フェスティバルを市内外に発信するため、本市の特色でもある古墳をモチーフにしたアートマップを一部、日英表記で作成、市内外及び万博関係各所で配布した。

【実施成果】

- 来場者実績 延べ1,000名（網野銚子山古墳）
- 網野銚子山古墳整備完了に合わせて、市内外から多くの方に来場いただき、文化財の利活用を考えるきっかけとなった。
- アートフェスティバルでは、古墳や郷土資料をモチーフにした創作WS（参加者26名）を行い、参加した市民がその成果を発表。地域に誇れる文化資源があること、またその奥深さに気づきを得た。

実施主体

京丹後市教育委員会等

【問い合わせ窓口】京丹後市教育委員会 生涯学習課

実施場所

京丹後市内

実施時期

令和6年度～

関連HP

<https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/kyoikuinikai/syogaigakusyu/7/kyotangoartfes/index.html>



網野銚子山古墳史跡整備完了記念イベント



京丹後アートフェスティバル2025 WS成果発表

その他

アートマップを日英表記（アートフェスティバルで使用）

万博後の取組

- ・万博開幕直後に行われた網野銚子山古墳史跡整備完了記念イベントでは、古墳巡りツアーといった文化資源を活用したツーリズムが実施され地域振興に繋ぐことができた。
- ・万博後においても文化財のほか、地域の文化資源を活用した文化芸術事業を行うことで、それらを活かしたまちづくりを実施していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博開催日である4月13日より市内事業者への受け入れを開始
- FacebookやInstagramにおいて市内事業者を紹介
- イベント型オープンファクトリーとして10月3日～5日の3日間、与謝野町と連携し「NeoTAN」を実施

【実施成果】

- 来場者実績（イベント型）3日間で約1500名
- 本市を技術力の高いものづくりのまちとして周知することができた
- 与謝野町と合同でオープンファクトリーを広域的に行い、参加者だけでなく事業者間でもつながりが生まれ始めている
- アンケートからは「丁寧な説明だった」「WSなど体験できて良かった」などの声が多く、来場者に楽しんでいただけた

実施主体

市内各事業者、京丹後市

【問い合わせ窓口】京丹後市 商工振興課

実施場所

京丹後市内

実施時期

通年実施

関連HP

- ① <https://www.facebook.com/share/19gsz3kipC/?mibextid=wwXifr>
- ② <https://neotan.jp>



その他

—

万博後の取組

- ・万博開催に合わせてオープンファクトリーを実施し、他の産地や近畿経済産業局などとも交流・連携することができた。しかし、高速道路が整備されたとはいえ京阪神からは距離があり、域外からの集客に苦戦した。
- ・万博後においても産業振興のためオープンファクトリーを実施する。また、広報PRについて工夫しより多くの来場者確保を目指す。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博開催及び日本抗加齢医学会に合わせ、6月16日～19日の4日間、本市でサミットを開催
- 海外12か国から参加があり、健康長寿における食や細胞、循環器等様々な分野の研究成果を発表
- その他に、市民公開講座を実施し、市民に対しても健康長寿について触れる機会を提供
- 会場外ではヘルスツーリズムや美食などの紹介を実施

【実施成果】

- 来場者実績 4日間で延べ550名
- 海外からの参加国は12か国であり国際的な会議で健康長寿に関する知見を共有することができた
- サミットの様子は多くのメディアに取り上げられ本市が健康長寿のまちとして発信できた

実施主体

世界長寿サミット実行委員会

【問い合わせ窓口】京丹後市 商工振興課

実施場所

京丹後市内

実施時期

令和7年6月16日～19日

関連HP

<https://glm-p.com/wls2025/>



その他

サミットでは英語が主言語（字幕が日本語）、健康長寿に関連した食の提供

万博後の取組

- ・万博を契機に実施した世界長寿サミットを、百寿者の多い本市において実施できたことにより、認知度を拡大することや、国内外の研究者や専門家のシンポジウム等で関係者同士の交流を行うことができた。しかし、若年層との接点が少なく「健康長寿」を全世代の課題とできなかった。
- ・万博後においても関係各所と世界長寿サミットを継続して実施できるよう調整・検討を行いサミットの実現を目指す。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「日本最後の城-園部城-」で進めているVR制作業務の画像を万博期間に併せて公開した。公開とともにVR体験ツアーを2回実施し観光資源である「園部城」を積極的にアピールした。

【実施成果】

- VR体験ツアー（有料）は、1日目4名、2日目2名の計6名で、参加者アンケートでは、「ガイドつきでいつも通り過ぎるだけの所がまた違って楽しく見られました」や「VRをスマホで見たときは感動しました」など好評であった。VR見学者は、9月140名、9月～3月の7カ月で980名ほどを見込んでいる。また、園部駅西口の観光協会窓口には一日平均5人程度、園部城の問い合わせがあり、パンフレットを配布するなどの対応を行っている。

実施主体

南丹市・南丹市観光協会

【問い合わせ窓口】南丹市商工観光課 0771-68-0050

実施場所

南丹市園部町市街地周辺

実施時期

令和7年9月6・13日（土）

関連HP

観光協会HP

その他

-



万博後の取組

体験ツアーについては、参加者からは「また参加したい」という声も多く、好評であったため、観光のコンテンツとして考えていきたい。また、広報についても各機関と調整して進めていきたいと考えている。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博に合わせて南丹市の歴史と文化を紹介する展示会を開催
 - ・春季展「昭和100年～激動の時代を新聞号外で振り返る～」(南丹市立文化博物館)
昭和100年を記念して、新聞号外で当時の歴史を振り返る。
 - ・夏季展「戦争と南丹市」(南丹市立文化博物館、南丹市日吉町郷土資料館)
戦後80年を節目とする戦争の悲惨さと平和の尊さを遺された資料や写真で紹介。
 - ・秋季展(10月18日～12月7日 南丹市立文化博物館)
園部藩主小出氏10代の事績を絵図や古文書等を用いて紹介。

【実施成果】

- 春季企画展「昭和100年展」は、個人収集家の号外100点を展覧し、351人の来館があった。利用者からは当時出来事を懐かしむ声が聞かれた。夏季企画展「戦争と南丹市」においては、平成24年からの継続事業として開催しているが、本年は戦後80年の節目でもあり、日吉町郷土資料館との共催とし、両館で820人の来館があった。また、期間中に2回実施したミュージアムトークでは両日で19名の参加があった。秋季展については、南丹市の歴史のメインテーマの一つである園部藩小出氏を取り上げた。当初、目標人数を800人を想定していたが、423人となった。目標数には届かなかったものの、期間中コンスタントに利用者を迎えることができた。

実施主体

南丹市教育委員会

【問い合わせ窓口】 南丹市立文化博物館

実施場所

南丹市立文化博物館

実施時期

春:4月26日～6月15日、夏:7月19日～9月15日
秋:10月18日～12月7日

関連HP

<https://nantan-museum.jp>

その他

—



万博後の取組

夏季展では万博を契機に、博物館・資料館の展示会を共通テーマで実施することができた。ただ、亀岡の保津川下りや美山のかやぶきの里を目指す海外からの来館者はあるが、博物館・資料館への来館はみられなかった。以前からの課題でもあるが広報不足を感じており、SNSの種類や更新回数を増加させる取組を進める。また、南丹市の魅力を発信するため調査活動を継続実施する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- けいはんな万博2025に参画し、市域を越えた広域的な芸術祭を開催
- 木津川市役所周辺、けいはんな精華・西木津地区を舞台に日常的な空間と現代アートの融合による地域芸術祭
- アート×企業」をステージとし、学研都市の特徴である最先端の「テクノロジー」「サイエンス」「教育」を最大限に生かし、市の魅力を万博を通して多くの人に伝えるために「産業・まち・社会」をアートで繋ぐ

【実施成果】

- 来場者 25,000人（木津川市役所周辺約11,000人、けいはんな精華・西木津エリア約14,000人※イベント含む）
 - 150人からのアンケート結果では85%以上の方が内容にとても満足、満足と回答
- 前回と比較し、けいはんな万博に参画したことで土日のイベントへの参加の増加や他もイベントとの相乗効果で来場数が増加した

実施主体

木津川アートプロジェクト

【問い合わせ窓口】一般社団法人木津川市観光協会

実施場所

木津川市役所周辺、けいはんな精華・西木津地区

実施時期

令和7年9月27日～10月13日

関連HP

—

その他

—



万博後の取組

- ・25,000人の来場は前回と比較しても10,000人程度増加しており、多くの方に木津川市の魅力を発信することができた。
- ・万博後は木津川市内をメインに展示を行うが、学研都市の特徴である最先端の「テクノロジー」「サイエンス」「教育」をアートと融合させ発信を強化し、木津川市の特徴を多くの方へ認知いただく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 自然観光・歴史体験：修験道の歴史を感じながら、笠置山が持つ自然美、行場巡りといった特色を深掘りし、観光客に独自の魅力を感じてもらおう。
- 笠置山は京都府立自然公園に指定、国の史跡及び名勝地にも指定されており、自然景観が守られ、貴重な動植物が保全されている。観光資源としてのブランド力を万博を機にPRする。

【実施成果】

- 万博期間に合わせて、秘仏の特別拝観を実施。定量的数値は未確定だが、海外からの来訪者が増加（関東ナンバーのレンタカー利用等）した。また、町内事業者によるE-bike体験が事業化されるなど、新たな商品造成に繋がっている。

実施主体

笠置寺

【問い合わせ窓口】笠置寺

実施場所

笠置寺

実施時期

通年

関連HP

<http://kasagidera.net/>

そ の 他

パンフレット（英語・簡体語）を作成した。



万博後の取組

①コトを起こせば誘客に繋がる気運が造成され、笠置寺のみならず、町内事業者と連携した取組みの気運が高まった。しかしながら、看板表示等の受け入れ態勢の改善が急務。②デジタルマップ（<https://tabirecipe.com/recipe/kasagi>）を作成。多言語表示に対応しており、町の魅力を伝達するツールを強化していく。

天王山ハイキング「秀吉の道」

大山崎町

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大山崎町のシンボル「天王山」は、豊臣（羽柴）秀吉と明智光秀が戦火を交えた「山崎合戦」の舞台であり、歴史的なゆかりの地としてはもちろん、駅から登山口も近く、標高272mの登りやすい山として、地元住民や観光客に愛されている。万博に向け天王山ハイキング「秀吉の道」として発信し、天王山へ訪れた観光客に景色を楽しんでもらうとともに、歴史や京都～大阪のつながりを感じてもらうことで、天王山、大山崎町、ひいては京都～大阪の魅力を国内外の方に知っていただく。
- 天王山の頂上は京都～大阪方面が一望できるロケーションだが、現在は雑木が茂っており、クリアに見通すことができない。そこで、万博を契機に来場する観光客等により一層魅力を感じてもらえるよう、不要な雑木を伐採し、観光コンテンツとしての磨き上げを行う。

【実施成果】

- ハイキング道にある段差の解消のため擬木階段修復工事を行ったほか、山頂付近の雑木（約20本）の伐採や山頂までの道中各所に設置している歴史紹介登板画の修繕を行い、観光客の体験満足度を上昇させた。

実施主体

大山崎町

【問い合わせ窓口】大山崎町企画財政課企画観光係

実施場所

天王山

実施時期

令和6年5月～令和7年3月

関連HP

<http://www.town.oyamazaki.kyoto.jp/annai/kikakuzaisei/kannkou/kanko/machinokankosupotto/tenkawakemenotennozsan/965.html>

その他

—



万博後の取組

ハイキング道の整備に関しては一定の成果があったものの、整備を超えた取り組みには踏み出せなかったことが課題。今後はボランティアガイドなどを通じ、実際の観光客に対しよりよい観光施策につながる市場調査を行い、より親しみを持てるハイキング道にできるよう模索したい。

インバウンド向け周遊体験ツアー構築

井手町

実施概要及び成果

【実施概要】

万博を契機に、地域の魅力創出・発信のため、令和6年12月1日に井手町の自然や伝統工芸を体験できるモニターツアーを開催。

- たくみの里では鍛冶体験（鉄の皿作り）、陶芸体験（箸置き、陶器作り、絵付け）、木工体験（升作り）、餅つき体験
- 大正池グリーンパークではうちの竹炭・墨絵付け体験
- テオテラスいでは井手寺跡を見学した後、地域の特産品を扱うカフェや直販所を見学。

【実施成果】

- モニターツアーに参加した府内留学生16名、体験事業を実施する団体6団体
- 今後インバウンド向けの体験型周遊観光を行っていくにあたって、課題や改善点の洗い出しを行うことが出来た。
※令和7年度中に一般客向けの体験ツアーを行う予定で検討中

実施主体

井手町、たくみの里、大正池グリーンパーク

【問い合わせ窓口】 井手町企画財政課

実施場所

たくみの里、大正池グリーンパーク、テオテラスいで



実施時期

令和6年12月1日

その他

町の概要パンフレット（英語版）の配布

万博後の取組

今回の事業を通じて、町内事業者の連携が生まれ今後の発展に大きく期待できるものとなったが、一方で外国人観光客へのPR方法や交通アクセスの面での課題が生まれた。今後も引き続き、行政と事業者とが連携をはかり、井手町の良さを様々な方々に知っていただく体験ツアーの構築を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博の開催を機に、関西圏に国内外から多くの観光客が訪れていることから、お茶を通じた交流人口の増加・茶産業の発展を目指すため、お茶の魅力発信・PR事業として「宇治田原町お茶の未来EXPO」を開催
- 茶関連の町内の事業者による出展や、お茶、抹茶ラテ、お茶関連スイーツの販売、宇治田原町在住のシンガーソングライター「永谷茶門」氏による、ライブイベントを実施

【実施成果】

- 来場者数約100名。
- 当日は雨天のため想定より来場者数は少なかったが、約100名の来場者に対し、町のPRを行い、交流人口の増加を図ることができた。

実施主体

地域おこし協力隊

【問い合わせ窓口】 宇治田原町産業観光課

実施場所

西ノ山展望広場及びくつわ池自然公園

実施時期

令和7年10月4日（土）

関連HP

宇治田原観光情報サイト
(<https://ujitawara-kyoto.com/>)



その他

日本緑茶発祥の地ならではの「茶」に特化したイベントとし、近隣の宇治駅よりシャトルバスも運行した。

万博後の取組

万博を契機に西ノ山展望広場で大規模なイベントを開催し観光地としてのPRにつなげることができた。またシャトルバスの運行やシンガーソングライターによるライブなど広場開園以来初めての取組を実施し、今後のイベントへの参考にすることが出来た。想定より来場者数が少なかったため、事前の広報など課題を整理し、今後の取組に引き継いでいきたい。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 各種検(健)診・保健事業に関わる主体(町、京都府、民間企業、大学等)による啓発・計測ブース出展、ウォーキング・ニュースポーツ等の運動体験、AR・VR体験
- 医療専門職による個別相談と健康教育講座、子どもが参加できるワークショップや健康をテーマにしたゆるキャラショー

【実施成果】

- 来場者実績約140名(参考：町人口約8,600人)、子どもから高齢者まで多くの年代の住民が来場。
- アンケート結果(128名から回答)では肯定的な評価が94%、滞在時間は1～2時間が58%と最も多かった。来場者が楽しみながら健康づくりに関する計測や実践を行い、すべてのライフステージに応じた健康づくりの周知啓発と個々のヘルスリテラシーの向上につなげることができた。

実施主体

宇治田原町

【問い合わせ窓口】 宇治田原町健康対策課

実施場所

宇治田原町住民体育館

実施時期

令和7年5月17日(土)

関連HP

宇治田原町HP
[\(https://www.town.ujitawara.kyoto.jp/\)](https://www.town.ujitawara.kyoto.jp/)



その他

携帯型翻訳機(ポケットク)を配備

万博後の取組

- 万博出展企業の参画により官民連携を拡大し、関連事業として積極的な周知を行ったこと等により、多くの住民の参加につなげることができたが、一方で、町内人口の約6%を占める外国人の参加拡大にはつながらなかった。
- 万博後も毎年度、本イベントを開催することにより、年齢・性別・国籍を問わず、すべての住民の健康づくり・健康年齢の向上を図る重層的な取り組みを継続して実施する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- けいはんなヘルスケアパビリオンにおいて、茶摘み体験を4月23日・9月19日に実施。町内での茶摘み体験は人気のコンテンツの一つであるが、万博を契機に風景動画を投影しながら町外で茶摘み体験を行い盛況であった。
- 3月～11月、時速20キロ未満で公道を走るグリーンスローモビリティを運用し茶畑や町内商店を結ぶ周遊観光を実施。
- 万博会場（8月23日・24日、10月1日）で多種多様な和束茶のPRと茶生産者による和束茶の振る舞いを実施した。

【実施成果】

- 和束町の知名度向上と和束茶ファンの獲得：けいはんなプラザ和束茶の振る舞い約700名、大阪ヘルスケアパビリオンお茶摘み体験316名、関西パビリオン和束茶振る舞い約3,700名、万博フェスティバルステーション和束町ブース来場者約2,000名、関西パビリオン京都ゾーン和束町ブース来場者約500名、グリーンスローモビリティ周遊観光利用者：533人（令和7年3月～11月末まで）

実施主体

和束町・和束町地域力推進協議会

【問い合わせ窓口】まちづくり応援課

実施場所

和束町内・万博会場

実施時期

令和5年度～令和7年11月30日

関連HP

<https://www.town.wazuka.lg.jp/event/4421.html>



その他

令和6年度英語パンフレット作成し、万博会場等で配布、令和8年1月末に韓国語・中国語のパンフレットを作成。

万博後の取組

万博を契機に、茶生産者「茶の匠」自らが和束茶をPRすることで、生産者の顔が見えるPRを行うことが出来た。来場者も貴重なお話を聞くことが出来た、多種多様な和束茶をいただく事が出来たと好評だった。しかしながら展示や茶香服体験、和束茶の振る舞い等において、多言語化が十分でないこと、デジタルを駆使した展示方法の検討、和束茶や地域資源を生かした商談に繋がっていないこと、また、新規事業参入等企業誘致には至っていない。万博後も和束茶のPRを町内事業者や茶生産者とともにいながら、ビジネス機会の創出に向けた出展や事業者への支援に努める。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 音声合成等の先端技術を活用した「歌は時空（とき）を超えてⅢ 京町セイカコンサート」を開催
- けいはんなプラザを拠点とした文化事業やコンサート、科学体験教室の開催

【実施成果】

- 歌は時空（とき）を超えてⅢ 京町セイカコンサート 来場者数約700人、オンラインチケット販売数189枚
- 「はじめての上方落語」来場者数232人 けいはんなロボット体験教室来場者数57人

実施主体

精華町、けいはんな学研都市活性化促進協議会

【問い合わせ窓口】精華町企画調整課

実施場所

精華町内

実施時期

令和5年度～

関連HP

<https://www.keihanna-plaza.co.jp/event/council/>



その他

—

万博後の取組

音声合成や3Dモデル等先端技術と伝統的なクラシック音楽の演奏を融合させることで学研都市にふさわしい新たな音楽文化を創造することができた。コンサート映像をライブ及びアーカイブ配信することで学研都市域内外を問わず広く魅力を発信できたことから、今後もオンラインでの情報発信を通じて活動を飛躍させていきたい。

けいはんな万博関連イベント 「けいはんなビジネスメッセ」

精華町

産業

実施概要及び成果

【実施概要】

➤ けいはんな学研都市における最大級のビジネス展示会であり、出展事業者や来場事業者との効果的なマッチングを通じて販路開拓や新事業創出等を支援する。けいはんな万博の関連イベントとして、「けいはんなビジネスメッセ」を開催し、けいはんな学研都市内で行われる最新の研究発表や技術展示会において、学研都市としての研究開発の創発や産業活性化を推進するもの。KYOTO SMART CITY EXPO 2025と同時開催を予定していたが、令和7年度においては会場スペースが逼迫していたことからKYOTO SMART CITY EXPO 2025の単独開催となり、けいはんなビジネスメッセについては開催しなかった。

【参考:実施成果】

令和5年度 ・ビジネスマッチング展示会：リアル出展67社、オンライン出展76社 ・来場者計3,050人、有効商談件数113件
令和6年度 ・ビジネスマッチング展示会：リアル出展58社、オンライン出展61社 ・来場者計3,100人、有効商談件数169件

実施主体

公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構・精華町

【問い合わせ窓口】公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構・精華町商工推進室

実施場所

けいはんなプラザ

実施時期

令和5年10月5日～6日
令和6年10月3日～4日

関連HP

—



その他

—

万博後の取組

- ①リアル出展とオンライン出展を行うことで令和6年度では多くの事業者に出展いただくことができたが、出展者や展示内容が固定化する傾向が見られるため、出展内容や方法には工夫が必要。
- ②開催場所・時期や内容について、他類似イベントの状況を踏まえて再検討が必要。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 毎秋、他府県からも多くの人たちが訪れる、学研都市地域最大級のイベント
- 地元グルメや特産品販売（精華cafeなど）が軒を連ね、バンド演奏やダンスといった多彩なパフォーマンスで、老若男女問わず楽しむことができる催しを多数実施
- 令和7年度は万博会期に合わせ開催された「けいはんな万博」の連携イベントとして10月12日（日）に開催

【実施成果】

- 来場者数27,000人
 - ・精華町内：62.2%
 - ・精華町外：37.8%（京都府外：20%）
- アンケート結果では、「つながりができた。」や「来年も行きたい。」など絶賛の声を多くいただいた。

実施主体

せいか祭り実行委員会

【問い合わせ窓口】せいか祭り実行委員会事務局（精華町自治振興課）

実施場所

けいはんな記念公園、けいはんなプラザ

実施時期

令和7年10月12日（日）

関連HP

—



その他

—

万博後の取組

約27,000人もの方々に来場いただき、様々な催しを通して、地域交流や地域活動の活性化を図るとともに、住民や地域活動団体、企業等の交流、さらには町内外の方々の交流などを促進することができた。今後も継続的に実施し、更なる活性化を目指す。

むらびとのいとなみに触れる旅 産地を味わうシングルオリジン「むら茶」体験ツアー

実施概要及び成果

【実施概要】

【ハイヤーで行く】宇治茶の産地として確かな味と品質を誇る「むら茶(南山城村産のお茶)」を堪能できる特別体験

- ツアー① 茶農家と一緒に茶畑散策。製造ストーリーやこだわりを聞きながら“茶農家直伝”の飲み比べ体験を。
 ツアー② 京都・むら茶コンシェルジュが案内する日本遺産の茶畑散策。普段は入ることができない茶畑で、お茶の歴史や茶畑景観の秘密、品種や製法のことまで初心者向けに丁寧に解説。
 ツアー③ 京都・むら茶コンシェルジュの解説付き飲み比べ体験。セレクトした3種のむら茶を五感で感じることができる。お茶の魅力や淹れ方のコツも分かりやすくお伝えする。

【実施成果】

催行日程 ツアー①：2月21日(土)・3名参加 ツアー②：2月7日(土)・7名参加
 ツアー③：1月24日(土)・7名参加／2月14日(土)・5名参加

※参加は全て外国人留学生
 ※満足度 95%「非常に満足」

実施主体

南山城村

実施場所

南山城村内

実施時期

令和8年1月24日～2月21日

関連HP

MKトラベル > 京都観光タクシーツアー

その他

参加対象：インバウンド・日本人対応 ※宗教や文化の多様性に配慮した食事への対応を今後検討

【問い合わせ窓口】南山城村産業観光課



万博後の取組

広報・予約受付・繁忙期のガイド支援等を行う観光マネジメント団体を作り、継続的な経済循環を推進する

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博に合わせて京都の伝統芸能をPRする公演等を京丹波町内2箇所で開催（6月、9月、11月 伝統芸能常設館、10月 和知駅前等）
- 伝統芸能常設館及び和知駅前等では、万博会場にも出展した和知太鼓保存会による体験と実演の他、和知人形浄瑠璃の体験会を開催し、特産品の販売も実施した。

【実施成果】

- 来場者実績1,000名（伝統芸能常設館300名、和知駅前等700名）
来場者からは、「京都の伝統芸能を間近で体験することができ、太鼓や笛の音色は心に響いた。」などの感想を頂いた。

実施主体

和知太鼓保存会

【問い合わせ窓口】 京丹波町企画情報課

実施場所

伝統芸能常設館（京丹波町）
和知駅前等（京丹波町）



実施時期

令和7年6、9、10、11月

関連HP

和知太鼓保存会HP (<https://www.wachi-taiko.com/>)

その他

—

万博後の取組

- ・ 万博を契機に、伝統芸能をキーワードに様々な分野との連携したイベント等を開催し、京丹波町との関わりを作る機会を創出してきた。その結果、従前より来場者は、増加しており、万博効果が発現してきている。
- ・ 万博後は、パンフレット等の言語を多言語対応し、「京丹波伝統芸能文化サークル定期公演」として継続実施することにより、万博のレガシーとして次世代へ継承していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- HOTEL THE MITSUI KYOTO「京丹波栗アフタヌーンティー」開催
(10月1日～11月30日)
- 全国から有名な栗産地が集まり、それぞれが手掛ける個性豊かなモンブランを披露する「全国モンブラン大会2025」を開催し、日本のふるさと京丹波への誘客を実施した。

【実施成果】

- 全国モンブラン大会2025来場者実績2万3千人

実施主体

京丹波町

【問い合わせ窓口】 京丹波町企画情報課

実施場所

HOTEL THE MITSUI KYOTO (京都市)
京都府立丹波自然運動公園 (京丹波町)

実施時期

令和7年10、11月

関連HP

プレスリリース
(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000071.000054747.html>)



その他

—

万博後の取組

- ・ 大阪・関西万博2025の関西パビリオン京都ゾーンでは、京丹波栗をふんだんに使ったオリジナルスイーツの販売も実施し、万博から京都市や京丹波町への人の流れを構築してきた。
- ・ 今後も町外の皆様に京丹波の食文化を体感いただくとともに、地域内の生産者や事業者の励みにも繋がるよう多様な連携を通じて「栗の町 京丹波」のブランド力を向上し、食文化の継承を進めていく。

伊根の山海うみやーもんを再発見

実施概要及び成果

【実施概要】

- ・近隣市町及び観光客に対して伊根町の良さを広く伝え地産地消を推進する。
また、伊根町の地元産品を最高の状態で提供しPRすることにより、新規及びリピート観光入込客の増進を図り、地域経済の活性化に繋げる。
- ・連携自治体の特産品PRの場を提供する。

【実施成果】

- ・当日は、終日雨がよく降ったが、500人の来場者があり、賑わった。
- ・地元産物をたっぷり使用した模擬店での加工品等が並んだ。水産会社の出店もあり、新鮮な水産物を購入することができた。
- ・生産者からのご厚意で農産物の詰め放題を実施したほか、農産物を使用したおみそ汁をふるまい、いずれも大変好評だった。
- ・和東町、大阪府泉佐野市の出展ブースを設営し、それぞれの市町の特産品をPRすることができた。

実施主体

伊根町農林漁業振興会

【問い合わせ窓口】伊根町地域整備課0772-32-0505

実施場所

旧JA伊根支店

実施時期

令和7年11月9日

関連HP

—

そ の 他

—



万博後の取組

- ・万博を契機に、他の地方団体と連携を深め、事業を実施することが出来た。
- ・これからも連携自治体の特産品をPRする場を提供しつつ、伊根町産の農産物・海産物の魅力を広める取組を継続して行う。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 大阪・関西万博を契機に、日本を代表する短詩系文学の一つである俳句の魅力を国内外問わず発信し、海外在住者を含む、より多くの、より多様な方が俳句に触れる機会を提供する。
- ▶ 与謝野町蕪村顕彰全国俳句大会の開催
 - ・国際的なネットワークを持つ俳句団体（国際俳句協会）との連携
 - ・俳句について強い発信力を持つ俳句団体（日本伝統俳句協会、俳人協会、現代俳句協会）との連携

【実施成果】

- ▶ 事前投句数 自由題の部…2223句（746人）、前書俳句の部…633句（633人）
与謝野町合併20周年記念部門…438句（438人）
- ▶ 俳句大会参加者：130人
- ▶ 大阪・関西万博を契機とした国内外への魅力発信に加え、国際俳句協会や日本伝統俳句協会、俳人協会、現代俳句協会といった主要団体との強固な連携により、多様な層が俳句文化に触れる貴重な機会となった。

実施主体

与謝蕪村顕彰与謝野町俳句大会実行委員会

実施場所

与謝野町立生涯学習センター知遊館

実施時期

- ▶ 事前投句 6月20日（金）～8月19日（火）
- ▶ 俳句大会 11月30日（日）

関連HP

<http://kozan-bunko.sakura.ne.jp/haikuprize.html>

その他

-

【問い合わせ窓口】与謝野町教育委員会社会教育課



俳句大会（令和6年度の様子）



万博後の取組

「万博を契機に、日本を代表する短詩系文学の一つである俳句の魅力を国内外問わず発信し俳句に触れる機会を提供する」というコンセプトに賛同いただいた国際的、国内的に強い発信力を持つ俳句団体との連携が図れたため、次年度以降も、この連携を継続しながら、与謝野町蕪村顕彰全国俳句大会を開催する。

実施概要及び成果

【実施概要】

「ちりめん街道滞在交流マスタープラン実施計画」に基づき、与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区（ちりめん街道）の国による重要伝統的建造物群保存地区選定20周年を契機として、住んでよし、訪れてよしの持続可能な地域づくりのため、今までの歩みを確かめつつ、ここから近未来20年への意識を促すための記念イベントを実施。

- 町並みトークセッション・フラメンコLive・プロジェクションマッピングの実施
- 暖簾・伝統的建造物明示プレート・竹燈籠を作成し、ちりめん街道としての個性の打ち出しや光による演出を行う
- Music Fusion in Kyoto音楽祭と連携して実施

【実施成果】

- 参加者数：150人
- 各事業を通じて、地域の歩みや価値を共有し、今後の保存・活用につながる成果を得ることができた。
- トークセッションでは、次世代の参画の重要性を再認識し、他地域との交流により課題の共有を図ることができた。
- プロジェクションマッピングやフラメンコライブでは、新たな表現や文化的魅力の創出の可能性を確認できた。

実施主体

与謝野町

【問い合わせ窓口】与謝野町教育委員会社会教育課

実施場所

ちりめん街道一帯

実施時期

令和7年11月24日（月・祝）

関連HP

—

その他

—



ちりめん街道



万博後の取組

ちりめん街道重伝建選定20周年のイベントを通じ、多くの方に「ちりめん街道」を知っていただくとともに、地域の機運醸成につなげ、今後のちりめん街道の町並み保存や活性化につなげていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

環境共生コミュニティ総合対策の一環として、先人が育んだ素晴らしい伝統と自然豊かな環境を活かし、町民の暮らしと営みが持続・発展する循環型社会のまちづくりを目指すため、万博会場内で事業実施されている京テキスタイルプロジェクトとの連携による機運醸成イベントを実施。

- トークイベント：テーマ「環境にやさしい食育」、出演者「浅利 美鈴（総合地球環境学研究所 教授）」「尾藤 環（辻調理師専門学校）」「与謝野町長」ほか
- 和装品ちょこつりユース
- 「阿蘇シーサイドピクニック」とコラボ開催

【実施成果】

- トークイベント来場者数：32人 和装品ちょこつりユース利用者数：約250人
- トークイベントでは出演者それぞれの視点から環境や食育について意見を交わし理解を深めることができた。会場にはウェールズ元環境・教育大臣であるJane Davidson氏も来場されスピーチいただくとともに、11月にウェールズ（アベリスツイス）を訪問する高校生と面談いただくなど縁を深めることができた。
- コラボ開催した阿蘇シーサイドピクニックにも多数の来場者があり、来場者に対し町のリユース事業や自然循環農業のPRを行うことができた。

実施主体

与謝野町

【問い合わせ窓口】与謝野町農林環境課

実施場所

阿蘇シーサイドパーク

実施時期

令和7年9月28日（日）

関連HP

-

その他

-



トークイベント「環境にやさしい食育」をテーマに発言する登壇者たち



Jane Davidson氏（写真中央）も来場しリユース着物を着用

万博後の取組

食育について環境面からもアプローチすることができたため、今後の展開につなげる。京テキスタイルプロジェクトとのコラボにより、ちりめん産地である特徴を活かした和装品のリユース事業に初めて取り組んだため、次回以降の「ちょこつりユース事業」や、「阿蘇シーサイドエリアを活用したイベント」につなげていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

与謝野町は、令和8年3月1日で合併20年目を迎える令和7年度を記念期間とし、これまでを振り返り、これからを展望する様々な取組を展開。また、与謝野町では、協働のまちづくりを推進しており、多様な主体と連携（コラボ）することで、単独実施より大きな効果（シナジー効果）を実現。

- 与謝野町合併20周年記念式典（令和8年3月1日）、教育座談会（令和7年6月9日）
- みんなで多様性×人権を考えるつどい（令和8年2月28日）
- よさの魅力発信応援プロジェクト（合併20周年記念冠事業、公共施設等利用の住民向け企画、一体的な広報の実施）

【実施成果】

- 本事業の大きな柱として、町が掲げる「協働のまちづくり」を具現化し、行政と住民、多様な主体が連携（コラボレーション）することで、単独実施以上の成果を生むシナジー効果の創出を基本方針として事業を推進した。また、よさの魅力発信応援プロジェクトとして、町内各団体が実施した各種イベントを合併20周年記念冠事業として連携。住民向け企画としてクアハウス岩滝等への無料入館の実施や一体的な広報として与謝野町PRポスターを作成した。
- 合併20周年記念式典参加者数:300名、教育座談会参加者数:220名、みんなで多様性×人権を考えるつどい参加者数:245名
- 合併20周年記念冠事業連携事業数:36事業
- 公共施設利用住民向け企画無料入館者数:クアハウス岩滝（831名）、江山文庫（72名）、古墳公園（59名）、加悦椿文化資料館（8名）、三河内郷土資料室(2名)
- みんなで多様性×人権を考えるつどい（令和8年2月28日）
- 与謝野町PRポスター：4種類（B1）

実施主体

与謝野町

実施場所

合併20周年記念式典：生涯学習センター知遊館
 教育座談会：野田川わーくぱる
 みんなで多様性×人権を考えるつどい：野田川わーくぱる

実施時期

合併20周年記念式典：令和8年3月1日
 教育座談会：令和7年6月9日
 みんなで多様性×人権を考えるつどい：令和8年2月28日

関連HP

—

その他

—

【問い合わせ窓口】与謝野町



合併20周年記念冠事業ロゴマーク



与謝野町PRポスター

万博後の取組

多様な主体と連携（コラボ）することで、大きな効果（シナジー効果）を実現することができるため、次年度以降も、多様な主体との連携による事業を展開する。

また、一体的な広報を行うことで大きな効果を実現することができるため、積極的なプロモーション展開を進めていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

関西パビリオン 京都ゾーンへの与謝野ホップの出展（6月9日～6月15日）を契機に町への誘客と、特産品や体験コンテンツを体感いただく取組を実施。

- 与謝野町の特産品コーナーを拡大（道の駅シルクのまち かや、旧加悦町役場庁舎）
- ゆかたでぶらり♪ちりめん街道、ホップ収穫体験、与謝野駅100周年記念式典・与謝野駅100周年記念イベントとコラボ開催
- 与謝野駅、ちりめん街道、道の駅シルクのまち かや等を結ぶ周遊バスを運行

【実施成果】

- 与謝野町へ来場者数を増やすため、町内で特産品コーナーを2箇所設置し来町者へPRした。また、ちりめん街道を起点する周遊バスを7月12日運行し、25名の方をちりめん街道へ案内することができた。

実施主体

与謝野町

【問い合わせ窓口】与謝野町産業観光課

実施場所

道の駅シルクのまち かや
旧加悦町役場庁舎

実施時期

令和7年7月12日（土）～8月3日（日）

関連HP

-

その他

-



万博後の取組

周遊バスについては、PR不足等から利用者数が伸びなやんだこともあり、継続については未定である。
特産品コーナーについては、引き続き各方面で設置やホームページ等によりPRを図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

万博を地元が地場産業を知る契機とし、地域一体でオープンファクトリーに取り組み、魅力的なサテライトパビリオンとして発信し、与謝野町への誘客に繋げるとともに他地域の産地間での交流・連携を行い、共創を促進する基盤を構築する。

また、モノづくり現場における職人のワザ、こだわり、受け入れる気持ちなどをオープンにすることで、国内のみならず、世界中から訪れる人との交流、新しいアイデアの創出やコラボレーションを活性化させる場とし、与謝野町が持つ魅力の可視化・認知度を向上させる。

▶ オープンファクトリーの勉強会・交流会、オープンファクトリーイベントの開催

【実施成果】

▶ 京丹後市と与謝野町が連携し、丹後オープンファクトリー実行委員会を立ち上げ、28社によるオープンファクトリーを実施した。3日間で約1500人が来場し、来場者の約9割から満足との回答があった。また、参加事業者からは、7割が「自社の技術力や製品の魅力発信」に繋がったと回答があり、オープンファクトリーを通して周年を通してオープンファクトリーを実施する業者育成にも繋がった。

実施主体

丹後オープンファクトリー実行委員会

【問い合わせ窓口】与謝野町産業観光課

実施場所

丹後織物工業組合他

実施時期

令和7年10月3日（金）～10月5日（日）

関連HP

<https://neotan.jp/>



その他

—

万博後の取組

参加した事業所の約9割が継続して丹後オープンファクトリーを実施したい旨の回答があることから、丹後オープンファクトリーを開催の継続を検討する。丹後全体で丹後オープンファクトリーが実施できるように他市町への普及を図る。他旅行のファクトリーツアーの受け入れが自社でできるような体制づくりを進める。

実施概要及び成果

【実施概要】

「与謝野駅周辺まちづくり計画」に基づき、与謝野駅100周年を契機に、地域・事業者・行政がそれぞれの強みを活かしながら、鉄道、まちの玄関口の駅、空き家など、地域資源を活かしたまちづくりによる地域活性化を推進する機運醸成のため、記念式典を実施。

- 与謝野駅における記念式典の実施（宮津線100周年記念ロゴマーク最優秀賞の発表及び授賞式もあわせて実施）
- 地域団体が主催する「与謝野駅100周年イベント ヨサノガーデンフェス2025」や「よさの知る来（シルク）旅」「ホップ収穫体験」「与謝野駅開業100周年記念写真展」とコラボ開催
- 与謝野駅開業100周年記念特別企画列車や与謝野駅とちりめん街道を結ぶ周遊バスもコラボで運行

【実施成果】

- 記念式典参加者：約200名
- ヨサノガーデンフェス2025来場者：約1,800名
- 記念式典では地元小学校児童による合唱等を披露
- 地域（イベント開催、式典出演等）、事業者（特別企画列車の運行、ホップ収穫体験等）、行政（記念式典、授賞式の開催等）が連携

実施主体

与謝野町

【問い合わせ窓口】与謝野町企画財政課

実施場所

与謝野駅

実施時期

令和7年7月12日（土）

関連HP

—



与謝野駅100周年記念式典
（地元小学校児童にる合唱）



ガーデンフェスでは打ち上げ花火も

その他

—

万博後の取組

「与謝野駅周辺まちづくり計画」にある地域・事業者・行政の連携による活性化の機運醸成が図れたため、今後は、それぞれの強味を活かし、活性化イベントの継続や駅舎改修、改修した駅舎を活用した事業展開等の駅周辺地域の活性化につなげていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 4月13日から随時、いけばな発祥の地“六角堂”と池坊会館で「いけばな作品展示」を実施
- いけばな資料館では、華道未経験者向けの内容を展示
- 8月23日、24日には池坊会館1階ロビーで男性会員による「男花展」を開催
- 京都を皮切りに全国4都市で「花・いのち・みらい」をテーマに展覧会を開催 サステイナブル台等を使用した展示を実施

【実施成果】

- 池坊会館のいけばな展示、いけばな資料館は無料で見学可能で、多くの方にご覧いただいた
- 男花展には38名が参加。約500人が来場。
- 札幌、東京、名古屋、福岡で開催した本部花展には、約1000人が参加。総入場者数は約52500人。

実施主体

一般財団法人池坊華道会

【問い合わせ窓口】 一般財団法人池坊華道会 事業部

実施場所

池坊会館（京都市中京区）

実施時期

4月13日から随時

関連HP

<https://www.ikenobo.jp/>



その他

13か国語のパンフレットデータを作成。QRコードから閲覧可能とした

万博後の取組

・難しいと思われがちな華道を身近に感じて頂くために様々な手法や工夫をし多くの展示機会を増やすよう試みた。実際にご覧になった方からは「斬新」「面白い」「楽しい」といった声も聴かれ、興味関心を高めることに繋がった。リサイクル可能な素材を使った展示は、今後も継続しながら、新しいファン獲得につなげたい。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都商工会議所・(一社)京都経営者協会・(一社)京都経済同友会・(公社)京都工業会の京都経済4団体では、「大阪・関西万博」京都支援協議会を立ち上げ、主に以下の事業を通じて京都経済界として大阪・関西万博に協力し、機運醸成を図ることを目的に活動した。

【実施成果】

- ▶ 協力いただいた商店街からは、フラッグの掲示によって賑わいが生まれたなどの声が聞かれた。
- ▶ 会場建設費の寄付募金活動、前売入場チケット販売協力
 - ・京都市内のシティドレッシングによる機運醸成：23商店街、地下鉄烏丸線全15駅・東西線全17駅、地元金融機関
 - ・機運醸成セミナー「大阪・関西万博セミナーin京都」の開催：計7回、参加者数延べ748名
 - ・京都経済4団体が主催するイベントへの万博PRブース出展：計21回
 - ・webサイト等を通じた情報発信

実施主体

「大阪・関西万博」京都支援協議会
(構成団体：京都商工会議所、
(一社)京都経営者協会、(一社)京都経済同友会、(公社)京都工業会)

【問い合わせ窓口】

京都商工会議所特別プロジェクト推進室

実施場所

京都市内各所

実施時期

通年

関連HP

<https://expo2025.kyo.or.jp/>



その他

—

万博後の取組

万博における成果を共有し、会期後も継続して京都経済界に万博の効果がもたらされるよう取り組む。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「大阪・関西万博」の来場者や、地方の京都ブランドのファンを対象とした物産展をJR京都伊勢丹、四条センター、KITTE大阪及び6つの地方百貨店（岩手、鹿児島、宮崎、大分、茨城、福島）にて、9月から1月にかけて開催する。当該催事は、京都府食品産業協会、京都府物産協会、京都府観光連盟、京都府及び京都府商工会連合会が実行員会を組織し実施している。

【実施成果】

- 10月21日～27日に開催されたJR京都伊勢丹地下食品売場で実施された催事をはじめ、四条センター、KITTE大阪及び6つの地方百貨店へ、府内食品事業者12事業者が出店を行った。

実施主体

京の味めぐり・技くらべ展実行委員会

【問い合わせ窓口】(公社)京都府物産協会等

実施場所

JR京都伊勢丹等

実施時期

令和7年10月21日～27日等

関連HP

<http://www.syoku-kyoto.com/news/2025/06/72.html>



その他

令和7年度は、四条センター、KITTE大阪へ初出店を行った

万博後の取組

- ①実施成果を踏まえて見えてきたことや課題：昨年度に比べ出展場所の改善や出店場所を増加、事業者の販路開拓機会の創出に繋がった。
- ②前記①を踏まえた万博後の取組の方向性：引き続き、府内特産品事業者の販路開拓の機会創出に繋がる支援を継続する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都農林水産フェスティバルと共同開催される物産展イベント。令和6年度は2日間の開催期間中に49,000人の来場者があった。令和7年度は府内20の商工会地域から18の事業者が出店し、府内産原材料を使用した食品や伝統工芸品等の販売を行った。

【実施成果】

- 11/29～30に開催され、昨年と同じく約49,000人の来場があり賑わいを見せた。

実施主体

京都府商工会連合会

【問い合わせ窓口】京都府商工会連合会

実施場所

京都パルスプラザ

実施時期

令和7年11月29日～30日

関連HP

—

その他

—



令和6年度画像

万博後の取組

- ①実施成果を踏まえて見えてきたことや課題：地域の小規模事業者は情報発信力に限りがあることから、継続的な伴走支援の実施が課題。
- ②前記①を踏まえた万博後の取組の方向性：万博閉幕以降も継続的に地域小規模事業者が持つ高付加価値商品を、継続的な販路開拓や情報発信支援を行い、他地域からの外貨獲得や交流人口の増加を目指す。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 令和7年4月から10月に開催の「大阪・関西万博」への来場者や一般の観光客に向け、京都府内商工会地域の「体験・グルメ・宿泊」の魅力を発信することで誘客を図り、地域振興及び消費拡大による利益の確保を目指し情報発信を行った。万博開催に合わせて当該ホームページの機能強化（SNS連携、マップ機能等）に取り組み情報発信の強化につとめた。

【実施成果】

- 京都市等都市部を除く地域の87事業者を掲載。体験・食・宿泊の情報発信を実施した。

実施主体

京都府商工会連合会

【問い合わせ窓口】075-205-5418

実施場所

WEB

実施時期

令和7年4月～10月

関連HP

<https://another.kyoto-fsci.or.jp/>

その他

—



万博後の取組

- ・課題：掲載事業所のページ閲覧数に差があり、サイト内の回遊性を上げることが今後の課題
- ・今後の方向性：万博閉幕後も継続的に当該WEBサイトの機能強化や掲載事業者増加に向けた取り組みを推進する

実施概要及び成果

【実施概要】

- 企業経営者や環境部門担当者などが共に学び情報交流を行う場として、セミナーを開催。脱炭素や循環経済などをテーマに取り上げ、環境経営の必要性・取組事例・具体的手法などを紹介した。

【実施成果】

- 開催回数 全17回
- のべ実績 累計682名
- 主なテーマ 「環境経営」「脱炭素」「ものづくり企業のDX」「資源循環」「生物多様性」

実施主体

京都商工会議所
環境・エネルギー委員会

【問い合わせ窓口】京都商工会議所 産業振興部 商工振興課

実施場所

京都市内 もしくは オンライン

実施時期

年に数回実施

関連HP

<https://kyoeco.peatix.com/>



その他

—

万博後の取組

今後も継続的にセミナーを開催し、企業の環境対策・カーボンニュートラルへの対応を支援する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都を舞台に、産学公連携の下、オール京都体制で映画・映像、ゲーム、マンガ・アニメ等のコンテンツをクロスメディア展開することにより、京都が持つコンテンツのポテンシャルと魅力を国内外に発信
- ▶ 世界中の著名ゲーム企業やインディーゲームクリエイターが集まり、交流するインディーゲームの祭典「BitSummit」の開催
- ▶ 「京都国際マンガ・アニメフェア」を活用したインバウンドの拡大、国内外の海外企業との連携等によるコンテンツビジネスの拡大
- ▶ コンテンツ産業の振興とそれらを支える人材の育成・交流
- ▶ 万博来場者に向け、マンガ・アニメ・ゲームなど、クロスメディアコンテンツの魅力を発信

【実施成果】

- ▶ BitSummit 令和6年7月19～21日(来場者数38333人)、令和7年7月18～20日(来場者数 58,065人)
- ▶ 京都国際漫画・アニメフェア 令和6年9月21・22日(来場者数35,730人) 令和7年9月20・21日(来場者数 36,143人)
- ▶ 京都国際マンガミュージアム 令和7年5月1～11日 関西万博関西パビリオンに出展

実施主体

KYOTO Cross Media Experience 実行委員会

実施場所

京都市勤業館(みやこめっせ)、京都国際マンガミュージアム、京都文化博物館、東映京都撮影所、松竹撮影所、東映太秦映画村など

実施時期

令和7年度は令和7年7月～令和8年3月

関連HP

<https://cmex.kyoto/>

その他

ホームページは日・英・仏・中の4か国語対応、SNSは日・英2か国語対応



【問い合わせ窓口】

京都商工会議所
産業振興部
京都府商工労働観光部
産業振興課
京都市産業観光局
クリエイティブ産業振興室

万博後の取組

コンテンツビジネスの集積地・京都として、今後も京都のコンテンツの魅力発信を行う

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都に関する歴史、文化、産業、暮らしなど多分野にわたり、京都通度をはかる検定試験を実施。
※観光業界のおもてなし向上を目的として、平成15年に創設した検定試験。

【実施成果】

- 令和5年度で20周年を迎え、延べ15万人以上が受験。
- 個人での受験の他に、企業等の各種団体の団体受験制度で3級受験者の上位3名の合計点を競い、上位8チームを表彰する「G-1グランプリ」を実施。
- 令和6年度以降4回(第24～27回)実施し、計13,066名が受験した。

実施主体

京都商工会議所

【問い合わせ窓口】京都商工会議所 会員部 検定事業課

実施場所

7月・京都市内各所
12月・京都市内・東京都内各所

実施時期

7月(3級のみ)・12月(1・2・3級)

関連HP

<https://www.kyotokentei.ne.jp/>



その他

—

万博後の取組

国際観光文化都市・京都としてのおもてなし力向上の一助となるべく、また京都の観光・文化の魅力発信の担い手を育成すべく、検定試験を継続して実施する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 旧富岡鉄斎邸（元京都府議会議員公舎）を整備し、貸会場として開館した「京・和新庵～文化と産業の交流拠点～」での利活用プログラムの展開

【実施成果】

- 万博開催にあわせた次世代への文化の継承イベントの実施
〔ビジネスパーソン対象〕煎茶、いけばな、演劇、eスポーツ：4講座、のべ200名
〔子供向け〕煎茶、いけばな、染色、七宝焼き、京こま、ミニ畳、水引：10講座、のべ400名
- 万博および文化の発信拠点として、情報の発信および貸会場としての活用促進：来館者数のべ8,000名

実施主体

京都府、京都商工会議所

【問い合わせ窓口】京都商工会議所 特別プロジェクト推進室

実施場所

上京区室町通一条下ル薬屋町429

実施時期

令和6～7年度

関連HP

<https://kyo-washinan.jp>



その他

—

万博後の取組

万博後も引き続き、「京・和新庵～文化と産業の交流拠点～」を活用した事業を展開する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ・京都の新しい魅力や価値を創造・発信し、地域の活性化やブランド構築につながるような取り組みを行う法人、団体、個人等を 発掘し、京都府、京都市、京都商工会議所の「オール京都」で表彰する
- ・表彰だけでなく、受賞者の課題解決や成長に向けたビジネスマッチング、広報協力等を行い、京都ブランドとして飛躍するための 支援を行う。

【実施成果】

- ・今回の受賞者として、(株)ローカルフラッグ、Riku Matsuzaki、(株)虫秘茶、(株)斗々屋を選定した。
- ・万博来場者等へ京都の魅力と次世代の京都ブランドの発信した。

実施主体

京都ブランド推進連絡協議会

【問い合わせ窓口】

京都商工会議所 産業振興部 商工振興課

実施場所

京都市内

実施時期

令和7年1月21日～4月11月 第2回募集
同年5月～7月 選考・受賞者決定
同年9月8日 表彰式実施
受賞者支援開始

関連HP

<https://kyoto-nextaward.kyo.or.jp/>

その他

—

KYOTO
Next Award
2025



万博後の取組

今後も次の時代の京都ブランドの新たな担い手を発掘・表彰・支援し、京都のブランド価値向上に取り組む

実施概要及び成果

【実施概要】

- これまでオール京都で取り組んできた知恵の集積を活かし、より深化した知恵ビジネスの成長モデルを発信・発掘
- 京都の特性や、企業独自の強みや知恵を活かして取り組む顧客創造を実現するビジネスプランを募集し、表彰する。令和6年第5回イノベーション部門グランプリ2社、コラボレーション部門優秀賞1グループ、チャレンジ部門グランプリ2社・優秀賞4社。令和7年第6回は募集・審査中
- 受賞企業には、活動助成金を提供するほか、ビジネスプランの実行・実現に向け、本所経営支援員による重点的な伴走支援を行う。専門家との連携、本所並びに他の支援機関の施策等を活用しながら、各社の成長段階に応じた支援を実施
- 知恵-1 グランプリ応募企業の発掘を目的とし、知恵ビジネスの活用による、新たな顧客創造のヒントを探る「知恵産業の森サロン」(令和6年7月25日、令和7年7月23日)や、企業間での連携や交流の促進による新たな知恵ビジネスの展開を目指す「京都リレーションシップ」(令和6年10月31日、令和7年11月5日)を開催

【実施成果】

- 令和7年7月7日～13日の関西パビリオンでの京都商工会議所の出展時に、受賞企業1社の出展支援を実施。
- 万博期間中には、受賞企業5社が関西パビリオンに出展。

実施主体

京都商工会議所

実施場所

京都市内

実施時期

9月～11月

関連HP

<https://www.kyo.or.jp/chie/contest/>

その他

—

【問い合わせ窓口】

京都商工会議所 産業振興部 知恵産業推進課



万博後の取組

今後も継続して知恵ビジネスに取り組む企業を発掘・育成し、発信に取り組む

実施概要及び成果

【実施概要】

- 若手起業家が協業や出資を呼び掛ける事業プレゼン会「京商イブニングピッチ」を令和6年度は3回・令和7年度はこれまで1回実施し計425名の参加、大企業や中堅企業が自社の課題やニーズをプレゼンしスタートアップ企業との協業を促進する提案型ピッチイベント「Open Innovation Showcase in KYOTO」は令和6年度・7年度に各1回実施し計282名の参加があった。
- 「京商リバースピッチ2025」も新たに開催予定。
- 令和7年7月7日～13日に関西パビリオンに出展し、「京都・知恵アントレ大賞」受賞企業3社、京商イブニングピッチ登壇企業1社の出展支援を行った。

【実施成果】

- 関西パビリオンの出展企業からは、多くの来場者に自社の取り組みを伝えることができたことに対する満足の声が聞かれた。

実施主体

京都商工会議所

【問い合わせ窓口】京都商工会議所
特別プロジェクト推進室

実施場所

京都市
(京都商工会議所会議室 等)

実施時期

通年実施

関連HP

<https://www.kyo.or.jp/kyoto/management/kcap.html>



その他

—

万博後の取組

万博後も継続して協業や社会実装を促進する事業を通じて若手起業家の成長を支援する

実施概要及び成果

【実施概要】

- 関西商工会議所連合会に加盟する 71 商工会議所を対象に、会員企業の万博参加に向けた情報提供や万博への機運醸成を推進するワーキンググループ設置。商工会議所間での情報共有を進めるとともに共同事業を実施し、京都商工会議所でも以下の取り組みを行った。
 - ・京都商工会議所部会等における万博視察見学会：計13回 ・他地域商工会議所からの視察受入：川越商工会議所
 - ・関西周遊NFTスタンプラリーの実施

【実施成果】

- 部会等での万博視察を通じて参加した会員企業からも、訪問したパビリオンの展示内容が印象に残った・学びになったなどの声が聞かれ、最先端の未来社会に触れる機会となった。
- 来場者実績等
 - ・京都商工会議所部会等における万博視察見学会：計13回、参加者延べ768名
 - ・他地域商工会議所からの視察受入：川越商工会議所
 - ・関西周遊NFTスタンプラリーの実施：琵琶湖疏水記念館に設置（協力：京都市上下水道局）

実施主体

関西商工会議所連合会（事務局：大阪商工会議所）

実施場所

京都府、関西一円

実施時期

令和 5 年度～令和 7 年度

関連HP

<https://www.kansai.cci.or.jp/>

その他

—

【問い合わせ窓口】

京都商工会議所 特別プロジェクト推進室



万博後の取組

- ・京都府下 8 商工会議所の連携強化 ・万博の成果を共有し、連携して事業を推進
- ・関西商工会議所連合会に属する71会議所の会員事業所の事業拡大支援 など

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 令和6年11月開催の「古典の日朗読コンテスト」会場において万博PRのコーナーを設けポスターの掲示とモニターに大阪・関西万博PR映像（コンセプトとマクミヤク）を流すとともにチラシ等が入った袋を来場者に配布。また司会から万博のPRアナウンスを実施した。またポッドキャストで配信している源氏物語解説のコンテンツで開幕前から開幕直後の6本に「大阪・関西万博の理念をPRするとともに、「日本の古典がその一助となることを願っています」のコメントを入れ機運醸成に努めた。HPには英文で番組の概要を掲載し日本の古典の発信に努めた。

【実施成果】

- ▶ コンテスト来場230名 ポッドキャスト聴取数1万/月

実施主体

京都文化交流コンベンションビューロー
古典の日推進委員会

実施場所

古典の日推進委員会が実施する事業の
会場およびホームページ

実施時期

令和6年秋～万博会期中

関連HP

<https://hellokcb.or.jp/kotennohi>

その他

会場にコンテストの概要説明の英訳版も用意したほか、ホームページも古典朗読のすすめ英語版、古典の日朗読コンテストの案内英語版、ポッドキャストの案内英語版を掲載。

【問い合わせ窓口】古典の日推進委員会



万博後の取組

古典は日本の宝であり世界の宝である。今後も海外発信やインバウンドを意識した発信を意識して事業を進めていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都迎賓館は、京都府・京都市・京都商工会議所を中心にオール京都で誘致して建設された国の迎賓施設であり、令和7年で20周年を迎える。建物や調度品には数多くの伝統的技能が活用されており、京都の文化や技術を世界に発信し、ブランド価値の向上に資する貴重な施設であることから、京都迎賓館と連携して、万博を機に京都を訪問する世界各国要人の同館訪問に取り組み、今後の各国首脳の接遇利用につなげ、京都の魅力発信とブランド価値の一層の向上を図る。

【実施成果】

- 万博の国際会議「IPM2025」(1月15日-16日、姫路市)において、各国の代表者等(約160カ国約600名)に京都迎賓館を紹介し、同館や京都の伝統文化等に対する関心が高いことが再確認できるとともに、視察や利用方法等の相談を受けるなど成果があった。また、駐日外交団(大使等13カ国16名)や関西領事団(総領事等19カ国28名)に同館を視察いただき、今後の利用促進を図った。

実施主体

京都府、京都市、京都商工会議所、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

【問い合わせ窓口】

(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

実施場所

京都迎賓館他

実施時期

令和6年8月～令和7年10月

関連HP

<https://hellokcb.or.jp/bunka/geihinkan.php>

その他

事業実施に当たって、英語表記資料の活用、通訳者の配置等を行った。



万博後の取組

各国首脳の接遇利用促進に向け、引き続き、京都迎賓館と連携して同館と京都の魅力発信に取り組む。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都府内の2か所で公開シンポジウムおよび企画展示を実施した。公開シンポジウム「日本学術会議公開シンポジウム 多世代・多分野交流による環境・SDGs教育会議～環境問題に関心のない人をどのように巻き込んでいくか？～」では、世界に向け多世代・多分野交流による環境・SDGs教育をテーマに2日間にわたって事例共有と対話の場を創出した。企画展示「サテライト地球研からこんにちは 一対話が生まれる研究所」では、環境問題に関する研究プロジェクトの展示のほか、多様なバックグラウンドを持つ研究者が毎日日替わりで滞在し、来場者との直接対話を行った。

【実施成果】

- 公開シンポジウム：参加者 3月7日 80名、3月8日 251名
- 企画展示：来場者約120名 展示を介した、研究者と来場者の近い距離でのコミュニケーションを実現した

実施主体

シンポジウム：日本学術会議環境学委員会環境思想・環境教育分科会
企画展示：総合地球環境学研究所

【問い合わせ窓口】総合地球環境学研究所

実施場所

シンポジウム：京都里山SDGsラボ「ことす」・オンライン配信
企画展示：京都市立芸術大学



実施時期

シンポジウム：令和7年3月7日（金）、8日（土）
企画展示：令和7年3月19日（水）-25日（火）

関連HP

<https://www.chikyu.ac.jp/rihn/events/detail/263/>
<https://www.chikyu.ac.jp/rihn/events/detail/269/>

その他

シンポジウムにおいて、ネットワーキングランチとして、地元の食材や食文化に触れることのメニューを提供した

万博後の取組

シンポジウム及び企画展示を通して、研究者が多様なステークホルダーと対話を行う経験を得た。令和8年夏に開催する国立科学博物館での企画展示「どうする、ニンゲン - 研究の現場から地球の未来を問う」（予定）での対話活動に活かしていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博に「RITE未来の森」(DACを中心としたネガティブエミッション実証プラント)を出展
- けいはんな万博ウェルビーイングフェスティバルに出展(6月13日・14日、展示・講演の実施)、
京都スマートシティエキスポに出展(10月2日・3日、展示・講演の実施、併せてRITE施設の見学ツアーの実施)

【実施成果】

- 「RITE未来の森」来場者18,610名、アンケートでは96%の来場者が見学ツアーに満足と回答
- 「RITE未来の森」について、産学連携(RITE、前田道路株式会社、名古屋大学、九州大学)により来場者に最先端技術をわかりやすく展示・啓発した取組が評価され、第1回 EXPO INNOVATION AWARD (※)において、The Expo Special Recognition Award for Cross-Sectoral Enlightenment (分野横断的啓発賞)を受賞

※博覧会国際事務局(BIE)と一般財団法人地球産業文化研究所(GISPRI)が2005年愛・地球博から20周年を記念して、共同で創設。万博における展示等を対象として最も優れた革新的なアイデアを考案、実現し、成果をあげた個人、企業、グループを表彰するもの。

実施主体

(公財)地球環境産業技術研究機構(RITE)

【問い合わせ窓口】RITE 2025年大阪・関西万博室

実施場所

万博会場内(RITE未来の森)ほか

実施時期

令和6年9月～万博会期中

関連HP

<https://www.rite.or.jp/expo2025/>

その他

適宜英語対応



▲ AWARD 表彰式
(令和7年9月7日 IGアリーナ)

ガイダンスホール内
(CLT木造建築、
映像による解説)



◀ ネガティブエミッション
実証プラント - DAC
(Direct Air Capture)

万博後の取組

- 万博会場における「RITE未来の森」は、技術実証・社会啓発・産学連携の三位一体を体現する展示として高い評価を得た一方、万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に沿ったその展示を、一過性で終わらせず、継続的に社会に還元する取組が必要。
- CLT木造建築のガイダンスホールを万博会場からRITE京都本部に移築し、カーボンニュートラル技術の社会実装、ネガティブエミッションの実現に向けて、展示・啓発を実施するとともに、万博における技術実証の成果を踏まえた研究開発を継続実施し、地球温暖化問題の解決に貢献する、日本・京都における産業技術を国内外に広く発信する。

(公社) 京都工業会会員企業が有する 展示施設情報等の収集と発信

団体・有識者
(公社)京都工業会

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 大阪・関西万博では、様々な国や地域から多くの産業視察団をはじめとするビジネスパーソンの参加が期待され、「けいはんな万博」や京都観光にも数多く訪れると見込まれた。そこで、当会会員企業では、様々な目的で、自社の発展プロセスや自社製品の変遷などをショールームや資料館で展示しており、万博を機会に京都のモノづくり企業とのビジネスチャンスが生まれ、また、認知度向上につながるよう、京都工業会の会員企業で見学可能な施設等を一覧できる新たな情報発信を行った。
- 内容 視察（見学）できる内容、所要時間、対応言語、常設・期間限定 など
- 対象 ビジネスパersonを中心に発信（一部では一般対応も可）
- 発信先 京都府、京都市、HP（会員企業、京都工業会）、京都文化交流コンベンションビューロー、旅行会社、DMO など

【実施成果】

- ▶ 会員企業 19 社が参画し情報発信を行った。英語版も作成したことから、内外の方に認知度が向上したと推察される。

実施主体

公益社団法人京都工業会

【問い合わせ窓口】 事務局 電話：075-353-0061

実施場所

参加会員企業 19 社

実施時期

令和7年3月7日から万博開催期間中

関連HP

<https://www.kyokogyo.or.jp/>

その他

会員企業に加え、モノづくり企業に係る府内3か所の代表的施設も併せて紹介した。



万博後の取組

- ① 万博への参加者が引き続いて京都に足を運ばれるかどうかは、時間的な制約が多い中での選択であり、他の訪問先との兼ね合いがあり、必ずしも企業資料館に誘導できたかは不明であるが、旅行業者等への周知はできたと考える。
- ② 今回を契機として引き続き情報発信を希望する企業もあり、京都工業会としても企業施設の認知度向上につなげたい。

(3) 基本構想に賛同する企業や団体が実施した取組（認証事業）

EXPO酒場京都店

実施概要及び成果

【実施概要】

- ・①第1回 令和5年11月29日 テーマ「ダイバーシティ&インクルージョン、そして未来へ」開催
- ・②EXPO KYOTO論との共催実施 令和6年4月27日～令和6年9月29日
- ・③EXPO酒場京都店@サイツキョウト開催 令和6年10月25日
- ・④大阪・関西万博、関西パビリオン京都ブース出展 令和7年9月29日～10月5日

【実施成果】

- ①来場人数約100名
- ②8回シリーズの懇親会実施。
- ③約40人参加 大阪・関西万博の開催に伴う京都観光のありかたをテーマにワークショップ実施。
- ④京都伝統産業企業と出展。京都の伝統産業とオープンファクトリーの事業者とともに、観光体験の発信を行った。

実施主体

EXPO KYOTO D&I実行委員会

【問い合わせ窓口】 expokyotodi@gmail.com

実施場所

京北コトス他

実施時期

令和5年11月～

関連HP

—

その他

—



万博後の取組

万博の機運醸成、万博を身近に感じることから、未来への課題、提言を訴えることで、様々なプレーヤーと繋がり、連携が図れることに繋がった。大学関係、観光分野、伝統産業などのプレーヤーをプラットフォームで繋げる事ができたことが大きい。課題としては、万博を契機に企画したこの集まりを、万博が終わった後、どのように続けていくのかを考えているところ。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博に合わせてけいはんな学研都市が強みとするロボット、アバター、ICTの技術をPRする3種類のイベントを実施
- ① アバター(遠隔操縦ロボット)による「アバターチャレンジ2025 市民参加のパレード&運動会」(5月25日 精華大通り)
- ② 夢洲からけいはんなの観光スポットに居るアバターを操作し周遊する「アバター観光」(4月23日 ヘルスケアパビリオン/平城宮跡、5月1日 関西パビリオン/平城宮跡、8月2,3日 関西パビリオン 京都ゾーン/けいはんな記念公園、9月19日 大阪ヘルスケアパビリオン リボーンステージ/けいはんな記念公園)
- ③ 五重奏の指揮をするアバター (10月11日 けいはんなプラザ「けいはんな万博 閉会セレモニー」)

【実施成果】

- 来場者実績 ①約3,500名 ② 4月23日 約50名, 5月1日 約200名, 8月2日-3日 約 100名, 9月19日 約100名 ③ 700名
- ① けいはんなを構成する8市町で祭りを共創 ② 夢洲への来場者にけいはんなの魅力を紹介 ③ 指揮の遠隔操作を実証

実施主体

特非 けいはんなアバターチャレンジ

【問い合わせ窓口】 secretariat@avatarchallenge.org

実施場所

- ・ 精華大通り・ けいはんな記念公園・ 平城宮跡
- ・ 関西パビリオン 多目的エリア/京都ゾーン・
- ・ 大阪ヘルスケアパビリオン リボーンステージ・ けいはんなプラザ メインホール

実施時期

令和7年4月23日, 5月1日, 5月25日, 8月2-3日, 9月19日, 10月11日

関連HP

<https://www.avatarchallenge.org/>
<https://keihannaexpo.org/>

その他

各イベントで通信技術の実証実験を実施



① アバターのパレード



② アバター観光



③ 五重奏の指揮をするアバター

万博後の取組

万博を契機に、8市町の繋がり・連携を深める市民参加型の祭り「アバターチャレンジ」を毎年開催し、

- (1) 「技術×人間共生の都市モデル」を創出：ロボット・アバター・ICTを日常生活の基盤に。
- (2) 市民参加型エコシステムを確立：リビングラボ、共創会議、地域データ連携基盤を整備。
- (3) 行政・教育・企業の協働による人材育成：技術リテラシーと倫理を併せ持つ市民参加を育成。
- (4) 文化・祭りの継承と再構築：「科学技術と祝祭の融合」を通じた地域アイデンティティを形成。
- (5) ポスト万博国際連携：夢洲で得た知見を世界都市ネットワークへ共有し、けいはんな発の「未来社会プロトタイプ」を発信。

ENJOY COFFEE TIME

実績確認中

【目指す姿】

単なるイベントで終わらせない、イベントを文化へと発展させ、持続性のある活動でまちを活性化する

概要

京都府内のコーヒー店舗を集約してイベントを行なっております。
単なるイベントで終わらせないよう、店舗と店舗の横のつながりを重視し地に根ざした文化として発展させる為、引き続き持続可能なイベントを模索し、まちの活性化を図っていきたく思っております。
万博を機にSDGsに配慮し、不定期で行なっていたコーヒーかすの回収などをより積極的に行なっています。

実施主体

株式会社SEASONS

【問い合わせ窓口】鈴木 075-741-7491

実施場所

京都市内

実施時期

主に春、秋

関連HP

SNSのみ

ENJOY
C♥FFEE
TIME



その他

イベントによっては、外国語対応、宗教や文化の多様性に配慮した食事への対応など実施しております。

万博後の取組

継続的に活動し、目指す姿をかなえていきたいです

地球環境ユースサミット

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ けいはんな万博ユースサミットでは関係者含め150名（うち、学生の数は参加者・メンター含めて67名）が集まり、3日間にわたるサステナビリティに関する議論・プレゼンテーションを行った。
- ▶ 万博開催期間中には関西パビリオンや各国パビリオンでユースからの提言やインタビューを実施し、多様なステークホルダーとのコネクションが生まれた。

【実施成果】

- ▶ 8月4日-6日のけいはんなでのプログラムに加え、万博開催期間中には関西パビリオンや各国パビリオンでユースからの提言やインタビューを実施し、多様なステークホルダーとのコネクションが生まれた。
- ▶ 参加者からの声：・初めての国際プログラムに参加して、不安もあったが楽しく学べた・海外や日本各地からの参加者と交流できたのが特に良かった・国際交流やリーダーシップ経験が自分の成長につながった

実施主体

京都超SDGsコンソーシアム

【問い合わせ窓口】総合地球環境学研究所教育部門

実施場所

けいはんな/大阪関西万博会場

実施時期

令和7年3月～10月（「けいはんな万博ユースサミット」は8月4日～6日）

関連HP

<https://kyoto-youthsummit.com/news/09/436/>



その他

共通言語は英語、ハラル対応、マイボトル・マイ箸対応

万博後の取組

地球環境ユースサミットは、令和5年～7年の3年間開催を予定していたが、8年度も開催が決定し、現在募集中。
 (<https://kyoto-youthsummit.com/news/792>)。過去の参加者をメンターとして巻き込むと同時に、大阪関西万博会場での取り組みでつながった各国パビリオンにも働きかけを行い、海外からの参加者を増やす。

ごみゼロ共創ネットワーク

実施概要及び成果

【実施概要】

- ごみゼロイベント（清掃活動）の実施：大阪関西万博に向けたカウントダウンイベントとして、また万博開催期間中にも530の日（ごみゼロの日）などにごみゼロイベントを企画、一般市民から企業までを巻き込んだ清掃活動を実施
- ごみゼロEXPO2025in KYOTOの実施（関連HP参照）
- 大阪関西万博ベストプラクティスデーでごみゼロ共創ネットワークの取り組みを発信

【実施成果】

- これまでの清掃活動、ごみゼロEXPO、ベストプラクティスデーへの視聴参加を累計して1,000名を超える方にごみゼロ共創ネットワークの活動に関わっていただくことができた。ごみゼロアプリの登録者数についてもこの期間中に倍増した。

実施主体

京都超SDGsコンソーシアム

【問い合わせ窓口】総合地球環境学研究所教育部門

実施場所

鴨川、琵琶湖、淀川、南港など

実施時期

令和6年5月～

関連HP

<https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/6184/>



その他

マイボトル、マイ箸、マイバッグ対応

万博後の取組

2030年SDGs達成、2040年大阪ブルーオーシャンビジョン達成に向けて、上流の廃棄物の発生抑制から清掃活動を含む海域への流出防止までさまざまな取り組みを継続していく。清掃活動については、過酷な夏季のとりくみが停滞したこと、また清掃活動にPOPさや楽しさが足りないという課題認識から、デザイナーやアーティストを巻き込み、楽しくおしゃれに清掃活動ができる取り組みを強化する

嵯峨嵐山文華館「万博・日本画繚乱」展

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博に合わせて、かつて万博という場で世界から賞賛を浴びた画家の業績を紹介し、日本美術を啓発
会期：令和7年7月19日～9月28日（展示替え 9月9日）
第一会場：福田美術館 第二会場：嵯峨嵐山文華館
- 嵯峨嵐山文華館では以下の2セクションに分けて絵画を展示
①万博と画家 ②万博への挑戦

【実施成果】

- 来場者実績：5,780人
うち外国人：10%未満
- 8月は小学生無料イベントを実施 参加 123人

実施主体

公益財団法人小倉百人一首文化財団

【問い合わせ窓口】嵯峨嵐山文華館

実施場所

嵯峨嵐山文華館

実施時期

令和7年7月19日～9月28日

関連HP

<https://www.samac.jp/exhibition/detail.php?id=63>



その他

作品解説に英語を併記 作品リストも英語で配布

万博後の取組

①福田美術館と連携して「万博」というテーマに挑んだところ、両館を見学して下さるお客様が普段の展覧会よりも増加し、減価償却前企画展損益の赤字額が最も少ないという結果になった。しかしながら、外国人の数は福田美術館と比較するとまだ少ない。②英語によるSNSや動画投稿を強化する等して外国人観光客の誘致、嵯峨嵐山圏内での分散化に務めていきたい。

福田美術館「万博・日本画繚乱」展

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博に合わせて、かつて万博という場で世界から賞賛を浴びた画家の業績を紹介し、日本美術を啓発
会期：令和7年7月19日～9月28日（展示替え 9月9日）
第一会場：福田美術館 第二会場：嵯峨嵐山文華館
- 福田美術館では以下の3セクションに分けて絵画を展示
①万博と美術 ②万博を連覇した幻の巨匠 ③竹内栖鳳の芸術

【実施成果】

- 来場者実績：11,753人
うち外国人：2,046人
- 8月は小学生無料イベントを実施 参加 96人

実施主体

公益財団法人福田美術振興財団

【問い合わせ窓口】福田美術館

実施場所

福田美術館

実施時期

令和7年7月19日～9月28日

関連HP

<https://fukuda-art-museum.jp/exhibition/202502084019>



その他

英語での音声ガイドを無料提供 作品解説にも英語を併記 作品リストも英語で提供

万博後の取組

①万博を機に新しいPRビデオを作成するなど外国人誘致に注力したところ、全体の17%を外国人が占め、前回の展覧会よりは向上した。②とはいえ嵐山に来る外国人観光客の数を考えるとまだ少ないため、英語によるSNSや動画投稿を増やす等して取組を強化していきたい。

人にも地球にも優しい「捨てる」がない社会

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大学内では学生食堂の廃棄食材をもらい受けて堆肥作りの活動を継続する。
- エシカルエキスポ2024(令和6年6月16日)と京都音楽博覧会2025(令和7年10月11日)にブース出展。
大学内での循環型環境保護の仕組みや、堆肥作りの効果を発表、また「堆肥くじ」による活動への理解促進、生産堆肥の無料提供などを行った。

【実施成果】

- 両日とも展示ブースには約150人が来場し、他の堆肥生産サークル等との交流が生まれた。

実施主体

学生団体Uni-Com

【問い合わせ窓口】立命館大学衣笠地域連携課

実施場所

エシカルエキスポ2024(大阪市)
京都音楽博覧会2025(京都市)

実施時期

令和6年6月16日、令和7年10月11日

関連HP

<https://uni-compost.studio.site/>



その他

—

万博後の取組

- 京都市との連携で「SDGs修学旅行」のモデルコースとして、立命館大学内の他の取り組みと共に堆肥製造を紹介することになった。また梅小路公園に設置されている「コンポストステーション」のミニ版を設置し、作業環境の向上を図る

泉屋博古館 収蔵庫増築および改修工事

実施概要及び成果

【実施概要】

- 当館が所蔵する住友コレクションの未来継承と1970年竣工建物の長期保存による価値向上を目指し改修工事を行った。3月31日竣工、4月26日リニューアルオープン。
- 当館は、1960年に財団設立、1980年に登録博物館となった。1970年大阪万博にあわせ住友グループ各社の迎賓施設として美術館（1号館）が建設され、近年は地域の、この時代を代表する建築のひとつとして評価を得ている。文化財継承に寄与するため収蔵庫を新設。

【実施成果】

- 建築物を含めた施設全体を長く当地に残しながら現代の美術館として活用するため、工事後は、展覧会会期中に建物の見所を紹介する「泉屋八景」を企画、学芸員によるツアーも行った（参加者51名）。好評につき、秋季も継続を決定し、外部の建築イベントにも参加予定。

実施主体

公益財団法人泉屋博古館

【問い合わせ窓口】管理課 田畑 075-771-6411

実施場所

泉屋博古館
(左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24)

実施時期

工事期間：令和6年2月1日～令和7年3月31日

関連HP

<https://sen-oku.or.jp/kyoto/>

その他

館内サイン・展示パネル類の英文並記



万博後の取組

- ①例年はリピーターが多いが、今回のリニューアルを機に、知っていたが初めて入館した方々や、バリアフリー設備とサービスの充実を評価して来場して下さった来館者のご意見を聞く機会があった。もっと多くの人に知ってもらいたいとの意見も頂戴した。
- ②建物とともに工事で新設した来館者用の設備なども大いに宣伝し、ニーズが異なる様々な方がアクセスしやすい美術館運営に取り組む。

開館65周年リニューアルオープン記念名品展

実施概要及び成果

【実施概要】

- 住友家旧蔵のコレクションを所蔵する当館で、リニューアルオープン記念として絵画・工芸作品の名品展を開催した。過去の国内外の博覧会に関係する作家や作品も公開し、明治・大正期に15代当主住友春翠が果たした地域への文化貢献活動を紹介した。会期中、外部講師と連携してEXPO2025開催記念講演会「博覧会与住友」を実施し、美術とも深く関わる博覧会に触れた。
- また、併設の「中国青銅器の時代」展では、1970年の万国博美術展に出品された中国青銅器も出展したため、夏休み・お盆期間を含めた会期設定とした。

【実施成果】

- 会期中来場者人数：21,076人（内、学生（19歳以上）1,015人、18歳以下438人）。夏休み・お盆期間を含めた会期設定により、例年より家族連れの姿が目立ち、世代を超えて住友コレクションを通じた文化社会貢献活動を広く認知してもらう機会となった。
- 講演会では博覧会の歴史・意義も語られ参加者の好評を得た。

実施主体

公益財団法人泉屋博古館

【問い合わせ窓口】管理課 田畑 075-771-6411

実施場所

泉屋博古館
（左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24）

実施時期

令和7年4月26日～8月17日

関連HP

<https://sen-oku.or.jp/kyoto/>

その他

館内サイン・展示パネル類の英文並記

万博後の取組

- ① 予想より中国からの観光客が多く、日本人観覧者からも英文だけでなく中文での並記の必要性について指摘があった。同様に、家族とともに来館した小学生からは、ふりがなの不足についてたびたび指摘があった。
- ② 過去から継承する活動の意義を定期的に発信し、地域に根ざした活動を基本とするが、より広い範囲の来館者層も意識した取り組みとする。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ①能楽師が指南するレッスンビデオを通して足袋の履き方・扇子の開閉・発声などを学び、実際に能舞台上で実践することで「日本伝統文化応援大使」の認定証を授与するプログラム「Know the Spirit of Noh」を実施
- ②万博に合わせて京都府京田辺市と能の関わりを地元の方に周知する京田辺展示を京田辺市立北部住民センターで開催
パネルおよびポスターによる能の歴史や特徴、一休寺で行われる新能についての解説の他、扇型ランプシェード、能楽堂ジオラマ模型の展示、一休さんと能のクイズなどを実施。展示期間中はゼミ生が来場者と直接コミュニケーションをとりながら展示物の解説などを行い、能の魅力や京田辺市との関わりを伝えた。
(3月18日～3月23日 京田辺市立北部住民センター)
- ③大学の展示スペースにて、大阪・関西万博出展時の扇および能面等の展示を再現するとともに、万博にて同時に実施したワークショップを再び開催
(7月21日～25日及び27日 同志社女子大学京田辺キャンパス)

【実施成果】

- ①外国人モニタ調査を実施して改良し、「大阪・関西万博きょうと推進委員会」認定事業として予約受付を開始。
- ②展示の際、来場者が展示物や能についてより深く知る機会を設けるため、オリジナルのWEBサイトを制作。また、同サイトでは海外の方に向けて多言語翻訳機能を搭載した。
▶ <https://nohtotheworld.dwcmmedia.jp/expo/>
来場者実績(6日間) 90名以上 / アンケート集計結果75件 / 子供から大人まで幅広い年代にご来場いただき、京田辺と能の関係や一休寺について周知する機会を設けた。
- ③来場者実績(6日間) 100名以上 / アンケート集計結果96件 / 大学内外の来場者に、実物の展示を行うことで能の魅力を伝え、本取り組みの成果を提示した。

実施主体

能と伝統文化を世界に広める会
(同志社女子大学 関口ゼミ令和6年度2・3年次生/協力：株式会社くろちく)

【問い合わせ窓口】同志社女子大学メディア創造学科 (0774-65-8635)
株式会社くろちく (山内：080-2423-4171)

実施場所

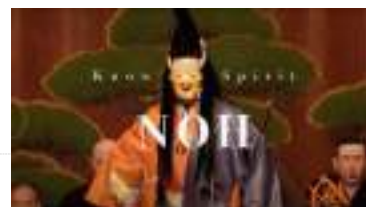
くろちく能舞台に加え、京田辺市立北部住民センター、
同志社女子大学京田辺キャンパス

実施時期

令和6年4月～令和7年12月

関連HP

http://www.youtube.com/@noh_project
<https://sekiguchiseminar-noh.dwcmmedia.jp/kyotanabe2025/>
https://www.instagram.com/dwcla_sekiguchi2025?igsh=MXgxY3NkaGR3aXkzMg%3D%3D77
<https://nohtotheworld.dwcmmedia.jp/expo/>



万博後の取組

「Know the Spirit of Noh」では、文系産学連携のビジネスモデルを社会に実装を目指して現在もプログラムを継続中であるが、万博を契機に、大学キャンパス内でも万博アーカイブ展示を行い、他学科学生や教職員、オープンキャンパスに来場する高校生や卒業生など幅広い方々に能に関する展示を通じて文化の発信を行うことができた。その結果、能に親しみのない方々に能という文化の魅力や奥深さを伝える機会を得られた。一方で、万博への出展後は世界の人々に向けた発信を十分にできていないため、今後はSNSを活用した世界への文化発信にも継続的に力を入れていきたい。

花山天文台 土日限定 見学ツアー ～昭和初期のモダン建築と太陽観測～

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博開催と併行して花山天文台において土曜日と日曜日の午前午後に公開を実施、また月に一回、土曜の夜に星空観望会を実施。

【実施成果】

- 4月以前に比べて、万博展示（5月5日-10日）後は、見学者の数が、1－2割程度増加し400名弱となった。
- 外国人の参加も見られた。

実施主体

(一財)花山宇宙文化財団

【問い合わせ窓口】 info@kwasan.kyoto

実施場所

京都大学花山天文台

実施時期

令和7年5月以後の土曜日と日曜日（午前10時－16時）

関連HP

<https://kacf.sakura.ne.jp/wp/>

その他

英文ちらしを作成、京都駅の京都市観光協会観光案内所で配布。

万博後の取組

土日公開に加え、京都府主催の学びEXPO2025（9月7日）に講演および出展。
宇宙落語会を10月25日に香川県望遠鏡博物館で開催。11月23日には京大で開催予定。

アジアの美を楽しむ ～舞踊と箏曲～

実施概要及び成果

【実施概要】

- 日本の伝統文化とそれらを支える伝統産業を広く普及啓発・伝承することを目的とし、各分野の材料や技術者の確保の難しさを伝えるため、皆様に本物を鑑賞、体験していただけるよう活動している。今回は万博を機に本格的なカンボジア古典舞踊や日本舞踊・箏曲の公演やワークショップを実施。
- アジアの伝統衣装や着物を間近で鑑賞し、舞踊や衣裳、伝統産業品の解説もし、理解を深めてもらった。

【実施成果】

- 来場者75人
- エキスポ1970のグッズも展示し関西万博2025の広報に繋げた。又、伝統芸能の伝承が難しくなっただけでなく、木や漆など伝統産業品の材料や技術者も不足している事を参加者に体感していただき、「今私たちに出来ること」を考える機会を提供した。

実施主体

KYOTO FUKU

【問い合わせ窓口】 kyotofuku8@gmail.com

実施場所

世界文化遺産 上賀茂神社

実施時期

令和6年11月4日

関連HP

<https://Kyoto-fuku.jimdosite.com>



その他

英語通訳者あり

万博後の取組

伝統産業の各分野の材料や技術者の確保の難しさは国内だけでなく、海外も同じであった。万博後はさらに他国との文化を通じた国際交流を深めていき、伝統文化を未来へつなげていきたい。

地域貢献・住みよい町づくり

実施概要及び成果

【実施概要】

- ①月1回の店周清掃を継続的に実施
- ②年1回の鴨川清掃（地域環境への配慮）
- ③店頭ロビーに北山杉ソファと紹介パネルを設置。地元ブランド「北山杉」を広くPR

【実施成果】

- 「こんな立派な家具があることを知らなかった」「とても座りごちが良く、存在感もあるね」とお客さまから北山杉の素晴らしさを再認識いただけるお言葉が頂戴できた。

実施主体

三井住友信託銀行株式会社
京都支店

【問い合わせ窓口】コンサルティング営業室0120-066-882

実施場所

三井住友信託銀行株式会社
京都支店

実施時期

令和5年12月～

関連HP

<https://branchblog.smtb.jp/kinki/except-osaka/kyoto/>

その他

—



万博後の取組

【実施成果を踏まえて見えてきたことや課題】思いがけない感想や反響があり、地域に根付いた信託銀行としての可能性を再認識した。一方で、地域との接点をさらに深めるための仕組みづくりや、継続的な発信力の強化が課題として浮かび上がっている。

【万博後の取組の方向性】今後も地元への貢献を継続し、地域に愛される存在となることで、地域とともに成長できる企業を目指す。具体的には、地域密着型のサービスやイベントの企画、地域課題解決への参画などを通じて、信頼と共感を積み重ねていく。

地域に向けた金融教育セミナーの企画

実施概要及び成果

【実施概要】

- ①立命館中学校にて中学3年生の生徒様対象に「お金の増やし方・N I S Aとは」の勉強会実施（令和7年1月29日）
- ②京都市役所にて京都市職員様対象に「50代向けライフプランセミナー」実施（令和7年3月10日）

【実施成果】

- ①の結果：参加人数約130名。「お金の管理の大切さを改めて実感できた」「N I S Aの仕組みを知ることができた」との感想をいただいた。
- ②の結果：参加人数対面30名、オンライン10名。「これから間近に迫ったセカンドライフに向け、お金の管理を改めて考えることができた」との感想をいただいた。

実施主体

三井住友信託銀行株式会社
京都支店

【問い合わせ窓口】コンサルティング営業室0120-066-882

実施場所

三井住友信託銀行株式会社京都支店

実施時期

令和5年12月～

関連HP

<https://branchblog.smtb.jp/kinki/except-osaka/kyoto/>

その他

—



万博後の取組

【実施成果を踏まえて見えてきたことや課題】「お金の管理について知ることが出来た」との声をいただき、金融リテラシー向上の効果を感じることが出来た。金融リテラシーは人生のさまざまな局面で意思決定を支える重要なスキルなので、こうしたセミナーをもっと積極的に行っていきたいと思う。

【万博後の取組の方向性】今後もさまざまな方法で地元への貢献を継続し、地域に愛される存在となることで、地域とともに成長できる企業を目指す。具体的には、地域密着型のサービスやイベントの企画、地域課題解決への参画などを通じて、信頼と共感を積み重ねていく。

世界各国の花で人々を笑顔に！！

実施概要及び成果

【実施概要】

SDGs達成に向け、私たちは本来ゴミとして処理されるはずだった大学内の落ち葉を集め腐葉土を作成し、その腐葉土を用いて植物を育て、豊かな緑を未来へ繋ぐ循環型プロジェクトを行っている。今回我々は、世界各国の花をキャンパスに咲かせ、自然の再生と文化の架け橋となることを目指している。

【実施成果】

➤ 来場者数・交流の様子

正確な人数は把握できなかったものの、畑の隣が等持院に面しているため、外国人観光客がサイクリングの途中に立ち寄り、フェンス越しから関心をもって覗く姿が見られた。

➤ 地域・文化的効果

地域住民と一緒に育てる過程で、その花の原産国の文化や歴史について自然と会話が広がり、世代や国籍を超えた交流が生まれた。また学生・地域住民・観光客の間に「多文化理解」や「自然環境への意識向上」が芽生えるきっかけとなった。

実施主体

きぬがさ農園Kreis

【問い合わせ窓口】so1373vv@ed.ritsumei.ac.jp

実施場所

きぬがさ農園Kreisが活動している
大学内の敷地

実施時期

令和7年4月～10月

関連HP

https://www.ritsumei.ac.jp/features/r_na_hito/entry/?post=227

その他

留学生がサークル内には多く在籍しているため、外国語対応には配慮した活動になっている。



万博後の取組

- ・落ち葉から作った腐葉土を活用することで、資源を再生して花を咲かせる循環の仕組みを身近に体感する場となっただけでなく、世界各国の花を通じて、文化や歴史に関する会話が自然に生まれたことは大きな成果であった。
- ・これからも世界各国の花を育てながら、地域住民・学生・観光客が交流できる場づくりを継続する。また落ち葉を活用した腐葉土づくりを広げ、環境への意識を高めるとともに、花を通じて多文化に触れる機会を増やしていきたいと考える。

茶づなミュージアム 茶摘み体験プログラム

実施概要及び成果

【実施概要】

- 日本茶の中でも最高峰の品質をもつ「宇治茶」や「宇治抹茶」をテーマに、昔ながらの茶園風景を再現した史跡で宇治の一番茶を摘む体験を実施、摘んだ新茶は持ち帰ることができ、茶づなならではの特別な体験として好評を得た。
- 今回は万博を契機に、通常とは異なる特別エリアを新設して開催した。

【実施成果】

- 体験者数1,625名（海外約1割程度・団体6件456名）

実施主体

お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな

【問い合わせ窓口】お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな
uji-chazuna.info@k-bm.co.jp

実施場所

お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな

実施時期

令和7年4月17日～5月18日

関連HP

<https://uji-chazuna.kyoto/>

その他

バリアフリー対応※車いすなど・体験案内での英語対応・団体受入れ



万博後の取組

- ・万博を契機に増加した海外来訪者への対応力を高めるため、英語以外の多言語案内体制を整備予定。
摘んだ茶葉を使った料理体験など、海外滞在中に楽しめる新メニューを検討し、万博後も宇治茶文化の発信拠点として定着を図る。

創りだそう共感のGoodサイクルプロジェクト

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博フューチャーライフヴィレッジ内の「TEAM EXPOパビリオン」にて、第一生命京都総合支社が行っている地域活性化に向けた各種取組やボランティア活動の内容についてプレゼンテーションを実施した。併せて、展示ブースには「ライフサイクルゲーム」1セットを設置し、来場者に体験いただいた。多くの来場者に当社の取組について周知できたほか、「ライフサイクルゲームを学校のカリキュラムに取り入れたい」といった前向きな意見も寄せられた。

【実施成果】

- 京都府立洛東高等学校の生徒240名、京都市嵯峨野児童館の児童40名を対象に「ライフサイクルゲーム」を用いた出張授業を実施した。本授業では、ゲームを通じて人生を疑似体験しながら、消費者トラブルやリスクへの理解を深める機会を提供することができた。

実施主体

第一生命保険株式会社 京都総合支社

実施場所

京都府立洛東高等学校
京都市嵯峨野児童館

実施時期

令和7年4月25日
令和7年7月23日

関連HP

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

その他

すぐろく形式の消費者教育・金融保険教育教材「ライフサイクルゲームⅢ～生涯設計のススメ～」を使用。

【問い合わせ窓口】

地域貢献担当 075-221-7951



万博後の取組

引き続き、地元京都の課題解決に向け、健康増進・スポーツ振興・地域活性化に資する取組を中心に、京都総合支社、各営業オフィス単位にて地域課題を解決する取組を継続実施する。

【目指す姿】 国内外の方に技と美の結晶である日本髪を広くアピールする

概要

かつらではなく地毛で日本髪を結える結髪師が日本で一番残っているのは京都です。舞妓が結っている美しい日本髪は一体どうやってどんな道具を使って作られていくのか。日本人でもわからない日本髪を作る工程や独特の道具をデモンストレーションで披露します。万博を契機として普段は美しく仕上がった状態しか見れない日本髪をたくさんの方に見て頂き、日本が誇る美容伝統技術を世界の人にシェアしたいと考えております。参加する事業者は四条大宮にある日本髪サロン『華楊』をはじめ華陽に集う日本髪技術をもつ美容師が総力をあげて取り組みたいと思います！

実施主体

日本髪技術者の会

【問い合わせ窓口】090-7712-0924 (三宅)

実施場所

サロンまたは会議所スペースなど

実施時期

令和6年6月～10月

関連HP

調整中

その他

デモンストレーションは外国語対応



万博後の取組

国内外を問わず日本髪技術に興味のある方には技術継承のためのデモンストレーション、レッスンを提案します。

第19回 大垣書店 読書マラソン 2025

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「子どもたちに本に親しみ、読書習慣をつけてもらいたい」という願いを含め2007年夏からスタートした読書推進活動。小中学生を対象に行なっている。子どもたちにとって思い出に残る夏休みになるよう、読書を通じて地域の皆様に貢献できるよう大垣書店全店で取り組んでいる。
- 参加されるお子様は店頭で申込用紙を受領、記入いただきエントリーいただく。1日1枚上限で「感想カード」（約300字詰めの文書か「お絵描き」を選択）を提出いただくと店頭でスタンプを押し、3つたまと大垣書店でのお買いものに利用いただける100円分のチケットを差し上げる。読んでいただく本は大垣書店で買ったものでなくても、他書店で購入した本や図書館の本でも対象となる。提出いただいた感想文：おえかきカードを対象に、感想文コンクール表彰式を開催。

【実施成果】

- 【個人エントリー】エントリー：549名/提出枚数：3,645枚 【団体エントリー】エントリー：14団体/提出枚数：1,418枚
- 表彰式：賞64本/【当日出席】受賞者42名・保護者121名

実施主体

実施：株式会社 大垣書店
主催：一般社団法人京都出版文化協会

【問い合わせ窓口】営業推進部（TEL:080-4379-9749）

実施場所

取り組み：大垣書店各店
表彰式：イオンモールKYOTO Kotoホール

実施時期

令和7年7月5日（土）～8月31日（日）
表彰式：令和7年10月26日（日）

関連HP

【概要】<https://www.books-ogaki.co.jp/dokusyomarason2024>
【受賞者発表】<https://www.books-ogaki.co.jp/dokusyomarason2025>



その他

—

万博後の取組

- ①課題：外国文学を中心とした賞の設立/国際スクール生への対応
- ②万博後の取組の方向性：翻訳作を多く扱う出版社さまにも協力を仰ぐ/英語部門の検討

フジバカマ湯IN嵐山～京都の文化を世界へ～

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 万博開催に合わせて嵐電嵐山駅の足湯にて京都の絶滅寸前種であるフジバカマを活用した「フジバカマ湯」を2回開催した。第1回として令和7年4月26日から5月11日(16日間)、第2回として令和7年10月10日から10月19日(10日間)

【実施成果】

- ▶ 来場者実績1,802名（第1回1,109名、第2回693名）
1日あたり約112名の利用があった。日本人だけでなく、多くの外国人観光客に古より親しまれてきた京都の文化に触れてもらうという目的を達成できた。フジバカマの存在を初めて知ったという意見が多く聞かれた。フジバカマを守り育てる活動についても国内外の多くの方に知っていただく良い機会となった。

実施主体

嵐電沿線フジバカマプロジェクト

【問い合わせ窓口】 立命館大学衣笠キャンパス 地域連携課

実施場所

嵐電嵐山駅

実施時期

令和7年4月26～5月11日、
10月10日～10月19日

関連HP

<https://www.fujibakaman.com/>



その他

広報物は2言語対応を基本として取り組んだ。

万博後の取組

万博を契機としてこれまでは年1回のみ実施していた嵐電嵐山駅での「フジバカマ湯」を春・秋の2回実施した。万博後も多くの外国人観光客に京都で古から守り育てられている絶滅寸前種であるフジバカマを知り、その魅力を体感してもらう機会として年2回の実施を追求していきたい。

フリーマガジン活用で京の伝統文化の未来商品を紹介

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博の目的である「公衆の教育を主たる目的とする催し、文明の必要とするものに応ずるために人類が利用することのできる手段又は人類の活動の一若しくは二以上の部門において達成された進歩若しくはそれらの部門における将来の展望を示すもの」（国際博覧会条約より抜粋）に準じて、京都を代表するフリーマガジン「ハンケイ500m」（年6回(奇数月10日頃)・3万部発行）の誌面上にて、京都の伝統文化に携わる企業や職人が行う新しい商品やチャレンジの取材記事を作成し、万博を機に、京都の伝統文化を支える技の素晴らしさを広く再認識させ、その継承によって、未来に調和する商品を生み出すことを紹介した。

【実施成果】

- 誌面にコーナーを作り、約3万人の読者へ本コンセプトに合う商品を紹介することが出来た。

実施主体

株式会社ユニオン・エー

【問い合わせ窓口】担当：福島080-6417-7642

実施場所

「ハンケイ500m」誌面上

実施時期

令和6年7月～9月

関連HP

<https://www.hankei500.com/>

その他

7月に3万部発行された後、WEBにてバックナンバーとして掲載



万博後の取組

- ①実施成果を踏まえて見えてきたことや課題等 → コンセプトに合う商品を探し出し、実際に誌面に掲載することの難易度が高かった。
- ②前記①を踏まえた万博後の取組の方向性 → 今後も京都のフリーマガジンとして、京都から生まれる新しい商品の紹介に努めたい。

【目指す姿】 生徒の万博への参加意欲と生徒の英語力が同時に向上する**概要**

万博の歴史や、2025大阪・関西万博についての内容を使い、英語学習の教材を作成する。
教材は中学生から高校生までレベルごとに段階を設けて作成する。（読む、書く、聞く、話す、の4技能を網羅する）
作成後は、当社運営の英語スクール（塾）にて作成教材を使い授業を行う。
それに加え、中学校、高校、その他団体へコンタクトを取り、出前授業を行う。
これにより、中高生の興味関心を高め、実際の会場に行きたい！と感じてもらえる取組みにする。

実施主体

株式会社 京王教育

【問い合わせ窓口】 contact@keio-education.com**実施場所**

USTEP English School、学校、団体等

実施時期

令和7年2月～10月

関連HP

調整中

その他

—

**万博後の取組**

作成した教材を、学習内容の単元にあわせて引き続き使用する。

【目指す姿】 京都の香り文化をベースにした現代の日本の香りのアート・デザイン物を世界に広める

概要

京都は世界に類を見ない「香り文化」の発祥地です。源氏物語に登場する貴族の薫物、室町期に東山で花開いた香道文化など、世界的にも珍しい香りに特化した文化が発達した街です。この地域の特性を生かし、現代生活における香り・匂いに注目し、これを用いたアート・デザインの制作物の展示を行います。

香りから記憶が想起されることから、高齢者のなつかしい記憶を呼び覚まして認知症予防やコミュニケーション促進を目指す作品や、視覚重視の観光体験に匂いを導入する作品など、アカデミックな研究活動による新たな視点やユニークな着眼（鼻）点をもつ、香りのアート作品やデザイン物を展示（販売）します。万博を契機に、日本の香り文化を世界に発信し、デジタル化されず、実地でしか体験できない「香り文化」の特性を強みとして、京都に世界の人を呼び込むことを目指します。

実施主体

ciel bleu 株式会社

【問い合わせ窓口】 岩崎 陽子
(yiperfumeartproject@gmail.com)

実施場所

京都市内（体験ワークショップ）

実施時期

万博期間

関連HP

調整中

その他

英語・フランス語対応可



万博後の取組

世界中の国々に香りのアートの取り組みを広げ、楽しみとしてだけでなく社会問題解決として提言、発信していきたい。

産官学連携プロジェクトe～EXPO KYOTO論 未来と世界の変え方～ /京都光華女子大学

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 公益財団法人大学コンソーシアム京都による単位互換性のある講義として、京都光華女子大学が単位認定元となり「EXPO KYOTO論」を開講。講義には、大阪・関西万博きょうと推進委員会の取組の企画・実行を行うEXPO KYOTOのメンバーが講師として登壇。各回講義の終了後にはTEAM EXPO 2025の共創チャレンジであるEXPO酒場との連携企画「EXPO大学」を実施した。
- ▶ 令和6年9月29日の最終回については、交流型企画とし、オンライン配信「SDGs問答」も行った。

【実施成果】

- ▶ 単位互換性のある講義の受講者は、約15名であったが、社会人や単発の講義・イベント参加者は、100名以上となり、有効な学びと交流の場になった。この中から、令和7年の万博本番（4月23日 EXPO KYOTO MEETINGや関西パビリオン京都ゾーンでの8月の企画等）への参加者も約10名生まれた。

実施主体

京都光華女子大学

【問い合わせ窓口】 mezase530@gmail.com

実施場所

キャンパスプラザ京都ほか

実施時期

令和6年4月～9月

関連HP

<https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/5431/>
<https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/post/5688/>



その他

様々なダイバーシティを意識した企画・運営を行う

万博後の取組

- ①実施成果を踏まえて見えてきたことや課題等：万博は、学びごたえのあるテーマであり、万博会期前で様々な意見がある中で、賛否両面から対話ができたことはよかった。参加学生らによる自主的な取り組みなども引き出すことができた。また、講師も多様な立場の方が務めたこともよかった。
- ②①を踏まえた万博後の取組の方向性：テーマや形は変わっても、ユースに向けて、このようなスタイルで教育を行うというノウハウを活かしたい。

万博への関心を高めるためのワークショップ開催

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博への興味が高まるような京都の特色のある「生命花手毬～苔玉作り体験～」を実施し、日本の方だけでなくインバウンドで来られている海外の方まで、万博へのPRを実施。PRルーツを出張苔玉レッスンの際にも持っていき、多くの方に興味を持っていただけた。

【実施成果】

- 日々来店されるお客様や企業様に苔玉体験を実施。参加者数365名（外国人12名 参加企業3社）（お子様から年配の方まで喜んでおられた。高校では学校の授業として取り入れて下さった）

実施主体

株式会社花工房

【問い合わせ窓口】0120-46-8700

order@hanakobo.co.jp

実施場所

京都本店

実施時期

令和6年～万博開催迄

関連HP

SNSで実施

その他

英語表記の説明書 + 翻訳アプリ活用



万博後の取組

苔玉は海外に持って帰れない。外国の方にも持帰り可能な商品の開発が必要。造花やプリザーブトフラワーで苔玉の作成を思案中。

【目指す姿】 日本の伝統製品である畳に新しい価値をつけて発信し、畳文化の継続発展貢献する。

概要

以前より取り組んでいる行き場の無い余っている西陣織等の着物・帯生地をアップサイクルさせた京都市ふるさと納税返礼品に選定していただいている着物製品群をさらに進化させ、日本文化の象徴である畳（和紙畳）に、特許取得済みのエコ染色でプリントを施した「染め畳」と組み合わせて作った世界で唯一の製品を自社で開発。

日本らしい美しさと洗練を現代のデザインに落とし込み世界に発信し、日本文化を守りつつ、西陣織や畳文化の継続的な発展に貢献いたします。万博開催を機に、国内の海外旅行者への認知をひろげつつ、海外販路の開拓をすすめる。製品輸出に向けての活動を実施しながら日本文化発信と、畳製品を世界のマーケットで展開できるよう育てていきます。

具体的には、令和6年6月から祇園 倭美坐 くらちく様の店舗での取り扱いを開始。天保山に停泊する海外の旅客船のお客様に向けて、大阪文化館での商品展開を交渉中。

実施主体

洛北ビニール有限会社

【問い合わせ窓口】洛北ビニール 小村 090-5060-8338

実施場所

調整中

実施時期

令和6年5月1日以降

関連HP

<https://www.sakura-craft.jp>



その他

—

万博後の取組

万博後も引き続き日本の伝統製品である畳に新しい価値をつけて、世界に発信していくことで京都下鴨の地から西陣織と畳文化の継続発展に貢献する。

伝統工芸ワークショップを通して京都文化の周知活動

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都の象徴的な関係各所（京都市役所等）と協力し、京都伝統工芸のワークショップをシーズンやターゲットコンセプトと共に企画。

【実施成果】

- ▶ しかしながら、令和7年度から弊社取り組み内容の見直しにより、今回の実施は見送った。今後は、廃棄予定の衣類を循環されるための取組や、地域貢献等を軸に各種取組を展開していく。

実施主体

株式会社ニッセン

【問い合わせ窓口】株式会社ニッセン 総務部 SDGs担当
070-3797-0151

実施場所

—

実施時期

—

関連HP

—

その他

—



万博後の取組

今回は実施を断念したものの、企画の中で様々な課題や気づきがあった。今回得た知見を活かし、今後の活動に活かしていきたい。

【目指す姿】

ワシントンDCに集う各国外交官に茶を通して京都・大阪の魅力を発信し、万博誘客に繋げる

概要

米国ワシントンDCに集う各国外交官は、日本への出張も多い一方で、大阪万博の認知は未だに低い。そこで、彼らを対象とした茶会を毎月開催することで、大阪万博への認知及び関心を向上し誘客に繋げるとともに、万博の前後での京都への訪問が、より基礎情報を得た上でのより深く充実した訪問となるよう促進する。

なお、認証期間中に開催する茶会は「高級宇治抹茶」だけでなく「京友禅」「伏見の酒」等、京都の文化を総合的にアピールすると同時に、千利休が生まれた「堺」や茶の発展にも貢献してきた大阪の商人文化も歴史のストーリーに合わせて紹介することで、京都・大阪地域の独特な魅力を発信するスタイルとする。

実施主体

桜茶meet

【問い合わせ窓口】08034380402/akiko@sakura-cha-meet.com

実施場所

日米協会ワシントン事務所

実施時期

令和6年8月～令和7年5月

関連HP

<https://sakura-cha-meet.com/>

その他

ハラル等、各認証を取得済みの茶商と連携して実施。また、日本語・英語対応の学生インターンが適宜サポートする体制で実施する。



万博後の取組

万博をきっかけにこれまでアプローチできていなかった層を開拓することで、よりその先の、これまで日本と接点のなかった層へのアプローチのきっかけとし、さらなるネットワーク開拓による日本の発信へステップアップする。

あたたかい京都のおもてなし

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博に合わせて『あたたかくて美しい京都』をPRし、もう一度京都へ訪れてもらえるよう取り組んだ。
- ①会社周辺の木屋町通や高瀬川での清掃活動と子どもたちの安全を見守り活動
- ②多言語による道案内と子連れのご相談活動
- ③SNS(Instagram、X)で京都の魅力や最新情報の発信

【実施成果】

- ①週2回木屋町通と高瀬川の清掃活動を実施（50回）
- ②打ち水で温度を下げる暑さ対策を朝夕実施（180回）
- ③観光客の道案内を実施（20件）
- ④SNSによる発信を実施（100投稿）

実施主体

株式会社岡野太陽堂

【問い合わせ窓口】tokano007@gmail.com

実施場所

株式会社岡野太陽堂 周辺

実施時期

随時

関連HP

<https://okano-tyd.storeinfo.jp/>

その他

バイリンガル対応。京都の文化(紙製品や京菓子)の説明も実施。

万博後の取組

- ①観光客が増えるとポイ捨て等が増加し、定期的に清掃活動を実施する必要がある。暑さ対策としてミストシャワーの導入を検討したい。
- ②今後も継続活動し、あたたかい京都・美しい京都を守り、また訪れたい都市No. 1を目指す。

taiwa food epxo～京都から食文化を世界へ発信～

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都調理師専門学校において「食イノベーション地域活性化演習」（宮津市での学生レストラン×先端技術）を開講し、「人とAIが織りなすおもてなし」をテーマに運営した。
- ▶ イベント実施に当たり、配膳ロボットを導入しレストラン運営に導入、且つ生成AIを活用したメニュー考案やデザインツールの演習授業を体系的に教育に組み入れ、学生によるメニュー開発の効率化や当日の運営効率の強化と、地域活性化を両立させるイベントを行った。

【実施成果】

- ▶ 営業日程と来場数は以下の通り。プロジェクトを通して、299名の動員を得ることができた。
- 京都市開催 令和7年8月2日（土）：52名 令和7年8月3日（日）：51名 合計103名
- 宮津市内開催 a.2月度 令和7年2月11日（火）：18名、令和7年2月12日（水）21名 合計39名
b.8月度 令和7年8月29日（金）：62名 令和7年8月30日（土）：64名 令和7年8月31日：31名 合計157名
- ▶ 学生や参加者の声はYouTube動画として広く一般公開し、成果を発信している。
(<https://www.youtube.com/watch?v=pwbHiDWcAMc>)

実施主体

京都調理師専門学校

【問い合わせ窓口】京都調理師専門学校

実施場所

京都調理師専門学校（京都市会場）
メルキール京都宮津リゾート&スパ（宮津市会場）

実施時期

令和7年2月、8月

関連HP

<https://www.kyoto-chorishi.ac.jp/blog/rws/>

万博後の取組

- ①引き続き食×地域活性化のプロジェクトに取り組んでいく。
 - ②宮津市とも連携して令和8年2月以降にも同様の取り組みを実施すべく準備に取り掛かっている。
- 豊かな自然に恵まれた北部地域には、京野菜、海の幸、地酒、果物など、優れた地域固有の食材が豊富に存在する。食や観光を軸とした本学としては、北部地域を「食の学びと体験の場」として位置づけ、食や観光の魅力を高める取り組みにも注力する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 文化庁認定食文化ミュージアムでもある「京都太秦Taiwa Museum」の活用に加えて、親子で楽しめる料理・お菓子作り教室や、科学的な視点を取り入れた食育イベント、そして焼菓子の販売会を含む、幅広い食の体験プログラムを実施。京都の食文化の魅力を体験できる一般向け講座を実施。プロの技に触れながら、伝統と革新を学べる“人生を豊かにする食体験”の場を提供した。

【実施成果】

- 対象は小学生＋保護者・中学生・高校生など幅広く体験参加可として好評いただき、約100名にご参加いただいた。
- 各回のアンケート結果については、「すごく楽しかった（お子様）」/「とても満足（保護者様）」等の回答もあり、非常に満足度の高い運営ができた。この一連のイベントは、親子で「食」を楽しむ機会を提供するだけでなく、参加する京都調理師専門学校や京都製菓製パン技術専門学校の学生がサポート役として教育的な役割を担い、実践を通して深い学びと社会性、コミュニケーション能力を獲得する、多面的な価値を持つ取り組みである。

実施主体

京都製菓製パン技術専門学校

【問い合わせ窓口 taiwa_innovation@st.taiwa.ac.jp

実施場所

京都府京都市右京区太秦安井西沢町4番5

実施時期

6月～11月

関連HP

<https://www.kyoto-seikagijyutsu.ac.jp/>



その他

-

万博後の取組

これまでの活動（親子料理・菓子教室、食育イベントなど）の成功を踏まえ、今後の方向性は、「学生の主体的な学びと成長」をさらに強化し、「地域社会への貢献」を拡大することに焦点を当てる。来る令和9年度には京都製菓製パン技術専門学校として地域連携を軸とした新学科を開設し、地域連携の「型」を確立していく。学生に対しては、「教える」ことを通して、学生が主体性、コミュニケーション能力、課題発見能力を獲得する地域連携モデルへと昇華させる。

きょうとSDGsフェア2024 ～DX・GXによるSDGs推進の取組紹介～

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 当日は以下のプログラムで実施した。
- ① DX・GX活用によるマイボトルの普及トライアル ② ごみゼロアプリ活用による清掃活動のネットワーク化
- ③ DX ネイティブ世代による地球環境ユースサミット ④ 今から始める万博参加～ EXPO KYOTO、TEAM EXPO 2025
- ⑤ 多様な事例紹介及び全体を受けたパネルトーク

【実施成果】

- ▶ 会場参加・オンライン含め40名を超える参加者が視聴され、特に会場では、プログラム内及び実施後の登壇者との交流も含め充実した内容となった。

実施主体

京都超SDGsコンソーシアム

【問い合わせ窓口】総合地球環境学研究所教育部門

実施場所

京都市リサーチパーク1号館G会議室

実施時期

令和6年7月26日

関連HP

<https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/5651/>

その他

マイボトル持参推奨



万博後の取組

大阪関西万博で取り組まれたレガシーを発展させながら、引き続き2030年SDGs達成に向けて京都から発信を続ける。SDGsに対する世間の関心の低下が感じられるため、ビヨンドSDGsにむけた議論も注視しつつ、再度取り組みを強化する。

2025秋のかやぶきコンサート

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都府在住のザイラー夫妻が、京都府南丹市日吉町・胡麻の里に福井県から移築再建した禅寺（1784年建立）「かやぶき音楽堂」（国の登録文化財）において、今年で36周年のかやぶきコンサート。毎年初夏と秋に開催され、京都府全域を始め日本各地から多くの人々が訪れる。
- ▶ 2017年ピアニスト、エルンスト・ザイラー逝去により、2018年からは「カズコ・ザイラーと素敵な音楽仲間」シリーズで、室内楽コンサートを公演。初夏のかやぶきコンサートにて好評をいただいた、ヴァルダー氏を迎え、ヴァイオリンとピアノのデュオコンサートを再び開催。

【実施成果】

- ▶ 200名ほどのご来場者にお越しいただき、デュオコンサートを楽しんでいただき、公演後の甘酒や手作りケーキ、おにぎりも好評だった。
- ▶ 共演者のヴァルダー氏はウィーン出身ということもあり、ご来場者の方々にはウィーンの雰囲気とともに、音楽の力で和と輪の広がりを感じていただけたのではないかと思います。

実施主体

かやぶき音楽堂事務局

【問い合わせ窓口】 pianoduo@kayabuki.com

実施場所

かやぶき音楽堂

実施時期

令和7年10月26日

関連HP

<http://kayabuki.com>

その他

-



万博後の取組

胡麻の里に古寺を移築建立した音楽堂で、自然と一体となった空間の中、上質な音楽を多くの方々に楽しんでいただける機会になったことを喜ばしく思う。引き続き定期的なコンサートを通して地域や世代を超えて音楽の魅力を広げていきたい。

子どもたちが考える“ドローンが描くみらい社会”

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 子どもたちにドローンを通して先端技術と共に生きることを学んでもらい、ドローン活用を知り、実際に操縦することで、社会での役割やドローンが描く未来について主体的に考え取り組む機会を提供した。
- ▶ イベントでは、災害の町の様子をあらわしたポスターの上を子ども達が試行錯誤しながらドローンで被害状況を確認するプログラムを組んだ。

【実施成果】

- ▶ 来場者約100名
- ▶ 保護者からはドローンがプログラミングで飛ばせることやドローン活用についても子どもと一緒に学べて興味を持てたとの声があった。万博への空飛ぶクルマなどへの関心へ繋がられた。

実施主体

株式会社JDPドローン

【問い合わせ窓口】08047669079 jdpdrone2@gmail.com

実施場所

バンビオ1番館

実施時期

令和6年9月7日

関連HP

—



その他

—

万博後の取組

万博を機にドローンに興味を持つ子どもたちが増えることで、ドローンプログラミングの認知向上を目指した。先端技術に触れることで年齢問わず幼児から小中学生まで興味深くチャレンジしていた。今度、学校の授業の中でもプログラミング教育の一環として取り入れられるよう働きかけていきたい。

ダンボール端材を活用した知育ワークショップ展開

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博開幕前京都駅ビル前で行われた【京都イロドリEXPOこといろ】にて端材を活用したワークショップを開催
- そのほか、地域の児童館、金融機関、自治体（区役所）、百貨店にて同様のワークショップを実施
- 約3～12歳を対象としたワークショップで、ダンボール工場が出た新品のダンボール端材を用意し、ペンやはさみ、テープ等を使用してもらい、自由工作のワークショップを行う。

【実施成果】

- 万博開催期間中のワークショップ参加者は総勢約150組に上る。
- 各ワークショップ終了後に、ダンボール素材についての環境授業を実施。自身がワークショップで使用した端材もリサイクルされることで、新たなダンボールに生まれ変わる面を学んでもらう機会となった。

実施主体

洛西紙工株式会社

【問い合わせ窓口】 oda@rakusaishikou.co.jp

実施場所

京都駅前広場、区役所、百貨店、金融機関

実施時期

随時実施中

関連HP

<https://www.pref.kyoto.jp/kikaku/banpaku/kotoiro.html>

その他

—



万博後の取組

万博での【共創チャレンジ】をきっかけに、ダンボール工場で生まれた端材を使ったワークショップ並びに端材パッケージ商品「SDKids 京都版」が誕生した（奈良県の株式会社高木包装様をはじめ、京都の企業3社（有限会社マルシゲ紙器様・有限会社修美社様・株式会社和光舎様）と協業・開発し、パッケージは京都芸術大学の学生2名によるデザイン協力により完成した）。

ワークショップ参加者からは、ダンボールという素材を価値のあるものとして再認識する声が多く、学習効果を確認することができた。一方、端材調達や輸送等のロジ面、会場規模に応じた人数制御など運営最適化は課題である。万博後は、供給元連携や運営マニュアル化を進め、学校や企業等へ展開することで「端材利活用×環境教育」を常態化させる方向で検討する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- KIMONO RUNWAY COLLECTION 2025 は、京都から世界へ和装文化を発信することを目的に開催された大阪・関西万博きょうと推進委員会認証イベントである。2025年11月16日、リーガロイヤルホテル京都にて行われ、全国のウォーキングパフォーマー・和装家パフォーマー・元宝塚歌劇団出身者など、多様な出演者が集結した。出演者約20チームが着物・和装ドレスでランウェイを歩き、弦楽生演奏や合唱などを取り入れた総合ステージとして構成。VIP・一般席は完売となり、シアター席を含む幅広い層の観客が参加した。Instagram や YouTube による告知・ライブ配信を実施し、会場外の視聴者にも開かれたイベントとして展開した。京都の伝統文化を現代的な舞台演出と融合させ、着物を次世代へ継承する機会創出を狙いとす。

【実施成果】

- 当日はディナー付き205席がすべて満席となり、加えてシアター席にも50名が来場し、会場全体が活気に包まれた。ステージでは全国から集まったパフォーマーによる着物ランウェイ、生演奏、合唱が披露され、観客からは「伝統文化とエンターテインメントが融合した新しい和の表現」と高い評価を得た。YouTube や Instagram でのライブ配信にも多数の視聴があり、現地来場者だけでなく遠方からも参加できる開かれたイベントとして展開できた点が大きな成果となった。SNS ではバックステージの様子や出演者紹介も投稿され、イベントの透明性向上とコミュニティの活性化に寄与した。京都の魅力を和装文化を通じて発信し、大阪・関西万博の理念である文化共創との親和性を示すイベントとして成功を収め、次年度以降の継続開催に向けた確かな基盤が構築された。

実施主体

ビューティーグレース株式会社

実施場所

リーガロイヤルホテル京都

実施時期

令和7年11月16日

関連HP

<https://x.gd/J7Tu4>

その他

—

【問い合わせ窓口】ビューティーグレース株式会社
bg.west.info@beautygrace.co.jp



万博後の取組

① 実施成果を踏まえて見えてきたこと・課題

KIMONO RUNWAY COLLECTION 2025 は、着物ランウェイ、生演奏、合唱を融合した総合芸術イベントとして高い評価を得た。ディナー席205席満席、シアター席26名の来場があり、SNS や YouTube を通じた発信も順調に行われ、会場外からもイベントに参加できる形を実現した。出演者の熱意や準備、練習量も十分で、パフォーマンスの質は全体として高かった。一方で、イベント規模の拡大により、運営スケジュールの乱れが生じた点が課題として明確になった。背景として、実際のステージサイズ・動線の広さを事前に十分に想定できておらず、リハーサル前の段階では出演者・運営側ともに具体的な動きをイメージしにくかったことが挙げられる。これにより、直前の調整が多く発生し、余裕のない進行になってしまった部分があった。今後は、大規模ステージでの動線設計・演出計画を事前段階で精密にシミュレーションすることが重要である。

② 上記を踏まえた万博後の取組方向性

万博後は、まずステージ規模に応じた演出マネジメントの強化が求められる。具体的には、会場レイアウトの早期確定、実寸に近い環境での事前動線確認、リハーサル時間の最適化、進行管理チームの増員など、より余裕を持ったオペレーション体制を整える必要がある。また、舞台制作の専門スタッフとの連携を強化し、演出・照明・音響を含めた総合的なステージ設計を早期に固めることで、当日の修正作業を最小限に抑えられる。さらに、SNS やオンライン配信を通じた情報発信は今後も継続し、京都から国内外へ和装文化を届ける基盤として活用する。イベントの質と運営体制を向上させながら、よりスムーズで魅力的な舞台づくりを実現し、持続的な文化発信事業として展開していくことが万博後の重要な方向性となる。

和装家パフォーマー

実施概要及び成果

【実施概要】

- 和装家パフォーマーは、「和装文化を日常に、美しく自然体で広げる」ことを目的とした和装表現チームで、所作・姿勢・日舞・ウォーキングを基礎とした身体表現を強みとして活動している。Instagram・YouTube を中心としたオンライン発信に加え、撮影会や和装イベントへの出演、所作講習など文化啓蒙活動を展開している。また、毎月第3日曜日には京都で定期レッスンを開催しており、全国から受講者が訪れ取り組みでは、和装所作のスキル向上、着物での動きの研究、ステージ上での表現力強化に取り組むとともに、SNS を活用した現代的な和装の見せ方を強化した。活動として「大阪・関西万博2025」「KIMONO RUNWAY COLLECTION」への出演も挙げられ、「和装所作の深化」と「文化発信の強化」を行う。

【実施成果】

- 本取り組みを通じて、和装所作の基礎技術と表現力が大きく向上した。着物を着た際の姿勢・歩き方・指先の動きまで細部の美しさが磨かれ、自然体で品格ある動きの再現性が高まった。また、レッスンを通じて全国からの受講者が交流し、お互いの表現を高め合うコミュニティが形成されたことも重要な成果である。これにより、多様な背景を持つ受講者が和装文化を学び合う「横のつながり」が強化された。発信面では、動画を中心に「動きで見せる和装美」が評価され、若年層を含む幅広い層に和装文化への関心を喚起することができた。ステージ出演などの実践機会を通して、和装表現の幅が広がり、伝統文化の現代的な魅せ方を提示できたことは社会的な成果といえる。

実施主体

ビューティーグレース株式会社

実施場所

京都忍者道場

実施時期

毎月第3日曜日

関連HP

http://beautygrace.co.jp/wasouka_performer/

その他

—

【問い合わせ窓口】ビューティーグレース株式会社

bg.west.info@beautygrace.co.jp



万博後の取組

① 実施成果から見てきたこと・課題

和装家パフォーマーは、毎月第3日曜の京都レッスンに全国から受講者が集まり、所作・ウォーキングなどの技術向上とコミュニティ形成が進んでいる。KIMONO RUNWAY COLLECTION や万博出演を通じて舞台表現力も高まり、SNS発信で和装文化への関心を広げる成果もあった。一方で、着物をただ着るだけに留まる人もいる中で、全員が十分に学び、魅力的に発信できているわけではないという課題がある。今後は、より深く学び、表現力を身につける受講者を増やす必要がある。また、SNSでの双方向的な発信や参加型企画の充実も課題として残る。

② 万博後の取組方向性

今後は、着物をより魅力的に表現できる動きや演出の習得を促し、深く学ぶ受講者を増やす取り組みを進める。大規模ステージ出演に備え、演出・動線・照明・音響の事前シミュレーションやリハーサル時間の確保、運営体制の強化を行う。SNSでは双方向性や視聴者参加型企画を取り入れ、コミュニティ育成と発信力強化を図る。京都定期レッスンや全国からの受講者向け育成プログラムを充実させ、技術力と表現力を兼ね備えた人材を育成するとともに、地域文化・伝統産業と連携し、和装文化の持続的な発信と社会的認知向上を目指す。

日本の伝統的な技法やデザイン、日本美術などを用いた 大阪・関西万博公式ライセンス商品の製造・販売

実施概要及び成果

【実施概要】

- 日本の伝統的な技術やデザイン、美術品などを用いた万博公式ライセンス商品の制作、販売を実施。京都の関連では、①高山寺所蔵の鳥獣戯画シリーズ、②友禅染めの商品群、③包括協定を結んでいる京都芸術大学との共同制作する商品群（京コマ、京提灯、京和傘など）、④京もの認定工芸士会「響」が制作する商品群を万博公式オンラインストアや関西の美術館ショップ、京都でのイベントや万博会場などで販売した。

【実施成果】

- 万博公式オンラインストアや関西の美術館のショップ、京都でのイベント、万博会場などで約25,000点の商品を販売し、観光客らに京都の工芸品と万博のコラボ商品をアピールできた。友禅や和傘、金彩など製作現場を取材して、ホームページやSNSで繰り返し発信した。

実施主体

読売新聞大阪本社

【問い合わせ窓口】大阪本社事業局事業共創部

実施場所

万博公式オンラインストアや関西の美術館ショップ、京都でのイベントや万博会場など

実施時期

令和8年3月末まで

関連HP

<https://www.yomiuri.co.jp/adv/domu/goods/>

その他

—



万博後の取組

- ・万博の公式ライセンス商品を通じて、京都の工芸品を活用したコラボ商品を企画することができた。日本独特の丁寧なものづくりに外国人からの注目は高く、日本人の購入者も多かった。
- ・今後も京都の工芸職人と弊社関連事業とのコラボ商品を企画販売したい。

万博エコ・ベンチ・プロジェクト

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ エースジャパン株式会社は、2025年大阪万博において、京都府産の未利用間伐材および枝・葉・樹皮を活用したベンチ2000基を提供した。本ベンチは、環境に配慮した持続可能な素材を使用し、美観と機能性を兼ね備えたデザインとしており、万博会場内に設置。来場者が休憩できる場を提供するとともに、森林資源の持続可能な利用促進や森林保護の重要性を万博期間でのイベントや展示を通じて広く啓発した。

【実施成果】

- ▶ 今回の大阪万博でのベンチ提供により、定量的には延べ約250万人の来場者に利用され、ベンチ貼付のQRコードページビューも6,843件あった。定性的には環境啓発、地域貢献、認知度向上、持続可能なビジネスモデルの実証という多方面での効果を得ることができた。今後も、環境配慮型製品を通じた社会貢献活動を推進していく。

実施主体

エースジャパン株式会社

【問い合わせ窓口】 0774-46-8987

実施場所

京都府相楽郡精華町精華台五丁目1番1

実施時期

常時

関連HP

<https://www.acejapan.biz>

その他

イベントや展示では、英語表記を行った。



万博後の取組

学生や地域住民と連携し、地域の林業資源を活用したベンチ設置を通じて、森林資源の活用や環境保護の啓発に一定の効果を示した。特に、ベンチに貼付されたQRコードには6,843件のアクセスがあり、多くの来場者が環境情報に触れることができた。しかし、啓発効果の定量的把握には課題が残った。今後はQRコードの表示方法を変更する等してベンチ設置や啓発活動の効果を定量的に測定するための仕組みを整備し、環境教育や啓発活動の効果を一層高めていく。

宿泊場所の提供だけでなく、京都の文化や食体験を発信

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 大阪・関西万博開催によるインバウンド旅行客の増加を見据え、近隣店舗の“和菓子サロン一祥”様、”京からかみ体験工房 唐丸”様、手織り寿司“AWOMB”様と連携し、京都 ならではの食体験や文化体験を紹介・提供する活動に取り組んだ。
- ▶ インバウンドゲストと積極的にコミュニケーションを図り、多言語による案内を強化。
- ▶ SNS(Instagram)を活用し、京都の最新情報や観光情報を発信。

【実施成果】

- ▶ 年間で約2万人のインバウンドの方にご宿泊いただき、複数のゲストが実際に京からかみの体験などの文化体験に参加された。
- ▶ インバウンドゲストと積極的にコミュニケーションを図り、高レビューを獲得、維持できた。
- ▶ 定期的に情報発信を行い、約100名フォロワーが増えた。

実施主体

株式会社グローバル・ホテルパートナーズ

【問い合わせ窓口】 075-746-2877

実施場所

THE GENERAL KYOTO 四条新町
THE GENERAL KYOTO 仏光寺新町

実施時期

随時

関連HP

<https://globalhotels.jp/>

その他

観光や交通案内などの多言語対応



万博後の取組

ご宿泊いただいたインバウンドゲストは、京都や日本の文化に興味を持っていた。反面、どうやって参画すれば良いのか、どこがおすすめるのか迷われている方が多くいらっしゃったので、引き続き紹介や提供できる場を設けたい。

絹の伝統工芸ワークショップ

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博会場（京都府ブース）にて、6月30日～7月6日に金彩友禅体験を実施した。
- 祇園祭山鉾巡行当日（7月17日）には、本社ビルにて金彩友禅体験、扇子友禅体験作りを実施した。
- 月2回程度のペースで、絹の白生地資料館にて訪日外国人観光客向けに、金彩友禅体験のワークショップを開催した。

【実施成果】

- 来場者実績 600名（万博会場体験参加者 約500名、絹の白生地資料館100名）
- 絹文化・着物文化の認知拡大、万博会場での体験をきっかけに資料館への来館者増につながった。

実施主体

株式会社伊と幸

【問い合わせ窓口】株式会社伊と幸 管理部

実施場所

大阪・関西万博（関西パビリオン 京都府ブース）
絹の白生地資料館

実施時期

6月30日～7月6日、7月17日、及び月2回程度

関連HP

<https://www.kimono-itoko.co.jp>

その他

英語対応



万博後の取組

- ①伝統工芸への関心は高く、特に外国人観光客からの反応が良かった。一方で、体験受入の人員体制や多言語対応、予約・決済などの運営面に課題が見られた。
- ②今後は、人員体制、多言語対応など、インバウンド向けの受入体制を強化し、体験を通じた販路拡大、絹文化発信を継続的に推進する。

KANSAI感祭 in KYOTO

～伝統文化とデジタル演出の融合による特別体験～

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博の機運醸成、関西の文化力の向上や関西各地の活性化を図るため、文化発信イベント「KANSAI感祭」を各地で開催、その京都会場として東本願寺で伝統文化とアートの融合により今回限りのナイトコンテンツを提供した。

(内容)

- ・東本願寺の境内において、初めて夜間ライトアップを実施し、特別な参拝を演出。
- ・通常非公開の書院において、今回限りの「能」と「京料理」に親しむプログラムを実施

【実施成果】

- 来場者実績2,279名（うち外国人参加者1,436名）
- 能と料理のプレミアムプログラムは、23名が体験。
- 外国人向けのナイトコンテンツとして、紅葉時期昼間のオーバーツーリズムの分散にもつながった。

実施主体

KANSAI感祭実行委員会（関西広域連合、(公社)関西経済連合会、(一財)関西観光本部、(公財)関西・大阪21世紀協会）

【問い合わせ窓口】京都府文化生活部文化政策室
電話番号：075-414-5166
MAIL:bunsei@pref.kyoto.lg.jp

実施場所

東本願寺（京都市下京区烏丸通七条上る）

実施時期

令和6年10月26日（土）、10月27日（日）

関連HP

<https://www.kouikikansai.jp/koikirengo/jisijimu/sportsshinko/10482.html>

その他

・多言語(英・中・韓)でのイベントHPの構築、海外向けOTAへの掲載などインバウンドのお客様も訪れやすい仕組みを実施
後援:(公社)2025年日本国際博覧会協会、歴史街道推進協議会、関西元気文化圏推進協議会



万博後の取組

万博後は、オール関西での伝統文化事業を継続実施することにより、引続き京都の伝統文化を国内外にPRする。

「おりん」を通じた伝統工芸、精神文化、宗教文化など、京都の重層的な魅力発信

実施概要及び成果

【実施概要】

- 工房見学、音色の体験、演奏会の開催を通じて、京都の伝統技術が生み出す佐波理おりんの音色を体感していただくとともに、ウェルビーイングについて考える機会や日本古来の気持ちを整える音色についての認知を広める活動を実施。

【実施成果】

- 京都駅で行った演奏会については、目的でのご来場と、通りがかりのご来場の多くの方々に体感してもらえる機会となった。また、定期的に行っている工房見学への訪問も継続してご案内している。
- 工房見学を通じ、弊社の製品に対する知識や興味の拡大、購買に繋がっている。
- また、京都の職人のものづくりやその歴史に対する関心や認知の向上、イメージの向上にも繋がっていると感じている。

実施主体

有限会社南條工房

【問い合わせ窓口】有限会社南條工房 TEL:0774-22-2181

実施場所

京都駅、関西パビリオン、
LinNe STUDIO

実施時期

演奏会 令和6年10月
工房見学 随時

関連HP

<https://linne-orin.com/>

その他

工房見学の翻訳機導入



万博後の取組

音色への関心は国や文化を問わず、心に寄り添うものと認識することができた。また、日本の中であってもまだまだ認知度の改善の必要性を感じた。ウェルネスやウェルビーイングへの関心が高い今こそ、人の役に立つ音色として、必要と感じる人々へ届ける活動を続ける。

堂本印象没後50年記念・「堂本印象と大阪」展

実施概要及び成果

【実施概要】

- 堂本印象没後50年。所蔵コレクションを中心に、大阪をテーマとした作品を展示するとともに、昭和45年開催大阪万博の際、堂本印象がデザインした万国博ホールの緞帳の原画（大阪府蔵）及び下絵も公開し、大阪を舞台に行われた印象の芸術活動を紹介する展覧会を開催。

【実施成果】

- 来館者4,446名
（内訳 一般1,534名、65歳以上865名、高大生211名、中小154名、その他無料1,682名）
- 海外からの観光客が、全体の約4割を占めており、日本画家堂本印象の画業を改めて広く世界に発信することができた。

実施主体

公益財団法人京都文化財団

【問い合わせ窓口】<https://insho-domoto.com/contact/>

実施場所

京都府立堂本印象美術館

実施時期

令和7年6月12日～9月23日

関連HP

<https://insho-domoto.com>

その他

（実施した外国語対応）英語リーフレット設置、館内サイン及び作品解説の英語対応

万博後の取組

①猛暑の影響を受け、来館者は伸びなかったが、昨年と比べて海外からの観光客が2割ほど増加している。②作品解説の英語対応をさらに充実させ海外からの観光客の方へのサービスの向上を図り、日本画の魅力を発信する取組を継続していく。

ガールスカウトフェスタ～世界旅行へ行こう！～

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都府内のガールスカウトが集まり、世界旅行へ行こうのテーマのもと、各団のクラフトやゲーム、ダンスなど趣向をこらしたいろいろな国のブースを回ってオリジナルのパスポートにたくさんのスタンプを集めて回った。
- ▶ 京都府知事の西脇隆俊さまはじめ、ご来賓の方にも来ていただき人権啓発ソングをみんなで歌った。
- ▶ 民族衣装体験は大盛況、行列を作っているんな国の民族衣装を着ていた。

【実施成果】

- ▶ 来場者人数：約400名 子どもたちが世界を知るきっかけ作りとなった。

実施主体

ガールスカウト京都府連盟

【問い合わせ窓口】:email : gs-kyoto@crux.ocn.ne.jp

実施場所

京都テルサテルサホール

実施時期

令和7年2月11日（火・祝）

関連HP

<https://www.gs-kyoto.com/>



その他

—

万博後の取組

- ① 子どもたちに世界に関心を持ち、世界の文化・日本の文化を体験する機会を持つことができた。来場者が増えることはなかった。また海外からの来場者もとくには見られなかった。
- ② 今後も子どもたちに世界に関心を持つようにすすめる取り組みを継続する。

【目指す姿】 伝統と革新の街、京都から、未来へつながる国際交流のあり方を提示する

概要

大阪で開催される大阪・関西万博を前に、まずは京都府民に向けて「万博」そのもののイメージをわかりやすく伝えるため、「京都みやこEXPO」を開催します。

世界各国の文化や生活様式への理解と体験、在日外国人に向けて日本（京都）の伝統と文化の紹介と体験、国際交流に関わる人々や団体の紹介、国籍や世代を超えたコミュニケーション体験、さらには地球の未来へ向け環境など様々な課題に取り組む人々の紹介などのコンテンツをコンパクトに揃えることで、大阪・関西万博の意義とワクワクする楽しさを京都府民に伝えたいと考えています。

実施主体

大阪・関西プレ万博実行委員会京都支部

【問い合わせ窓口】 kyoto@p-ex.net

実施場所

京都市国際交流会館

実施時期

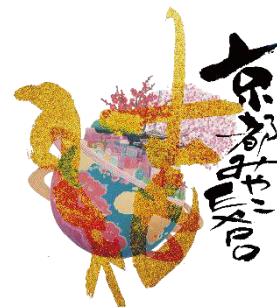
令和7年3月9日

関連HP

<https://kyoto.p-ex.net>

その他

二か国語（日本語、英語）対応



万博後の取組

本イベント開催後も在日の外国人団体との交流を深め、毎年の恒例イベントとして定着させたい。

伝統文化×科学の融合 命に彩りを、温もりを

実施概要及び成果

【実施概要】

- ①万博会場↔京都の誘客に繋げるべく、華道、茶道、二つの伝統文化×科学の融合による「命」のあり方を考える体験プログラムを考え、大阪・関西万博2025の公式サイト内にある旅のページに掲載された。
- ②期間中に関連イベントとして、華道、茶道、書道の三つの道を通して「命」と向き合うイベントを5月、6月と2回開催。

【実施成果】

- ①万博情報をSNSで発信したが、残念ながらこのプログラムへの予約はなく、別のプログラムへの予約を獲得。
- ②イベントを2回に渡り開催し、どちらも満席で終えた（合計17名が参加）。

実施主体

アトリエ ミッチェ キョウト

【問い合わせ窓口】石黒 美知子

atelier_micche@yahoo.co.jp

実施場所

Micché KURAMAGUCHI(鞍馬口)
京都市上京区相国寺門前町699-1

実施時期

令和7年3月10日～10月31日

関連HP

<https://micche.blog>
<http://www.micche.com>

その他

英語での対応（フランス語は少し）
添えるお菓子はその方のご体調やご趣向など、多様性に対応した。



万博後の取組

※万博のテーマである「命」について、華道、茶道の伝統文化を通して、粛々と見つめられる静かな時間を、花をいけることが癒しにつながることを、抹茶の効果効能もお伝えし、今後もプログラムを持続していく。

※万博関連の投稿を今年度中は継続する。自身の事業にいかしたことをご紹介し、今後も世界に向けての発信を持続していく。

茶祖の寺・建仁寺で茶道や礼法を楽しく学べる「たしなみ塾」

実施概要及び成果

【実施概要】

- 喫茶文化を日本へもたらしたとされる、栄西禅師を開山とする建仁寺において、日本を代表する伝統文化の一つ茶道や礼法を学ぶ「たしなみ塾」を、新たに万博に訪れる海外の方、また日本に暮らす人々を対象に開催。（事前予約制、英語通訳可）
- 気軽に、楽しく抹茶文化、日本の作法や特有のもてなしの精神に触れ、学んでいただいた。

【実施成果】

- 開催回数：1回 日時：開催日時：令和7年10月2日（火）13時半～15時半
- 人数：20名 講師：西野典子（一般社団法人文化継承機構 認定講師）／建仁寺 六鹿氏
- 参加者からは、継続して、違った作法の講座なども受けてみたい、と感想をいただいた。

実施主体

一般社団法人 文化継承機構 【問い合わせ窓口】 文化継承機構

実施場所

大本山 建仁寺（問い合わせは機構へ）



実施時期

随時

関連HP

<https://oci.or.jp/>

その他

事前予約にて外国語対応

万博後の取組

- 万博を通して、日本文化へ興味を持った方々から問い合わせが増えた。
- 今回、参加者と寺院側の予定の調整などで回数が伸びなかったことを踏まえ、今後海外旅行客だけではなく、京都市内に住む人、企業で働く人々の作法や文化を学ぶ場としてのニーズに焦点をあて、事業を展開していく。

【目指す姿】 初釜茶会を通し在京の各国外交官に「3つの京都」の魅力及び万博をPRする**概要**

- ・在京の各国外交官を招待した「初釜」に見立てた茶会を開催する。
- ・令和7年は万博開催年なので、ミャクミャクぬいぐるみの設置や万博関連の動画を流すなど、万博をPRする時間も設ける。
- ・京友禅サリーを展示したり、3つの京都（お茶の京都、海の京都、森の京都）にちなんだお酒、おつまみも提供し、参加者に京都の魅力を発信することで、府域への誘客にも繋げる。
- ・メディアも招待し、「万博」と「3つの京都」に各国外交官がワクワクしている様子を発信してもらうことで、万博の機運醸成にも繋げる。

実施主体

特定非営利活動法人 桜茶meet

【問い合わせ窓口】 代表理事・河合顕子
08034380402/akiko@Sakura-cha-meet.com

実施場所

第一衆議院議員会館・1階和室

実施時期

令和7年1月14日（火）夕方

関連HP

改装中（sakura-cha-meet.com）

**その他**

運営スタッフは全員、英語を話します。ハラル対応の抹茶を使用します（協力：共栄製茶）

万博後の取組

議員会館・和室での茶会は、3年前より年に2度開催しており、万博後も継続的に「3つの京都」をPRします。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ポーランド共和国文化・国家遺産省の助成を受け、クラクフ国立博物館の全面的な協力の下、ポーランド各地から招来した絵画、家具、テキスタイルなど約130点によって、前世紀転換期に花開いたポーランド美術を日本で初めて紹介。
- EXPO2025大阪・関西万博ポーランドパビリオン関連イベントの一環として開催。

【実施成果】

- 来場者実績35,650名、1日あたり419名
- 会期中にポーランド広報・文化センターの協力による講演会・リサイタル・映画上映会を実施。
- 今まで紹介される機会の少なかったポーランド美術を紹介し、関心を持っていただく契機となった。

実施主体

独立行政法人国立美術館
京都国立近代美術館

【問い合わせ窓口】 京都国立近代美術館総務課事業係

実施場所

京都国立近代美術館

実施時期

令和7年3月25日～6月29日

関連HP

<https://www.momak.go.jp/Japanese/exhibitionarchive/2025/462.html>

その他

作品リスト、音声ガイド、館内サインの英語対応



(左) 外観 撮影：四方邦照 (右) オルガ・ボズナスカ《菊を抱く少女》1894年クラクフ国立博物館蔵

万博後の取組

- ・ 従来本邦で十分に紹介されてこなかったポーランド美術の動向・作品・作家に触れる機会を提供できたことで、多くのポジティブな反応をいただいた。
- ・ 一方、本展は一般的に馴染みの薄いテーマであり、加えて同時期に関西圏でより認知度の高いテーマの大規模展が複数重なったことで、集客面ではやや伸び悩みが見えた。広報面でのさらなる工夫が必要である。
- ・ 本展のような、十分に紹介されていなかった芸術・動向の焦点化については、一過性のものに終始することなく今後も継続していきたい。

モダン・エキスポ・ポスターズ：グラフィックで見る現代の万博

実施概要及び成果

【実施概要】

- 現代の万国博覧会約70年の歴史の中で、個々のポスターに込められた理念や目的をグラフィックからたどる機会を提供する企画展を開催。開催前日には内覧会も開催。併せて2025大阪・関西万博のシンボルマークやデザインシステムを紹介する展示を7月15日から追加展示を行った。
- 7月19日には引地耕太×花岡両氏のトークイベントを開催。

【実施成果】

- 弊ギャラリー過去最高の来場者数を獲得した。

実施主体

(公財) DNP文化振興財団

【問い合わせ窓口】京都dddギャラリー

TEL:075-585-5370 FAX:075-585-5369

HP問い合わせフォーム：https://www.dnpfcp.jp/gallery/inquire_information/

実施場所

京都dddギャラリー

実施時期

令和7年6月13日(金)～8月20日(水)

関連HP

<https://www.dnpfcp.jp/gallery/ddd/>

その他

タイトル、パネル、キャプション等への日本語・英語併記

万博後の取組

- ① 影響力ある出展者の投稿により、SNSで多くの来場者獲得に繋がる事を改めて実感した。
- ② 今回の新規獲得来場者をグラフィックデザイン・ファンとするべく、今後のギャラリーSNS施策や告知方法に活かす。

企画展「西村製作所と中村要～反射望遠鏡にかけた夢～」

実施概要及び成果

【実施概要】

- 令和8年で100周年を迎える国産近代反射望遠鏡の歴史を取り上げ、特にガラス製の反射鏡製造技術を日本に広めた中村要と日本で初めてガラス鏡の反射望遠鏡を制作・販売した西村製作所に着目し、どのようにして国産の近代反射望遠鏡が作られたのか、人と人とのつながりや当時の技術者たちの天文学や望遠鏡に対する情熱が形になるまでの軌跡を紹介する企画展を実施した。会場内に万博に関するポスターを掲出するなど、万博の機運醸成も図った。

【実施成果】

- 2000名超が本企画展に来場し、小学生からご年配の方まで幅広い世代に、令和8年に100周年を迎える京都における国産近代反射望遠鏡産業の歴史と、それを支えた人々の情熱を伝えることができた。展示コンテンツを3Dバーチャルツアーとして整備し、企画展終了後も広く公開・活用されている。本企画展は新聞紙や専門雑誌で紹介されたほか、SNS上でも多くの方に取り上げていただいた。さらに、関連企画として、望遠鏡の歴史や日本における天文普及の黎明期に関する講演会を4回実施した。

実施主体

学校法人 京都産業大学

【問い合わせ窓口】075-705-3001

実施場所

京都産業大学神山天文台（京都市）

実施時期

令和7年3月15日～6月20日

関連HP

https://www.kyoto-su.ac.jp/wr-observatory/sp_tenji/2024b_bouenkyou.html

その他

—



(左) 西村製作所製の15cm反射望遠鏡
(1973年製作 神山天文台所蔵)
(右) 企画展展示風景

万博後の取組

基礎的な用語解説や子供向けワークシート、多言語対応など多様な層に応じた解説の充実が課題である。またデジタルコンテンツは利用が限定的であり、周知や利用支援を含む環境整備が必要である。万博後は、本企画展で築いた企業や個人、天文台・科学館とのネットワークを基盤に、国産反射望遠鏡や天文普及氏に関する共同調査・展示を継続し、地域や世代、国内外を問わず誰もが学びにアクセスできる機会を広げていく。

大阪・関西万博開催記念 特別展「日本、美のるつぼ—異文化交流の軌跡—」

実施概要及び成果

【実施概要】

大阪・関西万博は、持続可能な社会を、国際社会との共創によって推し進めると謳っている。日本の古美術は閉鎖的で変化に乏しいとみられがちだが、実際は古今東西の芸術文化が混じり合いダイナミックに形作られてきた。現代に伝わる名品も、海外交流のなかで産み出されたものが少なくない。大陸から列島にわたった技術や製品は、憧れとともに受容され、ときには誤解を伴った模倣や改造を加えられながら後世に継承された。世界中から最新技術が集まるこの機会に、交流の軌跡をたどり、日本美術の底力を再発見する。

【実施成果】

古今東西の芸術文化の交流から生まれた日本美術の至宝など、国宝19件、重要文化財53件を含む200件の文化財が一堂に会した本展覧会は、近年開催された特別展の中でも大勢の方へご来館頂いた。国内外含め多くの方に海外交流の軌跡及び日本美術の底力を再発見頂いた機会となった。

実施主体

京都国立博物館ほか

【問い合わせ窓口】 総務課 事業推進係

実施場所

京都国立博物館 平成知新館

実施時期

令和7年4月19日～6月15日

関連HP

<https://rutsubo2025.jp/>
※上記公式サイトは閉鎖済み

その他

会場内の作品キャプションには英語・中国語（簡体字）・韓国語を併記、音声ガイドは日本語版のほか、英語版も提供。



万博後の取組

引き続き、京都を中心とした我が国に伝来する有形文化財の意義や文化的価値を国内外に広く発信していくとともに、永く将来に保存・継承していくことに取り組む。

特別展「宋元仏画—蒼海（うみ）を越えたほとけたち」

実施概要及び成果

【実施概要】

「宋元仏画」は中国の宋・元時代に制作された仏教絵画は、中国ではすでに多くが失われ、現存する作品は日本に伝世してきたものがその大半を占める。日本は中世以来、宋や元と直接交渉をもち、多くの仏教文物を舶載してきたが、仏画は其中で最も珍重されるもののひとつであり、寺院で機能するだけでなく美術史上で規範的な役割を担うなど、日本文化に深く取り入れられ、永く大切に伝えられてきた。

歴史ある寺院の集中する京都は、宋元仏画を多く擁する地であり、開催にあたってはおのずと京都に伝わる文化財が主軸となる。本展は「宋元仏画」という隣国の美術に焦点を当て、中国当地での制作の背景を辿ると同時に、これらを舶載し自国の文化に取り入れてきた我が国の国際性や包容力、多様性をあらためて見直す。

【実施成果】

出展総数150件以上（約半数が国指定文化財）。宮廷がリードして芸術文化が円熟期を迎えた宋代仏画の壮麗さ、社会の大転換のなか少しずつ変容を遂げた元代仏画の多様性など、宋元仏画の大きな魅力を多くの方に触れていただいた。

実施主体

京都国立博物館ほか

【問い合わせ窓口】 総務課 事業推進係

実施場所

京都国立博物館 平成知新館

実施時期

令和7年9月20日～11月16日

関連HP

<https://sougenbutsuga.com/>
※上記公式サイトは近日閉鎖予定

その他

会場内の作品キャプションには英語・中国語（簡体字）・韓国語を併記、音声ガイドは日本語版のほか、英語版も提供。



万博後の取組

引き続き、京都を中心とした我が国に伝来する有形文化財の意義や文化的価値を国内外に広く発信していくとともに、永く将来に保存・継承していくことに取り組む。

京都・大学ミュージアム連携紹介パンフレットによる誘致

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都・大学ミュージアム連携は京都にある大学ミュージアムが連携をしてさまざまな企画を進めてゆくことを目的として2011年に発足した。現在は京都の16大学が連携を構成している。本事業は京都の教育・研究や産業などを紹介する展示を行っている連携加盟館をまわるスタンプ・ラリーを実施し、万博来場者を京都に誘致することを目的とする。10館賞、3館賞、京阪賞の各賞を設定し、加盟館のグッズを賞品として差し上げる。

【実施成果】

- スタンプ・ラリー台紙を3万部、ポスターを250部制作し、各加盟館の他、京都伝統産業ミュージアム、近畿圏の大学・文化施設、マスコミ各社、京阪主要駅および京都府に送付した。2026年3月16日に事業が終了し、現在は台紙の回収を進めているところである。

実施主体

京都・大学ミュージアム連携

【問い合わせ窓口】office@univ-museum-kyoto.com

実施場所

京都・大学ミュージアム連携加盟館および京都伝統産業ミュージアム

実施時期

令和7年8月30日～令和8年3月16日

関連HP

<https://www.univ-museum-kyoto.com/>

その他

—



嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学附属博物館
龍谷大学龍谷ミュージアム

万博後の取組

- ①例年のことではあるが、集客力のある立地条件のよい加盟館とそうでない館のあいだに台紙配布数の差が見られる。
- ②各館を広く回ってもらうための工夫（賞のあり方の見直しなど）をする。また、京都府以外の方にも興味を持っていただくよう、令和8年2月に大阪での短期間のパネル展示とトーク・ショーを実施する予定である。

第76回華道京展 花結び つながろう花と、人と。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都いけばな協会に所属する27流派総勢179名が、大丸ミュージアム<京都>に作品を展示。令和7年4月に第76回を迎える今展では、「花結びつながろう花と、人と。」をテーマに、6日間の会期を前期・後期に分けて作品を展示したほか、万博開催初日となる13日(日)には、会場前で無料で参加できるいけばなイベントを開催し、京都府内における万博の機運醸成に寄与した。

【実施成果】

- ▶ 出展者 27流派総勢179名。来場人数 のべ9,138名
- ▶ いけばな愛好家だけでなく、ファミリー層や国内外からの観光のお客様の来場も多く、桜や杜若をはじめとする季節の花材を取り入れた作品展示で、日本の伝統的な文化の魅力を感じていただく機会となった。

実施主体

第76回華道京展運営委員会

【問い合わせ窓口】華道京展事務局 (075)213-1003

実施場所

大丸ミュージアム<京都>

実施時期

令和7年4月10日～15日

関連HP

<https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000338247.html>
https://ja.kyoto.travel/event/single.php?event_id=6197



その他

ポスター、フライヤー、ミュージアムパネルに英語を併記

万博後の取組

- ・「いけばな」自体が日常生活から遠い存在になりつつあり、特に「いけばな」「華道」を知らない次世代が増えていることに危機感を感じている。
- ・京都府、京都市教育委員会等と連携し中学生向けいけばな体験の継続実施・拡充に努める。

EXPO2025 関西パビリオン京都ゾーン 翻訳事業

実施概要及び成果

【実施概要】

「ICHI-ZA KYOTO」に展示されるコンテンツを紹介する補助資料を京都外国語大学が学内に設置している翻訳・通訳人材バンク「LinguaLink」に所属する学生が行う。この取り組みを通して、京都の伝統や文化を外国語で発信するノウハウを定着させ、今後の京都をはじめとする地域のインバウンド対応などに協力・貢献をしていく。

【実施成果】

会期中に概ね1週間に1回展示内容が入れ替わる「文化」「食」「産業」「環境」「いのち」「観光」の各分野の展示品説明の補助資料翻訳を担当。生成AIを活用した機械翻訳をベースに、日本語ならではのニュアンスや文化的背景を正確に伝えることを念頭に、一つひとつ修正しながら翻訳を完成。この取り組みを通じて、学生たちはこれまで知らなかったテーマについて学びきっかけを得るとともに、AI技術と人の感性を組み合わせることの重要性を学んだ。

実施主体

京都外国語大学LinguaLink

【問い合わせ窓口】総合企画部企画課 075-322-6038

実施場所

京都外国語大学

実施時期

令和6年11月～令和7年6月

関連HP

- ・<https://www.kufs.ac.jp/>
- ・<https://sites.google.com/kufs.ac.jp/lingua-link/>

その他

—



万博後の取組

京都をはじめとする地域のインバウンド対応等、本学のリソースであるコトバを通じて貢献していく。AIの翻訳技術が目覚ましく進化する昨今、敢えて人の手を介する翻訳とAI翻訳との分岐点は、単なる文章の多言語化ではなく翻訳題材の背景を踏まえるからこそ表現できる翻訳にあると考える。そのために、引き続き翻訳題材について“識る”ことも併せ、学生に学ぶ機会を提供できる仕組みを構築していく。

並河靖之七宝記念館 並河七宝と万国博覧会

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 万博の開催期間中に合わせて展覧会を開催。ポスター及びチラシなどに「KYO」参加の掲示。
「春季特別展 並河七宝一万博博覧会の喝采」[令和7年4月5日(土)～7月21日(月祝)]
*七宝体験教室[全4回] および2階主屋の特別公開[全6回]
「秋季特別展 並河七宝—永遠なる黒の耀き」[令和7年9月6日(土)～12月14日(日)]
*2階主屋の特別公開[全6回] および秋の茶会[1回] を開催

【実施成果】

- ▶ 春季特別展の来館者数は2035人、うち外国人は約400人。秋季特別展は、2094人、うち外国人は約470人と、従来に比べ外国人の来館が多くみられた。外国人来館者からは、混雑する京都の中でも、落ち着いた雰囲気の中で、七宝や庭園、町家が味わえる喜びの感想を度々いただいた。その理由として、日本人来館者とも共通し、日本国外でも高い評価の日本の七宝を、明治時代の建物や日本庭園とともに体験できることを述べる方が多かった。また、当館を訪日の目的の一つとしている方も多くおり、当館を改めて、当館の利点を再認識した。

実施主体

公益財団法人 並河靖之有線七宝記念財団

【問い合わせ窓口】nayspo@lapis.plala.or.jp

実施場所

並河靖之七宝記念館

実施時期

令和7年4月～12月

関連HP

namikawa-kyoto.jp



その他

英語のパンフレットのほかに、英文の館内案内図を作成した。明治時代の町家を利用しているため、バリアフリーには十分に対応できておりません。

万博後の取組

- ①当館は観光地にある小規模な施設ではあるが、庭園と建物をいかした展示施設で、七宝をはじめとした日本の芸術文化を静寂な環境の中で味わっていただける場所であり、そこに魅力を見出されている方が多いことを再認識した。
- ②19世紀の万国博覧会にて、日本の技術力の秀逸性を発信し、海外から多くの人々を京都へ誘った、並河七宝の魅力とその源泉となった美の空間は、今日尚も世界中の人々を魅了していることを大切にして、新時代を創造し未来を拓く、古都の叡智と風土を伝えていきたい。

特別展「和食～ 日本の自然、人々の知恵～」

実施概要及び成果

【実施概要】

- 東京・国立科学博物館を皮切りに、全国を巡回してきた特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」が、万博開催年である令和7年、京都で開催した。
- 世界中で注目の高まる和食を、バラエティ豊かな標本や資料とともに、科学や歴史などの多角的な視点から紹介し、日本列島の多岐にわたる自然が育んだ多様な食材、人々の知恵や工夫が生み出した技術、歴史的変遷など、身近なようで意外と知らない和食の魅力に迫り、発信することで和食の本場・京都への誘客にも繋げた。

【実施成果】

- 来場者数：30,290人

実施主体

【主催】京都府、京都文化博物館、朝日新聞社、MBSテレビ

【問い合わせ窓口】京都文化博物館 075-222-0888

実施場所

京都文化博物館

実施時期

令和7年4月26日(土)～7月6日(日)

関連HP

https://www.bunpaku.or.jp/exhi_special_post/20250426-20250706/



その他

広報物として英訳チラシを制作／日英併記の展示MAPを制作

万博後の取組

万博を契機に日本の文化へ注目が集まり、海外観光客を含む多くの方にご来館いただいた。広報物は英語版を作成したが、展示の解説等に英語表記が少ない、というお声をいただくことがあり、課題が残った。

万博後は、海外からのお客様の満足度を上げるべく、可能な範囲での英語表記をこころがけ、芸術・文化のさらなる振興と発展を図る。

特別展 アニメ「鬼滅の刃」全集中展 -刀鍛冶の里編・柱稽古編-

実施概要及び成果

【実施概要】

- 全世界を席卷し、令和2年には日本の映画興行売上の金字塔を打ち立てたアニメ「鬼滅の刃」。「全集中展」第3弾として、「刀鍛冶の里編・柱稽古編」に焦点を当てた展覧会を京都で開催した。映像や展示を通して、「刀鍛冶の里編・柱稽古編」を振り返り、作品内容を体感できる展示空間をお楽しみいただいた。
- また、大阪等での積極的に広報を行い、万博会場から京都への誘客にも繋げた。

【実施成果】

- 来場者数： 36,926人

実施主体

【主催】京都府、京都文化博物館、関西テレビ放送、京都新聞

【問い合わせ窓口】京都文化博物館 075-222-0888

実施場所

京都文化博物館

実施時期

令和7年7月18日（金）～8月17日（日）

関連HP

https://www.bunpaku.or.jp/exhi_special_post/20250718-0817/

その他

-



万博後の取組

万博を契機に日本の文化へ注目が集まり、海外観光客を含む多くの方にご来館いただいた。人気コンテンツということもあり、展示についてのお声はなかったが、運営面では日本語の表記が多く、海外観光客にはわかりづらいこともあったのではないかと感じた。

万博後は、海外からのお客様の満足度を上げるべく、可能な範囲での英語表記をこころがけ、芸術・文化のさらなる振興と発展を図る。

特別展「青の祓魔師（エクソシスト）展」

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「青の祓魔師（エクソシスト）」は、平成21年4月より月刊コミック誌「ジャンプスクエア」で連載が始まり、現在も同誌にて連載中の加藤和恵によるファンタジー漫画。シリーズ累計2500万部を超え、平成23年4月には初のアニメ化。その後も新たなTVシリーズが制作され、映画、舞台、ゲームなどのメディアミックスも展開されている。
- 今回、万博開催年となる令和7年、特別展「青の祓魔師（エクソシスト）展」を開催した。令和6年に連載15周年を迎えた「青の祓魔師」の世界をお楽しみいただいた。

【実施成果】

- 来場者数： 7,855人

実施主体

【主催】京都府、京都文化博物館、MBSテレビ

【問い合わせ窓口】京都文化博物館 075-222-0888

実施場所

京都文化博物館

実施時期

令和7年8月19日（火）～9月15日（月祝）

関連HP

https://www.bunpaku.or.jp/exhi_special_post/20250819-0915/

その他

-



万博後の取組

万博を契機に日本の文化へ注目が集まり、海外観光客を含む多くの方にご来館いただいた。人気コンテンツということもあり、展示についてのお声はなかったが、運営面では日本語の表記が多く、海外観光客にはわかりづらいこともあったのではないかと感じた。

万博後は、海外からのお客様の満足度を上げるべく、可能な範囲での英語表記をこころがけ、芸術・文化のさらなる振興と発展を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 創立80周年を記念し、京都の主な工芸美術作家の創造的な作品を、広く紹介する展覧会を開催した。京都工芸美術作家協会は、昭和21年創立の京都を代表する作家団体であり、分野を超えて多くの会員が所属している。
- 本展は「煌（きらめき）—KOGEI・つながる未来—」をテーマとし、工芸美術の普遍的な価値を世界の人々と共有し、大阪・関西万博が掲げる「いのち輝く未来社会」に繋げた。

【実施成果】

- 来場者数： 3,844人

実施主体

【主催】京都府、京都文化博物館、京都工芸美術作家協会

【問い合わせ窓口】京都文化博物館 075-222-0888

実施場所

京都文化博物館

実施時期

令和7年8月30日(土)～9月15日(日)

関連HP

https://www.bunpaku.or.jp/exhi_sogo_post/20250830-0915/

その他

広報物として英訳チラシを制作



万博後の取組

万博を契機に日本の文化へ注目が集まり、海外観光客を含む多くの方にご来館いただいた。広報物は英語版を作成したが、展示の解説等に英語表記が少なく、課題が残った。

万博後は、海外からのお客様の満足度を上げるべく、可能な範囲での英語表記をこころがけ、芸術・文化のさらなる振興と発展を図る。

総合展示「令和7年 新指定 国宝・重要文化財」

実施概要及び成果

【実施概要】

- 文化庁の京都移転を契機に京都で初開催となる本展では、我が国にある絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書、考古資料、歴史資料などの有形文化財のうち、歴史上または芸術上重要なものを、かけがえのない国民の財産として後世に伝えるため、新たに国宝・重要文化財に指定される美術工芸品等の一部を紹介した。
- また、翻訳アプリの使用を可とするとともに、タイトル・キャプション等へ英語を併記するなど、外国人にもわかりやすい展示とし、万博を契機に日本の国宝・重要文化財の魅力を海外にも発信した。

【実施成果】

- 来場者数： 6,770人

実施主体

【主催】文化庁、京都府、京都文化博物館

【問い合わせ窓口】京都文化博物館 075-222-0888

実施場所

京都文化博物館

実施時期

令和7年4月19日(土)～5月11日(日)

関連HP

https://www.bunpaku.or.jp/exhi_sogo_post/20250419-0511/

その他

-



万博後の取組

万博を契機に日本の文化へ注目が集まり、海外観光客を含む多くの方にご来館いただいたが、展示の解説等に英語表記が少なく、課題が残った。

万博後は、海外からのお客様の満足度を上げるべく、可能な範囲での英語表記をこころがけ、芸術・文化のさらなる振興と発展を図る。

総合展示「ガラスの丹後王国の世界」

実施概要及び成果

【実施概要】

- 本展は、丹後地域で確認できる豊かな渡来文物のなかから、「丹後王国」を特徴づけるガラス製品を通して、古代人のガラスへの憧憬や美意識に迫る展示であった。
- また、翻訳アプリの使用を可とするとともに、タイトル・キャプション等へ英語を併記するなど、外国人にもわかりやすい展示とし、万博を契機に日本文化の国際性を海外にも発信した。

【実施成果】

- 来場者数： 10,958人

実施主体

【主催】京都府、京都文化博物館

【問い合わせ窓口】京都文化博物館 075-222-0888

実施場所

京都文化博物館

実施時期

令和7年5月17日（土）～7月13日（日）

関連HP

https://www.bunpaku.or.jp/exhi_sogo_post/20250517-20250713/

その他

-



京都文化博物館蔵 丹後王国のガラス製品

万博後の取組

万博を契機に日本の文化へ注目が集まり、海外観光客を含む多くの方にご来館いただいたが、展示の解説等に英語表記が少なく、課題が残った。

万博後は、海外からのお客様の満足度を上げるべく、可能な範囲での英語表記をこころがけ、芸術・文化のさらなる振興と発展を図る。

総合展示「祇園祭—山鉾巡行の歴史と文化—」

実施概要及び成果

【実施概要】

- 本展示では、祇園祭における山鉾の歴史や文化について、江戸時代の古記録なども展示しながら、その魅力を総合的に紹介した。また、翻訳アプリの使用を可とするとともに、タイトル・キャプション等へ英語を併記するなど、外国人にもわかりやすい展示とし、万博を契機に日本文化の魅力を海外にも発信した。

【実施成果】

- 来場者数： 12,829人

実施主体

【主催】京都府、京都文化博物館

【問い合わせ窓口】京都文化博物館 075-222-0888

実施場所

京都文化博物館

実施時期

令和7年5月17日（土）～7月21日（月祝）

関連HP

https://www.bunpaku.or.jp/exhi_sogo_post/20250517-0721/



京都府立総合資料館蔵 山鉾巡行の歴史と文化 山鉾巡行の歴史と文化

その他

-

万博後の取組

万博を契機に日本の文化へ注目が集まり、海外観光客を含む多くの方にご来館いただいたが、展示の解説等に英語表記が少なく、課題が残った。

万博後は、海外からのお客様の満足度を上げるべく、可能な範囲での英語表記をこころがけ、芸術・文化のさらなる振興と発展を図る。

総合展示「池大雅展 大雅からのたより」

実施概要及び成果

【実施概要】

- 本展示では、池大雅美術館より寄贈され、現在京都府が収蔵する池大雅のすぐれた書画および関連資料の数々をご覧いただいた。また、翻訳アプリの使用を可とするとともに、タイトル・キャプション等へ英語を併記するなど、外国人にもわかりやすい展示とし、万博を契機に日本美術の魅力を海外にも発信した。

【実施成果】

- 来場者数： 14,960人

実施主体

【主催】京都府、京都文化博物館

【問い合わせ窓口】京都文化博物館 075-222-0888

実施場所

京都文化博物館

実施時期

令和7年7月19日（土）～9月21日（日）

関連HP

https://www.bunpaku.or.jp/exhi_sogo_post/20250719-0921/

その他

-



万博後の取組

万博を契機に日本の文化へ注目が集まり、海外観光客を含む多くの方にご来館いただいたが、展示の解説等に英語表記が少なく、課題が残った。

万博後は、海外からのお客様の満足度を上げるべく、可能な範囲での英語表記をこころがけ、芸術・文化のさらなる振興と発展を図る。

総合展示「今井憲一 幻想とリアルのあいり」

実施概要及び成果

【実施概要】

- 本展では、シュルレアリスムの画風で知られる画家・今井憲一の、幻想と現実の間を漂う世界をご覧いただいた。また、翻訳アプリの使用を可とするとともに、タイトル・キャプション等へ英語を併記するなど、外国人にもわかりやすい展示とし、万博を契機に京都洋画界の魅力を海外にも発信した。

【実施成果】

- 来場者数： 13,628人

実施主体

【主催】京都府、京都文化博物館

【問い合わせ窓口】京都文化博物館 075-222-0888

実施場所

京都文化博物館

実施時期

令和7年7月26日（土）～9月21日（日）

関連HP

https://www.bunpaku.or.jp/exhi_sogo_post/20250726-0921/



その他

-

万博後の取組

万博を契機に日本の文化へ注目が集まり、海外観光客を含む多くの方にご来館いただいたが、展示の解説等に英語表記が少なく、課題が残った。

万博後は、海外からのお客様の満足度を上げるべく、可能な範囲での英語表記をこころがけ、芸術・文化のさらなる振興と発展を図る。

大阪・関西万博開催記念 マークエステル展－日本神話と美しい色彩の花々－

実施概要及び成果

【実施概要】

- マークエステルは、1970年大阪博での来日を機に水墨画を知り、日本文化や日本神話に魅了されて以来、「古事記」をテーマに精力的に創作活動を続けおり、油彩で滲みを表現する独自の技法を確立し、日本文化・日本神話の魅力を世界に向けて発信し続けてきた。そしてこの度弊社では、大阪・関西万博を契機にマークエステル展を京都で開催。豊かな色彩で花々や風景などの自然の美しさと、自然を大切にする日本神話の世界を題材に描いた作品の数々をご覧いただいた。

【実施成果】

- 来場者数約30名チラシ等をみた他府県や新規顧客が多く来廊。
- 作品のテーマとなっている、古事記を通して日本の文化や芸術に関して新たに知識を深める場となった。

実施主体

株式会社アークコーポレーション

【問い合わせ窓口】075-821-7200

実施場所

FROM KYOTO GALLERY

実施時期

令和7年5月13日(火)～25日(日)

関連HP

<https://kk-fromkyoto.jp/>



その他

—

万博後の取組

今回フランス人であるマークエステル氏がいかに日本の文化や芸術を宣伝活動をしてきたか、また日本に住む私たちよりも日本文化について熟知していることがわかった展示会となった。開催の宣伝期間が短く、来場者数が多く見込めない結果となったが、今後とも京都ならではの展示会の開催を検討し、文化芸術の発展また、府外からの来場者を増やしていく取り組みをしていく。

第39回 ～祇園祭にいける～ いけばな展

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 本年度39回目を迎える夏の催事「いけばな展」。八坂神社前の祇園石段下から烏丸までの間、四条通の路面店舗のショーウィンドウに、京都いけばな協会の先生方の作品を展示した。観光客が最も多い祇園祭の時期に文化性の高いいけばなの作品を通じて商店街を回遊することで、参加店を知っていただく良い機会となり商店街の活性化にもつながるよう企画した。

【実施成果】

- ▶ リーフレットに英語表記を追加したことにより、外国人観光客から喜ばれた。また、万博ロゴを掲載することで、万博の機運盛り上げに貢献できるとともに、いけばなを通じて、多くの国内外からのお客様に祇園祭の伝統や日本文化を知っていただいた。

実施主体

京都いけばな協会、祇園商店街振興組合、
四条繁栄会商店街振興組合

【問い合わせ窓口】四条繁栄会商店街振興組合

実施場所

祇園石段下から烏丸までの四条通の路面店舗

実施時期

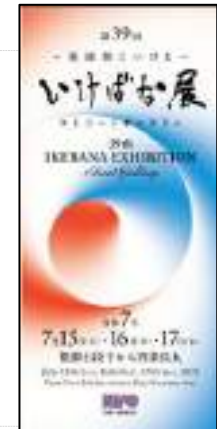
令和7年7月15日～17日

関連HP

<https://www.instagram.com/gionfestivalikebana/>

その他

イベントリーフレットに英語表記を入れ、海外の方にも日本の文化である「いけばな」の魅力や、祇園祭の伝統を知っていただく工夫を行った。



万博後の取組

今後も「いけばな展」を継続的に開催し、京都の伝統文化を広く発信していく。

梅小路公園開園30周年記念事業

実施概要及び成果

【実施概要】 京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイとして、開園30周年の梅小路公園の価値と周辺エリアのまちづくりを考える事業（フォーラム、案内ツアー等）を行った。

- 梅小路公園開園30周年・自然共生サイト認定記念フォーラム 6月15日 キャンパスプラザ京都
- 梅小路公園をよく知るツアー 6月24日、7月29日、8月26日、9月30日 公園内各所
- グリーンフェア（恒例行事）内 10月4日・5日 京都市電のペーパークラフト、自然共生サイト観察会
- 藤袴と和の花展 10月3日～13日（会期としては19日まで）

【実施成果】

- 来場者
- 記念フォーラム 120人 よく知るツアー 4回 計36人 ▶グリーンフェア内 市電ペーパークラフト
100人、観察会30人（フェア全体は計9,950人） ▶藤袴と和の花展 800人(3～13日分)

実施主体 (公財)京都市都市緑化協会

【問い合わせ窓口】 当協会075-561-1350

実施場所 梅小路公園（京都市下京区・南区）

実施時期 令和7年6月15～10月13日

関連HP https://www.kyoto-ga.jp/event/2025/06/15_0000.html
https://www.kyoto-ga.jp/event/2025/06/24_1238.html

その他 酷暑により全体として屋外でのイベント集客に難があり、
屋内で説明を行うなど対応した。



記念フォーラム



よく知るツアー

万博後の取組

①フォーラムでは、30年で培われた緑、環境省自然共生サイト認定につながった市民活動、公園が周辺のまちづくりに及ぼす影響を考えることができ、事後パネリスト間の連携による取組（公園で作った堆肥の駅東地区への提供等）も生まれた。その他の催事では施設の魅力（京都市電、庭園、ビオトープ等）を知ってもらうことができた。ただし、よく知るツアーは平日、屋外開催で、酷暑のため参加が伸び悩んだ。②万博後の取組として、周辺に急増したホテルに宿泊する訪日客を含め、案内ツアーを、公園周辺エリア、嵯峨野線沿線を結ぶ取り組みにつなげていきたい。

ONIGIRIWOW!プロジェクト

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「ONIGIRI WOW!」プロジェクトを通じて、日本のごはんの美味しさはもちろん、「日本各地の食材・料理の魅力」「ごはんは世界の料理にもあう」ことを体験していただき、世界中に、ごはん好きを増やしていきするための活動を実施。
- （京都のおにぎりは7月16日-8月19日の期間限定で販売）

【実施成果】

- 「柴漬けと鰯の和えたん」おにぎりを4,444個販売

実施主体

象印マホービン

【問い合わせ窓口】 象印マホービン株式会社新事業開発室 坂本

実施場所

ORA外食パビリオン『宴～UTAGE～』

実施時期

令和7年4月13日(日) - 10月13日(月)

関連HP

<https://www.zojirushi.co.jp/gohan/onigiriwow/>

その他

日英対応のメニュー表記、アレルギーの表記をおこなった



万博後の取組

- ①おにぎりを通じて地域の魅力を発信することができた。一方で、実際に現地に訪れてもらうまでの動線設計に課題を感じた。
- ②「日本の美味しいごはんを世界中に届ける」ことに注力し、海外でおにぎりテストマーケティングを実施予定。将来的には日本の各地域の魅力を世界に向けて発信し、現地に訪れてもらうキッカケを作っていきたい。

総合展示「未来へのおくりもの 京都府×京都市 指定文化財」

実施概要及び成果

【実施概要】

- 毎年、京都では数々の文化財が調査され指定文化財となり、また同様に、多くの文化財に修理が加えられている。これらは先端の知見で作品を評価し、万全に未来へつなげていくための営みであり、大阪・関西万博が掲げる「いのち輝く未来社会」とも繋がる。本展では、これまで指定された文化財および修理が施された文化財を集め、京都が持つ文化的な奥深さをご覧いただく機会とした。

【実施成果】

- 来場者数： 8,086人

実施主体

【主催】京都府、京都市、京都府教育委員会、京都文化博物館

【問い合わせ窓口】京都文化博物館 075-222-0888

実施場所

京都文化博物館

実施時期

令和7年9月27日（土）～11月24日（月・振休）

関連HP

https://www.bunpaku.or.jp/exhi_sogo_post/20250927-1124/

その他

翻訳アプリの使用可／タイトル・キャプション等への英語併記



万博後の取組

万博を契機に日本の文化へ注目が集まり、海外観光客を含む多くの方にご来館いただいたが、翻訳アプリを使用しづらい内容であり、解説の翻訳パネルの準備が整えば尚良かったのではないかと感じた（展示自体が撮影が不可でスマホを利用しづらい環境でもあった）。万博後は、海外からのお客様の満足度を上げるべく、可能な範囲での英語表記をこころがけ、芸術・文化のさらなる振興と発展を図る。

万博記念ナンバープレートをEV車両に装着

実施概要及び成果

【実施概要】

- 所有するタクシーのうち電気自動車（EV）に万博記念ナンバープレートを装着。ご乗車いただくお客様だけでなく、普段から街を走ることで一般車両、通行人など広くアピールする。EVにのみ装着することで万博のテーマのひとつであるSDGsや脱炭素について知っていただく取組みとする。

【実施成果】

- 累計申請台数147台

実施主体

エムケイ株式会社

【経営企画部】075-555-3186

実施場所

MKタクシー車両

実施時期

令和5年1月～（新規発行は令和7年10月まで）

関連HP

https://www.mk-group.co.jp/about/news/230126banpaku_number_w



その他

—

万博後の取組

- ①車両の代替は平均4～5年のため年々減っていく。
- ②最長で2030年まで万博記念ナンバーを装着するEVが走る。MKが脱炭素について取り組む会社であることを想起してもらう。

店頭での「京のおみやげ」取扱いの拡大

実施概要及び成果

【実施概要】

- 2019年オープンの大垣書店京都本店に食品、文具、雑貨を取り扱う「万 YOROZ（読み：ヨロズ）」ブランドを立ち上げ、地域の名産品などを専属のバイヤーが精選し、展開を開始。
- インバウンド需要を的確に捉え、未だ知られざる京都の魅力を発見、発信する場所として、常に「新たな京都」を提案し続けている。万博開催を契機に、「万 YOROZ」の売場では、POPの英語表記をスタートし、より多くの外国人観光客の皆さまに商品を手にとっていただけるよう日英表記を進めている。

【実施成果】

- 売上の昨年対比は食品部門では110%を超え、雑貨部門では120%を超える実績となった。
- また英語の説明文を併記することで、案内がスムーズになり、お待たせする時間も減った。

実施主体

株式会社大垣書店

【問い合わせ窓口】営業推進部（TEL:080-4379-9749）

実施場所

大垣書店京都本店

実施時期

常時

関連HP

<https://www.books-ogaki.co.jp/stores/kyoto-honten>

その他

-

万博後の取組

- ①課題：英語表記非対応メーカー様の商品の対応
- ②万博後の取組の方向性：英語表記用の共通フォーマットを作成、メーカー様と協力し作成に活用する。

【目指す姿】 「大学連合」×「産学官」エコシステムによる技術共創と世界発信

概要

Beyond万博に向けて、万博を契機としたグローバル産学官エコシステムである「DOIC（デジタルオープン・イノベーション・キャンパス）」の構築を目指しており、その中で万博会期中に行うテーマウィーク（track3）で実施する国際シンポジウムの関連企画として、京都の魅力を発信する文化体験講座を企画します。オープンイノベーションの創出に向け、メタバースによるバーチャルの交流と合わせ、リアルな交流の場として、世界の著名な経営者・文化人も学ぶ日本文化の体験講座を開催することで、日本のよき理解者を増やし、Beyond万博おけるオープンイノベーションの地盤を形成するとともに、京都への誘客及び産業の活性化に貢献します。

※「DOIC」及びテーマウィーク（Track3）の詳細についてはこちらからご参照ください。

<https://bunkashihon.jp/doic/>

実施主体

株式会社文化資本創研、東京工業大学オープンイノベーション機構を発起人とした国際産学官連合

【問い合わせ窓口】 post@bunkashihon.jp

実施場所

メタバース：技術展示場&イベントホール
リアル会場：万博夢洲会場他

実施時期

既にメタバースイベントホール開設。4月よりイベントを定期開催。5月には技術展示場オープン、万博前・中で共創の輪を拡げる。

関連HP

<https://bunkashihon.jp/doic/>

その他

・メタバース空間&万博夢洲会場で行うテーマウィーク（Track3）等の国際シンポジウムに関しては、英語対応を行う。



万博後の取組

万博はあくまでエコシステムの形成の場、Beyond万博でグローバル共創による「社会実装」により変革をもたらす。

京都にこだわり京都に根付いた商品づくり

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 当社は、京都の歴史あるクラフトマンシップに感銘を受け、2015年に京都で創業したクラフトジン専門蒸溜所。大阪・関西万博開催期間中に、京都府亀岡市に化石燃料を使用しない新蒸溜所を竣工。竣工記念式典には亀岡市長にもご参列いただき、地域と共に歩む新たな拠点として発信を開始。
- ▶ 新蒸溜所では、環境負荷を抑えた生産体制を整備するとともに、京都府内の農家や工芸職人など地域の生産者との連携を強化し、京都の魅力をより広く伝える取り組みを進めている。これらの取り組みを通じ、地域と共生しながら京都発クラフトジンの価値向上に努めている。

【実施成果】

- ▶ 竣工記念式典には副知事、亀岡市長をはじめ京都の要人にもご参列いただき、多くの方の期待を担って新出発をすることができた。
- ▶ また記念パーティには150名を超える参加者のもと、新蒸溜所の開設が地域から高い期待を寄せられていることを確認するとともに、今後の更なるブランド強化および地域活性化に向けた大きな一歩を示す成果となった。

実施主体

株式会社京都蒸溜所

【問い合わせ窓口】 パブリックリレーションコーディネーター
渡邊 kazu@kyotodistillery.jp 080-9866-3287

実施場所

京都府亀岡市篠町夕日ヶ丘4丁目6番1号

実施時期

令和7年10月～

関連HP

<https://x.gd/wAeIc>



その他

蒸溜所にはグローバルな人材が多数在籍しているので英語での対応も可。無農薬の素材にこだわり安全・安心な商品を提供

万博後の取組

- ① 実施成果を踏まえて見えてきたことや課題等
地域連携の範囲をさらに拡大し、京都全域の魅力と蒸溜所・ブランドの認知を強化する必要がある。
- ② 前記①を踏まえた万博後の取組の方向性
季の美ハウスおよび新蒸溜所を拠点に、万博後も国内外の来訪者を継続的に誘致する施策を実施していく。

インバウンド受け入れに向けたセミナー及びKARA-1万博グランプリの開催

実施概要及び成果

【実施概要】

- インバウンドの状況についての勉強会・ワークショップを実施、商店街加盟店のインバウンド対策への機運醸成が図られた
- 向日市の魅力やインバウンド対策の実践例の勉強会・ワークショップを実施、実践例を学ぶことができ、具体的な行動へのステップとなった
- KARA-1万博グランプリ開催

【実施成果】

- ・ インバウンドセミナー 激辛商店街加盟店 延べ31名
- ・ KARA-1万博グランプリ 参加店舗26店舗 来場者 約10,000名

実施主体

京都向日市激辛商店街

【問い合わせ窓口】 京都向日市激辛商店街 事務局

実施場所

向日町競輪場、他

実施時期

令和6年9月25日、10月4日、
11月17日

関連HP

<https://www.instagram.com/kyotogekikara/>

その他

KARA-1万博グランプリとして開催し、各店舗で提供する料理を国別メニューとして明示したことにより国際色を出すことができた。



万博後の取組

- ①インバウンドの受け入れが可能な店舗がまだまだ少なく、セミナーやKARA-1を踏まえ、まだまだ意識を高める必要性を感じた。
- ②現状を踏まえ、外国人の方を迎え入れた食文化国際交流会を次年度以降に実施することを確認、今後取り組んで行く。

世界初の軟骨伝導製品の展示

実施概要及び成果

【実施概要】

- 6月14日に行われた、けいはんな万博ウエルビーイング部会（けいはんなプラザ）や、万博期間内の7月7日～7月13日、7月28日～8月3日に関西パビリオン京都ゾーンで軟骨伝導の展示及び未来の聴こえ体験を行った。

【実施成果】

- 前者は約50名、後者は約2万人に体験いただいた。
- 名称やカラー、商品仕様、集音器へのニーズ等、体験者の生の声を聴くことが出来、今後の商品開発に活かすことにつながった。

実施主体

株式会社CCHサウンド

【問い合わせ窓口】0774986111

masanori.nakagawa@cch-sound.co.jp

実施場所

けいはんな学研都市
関西パビリオン京都ブース

実施時期

令和7年6月14日
令和7年7月7日～7月13日
令和7年7月28日～8月3日

関連HP

<https://cch-sound.co.jp/>

その他

-



万博後の取組

- ①体験型展示の可能性を強く感じた。
- ②アフター万博で企画される展示会などには積極的に参加したい。

Visit & Drink in KYOTO

実施概要及び成果

【実施概要】

- 日本酒造組合中央会主催「日本酒フェア」の京都府ブースにおいて、京都のお酒の試飲・販売を実施し、あわせて蔵元や京都府内各地域のPR動画を放映するなどし、京都が酒どころであることの認知度向上を図る。
- また、万博関連のポスター・チラシなどを用い、万博への機運醸成を図り、万博への出店時には京都の酒の消費拡大へと繋げる。

【実施成果】

- 2日間で約4,500名の来場があった。多くの来場者に京都の酒のPRを実施した。

実施主体

京都府酒造組合連合会
京都府酒造協同組合

【問い合わせ窓口】fushimi@tea.ocn.ne.jp

実施場所

サンシャインシティ

実施時期

令和6年7月5日、6日

関連HP

<https://www.Fushimi.or.jp>

その他

会場内では外国語対応を実施



万博後の取組

全国第2位の生産地である京都の酒のPR活動ができたが、多言語対応という面では課題が残った。万博後の取り組みにおいては、GI京都の指定がされたことから、国内外に広く周知する方法を今後検討する。

宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い

実施概要及び成果

【実施概要】

- 新茶シーズンを迎え、宇治新茶の生産と製造・販売が開始されたことを広報するとともに、茶摘み体験、宇治茶の淹れ方教室、手もみ実演等、宇治茶づくりのイベントを開催することで、宇治茶に親しんでもらい、宇治茶の普及と消費拡大を図る。
- 茶摘み体験、本ず茶園の説明（大阪・関西万博2025関西パビリオン京都ゾーンに出展）宇治新茶のホットプレート製茶、宇治新茶の淹れ方体験、宇治茶の手もみ実演、宇治玉露の淹れ方体験、宇治抹茶の点て方体験など、盛り沢山のイベントを実施した。

【実施成果】

- 抽選で500名の方が参加（1人1,000円）。参加者が茶の木からお茶摘みした茶の新芽がどのような工程を経て、美味しいお茶になるかを体験してもらうことで、コアな宇治茶のファンを獲得した。

実施主体

(公社)京都府茶業会議所

【問い合わせ窓口】0774-23-7713

実施場所

宇治茶会館・茶業センター茶園（宇治市）

実施時期

令和7年5月1日

関連HP

京都府茶業会議所HP (www.ujicha.or.jp)

その他

宇治茶の魅力発信をさらに強化するためにホームページをリニューアルし、情報発信に努めた。

万博後の取組

- ・限定500名でゆっくりおもてなしが可能ではあるが、事前申し込みなのでインバウンド対応が難しい。
- ・万博来場者の茶の木への興味は持たれる方が多いが、初めて間近で見るとおられ、茶園での栽培からお茶を飲んでもらうまでには、伝統の匠の技がたくさん詰まっていることをしっかり伝えていきたい。

海の京都エリア 未来へつなぐ共創プロジェクト

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 4月、7月、10月に関西パビリオン京都ゾーンや多目的エリアに出展。
- ▶ 10月3, 4, 5日、京丹後市、与謝野町連携のもと、初開催となる地域一体型オープンファクトリー（NeoTAN）を開催。行政（近畿経済産業局、京丹後市、与謝野町）と連携し、事前の事業者募集研修や当日のトークイベントにおいて、近畿経済産業局後援のフォーラムを開催（関西オープンファクトリーVol.33、Vol.37）。万博出展事業者もNeoTANに参画。また、当金庫において、ファムツアー（全国の信用金庫の旅行企画担当者向け体験旅行）を10月2, 3日に開催し、NeoTAN実施事業者を訪問するなど、誘客促進に向け積極的に連携

【実施成果】

- ▶ 28事業者が現場を開放し、3日間で延べ1,447人が参加（京都府外からの来訪約30%）。他地域の地域一体型オープンファクトリー事業者等との連携も行い、学び・触発などにつながった。
- ▶ 海の京都DMOと連携したファムツアーでは、万博に出展された企業に全国16信用金庫が訪問し、好評であった。

実施主体

丹後オープンファクトリー実行委員会

京都北都信用金庫 地域創生事業部 0772-25-3064

実施場所

京都府北部（京丹後市、与謝野町）

実施時期

令和7年10月3, 4, 5日

関連HP

<https://neotan.jp>



その他

ファムツアーを通し、産業観光への期待感などを確認。オープンファクトリーの旅行商品化・団体旅行の誘致等に向けて関係機関等と調整を進めている。

万博後の取組

NeoTAN参加事業者の中には、オープンファクトリー開催に向けて社内でプロジェクトが立ち上がり、自社のインナーブランディングにつながっている会社もある。また、開催期間中に実施した交流イベント（MazeTAN）においては、業種・役職を越えた交流につながり、今後のイノベーション等が期待できる。万博後についても、今回の取り組みを継続発展させ、北部地域への誘客（産業観光）を目指す。

日本最大の小豆「薦池大納言」をはじめとした農産物加工品販売

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博に向けて、京丹後市の丹後王国での「食のグランプリ」開催に伴い丹後の特産販売のイベントへ参加をして薦池大納言の大きさを知ってもらい、また毎月一回町内でパン販売をしている。その時に薦池大納言あんぱんを作り観光客の方にもアピールした。また、薦池大納言を使ったおこわの試作を開始。

【実施成果】

- イベント参加：イベントでは、50人くらいの方が見て下さり、15人の方にお買い上げいただいた。
- パンの販売：月一の販売量は300個くらいで、約60個位があんぱん。観光客の方に買っていただくあんぱんは10個位だったが、現在は少しずつ増えている。

実施主体

株式会社KOMOIKEあずき

【問い合わせ窓口】上山 arumatsu190@yahoo.co.jp

実施場所

伊根町内

実施時期

月一回

関連HP

—

その他

—



万博後の取組

町内の観光協会では焼印をつけたあんぱんの販売を計画中。

伝統産業の技術と現代プロダクトへの融合

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 伝統工芸事業者と学生を弊社が橋渡しすることで協業の枠組を形成し、職人の技術、伝統技法で現代の生活になじむ商品を提案し、企画進行の過程でコンテストや発表の場を設ける等も行い、関係各所へのリリース、SNSでの拡散効果から企画自体の周知とともに伝統工芸の認知度向上も図る取組を企画。

【実施成果】

- ▶ しかしながら、令和7年度から弊社取り組み内容の見直しにより、今回の実施は見送った。今後は、廃棄予定の衣類を循環されるための取組や、地域貢献等を主軸に各種取組を展開していく。

実施主体

株式会社ニッセン

【問い合わせ窓口】株式会社ニッセン 総務部 SDGs担当
070-3797-0151

実施場所

—

実施時期

—

関連HP

—



その他

—

万博後の取組

今回は実施を断念したものの、企画の中で様々な課題や気づきがあった。今回得た知見を活かし、今後の活動に活かしていきたい。

展示会等のイベント什器をダンボール化し、人にも環境にも優しいものづくり

実施概要及び成果

【実施概要】

- 東京ビッグサイトで開催される「東京インターナショナル・ギフトショー」において、京都府ブース30区画の什器一式（展示台・パネル）を製造した。従来は使い捨て前提の什器が中心であったが、環境配慮の可視化や PR 効果の観点から、ダンボール什器への全面的な置き換えが採用された結果である。
- 他企業・自治体からも問い合わせが増加し、ダンボール什器の製造件数は増加傾向となった。

【実施成果】

- 万博開催期間中のダンボール什器の製造依頼数は例年と比べ増加し、40件ほどに上る。
- 採用企業からは「搬入・設営が軽くて早い」「デザイン自由度が高い」といった評価が多く、利便性 + オリジナリティの両面で好意的な評価を得た。

実施主体

洛西紙工株式会社

【問い合わせ窓口】 oda@rakusaishikou.co.jp

実施場所

東京ビッグサイト等の展示会場

実施時期

随時実施中

関連HP

<https://rakusaishikou.com/>

その他

—



万博後の取組

設営から廃棄までの一連の流れの中で、ダンボール什器ならではの軽量性、組立のしやすさ、デザイン自由度、廃棄コストの低さといった価値は、利用者にとって理解されやすいことが確認できた。一方、什器の導入検討段階では、従来同様に「レンタル単価」のみで判断される場面も多く、撤去作業や廃棄にかかる負担軽減の点が十分に比較されていない課題もあった。万博後はこの点を踏まえ、総合的なコスト低減につながる提案をしていきたい。

ウォーキングパフォーマー・エンターテインメント

【実施概要】

- ウォーキングパフォーマーは、未経験者でも挑戦できる舞台表現者として活動する団体である。ウォーキングや魅せ方、ダンスやパフォーマンスを通じてセルフイメージを高めながら、楽しみながら舞台上で表現することを目的としている。KIMONO RUNWAY COLLECTION では墨染の衣装をモードに着こなし、観客に印象的なステージを披露。
- 大阪・関西万博でも出演し、志の高い仲間たちと共に唯一無二の作品を作り上げる経験を積む。また、毎月第2・第4日曜日には京都・大阪で定期レッスンを開催し、全国から参加者が集まり技術向上とコミュニティ形成を行っている。SNSやYouTubeでも活動やパフォーマンス映像を発信している。

【実施成果】

- KIMONO RUNWAY COLLECTION や万博出演を通じ、ウォーキング・ダンス・魅せ方を融合させた舞台表現力が向上した。墨染の衣装でモード感あるパフォーマンスを披露し、観客やオンライン視聴者に強い印象を与えた。未経験者も定期レッスンや舞台参加を通じ、自分の魅力を引き出す表現力とセルフイメージ向上を実感。大阪の定期レッスンでは全国から受講者が集まり、仲間と共に唯一無二の作品を作る経験を積むことで、団体全体の表現力と認知度が向上した。SNSやYouTubeでの映像発信も、舞台表現の魅力の広報に貢献している。

実施主体

ビューティーグレース株式会社

実施場所

京都・大阪

実施時期

毎月第2・4日曜日

関連HP

http://beautygrace.co.jp/walking_performer/

その他

-

【問い合わせ窓口】ビューティーグレース株式会社

bg.west.info@beautygrace.co.jp



万博後の取組

① 実施成果を踏まえて見えてきたこと・課題

成果として、未経験者でも挑戦できる環境が整い、舞台上での表現力やセルフイメージの向上が見られた。仲間と協力して作品を作ることで参加者のモチベーションや技術力も向上した。一方で、全員が志高くレッスンに臨み、共に成長していける環境づくりが課題である。舞台演出や振付の規模が大きくなる中で、準備やリハーサルの効率化と、個々の参加者が最大限の表現力を発揮できる指導体制の強化も求められる。

② 前記①を踏まえた万博後の取組方向性

今後は、全員が志高くレッスンに臨み、共に成長できる環境づくりを進める。舞台演出や振付に余裕を持たせ、参加者が自身の表現力を最大限に発揮できる指導体制を強化する。定期レッスンや舞台出演を通じて、未経験者も含めて技術向上やセルフイメージ向上を促進。また、仲間と共に唯一無二の作品を創る経験を重ね、団体全体の表現力と認知度をさらに高め、今後も国内外の舞台上でウォーキング・ダンス融合の魅力を発信していく。

万博を通じた人財育成と企業の新たなチャレンジをサポート

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都府等へ小中学生向けに万博チケットを寄付し、子どもたちの万博来場経験を通じて豊かな人格形成や未来志向の発想力醸成など、学校教育面の後押しを実施。
- ▶ 福利厚生として社員やその家族が万博に無料で参加できる制度を社内で創設し、万博参加を通じて未来を創造できる人財の育成を図った。

【実施成果】

- ▶ 京都府へ万博チケット2, 300枚寄付 他
- ▶ 万博参加を通じて取引先との新たな協業の着眼点や発想を得て、社員自身の業務へ繋げる好循環を醸成。

実施主体

三井住友海上火災保険(株)

【問い合わせ窓口】 TEL : 075-343-6141

実施場所

京都支店ほか

実施時期

令和6年10月～

関連HP

<https://www.ms-ins.com/>



その他

—

万博後の取組

- ・万博チケット無償斡旋の社内制度は応募が殺到し大きな反響を呼んだが、万博参加を通じて得た気づきをお客さま、ひいては社会へどう具体的に還元していけるかが最大の課題。
- ・お客さまの挑戦に伴うリスクに対して最適なソリューションを提供するだけでなく、社内のみならず協業先等のノウハウも駆使しグローバルな視点で取引先や地域社会が抱える課題の解決に資する提案を行うスキルを身につけるための社内施策を拡充させ、人事改革を実行する。

(一社)京都物産出品協会大阪・関西万博ブース「おこしやす 京の小路」出展

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都物産出品協会会員約160社の中から毎週12社が入れ替わりで出展。京都市・京都商工会議所・京都市観光協会の全面的なバックアップのもと、万博来場者に京都の食と工芸の名品を紹介するとともに、「京の小路」を巡る楽しさを体感いただいた。また、京都市温泉観光活性化協議会と「おこしやす 京の小路 京都 + 温泉プレゼントキャンペーン」を実施したほか、鷹山囃子方による祇園囃子生演奏など、万博会場から全国・世界に京都の魅力を発信した。

【実施成果】

- ▶ 京都物産出品協会会員延べ約60社が出展。中小企業単独では出展が難しい万博で京都企業に出展の機会を提供。「null²」の手ぬぐいなどが人気となったほか、一般来場者に加え、海外パビリオン関係者などからの注文・購入もあり、貴重なレガシーを得られた。

実施主体

一般社団法人京都物産出品協会

【問い合わせ窓口】 expo@kyoto-miyage.gr.jp

TEL : 075-708-3310

実施場所

大阪・関西万博会場W43-D106
リングサイドマーケットプレイス西1階

実施時期

令和7年4月13日～10月13日（商品開発と人材育成のプロジェクトは令和6年秋から始動）

関連HP

<https://www.expovisitors.expo2025.or.jp/show/66a89929-2c6f-4f6e-a30b-70e498ff91b6>



その他

英語表記に加え、京都市ビジターズホストや外国人留学生など多言語対応可能なスタッフを配置

万博後の取組

万博では、SNSや博覧会協会ライブカメラのチャットなどの口コミから、だしまきたまごサンドイッチをはじめとしたヒット商品の創出につながり、百貨店の「京都展」や京都の来店客とは異なる層に浸透するうえで、SNS等を通じた口コミが大きな役割を果たすことを改めて実感した。一方で、口コミで来店されたお客様の情報が古いケースも少なくなかった。今後は、これまで以上にSNSなどと既存メディアをミックスさせながらより効果的な情報発信に努めていく。会員各社においても、万博出展を通じた人材育成や商品開発、販売方法、顧客とのつながりを財産として活用している。

ミニ畳作り体験、または、畳コースター作り体験

実施概要及び成果

【実施概要】

- 弊社工場において、ミニ畳作りおよび畳コースター作りの体験を実施。所要時間は30分～1時間程度で、体験料金はミニ畳作りが1,500円、畳コースター作りが1,000円。

【実施成果】

- 万博来場の旅程の途中で直接弊社までお越しいただいたお客様の数は多くはなかったが、万博開催期間から令和8年2月までの約1年間で体験にご参加いただいたお客様は約400名にのぼった。特に団体での利用が多く見受けられた。
- また、体験を通じて弊社の「暖房畳」などの商品に関心を持っていただき、実際のご購入につながったケースもあり、本事業を実施した意義と成果を実感している。

実施主体

有限会社 畳工房ヨシオカ

【問い合わせ窓口】 0772-42-3318

実施場所

弊社工場またはショールーム

実施時期

現在も継続して実施中

関連HP

<https://tatamikobo.co.jp/>

その他

所用時間は30分～1時間程度



万博後の取組

体験プログラムは、弊社のものでづくりや商品への理解を深めていただく有効な手段である一方、運営には人手や時間を要する。現行の体験料金では、広報効果はあるものの、収益面では十分とは言えず、料金設定が課題として明らかになった。今後は、体験内容に見合った適正な価格となるよう体験料の見直しを検討し、参加者の満足度と事業の持続性の両立を目指していく。

京都は昔、首都だった。再度、世界に認知プロモーションを開始する

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博を契機に、弊社が得意とするInstagramやGoogleマップを活用し、京都は昔、日本の首都だったことなど、歴史的背景を含めてその魅力を発信し、世界に向けた認知プロモーションを開始することで、もっと京都の企業や観光資源が世界的に認知されるよう取り組みを行った。
- また、Googleマップはアメリカで閲覧すると英語表記になる。海外ユーザーから見ても、お客様の情報がしっかりと伝わるように配慮しながらサポートを続けていく。

【実施成果】

- 桂離宮等の観光名所にGoogleマップの口コミを投稿し、総閲覧数といいねの増加、認知度UPに貢献。その他の京都の観光地にも口コミ投稿を実施し、Googleローカルガイドレベル10を獲得。トップローカルガイドとなった。

実施主体

株式会社big picture stars

【問い合わせ窓口】<https://big-picture-stars.jp/contact>

実施場所

桂離宮など京都の観光地

実施時期

令和6年8月～実施中

関連HP

<https://big-picture-stars.jp/>



その他

—

万博後の取組

万博後も引き続き、京都の企業や観光資源が世界的に認知されるようにサポートする。弊社はGoogleローカルガイドレベル10を獲得し、トップローカルガイドになった。口コミを通じて、世界に向けた効果的な情報発信ができる環境が整いつつあり、今後も京都の魅力発信に貢献していく。

国内唯一 京都清水寺にも採用されたシルクの写刺織工場見学

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都北部に位置する海が見える丹後地方で、西陣織の伝統的技術をまぢかに見ることが出来る工場見学を実施。所要時間は約30分～60分で、満3歳以上12歳未満：10,000円 満12歳以上：30,000円の見学料としてお土産として写真織の製品をお持ち帰り頂けるようにした。

【実施成果】

- 残念ながら万博期間中には見学希望者はなかった。

実施主体

小笹織物

【問い合わせ窓口】 電話：080-1502-2997（小笹）

実施場所

当工場

実施時期

土曜日・日曜日・祝日はお休み

関連HP

<https://ozasaorimono.com>

その他

-



万博後の取組

今回は万博を契機に特にインバウンドをターゲットとして取り組んだが、結果として参加者の申込みには至らなかった。その要因として、見学料金設定や内容の分かりやすさ、情報発信方法などに課題があったものとする。今後は、より参加しやすい料金設定や内容の見直し、発信方法の工夫を行い、多くの方に丹後地域および西陣織の魅力を伝えられる取組へと改善を図る。

三菱ロジスネクスト「物流の視点で考える未来社会のデザイン」

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「物流の視点で考える未来社会のデザイン」をテーマに万博を通じて知り合った仲間と共に「地球規模の社会課題」に対して共創を行ってきた。
- 万博終了後も共創の灯を絶やさず、物流を起点とした社会課題の解決に向けて活動を続けていく。

【実施成果】

- 当社デモセンター及び大阪・関西万博の現地にて1,000名以上と交流を持った。

実施主体

三菱ロジスネクスト株式会社

【問い合わせ窓口】総務部 TEL：075-956-8603

実施場所

長岡京市東神足2丁目1番1号（京都工場内）
および 大阪・関西万博会場

実施時期

令和7年4月13日～令和7年10月13日

関連HP

https://www.logisnext.com/jp/sustainability/osaka_expo/

その他

—



万博後の取組

デモセンターの運営を継続するとともに、利便性と安心・安全が担保された都市インフラを支える物流の効率性と持続可能性を向上させるべく、「モノの移動」の視点からモビリティの更なる進化に貢献していく。

与謝野ホップでこころをつなぐ

実施概要及び成果

【実施概要】

- 与謝野町は京都府北部に位置し日本海に面した丹後半島の尾根を背景とした町。2015年からホップ栽培を開始し、フリーランスでは全国で初めてホップを全国のクラフトブルワリーへ販売できる産地として歩み始めた。
- 大阪・関西万博会場にて与謝野ホップを活用したビール等を提供し、与謝野ホップのおいしさや与謝野町のPRを行うとともに、町内で行うホップフェスティバル等の案内を行うことで、与謝野町への誘客に繋げ、京都府北部の活性化に寄与する。

【実施成果】

- 6月出展時は1日あたりの来場者数は約3,000人。時間を区切って試飲もおこなった。生のホップを展示していたため実物を見る、香りを楽しむなど様々な楽しみ方をされていた。
- 10月出展時は与謝野産ホップを使用したクラフトビールの試飲・販売をおこない、32ケースの完売となった。それによって、与謝野産ホップのさらなる周知と商品の知名度向上につながった。

実施主体

与謝野ホップ振興協議会

【問い合わせ窓口】 norinkankyo@town.yosano.lg.jp

実施場所

大阪・関西万博会場

実施時期

令和7年6月9日(月)～15日(日)
10月3日(金)～4日(土)

関連HP

<https://yosanohop.jp/>

その他

外国の方には、英語を主とした対応をとった



万博後の取組

京都でホップがとれることを知らない方が多く、SNSやイベントなど様々な媒体から周知することが必要。また、与謝野産ホップやそれを利用したクラフトビールの需要もあるため栽培面にも力を入れ、人と人とのつながりや地域のさらなる活性化を促進する。

イノベーションが起こるEXPO酒場の開催

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博開催期間中、世界の人とローカルの人が交わる機会として府内各地で「EXPO酒場」を開催。ヘルスケア・フード・環境・文化・テックなどテーマを決め、万博に出展している方の登壇を中心にイベントを実施。

4月24日（QUESTION # 1）5月26日（QUESTION # 2）6月24日（QUESTION # 3）6月27日（北野店）7月17日（京信本店）8月8日（QUESTION # 4）8月26日（洛北店）9月9日（QUESTION # 5）9月10日（上七軒店）9月19日（東山店）9月26日（山科店）10月1日（壬生店）10月6日（銀閣寺店）10月8日（京田辺店）10月10日（QUESTION # 6）

【実施成果】

- 府内開催数15回。来場者実績1,234名。共創及びビジネスマッチング事例多数。

実施主体

コミュニティ・バンク京信

【問い合わせ窓口】京都信用金庫ネクストコミュニティ共創部 加納嘉之
TEL : 075-211-2111

実施場所

QUESTION他

実施時期

令和7年4月13日～令和7年10月13日

関連HP

<https://www.kyoto-shinkin.co.jp/personal/life-event/seminar-event/#sec2>



その他

-

万博後の取組

- ①多様な人（万博関係者・学生・外国人・経営者・会社員・大企業・中小企業・地域の人など）が集まるイベントがなくEXPO酒場をきっかけに体感して頂けた。共創事例も数多く生まれ、産業振興の面からも意義があった。
- ②イノベーションが起こりやすい環境は、距離が遠い人との接点であり、新たな共創事例も生まれおり、今回の事例をきっかけに今後も多様な方が交わる接点は生み出していく。

京都まるごと物産紹介&京ののれんめぐりキャンペーン

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博の経済効果を京都府内へも波及させるため、当協会会員店舗にて万博入場券の提示による割引販売やノベルティーの配布を万博期間中に実施。
- 京都駅ビル南北自由通路2階「京都駅まるごとゲートウェイ」で4月24日～4月28日までキャンペーンの宣伝を行った。

【実施成果】

- 会員店の内、85社の店舗で実施。
- 多くの店は観光地近くにある為、キャンペーンにかかわらず来店は多く、店舗来店後にキャンペーンを紹介することで、他の会員店舗の紹介もできた。

実施主体

公益社団法人京都府物産協会

【問い合わせ窓口】公益社団法人京都府物産協会事務局

実施場所

会員店の85社

実施時期

令和7年4月13日～10月20日

関連HP

<https://www.kyoto-norenkai.org/>



その他

インバウンドのお客様の外国語対応は、各店舗にて行う。

万博後の取組

万博以前から、インバウンドのお客様が増えており、今後も外国からのお客様が増えるであろう事を踏まえ、京都の商品の良さをPRできるようにすること。また、オーバーツーリズムにより、来京を控える国内のお客様には、全国百貨店での京都展の取り組みに更に力を入れ、京都ファンを増やしていくこと。

京都駅八条口前に訪日外国人向けトラベルセンター開設

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 大阪・関西万博による外国人観光客の増加に向け、KYOTO Travel Centerを京都駅八条口前のイビススタイルズ京都ステーション1階にあるMKタクシー乗り場に併設。
- ▶ 英語対応するスタッフが常駐し、観光通訳ガイドサービスの手配、手荷物預かり、レンタルWifi、レンタルベビーカー、外貨両替、着物レンタルなどの観光・旅行にまつわる各種サービスを提供。

【実施成果】

- ▶ 手荷物預かりの外国人観光客利用5,000個、ベビーカーの外国人観光客利用1,800台、レンタル着物の外国人観光客利用数3,000名。
- ▶ 京都駅前という分かりやすい立地で外国人観光客が立ち寄りやすい場所で、サービス利用以外にも道を聞くなどの訪問があった。

実施主体

エムケイ株式会社

実施場所

KYOTO Travel Center

実施時期

令和5年8月～（継続）

関連HP

<https://www.mk-group.co.jp/kyoto/vip>

その他

中国語可能スタッフの出勤日もあり

【問い合わせ窓口】 KYOTO Travel Center
080-7475-5756



万博後の取組

- ①外国人観光客に向けて如何にしてこの場所を知ってもらうか、訪問きっかけを増やすことや周知方法、入りやすい工夫が必要
- ②京都駅周辺のランドマークとしてサービス提供メニューを増やし、売上を向上させる

外国語ドライバー育成のため海外留学制度3ヶ月に拡大

実施概要及び成果

【実施概要】

- MKでは平成4年より英会話ドライバー育成のためイギリス留学制度を創設。
- 令和7年に向け訪日外国人観光客の増加への対応のため制度を拡大。令和5年7月から従来最長2ヶ月の留学期間を3ヶ月に拡大し、より語学力を磨く。派遣の機会は年2回。
- ゲストの観光中も同行し歴史や文化について案内を行う。

【実施成果】

- 令和5年10月以降、イギリスに計場6回、18名を派遣。
- 英会話ドライバーとしてよりレベルを高めて帰国後は訪日外国人のハイヤーや観光貸切をお供する。周囲のドライバーの英語学習の機運を高める。

実施主体

エムケイ株式会社

【問い合わせ窓口】 総務人事部 075-555-3132

実施場所

イギリス

実施時期

毎年6月、9月

関連HP

<https://prt-times.jp/main/html/rd/p/000000009.000051512.html>



その他

今後は中国語ドライバーも育成予定

万博後の取組

- ① インバウンドとホテルが今後も増えるため外国語ドライバーは不足している、英語以外の言語の育成が不足、まずは英語を優先。
- ② ハイヤー部ドライバーを中心に全員ESD（英会話ドライバー）プレ中級の社内資格をとる取組を始めている

世界と日本をつなぐ学生アンバサダーが伝え、創る日本の未来。

実施概要及び成果

【実施概要】

CECは、万博来訪者を京都の文化資源へ回流させるため、

(1) 富裕層向け文化体験、(2) 建築視察、(3) 国際政治家向け茶道体験 (4) 海外大学ゼミ訪日対応の4領域で受入を実施。

1. 海外富裕層向けプレミアム文化体験

– 非公開寺院での特別拝観、茶道・庭園鑑賞、僧侶との対話、建築ガイドー 京都の“人と精神文化に出会う旅”として高い評価を獲得

2. 都市開発事業者・投資家向け建築ツアー

– 近現代建築・寺社建築・歴史的建造物の保存活用事例を専門家が案内ー 京都の文化不動産・都市再生への関心が高まる結果に

3. 国際政治要人向け茶道・精神文化体験

– オーストラリア若手政治家（妙心寺）、ロシア要人（醍醐寺）を受入ー 茶道・禅・庭園文化を通じ、文化外交・相互理解に寄与

【実施成果】

参加者：富裕層約400名程度（各体験万博開幕以降20のプログラム合算）、建築事業者約20名、豪州政治家8名、ロシア要人約10名 学生60人

京都の文化体験が「観光」から「文化外交・投資・教育」へと広がる契機となった

茶道・禅・伝統文化の体験は、国際要人から「京都理解の核心となるプログラム」と高評価

実施主体

CEC/カルチュラル・エデュツーリズム・カウンシル

【問い合わせ窓口】office@cec-kyoto.jp

実施場所

京都府内各所

実施時期

万博開幕前～現在

関連HP

—



その他

多言語対応、ハラル対応（レストランの案内）

万博後の取組

文化資源の新たな価値化・活用モデルの深化
地域への回流強化（府域周遊の加速）

京都西山の観光資源『竹』をテーマに西山エリア全体での誘客

実施概要及び成果

【実施概要】

- 洛西ニュータウン内にある当館は西山観光の拠点として宿泊や日帰り温泉をお楽しみ頂ける施設。
- 万博を契機に、西山エリアの観光資源のひとつ『竹』をテーマに取り上げ、当館の大浴場の露天風呂など館内に竹の灯籠を展示。
- 『竹』のキーワードでエリア全体のPR及びもう一つの京都への誘客を図る。

【実施成果】

- 4月から10月の対前年対比 宿泊者数 115% 日帰り温泉利用者数 112%

実施主体

万葉倶楽部株式会社

【問い合わせ窓口】075-332-5800

実施場所

ホテル京都エミネンス 京都市西京区大原野東境谷2-4

実施時期

令和7年4月1日～12月31日

関連HP

<https://k-eminence.com/>

その他

かんたん通訳というタブレットで通訳とテレビ電話で繋いでコミュニケーションを取るツールを採用している。



万博後の取組

①地域の観光資源「竹」を利用する事で地域の特色を出すことが出来、お客様にもお喜び頂けた。②今後も竹灯籠でのイルミネーションを継続し訪れるお客様に魅力を伝えて行く。

【目指す姿】 日本酒ツーリズムを通じて地方の魅力を外国人観光客に伝える。

概 要

【取組内容】京都(関西)の酒蔵が位置する場所を拠点に30~60分の移動圏内の観光スポットを訪問し、地場の食を日本酒と一緒にインバウンドマーケットに紹介。巷の観光ガイドブックには出ていない、魅力的な観光スポットに通訳案内士が同行する。また、地元の職人のサポートを得て観光客自身が“My酒器”を作り、酒蔵見学が出来ない時期には利き酒を地場の飲食店でMy酒器を使って楽しむ。

- 大阪・関西万博を契機とした、この酒蔵ツーリズムを通じて、地方の小規模経営の酒蔵や伝統工芸店、酒米を育てる農家の方がより多くの機会に海外からの観光客と交流し、日本の大切な和酒である日本酒と伝統工芸品が日本国内でも見直され、働き手不足の解消や次世代への継続に繋がる機会に発展させたい。

実施主体

グローバル京都

【問い合わせ窓口】info@global-Kyoto.com

実施場所

京都(関西)の酒蔵のある街



実施時期

令和6年4月～

関連HP

<https://global-Kyoto.com>

そ の 他

国際利き酒師、全国通訳案内士、京都地域通訳案内士、総合旅行業務取扱管理者である代表が全てに同行。国籍や要望に応じてツアー内容は柔軟に対応する。

万博後の取組

酒米を自身で育て、日本酒の製造工程に1から携わる本格的な日本酒ツーリズムを実現したい。

【目指す姿】

「京都観光は京都市内で十分」という旅行者のマインドセットを図り、京都府全域における交流人口の拡大を目指す

概 要

人口約3700人の和束町は、自然資源と茶業をはじめとする生業とが一体となって形成してきた、魅力ある景観を持っている町である。「茶源郷」という呼び名のもと、地域をあげて、この景観と歴史文化遺産を活かす取り組みを長く進めて来た。また、京都宇治茶には、実際にはいくつかの産地があるが、なかでも和束産の茶は和束茶と呼ばれ、香りの高さが随一の宇治茶と評価されている。かねてから和束の美しい景観の魅力を伝えたいと考えて来たので、和束町の特産品である和束茶を実際に蕎麦に練りこむ「茶蕎麦打ち体験」を観光客に提供したい。※大阪万博開催中の期間限定メニューとして「和束茶蕎麦打ち体験」+「和束茶八つ橋体験」のセットプランを提供いたします

実施主体

和束家

【問い合わせ窓口】 090-9982-1889

実施場所

京都府相楽郡和束町石寺初尾平21

実施時期

万博開催期間

関連HP

<https://wazuka.fujiya-taiken.com/>

その他

外国人にも翻訳機を使用して対応可能



万博後の取組

和束茶の魅力をもっと多くの人へ伝え町の観光に貢献できる事業として拡充を図る。

京都市内⇄万博会場 ジャンボハイヤー定額直行便

実施概要及び成果

【実施概要】

- 現在行っている京都市内⇄6か所（関西空港・伊丹空港・神戸空港・甲子園・京セラドーム・USJ）の直行定額便に新たに京都市内⇄万博会場ルートを新設。
 - 京都市内から万博会場までの所要時間を概ね1時間半とすることにより、万博会場へのアクセス・万博会場から京都へのアクセスを手軽に行えるようにし、京都への誘客を促進致す。
- ※使用車両はジャンボハイヤーで1～9名まで同一料金にて利用可能。また乗合ではなく1組での貸切での利用。

【実施成果】

- 往路12組、復路14組の運行を実施。今まで取引のなかったホテル様からの依頼が生まれた。

実施主体

株式会社キャビック

【問い合わせ窓口】株式会社キャビック 075-864-2100

実施場所

京都市内・万博会場

実施時期

万博開催期間中

関連HP

<https://www.cabik.co.jp/>

その他

クレジットカード対応・介護資格保有ドライバー多数在籍

万博後の取組

期間限定のルートであったこともあり、広報・宣伝をほとんど行わなかったため利用数は低調に終わったが利用客の声を聞くと一定人数以上のグループ客には非常に好評であった。

IR開業後は宣伝に力を入れることにより利用客の増加を見込む。

魅力発見！外国人観光客向け商店街ツアー

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博を契機として、外国人観光客向けに、京都の日常の生活に触れることができる商店街ツアーを企画。
- 令和5年から、海外のツアー会社や京都府・京都市などの行政を含め、20名ほどの参加者を迎えて試験的なツアーを実施するなど調整をしていたものの、外国人観光客を迎え入れるにあたって通訳等の対応で連携をしていた事業者との調整が難航し、実施を断念。

【実施成果】

- 今回は実施出来なかったものの、引き続きインバウンド需要を捉えて、外国人観光客向けの商店街ツアーの企画を進めていきたい。

実施主体

京都三条会商店街振興組合

【問い合わせ窓口】事務局075-811-4472

実施場所

京都三条会商店街内

実施時期

—

関連HP

<https://sanjokai.kyoto.jp/>

その他

—



万博後の取組

今後は、商店街独自で「商店街ツアー」を募集できるような事業を考えて行きたい。

茶づなミュージアム 茶臼から抹茶づくり体験プログラム

実施概要及び成果

【実施概要】

- 日本茶の中でも最高峰の品質をもつ「宇治茶」や「宇治抹茶」。茶づなでは通年で「抹茶づくり体験」を実施している。お茶の栽培方法を学び、自分で石臼で挽いて抹茶を点てるまでを日本茶インストラクターが指導。
- 万博を機にミュージアムと連携し、体験をセットで展開したことで、より深く日本茶文化に触れられるプログラムとなった。

【実施成果】令和7年4月～令和8年2月末

- 体験者数20,426名（海外約8割・団体93件3,117名）

実施主体

お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな

【問い合わせ窓口】お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな
uji-chazuna.info@k-bm.co.jp

実施場所

お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな

実施時期

令和6年10月～継続中

関連HP

<https://uji-chazuna.kyoto/>

その他

バリアフリー対応※車いすなど・英語対応・団体受入れ・アレルギーや宗教に配慮したお茶菓子



万博後の取組

・ミュージアムと体験を組み合わせたプログラムの成功を踏まえ、今後は国内観光客に向けたプロモーションを強化。地域イベントや教育旅行向けプランを新設し、「宇治茶文化の学び体験」として継続的に発信を行う。

地域ゆかりの書籍にもとづいたイベント開催

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ ビジネス書からコミックまで多様なジャンルの本を販売する「書店」として、それぞれの書籍がもつ個性豊かなテーマの中から特に京都の町に根差すものを見つけ出し、そこから参加、体験型のイベントを企画、運営してる。
- ▶ 万博開催をきっかけに、持続可能な「リサイクル」、「社会貢献」を目指し、不要となった本をお客様から回収し、寄付やリサイクルする取り組み「ほんのわプロジェクト」を企画した。

【実施成果】

- ▶ 店頭では月に15を超えるイベントを開催し、特に7月・8月には京都を代表する方々のイベントを開催。
- ▶ 10月12日にはフランス大使館さまとのイベントを開催。イベントに合わせてフランスの絵本を紹介するフェアを店頭にて展開。
- ▶ また古書買取のバリューブックス様とのコラボ企画として、各店で古書の買取のチラシを配布。買取額の10%を指定の場所に寄付をするモデルとして実施。

実施主体

株式会社大垣書店

【問い合わせ窓口】営業推進部（TEL:080-4379-9749）

実施場所

大垣書店各店舗

実施時期

ブックドネーション：
令和7年7月25日～10月31日
店舗イベントは随時開催

関連HP

<https://www.books-ogaki.co.jp/honno-wa/>



その他

—

万博後の取組

- ①課題：取り組みの認知向上
- ②万博後の取組の方向性：オンライン配信イベントのアーカイブ販売

太秦江戸酒場

実施概要及び成果

【実施概要】

- 『太秦江戸酒場』を通じて、京都文化への没入体験と夜の観光を提供する
- 万博開催の令和7年には東映太秦映画村完全リニューアル第一期オープンを迎え、常設の京都没入体験施設を運営し、国内外問わず継続的な京都観光への寄与する。
- その前段階として、京都を代表する食・芸能文化と、東映京都撮影所が培ってきた江戸の町オープンセットに代表される製作技術を掛け合わせた新しい没入体験イベントとして実施した。

【実施成果】

- 全6回、13日累計で約11,500名の参加。
- 前半の回は大半が京都・大阪等近郊エリアのゲストであったが、回を重ねるごとに東京やインバウンド等観光客の利用が増加し、告知の効果が見られた。

実施主体

(株)東映太秦映画村 (11/1に社名変更(申請時→(株)東映京都スタジオ)

【問い合わせ窓口】株式会社東映京都スタジオ 営業部
TEL : 0570-064349

実施場所

東映太秦映画村

実施時期

令和5年11月25日-26日
令和6年4月6日-7日.8月24日-25日.11月2日-3日
令和7年4月4日-6日.11月8日-9日

関連HP

<https://www.toei-eigamura.com/edosakaba/>

その他

—



万博後の取組

「江戸酒場」自体は映画村全面リニューアル事業のベンチマークという位置づけで開催したイベントではあるが、常設化の際とは異なり2日間/シーズン程度の開催であったため、観光客取り込みの販路への掲載という点では活かしきれなかった。一方近郊併せチケットは完売にこぎつける回も多く、今後の試金石とする。

KYOTO Local Wisdom Experience

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都府内各所を訪れ、地域の地場産業とその背後にある豊かな文化や伝統、土地の魅力に焦点を当てた体験型ツアーを、万博を契機に来日する世界各国のクリエイターをメインターゲットに実施。
- ①オーストラリア人の木工職人協会のメンバー研修（京都市内）参加者6名
- ②グアテマラ人IT業界メンバーの京都文化研修（京都市内）参加者26名
- ③グロービス エグゼクティブ研修卒業コミュニティメンバーに向けた、京都ツアー（京都市内）参加者16名
- ④舞鶴・丹後で出会う、循環する知恵と未来 - （舞鶴市・京丹後市）3名
- ⑤めぐりめぐるぐるり京都（亀岡市）3名

【実施成果】

- 5回のツアーを実施し、合計54名に参加いただいた。万博に訪れたことをきっかけに、京都で文化的な体験や学びを得たいというニーズは確かにあり、ご参加いただいた皆様には喜んでいただいた。

実施主体

一般社団法人Design Week Kyoto実行委員会

【問い合わせ窓口】075-874-2718 info@designweek-kyoto.com

実施場所

京都府内各所

実施時期

令和7年6月～10月

関連HP

<https://trialextourjune.peatix.com/view>
<https://business.form-mailer.jp/lp/1e88b5aa310532>



その他

英語対応、カスタマイズツアーも対応

万博後の取組

課題として感じるのは、京都市内までは来ていただいても、丹波・丹後など遠方まで足を運んでいただくのは、結構なハードルがあったこと。また、遠方になればなるほど、移動手段の手配に費用が発生しツアー料金が高額になってしまうことがあげられる。それを踏まえ、少人数の募集型企画旅行でのツアーは現実的に事業化は厳しいと感じた。今後は、10名以上のグループのカスタマイズツアーに特化して取り組んでいきたい。

季の美ハウス訪問と京都でしかできない体験ツアーの企画

実施概要及び成果

【実施概要】

- 本事業では、大阪・関西万博を契機に国内外の来訪者を「季の美ハウス」に誘致し、京都らしさを追求したクラフトジン「季の美」の魅力を発信。テイastingやショップ体験を通じて、京都発のクラフトジンの世界観を紹介。
- また、原料を提供する京都府内の茶園や伝統工芸職人を巡る体験ツアーを構築し、生産背景や職人技に触れる機会を提供。さらに、京都の老舗料亭とも連携したペアリングディナーなどを実施。季の美と京都文化を融合した特別な体験を創出した。

【実施成果】

- 万博開催期間に季の美ハウスへの来客は1万人を超え、テイastingセミナー体験には約400人を超える参加者の獲得ができた。これによって国内外の多くの方々に季の美と京都文化を周知する事ができた。

実施主体

季の美ハウス

【問い合わせ窓口】 竹村：masahiro.takemura@pernod-ricard.com
080-9077-5471

実施場所

季の美ハウス京都市中京区河原町通二条上る清水町358

実施時期

令和7年4月～10月

関連HP

https://kyotodistillery.jp/house_ki



その他

季の美ハウスの従業員は皆英語での対応が可能

万博後の取組

- ①実施成果を踏まえて見えてきたことや課題等
沢山の来客がある中で潤沢なスタッフの確保や言語の対応力を高める必要があると感じた。
- ②前記①を踏まえた万博後の取組の方向性
スタッフへのホスピタリティ向上プログラムなどを実施してより効果的に京都らしさをブランドを伝えられるメンバーを増やしていきたい。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 春爛漫の二条城で、お花見イベント『NAKED桜まつり』を開催。50品種約300本もの本物の桜を彩るライトアップや、国宝・二の丸御殿を飾る狩野派の障壁画をモチーフとした豪華絢爛なプロジェクションマッピングが、春の夜を煌びやかに彩った。
- ▶ 桜づくしのドリンク&フードを楽しめる飲食エリアはもちろん、二条城屈指の桜スポット「清流園」でお酒やお茶を心ゆくまで楽しめる、プレミアムお花見エリアが初登場し、36の国・地域の方々に、二条城だけのアートなお花見をお楽しみいただいた。

【実施成果】

- ▶ 桜の開花が昨年より12日遅れとなり来場時期が後ろ倒しになったものの、開花後は二条城ならではの桜景観が大きく後押しし、短期間で集客が集中して昨年を上回る来場者数を確保できた。
- ▶ また、インバウンド向けのプレイガイド販売と当日券の約5割を合算すると、来場者の約半数がインバウンドとなり、海外需要の高さが顕著に表れた。Web広告に加え、電鉄系媒体への有料出稿など京都市内での露出を戦略的に強化したことが、旅行者へのリーチを広げ、インバウンド増加につながったと考える。

実施主体

NAKED桜まつり 2024製作委員会

【問い合わせ窓口】NAKED桜まつり 2024 運営事務局

実施場所

元離宮二条城

実施時期

令和6年3月8日(金)～4月7日(日)

関連HP

<https://event.naked.works/nijojo/spring/>

そ の 他

- ・LPと現地設置看板は、日本語・英語・中国語（繁体・簡体）・韓国語の5か国語で記載
- ・海外向けOTAでも複数展開し、9か国語で紹介ページを作成
- ・日本の伝統文化とお花見を合わせて楽しめるプレミアムシートをご用意



万博後の取組

- ① 多国籍来場者の増加に伴い、LPや現地看板、体験プログラムの多言語対応が集客に寄与した一方、来場者の幅広いニーズに応じて、会場内案内や導線をより分かりやすく提示する工夫が必要であることが明確になった。
- ② 万博後は、既存の多言語対応をさらに充実させ、会場内サインや鑑賞サポートの改善を進めるとともに、日本文化と季節体験を組み合わせたプレミアム体験をさらに発展させ、誰もが安心して楽しめる環境づくりを推進する。

MIXTURE STATION

実施概要及び成果

【実施概要】

- 令和7年開催「大阪・関西万博」に向けた機運醸成を目的に、「人」・「音楽」・「食」・「文化」が出会い、交じり合うことで新たなコミュニケーションを生み出す文化イベントを開催。京都の新旧を代表する文化の担い手が集い、若年層を中心に広く情報発信を行った。

【実施成果】

- 来場者数：約6,300人
- 万博機運醸成：若年層を中心とした関心層の拡大
- 京都の文化発信推進：吹奏楽・食・宗教文化など多様な京都の魅力を融合、高校生や著名人の参加により、地域文化の担い手育成にも寄与

実施主体

京都駅ビル開発株式会社

【問い合わせ窓口】地域共生推進室 075-361-5127

実施場所

京都駅ビル 1F 駅前広場

実施時期

令和6年3月23日～24日

関連HP

—

その他

—



万博後の取組

本事業を通じて新たにご縁をいただいた北陸地域の学校・事業者の皆様、ならびに地元京都との人と文化の交流を継続的に育むことで、地域間の相互理解を深めるとともに、将来的には経済的な相乗効果の創出にも寄与していきたいと考えている。

宇治茶カフェにて「金箔入り抹茶とお菓子」の提供

実施概要及び成果

【実施概要】

- 弊社が運営する「福寿茶寮」にて、万博期間中において、抹茶ご注文の方に特別に金箔入りの抹茶を提供。世界中のお客様に宇治茶の魅力をより一層発信した。

【実施成果】

- 抹茶を飲みたいと希望されるインバウンドの方が増加した。
- 来店客数 5795名、内海外のお客様 2136名 上級の抹茶を購入する方が多い一方で、ラテ用の抹茶を求める方が多くいらした。

実施主体

株式会社福寿園宇治茶工房

【問い合わせ窓口】福寿園 宇治茶工房 050-3152-2930

実施場所

宇治茶工房 2階「福寿茶寮」

実施時期

万博期間中

関連HP

<https://www.ujikoubou.com>



その他

英語メニュー対応

万博後の取組

- ①抹茶への関心が高く、インバウンドの方を中心に利用が増えた。例年、欧米系のお客様が多いが、中東やヨーロッパの幅広い国の方の利用あり。スタッフ不足もあり、お客様の受け入れが十分に対応できないことがあった。
- ②英語のメニューの対応はできていたが、接客については不慣れな点が多く、海外のお客様に合わせたコミュニケーションスキルが今後必要。

茶畑や宇治の風景を見ながら「抹茶の点て方体験」

実施概要及び成果

【実施概要】

- 宇治川の風情と茶園、源氏物語にふれながら宇治茶を楽しめる「体験茶亭 20帖」というスペースで、自分で抹茶を点てて飲むことができる。
- 万博期間中は特別に金箔入りの抹茶を味わえる。石臼で抹茶をつくる体験を実施。

【実施成果】

石臼で抹茶づくり体験については前年比130%増加し、インバウンドのお客様が増えたことが影響したと考えられる。お茶づくり体験の来店数 5741名 内海外のお客様 4053名 抹茶だけでなく、ほうじ茶づくりを希望する海外のお客様も多く日本茶自体に興味をもつ海外の方が増えているように感じられた。

実施主体

株式会社福寿園 宇治茶工房

【問い合わせ窓口】福寿園 宇治茶工房
050-3152-2930

実施場所

宇治茶工房 2階「体験工房」

実施時期

万博期間中

関連HP

<https://www.ujikoubou.com>

そ の 他

英語メニュー対応



万博後の取組

- ① 抹茶への関心が高く、インバウンドの方を中心に利用が増えた。例年、欧米系のお客様が多いが、中東やヨーロッパの幅広い国の方の利用あり。スタッフ不足もあり、お客様の受け入れが十分に対応できなかったことがあった。
- ② 英語のメニューの対応はできていたが、接客については不慣れな点が多く、海外のお客様に合わせたコミュニケーションスキルが今後必要。

抹茶ソフトクリームのお箔入り抹茶がけ

実施概要及び成果

【実施概要】

- 宇治川の目の前に位置し宇治の山々や宇治川などゆったりとした風景を眺めながら気軽に宇治茶を楽しむことができる。春は宇治川の桜、夏は鵜飼い、秋は紅葉する宇治の山々、冬は朝霧橋と夕焼けなど、季節によって変わる宇治の風景がおすすめ。茶そばやソフトクリーム、テイクアウトのカップティーなどのメニューを提供。
- 万博期間中は特別に人気の抹茶ソフトクリームに「お箔の抹茶」をかけて濃厚な抹茶を味わえるメニューを提供する。

【実施成果】

- 今回の実施による来店実績はなし。

実施主体

株式会社福寿園 宇治茶亭

【問い合わせ窓口】 福寿園 宇治茶亭
050-3152-2932

実施場所

福寿園 宇治茶亭

実施時期

万博期間中

関連HP

<https://www.ujikoubou.com/ujichatei/>

その他

一部英語対応のメニューあり



万博後の取組

発信力の弱さが今回の結果になったと考える。今後はいろいろな場面で様々なツールやSNSなどで発信していきたいと思う。

「お茶をたべる×フレンチの融合」を体験する

実施概要及び成果

【実施概要】

日本文化を京都から発信。吉野亜湖先生による「近代万博と茶」講演とコラボ企画「茶をたべるランチ+ご講演」、「ご講演+茶のアシエットデザート」を提供。また過去の近代万博で海外にお披露目された「茶ポンス(抹茶ソーダ)」を現代風アレンジ。赤と青のビジュアルのモクテル、京都を代表するクラフトジン「季の美」のカクテルスタイル1ヶ月期間限定で販売した。

【実施成果】

ランチ企画10名、デザート企画4名：70千円 茶ポンスカクテル・モクテル：38杯/37千円

数字で表現できない点：企画イベント来店客がファン層として定着。再来店へと繋がっている。

実施主体

株式会社福寿園

【問い合わせ窓口】

maison_de_matsuda@fukujuen.com

実施場所

福寿園京都本店 3階

実施時期

令和7年9月13日～10月31日

関連HP

<https://www.fukujuen-kyotohonten.com/maison-de-matsuda/>



その他

-

万博後の取組

「お茶をたべる」たのしさ、茶の美しさ、豊かな香りを表現。より深く京都の魅力を愉しめるレストランをめざす。

万博3種飲み比べ体験

実施概要及び成果

【実施概要】 日本文化を京都から発信するイベントとして、『近代万博と茶』著者の吉野亜湖先生の講演会を開催。地下1階「京の茶蔵」では、近代万博の中から、1904年 セントルイス万博にフォーカスした講座を企画。日本パビリオン敷地内の「金閣喫茶店」で、日本のティーガールによって提供されたお茶に因み、和紅茶、玉露、抹茶3種類のお茶の飲み比べ体験を実施。

【実施成果】

14名の方に実施。100年以上も前に海外万博で日本茶が親しまれていたことに思いを馳せ、さらにお茶に興味を湧かせたと好評だった。

実施主体

株式会社福寿園

【問い合わせ窓口】TEL 050-3152-2900（B1F直通）

実施場所

福寿園京都本店 地下1階

実施時期

令和7年9月13日～10月31日

関連HP

<https://www.fukujuen-kyotohonten.com>

その他

—



万博後の取組

歴史に根差した切り口で「3種飲み比べ」を実施したことで、飲み比べに味わいだけでなく、学びの要素をプラスすることができた。今後も、京都にまつわる歴史を活用しながら、継続して持続可能な形で文化継承を行っていく。

宇治茶をおいしく、楽しく味わうための京焼・清水焼茶陶展

実施概要及び成果

【実施概要】

- 福寿園京都本店では「お茶と万博」と題した全館イベントを開催（「お茶」をキーワードに過去の万博を紐解くことで、お茶の魅力を再発見するイベント）。茶器／茶道具を展示販売する5階では、1893年シカゴ万博における日本喫茶店で、訪れた外国人が飲みやすいよう日本製のカップ＆ソーサーで煎茶が提供されていたことに因んで、雅な京薩摩のデミタスカップをはじめ、ほんなりかわいらしい京焼・清水焼のティーカップ＆ソーサーを展示販売した。

【実施成果】

- 期間中の購入客数91名。売り場に新たなラインナップを加える契機と来店客との対話を生み出す契機になった。
- 従来カップ＆ソーサーの取扱いはなかったが、上記イベント開催をきっかけに京絵付け師にオーダーし、色とりどりの京焼カップ＆ソーサーをラインナップに追加。カップ＆ソーサー購入件数は計3件と少なかったが、売り場に新しい動きを出せた。お客様との対話…過去の万博と日本茶とは繋がりがあることをご紹介し、万博に想いを馳せていただいた。片口で点てた抹茶をティーカップに注いで楽しむ気軽な提案を行い、お客様の関心を引くことができた。

実施主体

株式会社福寿園

【問い合わせ窓口】050-3152-2905（5階直通）

実施場所

福寿園京都本店 5階

実施時期

令和7年9月13日～10月31日

関連HP

<https://www.fukujuen-kyotohonten.com/>

その他

—



万博後の取組

過去の万博と日本茶とのつながりを切り口に、新たな茶の楽しみ方（カップ＆ソーサーで日本茶をカジュアルに楽しむ）の提案ができた。

海外客も多くご来店だったが、展示の多言語対応が十分に出来ていなかった点が反省点。

万博後もテーマに沿ったイベントを定期的で開催し、多言語対応も漏れなく行うことで、京都の工芸品を茶を通じて世界へ発信していきたい。

お茶とアートの融合したギャラリー体験

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博に合わせて京都の工芸アートとお茶を楽しむ体験を開催。（6月24日～9月7日）
タイトル「お茶とともに 桶と茶筒の詩」
会場は福寿園京都本店7階アートスペース福寿園。お茶をテーマにした木工工芸と茶筒の紋段アートの展示販売を実施。

【実施成果】

- 来場者実績947名（計画：592名、達成率160%）。
- 成約数：36件（計画50件）達成率は72%
- 当企画展を通して京都＝工芸＝お茶での集客コンテンツを実証できた。
- たっぷりのお茶を飲んでアートに触れる体験は、贅沢の極みのひとつとして評価。京都＝工芸＝お茶の認識は強く印象を受ける。

実施主体

株式会社福寿園

【問い合わせ窓口】 k-ogata@fukujuen.com

実施場所

福寿園京都本店 7階

実施時期

4月26日～9月7日

関連HP

<https://artspace.fukujuen.com/>



その他

英語を中心にしたコミュニケーション媒体ツールを使用。

万博後の取組

お茶をテーマにした企画展として「お茶と工芸」を基点に多様な企画展を実施する計画を策定できた。

- ①課題：海外客へのコミュニケーション強化が不可欠
- ②海外のアート関心者、アートフェアとの連携によるコミュニケーション強化に必要性

Kimono イベント

実施概要及び成果

【実施概要】

- ①着物着付パフォーマンス及び②特別講演は実際の開催に至らなかったが、準備段階で体験内容の具体化と実現性の高い企画にブラッシュアップした。
- ③ワークショップは、2名～10名店内での体験を実施 ・6月13日 10名 ・7月25日 2名 ・7月26日 3名 計15名
- ④展示コーナー ※途中移転をしたため 受け入れ対応が出来なかった

【実施成果】

- 認証を受けたことで 社内外に向けた信用性が高まり 新たな商談機会やお問合せにつながった
- ワークショップでは 対象となる来店者層の分析ができた
- 文化祭など店舗以外での実施依頼があった

実施主体

株式会社黒香師工房

【問い合わせ窓口】 info@kurokashi-kobo.com

実施場所

店舗内

実施時期

令和7年5月3日～令和7年10月13日

関連HP

<https://kurokashi-kobo.com/>



その他

ポップアップ等で紹介

万博後の取組

- ※人気商品の強化及び新商品の開発 反応の高かったデザインをもとに シリーズ化 新商品開発を進める
- 観光地ショップ ホテル 百貨店など同様の高回路エリアでのポップアップ出展を積極的に進める
- ※オンラインの販売 越境ECの強化 海外からの需要に対応できる仕組みを整備する

未来に残したい健康長寿の町の食文化

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都府北部は「健康長寿」が多い地域で、日常生活での食文化などにヒントがあるのではないかと考えている。しかし昔ながらの食文化は時代と共に失われ自宅で作られなくなり、食する事も少なくなってきている。万博を機に、丹後の伝統的な「ばら寿司」などの作り方を広めている。
- 令和7年4月からは丹後の板前などが食べやすい様にした「ばら寿司」を作り提供もしている。国内外問わず様々な方に「ばら寿司」の作り方を教えて頂くために作り方講座を「丹後ひもの屋」や「レイクサイド琴引」でも広報をしている。※作り方講座は2週間前からの要予約、詳しくはメールにて問い合わせをほしい。

【実施成果】

- 令和7年9月22日～28日大阪関西万博関西パビリオン京都ブースにて情報発信。写真の食品サンプルを持参し来場者とお話をする事が出来、多くの方が「旅館板前と作る「ばら寿司 日帰り体験付き温泉プラン」に興味を持たれていた。その他に干物のお話や地域外にあまり出ない魚介類のお話もさせていただき、京都府北部に興味を持たれていた。

実施主体

株式会社小谷常

【問い合わせ窓口】 odanitune@gmail.com

実施場所

丹後ひもの屋など

実施時期

令和7年4月～

関連HP

<https://www.tango-himonoya.com/>



その他

車椅子で入れる店内 ※価格は「ばら寿司プラン」によって異なる ※1週間前からの要予約

万博後の取組

来場者のご意見で、ばら寿司を取入れた新しい日帰り温泉付きプランや、丹後ならではの「健康長寿」にちなんだおひとり様おせちなどのご提供が出来る様に、グループ旅館とも連携している。※おせちの予約開始は8月頃から

MONPAKU！2024 スイーツのまち福知山 モンブラン博

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 福知山の有名なスイーツ店等による丹波栗を使用したスイーツを販売し、京阪神都市部へPRして商圈拡大と観光誘致を目指すため、自主事業として「MONPAKU!2024スイーツのまち福知山 モンブラン博」を実施。当事業では、西日本旅客鉄道(株)の協賛のもと、JR福知山駅構内でのポップアップイベントを皮切りに、福知山市や福知山観光協会とともに一定期間丹波栗のスイーツを楽しめるコンテンツを企画。丹波栗の魅力の詰まった商品を都市部に訴求することで、丹波栗の持つ全国的なブランド力とその希少性が多くの来場者の心を掴めたと考えている。

【実施成果】

- ▶ 来場者数：約1,000人 ▶ 会計数：459 ▶ 平均客単価：3,169円 ▶ 売上：1,498,440円
- ※参加店舗16店舗中、6店舗が売り切れアンケートマップ回答数：265件 都市部からの来場は全体の約20%

実施主体

福知山まちづくり株式会社

【問い合わせ窓口】info@fukuchi-machi.com

実施場所

JR福知山駅



実施時期

11月9日～12月9日

関連HP

<https://monpaku.net/>

その他

-

万博後の取組

来場者の属性的には都市部からの来場者が20%であったことから、一定の成果は得られたかと考えている。一方で、福知山市が抱える課題の一つに北近畿への旅行の通過点になっていることへの具体的な策としてはまだまだ力不足を感じている。「福知山のこのお店に行きたい」という方をいかに増やすか、恒常的な外需の獲得に繋げるための施策はこれから様々な関係団体と協力して高めていかなければならないと感じている。

森の京都QRトレインツアー

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「森の京都QRトレイン」を利用し、大阪駅～福知山駅間での旅や沿線でのおもてなしが楽しめる臨時列車ツアーを実施。
- ツアー参加者に向け、和知駅で「和知太鼓feat.凜×和楽」「和知人形浄瑠璃」、綾部駅で「あやべ踊り」を披露してもらい、おもてなしをお楽しみいただいた。福知山駅到着後は、列車に乗車したまま、車両基地での洗車体験に乗り入れる特別企画のほか、食のイベントFarmers Tables、福知山鉄道館フクレルや福知山城の見学などの散策をお楽しみいただいた。

【実施成果】

- ツアーには、総勢186名(ツアー客157名、スタッフ29名)が参加した。9月13日から9月23日までツアー参加者の募集を行い、定員の約5倍の応募があった。
- 好天にも恵まれ京阪神を中心とした参加者が貸切列車で府域への周遊を満喫された。

実施主体

一般社団法人森の京都地域振興社

【問い合わせ窓口】 0771-22-9800

実施場所

大阪・京都～福知山

実施時期

令和6年11月3日(日)

関連HP

<https://www.expokyoto.jp/event/295.html>



その他

平安女学院大学の学生から、車内放送で大阪・関西万博や森の京都エリアのイベントのPRを実施した。

万博後の取組

京都市内、大阪府、兵庫県を中心に多くの方に、森の京都エリアに来訪いただき、森の京都エリアの伝統芸能や特産品に触れていただき、福知山市内の周遊をお楽しみいただいた。万博後も森の京都エリアへの来訪・周遊、PRに繋がるツアーの開催を検討していきたい。

京都共生地域支援プロジェクト

実施概要及び成果

【実施概要】大阪・関西万博きょうと協議会の参加メンバーとして以下の項目について実施。

- インスタグラムでの投稿呼びかけ
 - 1、6月中旬に京都駅八条口から京阪バスで直接万博会場西口に参加募集を行った。
 - ・同様呼び掛けを2回実施。
 - 2、8月30日にZoomによる京都市民対象の交流会の参加呼びかけを行った。
 - ・この呼びかけを3回実施。

【実施成果】

- バスに乗っての万博会場に呼びかけ参加に応じた人2名と同行して万博に参加。
- 8月30日Zoomによる京都市民対象の交流会を呼びかけた。問い合わせは数件あったが、締め切り期日までに応募者はなかったため交流会は中止。

実施主体

トランスファコミュニティランド

【問い合わせ窓口】 080-7802-2532（梅原）

実施場所

京都市市民活動総合センター

実施時期

令和6年10月1日～以降継続

関連HP

https://x.gd/Wtlu_i

その他

-



万博後の取組

主に2つの取り組みを実施したが、期待した反応は得られなかった。「万博参加者同士の交流会」の需要は潜在的にはあると思うので、引き続き別の時期、別の方法で呼びかけをして継続的な繋がりを作って行きたい。

【目指す姿】 幅広い体験を通じた持続可能な観光の想像と普及

概 要

大阪万博は、日本及び京都の魅力を世界に発信する絶好の機会です。私たちは今回の万博を契機に、京都の新しい観光体験を通じて訪問者に一生忘れられない思い出を提供し、再訪をもうながす持続可能な観光を実現します。これは日本人と外国人が共同で開発する「見るだけでなく実体験し自作の土産をつくり自国に持ち帰る観光」を実現するものです。例として以下の取組を行います。

1. 体験型観光として、観光客のニーズに応じたプランを提供します。/①和紙作り、②酒蔵見学、③茶道体験、④風呂敷ワークショップ、⑤折り紙ワークショップ、⑥文具づくりワークショップ、⑦温泉、銭湯体験、⑧食品サンプル作り
2. お土産づくりの楽しさ、面白さと感動を提供します。/日本、京都文化の理解を深め再訪を促します。
3. 持続可能な観光の実現を目指します。/京都の職人や工房と連絡し地域経済の活性化を図ります。観光客が再訪したくなる体験提供しリピーター客を増やします。

このような取組を通じて、京都の魅力を世界中に発信し、持続可能な新しい観光のモデルになることを目指します。

実施主体

京都国際文化交流協会

【問い合わせ窓口】担当：三輪、マイケル、マイカ
TEL: 080-3550-0300 / PCメール: yomiwa2@gmail.com

実施場所

京都内の職人の工房

実施時期

職人の工房営業時間

関連HP

作成中

その他

英語及び各外国語のできる通訳を用意します。



万博後の取組

万博後においてもこの京都の魅力を世界中に発信つづけ持続可能な新しい京都観光のモデルになるようできる限り継続していきます。

【目指す姿】 京都のカフェ文化の普及及び維持

概 要

京都はパンの消費量が日本で有名な街です。それは、カフェ文化が定着している事を意味します。河原町通りの古い純喫茶では、いまだに休日になると長い列が出来る店舗もあります。

弊社は、キッチンカーにて、長年、京都府内外の様々なイベントや施設に出向き、地元の人や観光客の皆様のカフェメニューの提供を行っており、メニューとして本格カフェ・ドリンク（コーヒー、エスプレッソ、カフェラテなど）と多彩なドリンク（イタリアンソーダ、スムージー、タピオカ・ドリンクなど）、フード（無添加パン使用のこだわりホットドッグ&パニーニ）、手づくりスイーツなどを提供しています。

万博開催中は、様々なイベントや施設で万博関係者の皆様や観光客の皆様をおもてなしさせて頂く機会がある事が予想されることから、海外の皆様にもわかりやすいメニュー対応など、沢山のの方に弊社のカフェメニューで一息ついていただける取組を行います。

実施主体

EZYCAFE

【問い合わせ窓口】 担当：高岡 090-1718-9797

実施場所

京都を中心としたイベントや施設

実施時期

万博期間中を中心に様々な時期に実施

関連HP

<https://ezycafe.jp/>

そ の 他

メニューによりビーガン対応可能。

万博後の取組

万博後も、様々なイベントや施設で、国内外の観光客の皆様等にカフェメニューを提供していく予定です。

森の京都ジビエフェア

実施概要及び成果

【実施概要】

- 森の京都の魅力ある食材の一つであるジビエについて、森の京都エリア内の飲食店等がオリジナルのジビエ料理等を提供することにより、メニューや精肉販売の定着を図るとともに、ジビエ料理の魅力を発信し、森の京都エリアへの誘客を図った。
- 大阪・関西万博が開催されることを受け、SNS広告等を活用し、京阪神地域からの誘客を強化するとともに、参加店舗を掲載したパンフレットに大阪・関西万博きょうと推進委員会の認証ロゴ等を掲載し、大阪・関西万博の機運醸成を図った。

【実施成果】

- 集客施設でのパンフレットやポスターの掲出、SNS広告、ラジオ等、様々なツールで広報展開を図ったこともあり、出食数は前年度を大きく上回る6,803食となった。
- アンケートでは「ジビエ料理の美味しさに感動した。」、「また食べに来たい。」など好評の声が寄せられた。

実施主体

一般社団法人森の京都地域振興社、京都府南丹広域振興局、京都府中丹広域振興局

【問い合わせ窓口】 0771-22-9800

実施場所

森の京都エリア(亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市、京都市右京区京北地域)及び舞鶴市

実施時期

令和6年11月16日(土)
～令和7年2月16日(日)

関連HP

<https://morinokyoto.jp/gibier2024/>

その他

—



万博後の取組

引き続き、ジビエフェアを開催し、様々なツールでの広報展開に取り組み、お客様参加店舗の拡大を図り、ジビエ料理の魅力を発信し、森の京都エリアへの誘客を図る。

産学連携イルミネーションイベント いでみらくる

実施概要及び成果

【実施概要】

大阪関西万博を契機に、京都及び井手町の魅力の創出と情報発信及び交流人口の拡大を目的として、京都産業大学と井手町内の企業・商店と連携したイルミネーションイベントを実施。

- 町内外から参加者を募集し、スカイランタンの打ち上げを実施。
- 地元の竹を使用したイルミネーションを作成し、会場に配置。

【実施成果】

- スカイランタンの打ち上げでは、打ち上げ参加者だけで84人（町内居住者28人、町外56人）が参加するなど、町外からも多くの来場者を集めることができ、万博のPR及び町の活性化に寄与することができた。

実施主体

京都産業大学井手応援隊

【問い合わせ窓口】 kikaku@town.ide.lg.jp

実施場所

テオテラスいで

実施時期

令和6年12月14日（土）

関連HP

<https://www.town.ide.kyoto.jp/so-shiki/sousei/university/index.html>

そ の 他

一部スタッフが英語対応するなど外国人でも楽しめる雰囲気づくりに取り組んだ。



万博後の取組

京都産業大学の学生と井手町内の企業・団体（まちづくり協議会等）が交流・連携する機会を創出することができ、地元の人・資源を活用した井手町ならではのイベントづくりにつなげることができた。

今回の交流・連携を今後のまちの活性化の取組に生かし、継続していけるようしていきたい。

LACE MUSEUM【LOOP】レースを使用したミyakミyak商品開発と西陣エリアに海外の方がお越しいただけるようナイトミュージアムの実施

実施概要及び成果

【実施概要】

- 弊社が運営する「LACE MUSEUM【LOOP】」は、令和4年8月に京都・西陣エリアで開館した美術館。【LOOP】という名の由来は、レースの裏側がチェーン（ループ状）になっていることからきており、人と人がつながるようなギャラリーにしたいとの考えから、毎年「～つながる・LOOP～」をキーワードにイベントを開催している。
- 万博期間中は、西陣金襴生地とレースを融合させた十二単衣をご覧いただけるナイトミュージアムを開催。また、レースを使用したミyakミyakのバッグ・ポーチを作成し販売も開始し、これらのグッズ販売を通じて万博の機運醸成にも貢献した。

【実施成果】

- 令和6年12月1日から令和7年10月13日まで開催したナイトミュージアムには多くの方に来場者いただいた。昼とは違った視点でレースを感じ取っていただけるようにした。
- また、令和7年4月19日（土）～23日（水）にはEkispot KYOTOに出展。同年7月には京都文化博物館でも同様のイベントを単独で実施。各イベント共に200組以上のお立ち寄り・ご来場があり、京都の魅力発信やミyakミyak商品の販売を通じた万博の機運醸成に貢献した

実施主体

リリーレース・インターナショナル 株式会社

【問い合わせ窓口】 masaki-24n@lilylace.co.jp

実施場所

LACE MUSEUM【LOOP】

実施時期

令和6年12月1日から令和7年10月13日
12月5日

関連HP

https://www.instagram.com/lacemuseum_loop/

その他

LACE MUSUM【LOOP】資料を英語表記にした。



万博後の取組

万博は弊社にとって、新商品作成の貴重な体験となった。課題は、他の商材のアップデートを一緒にしていれば、認知度が更に高まっていたなと感じた事。万博後の取り組みは、本業での商品開発を更に行い、ナイトミュージアムを同時開催する回数を増やすこと。ナイトエコノミー分野も強化し新しい弊社のラインアップとして行っていきたいと考えている。

京丹波・郷土芸能 和知太鼓日帰り体験ツアー

実施概要及び成果

【実施概要】

- 和知の人々に愛され、土地に根付いた郷土芸能として、今年、関西パビリオン・京都ブースにも出演予定の和知太鼓保存会を中心に今も大切に伝えられている和知太鼓の披露や体験等を通して、和知太鼓や和知地域の魅力を体感してもらうツアーを開催し、和知太鼓の普及、伝承、森の京都エリアの魅力発信、大阪・関西万博の機運醸成を図った。

【実施成果】

- ツアーには募集人員30名を超える32名の方が参加し、和知太鼓の披露や体験、民話を基にした紙芝居、義太夫節等を通して、和知太鼓や和知地域の魅力を体感してもらい、和知太鼓の普及、伝承、森の京都エリアの魅力発信、大阪・関西万博の機運醸成を図ることができた。

実施主体

一般社団法人森の京都地域振興社

【問い合わせ窓口】 0771-22-9800

実施場所

京丹波町

実施時期

令和7年3月20日

関連HP

-

その他

-



万博後の取組

引き続き、伝統芸能や地域文化を体験できるツアーの開催等を通して、森の京都エリアの魅力発信を発信し、森の京都エリアへの誘客を図る。

「お得に巡ろう！森の京都もりもりガイド」作成

実施概要及び成果

【実施概要】

- 森の京都エリアへの誘客、周遊の取り組みとして、森の京都エリアに来られた方に、協力事業者から特典(クーポン)を提供いただくなどのサービスがある「森の京都ファンクラブ」を運用しており、大阪・関西万博を契機にPRをさらに強化するため、「森の京都ファンクラブ」の協力事業者や特典を紹介するパンフレット「お得に巡ろう！森の京都もりもりガイド」を作成した。

【実施成果】

- パンフレットの作成に合わせて従来から倍増となる150を超える事業者が参加し、森の京都エリアが一体となって、森の京都エリアへの誘客とエリア内周遊の一層の推進を図る機運を醸成することができた。作成したパンフレットはJR各駅、道の駅、観光案内所等の様々な施設に配架するとともに、イベント等でも積極的に配付を行い、森の京都エリアへの誘客を図った。

実施主体

一般社団法人森の京都地域振興社

【問い合わせ窓口】 0771-22-9800

実施場所

森の京都エリア(亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市、京都市右京区京北)

実施時期

令和 7年3月下旬

関連HP

https://morinokyoto.jp/news/news_168129/



その他

—

万博後の取組

引き続き、「お得にいこう！森の京都もりもりガイド」を活用し、森の京都エリアへの来訪や周遊に向けたプロモーションに積極的に取り組んでいく。

日本のエンターテインメント体験

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 当社は令和7年大阪・関西万博において、日本の伝統文化と最新テクノロジーを融合させた舞台芸術イベント「メタバース滝行」を実施。本イベントは、日本の精神文化を象徴する滝行を舞台芸術として再構築し、生演奏・ドライアイス等の演出とともに、宮司による儀式、お箏の生演奏、京都の舞妓の舞などを組み合わせた総合芸術体験として提供した。来場者は、滝行の精神性と物語性を追体験しながら、日本の自然観や信仰を多角的に理解できる構成とした。
- ▶ 当日のプログラムは、和楽器演奏のプロローグから始まり、宮司による清めと修祓、修行者が岩に入り滝行を行う象徴的なシーン、祝詞奏上、舞と音楽による祈りの演出、そして花笠音頭による参加型のエピローグまで、一貫したストーリーラインのもとで実施。

【実施成果】

- ▶ 会場には 350名 が来場し、満席に近い状態での開催となった。国内外問わず幅広い層の来場者が参加し、伝統文化の再解釈としての舞台表現への高い関心が示された。
- ▶ 参加者からは、独自性の高い文化体験として好意的な評価が多く寄せられ、本イベントの目的である「日本文化の発信」と「バリアフリーな体験提供」の双方において一定の成果が得られた。

実施主体

(株) エリアプロモーションジャパン、山城國箏曲伝承の会、熊野若王子神社

【問い合わせ窓口】075-200-6901

実施場所

熊野若王子神社、万博会場

実施時期

令和7年6月9日

関連HP

<https://www.areapromotionjapan.com/>

その他

英語・中国語対応



万博後の取組

今回のイベントを通じ、伝統文化を安全かつ分かりやすく体験できる環境づくりの重要性が明らかになった。滝行という本来は限られた場で行われる修行も、映像演出や舞台表現を用いることで多様な来場者に伝えられる可能性が確認できた。一方で、宗教的要素との調和、多言語対応、さらなる没入感を高める技術面の強化が今後の課題として浮かび上がった。

イベント後は7月から10月13日まで熊野若王子神社で滝行体験ツアーを実施し、継続的な文化体験の機会を提供した。今後も当社の地域限定旅行業としての強みを活かし、京都の文化体験を軸としたツアーを展開に取り組んでいく。

料亭で本物の京料理芸舞妓さんのおもてなし体験 The genuine OMOTENASI experience in Kikunoihonnten

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 本企画は大阪・関西万博を見据えて計画したもので、京都・東山を代表するミシュラン三つ星料亭「祇園 菊乃井本店」において、参加者が着物に着替えて日本文化に浸りながら本格的な懐石料理を体験する特別プログラム。希望者には人力車での移動体験を提供し、到着後は英語・中国語に対応した解説付きで懐石料理の思想やうまみの特性を学べる内容として構成した。
- ▶ さらに、祇園東の芸舞妓による舞やお座敷芸を間近に鑑賞できる機会を設け、日本の伝統的なおもてなし文化を深く体感していただくことを目的として計画。万博に向けて本企画を発信することで、京都への誘客促進にもつなげる構想とした。

【実施成果】

- ▶ JTB BOKUNを通じたチケット販売については申込がなく、ターゲット層への訴求や商品自体の魅力付けが十分でなかったことが課題として確認された。
- ▶ 一方、万博とは別に当社が独自に企画した菊乃井本店の体験ツアーは好調であり、プログラム自体には一定の市場ニーズがあることが示された。

実施主体

エリアプロモーションジャパン

【問い合わせ窓口】075-200-6901

実施場所

祇園菊乃井本店

実施時期

万博期間中

関連HP

<https://www.areapromotionjapan.com/>

その他

除去食対応、英語中国語対応



万博後の取組

今回の市場の反応から、商品設計や販路設定がターゲットと合致していなかった可能性が明らかとなった。特にインバウンド客に向けた情報発信や多言語での価値訴求、体験内容の魅力をより分かりやすく伝える工夫が必要。また、実際の需要や海外旅行者が求める体験価値を把握するため、テストマーケティングを通じた生の声の収集が不可欠と考えられる。今後は、自社企画ツアーで得られた成功要因を活かし、食文化体験と芸能鑑賞を組み合わせたプログラムを再構築するとともに、より魅力的な商品力の強化に取り組む。さらに、万博開催を契機として京都への誘客に繋がる発信を継続し、持続的な訪問需要の拡大を目指す。

光華ワクワク×健やかフェス2025

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 大阪・関西万博TEAM EXPO共創パートナーである京都光華女子大学は、「Well-Beingを実現する健康・未来創造キャンパスへ」をスローガンに、人々の生活と健康に関わる学部学科が連携して、すべての人が幸せになれる「健康・未来創造社会」の実現をめざしている。このような社会実現の一環として、本学が取り組んでいる健康・未来創造に向けた教育研究活動や社会活動を紹介することを通して、地域にお住まいの方が「来場された時よりも健やかでワクワクした気持ちになれる1日を作る」というコンセプトのもと「光華ワクワク×健やかフェス」を令和5年度から開催している。
- ▶ 3回目となる今回は、幅広い世代の方の“Well-Being”に寄り添うさまざまなブース・体験・ワークショップ・マルシェを実施するだけでなく、地元地域との交流活性化を目的としたステージ企画「ウェルビーイングステージ」や地域の防災力向上を目的とした「防災体験 エリア」を新たに実施。

【実施成果】

- ▶ 来場者実績1,868名（年齢割合：10代以下34%、20代～50代53%、60代以上13%）
- ▶ フェス全体への満足度：96%（大変良かった・良かったと回答した割合）、次回への期待度：98%（次回開催した際、ぜひ来たい・来たいと回答した割合）
- ▶ 来場者・関係者からの感想(一部)「地域の方と大学をつなぐとても良い取り組みだと思いました」「ステージ企画で留学生が出演できたことはとても良い経験となりました」

実施主体

京都光華女子大学

【問い合わせ窓口】 京都光華女子大学 地域連携推進センター

実施場所

京都光華女子大学キャンパス

実施時期

令和7年5月25日（日）

関連HP

<https://www.koka.ac.jp/news/16022/>



その他

—

万博後の取組

- ・万博を契機に、本学が取り組んでいる健康・未来創造に向けた教育・研究活動の社会実装を加速させ、地域のWell-being向上に繋がる機会を創出することができたが、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に寄与できる余地はまだある。
- ・万博参加をレガシーとして、より一層、地域とつながり、多様な人々と協働しながら、新たな価値を共創していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「PEACE×PIECE」をコンセプトに、全長70メートルの年表や「問いかけ広場」の新設など、従来の常設展示を一新。過去の歴史と現代の世界を見つめることで、平和創造に向けた一步を踏み出すきっかけとなる展示となっている。本万博は「少し先の未来を、見て、さわって、体験する」とのコンセプトであり、万博の来館者に上記常設展をご覧頂くことを通じ、当館の「未来の平和創造」の理念を共有し、万博の来館者とともに多様な視点から平和を考え、国内外へ情報発信などを行っていく。

【実施成果】

- 万博を訪問された方が前後して当ミュージアムへも来館頂いたかどうか、正確なルート確認は難しいものの、令和6年4月～9月と比較して令和7年4月～9月の入館者数は18%増であった。万博の波及効果も一定あったかと推察している。
- また、万博会期中、モザンビークの内戦後の復興支援に取り組んでいる国内NGO団体との連携企画「武器をアートに」を開催できた。内戦時に使用された武器を平和への願いを込めたアート作品に変えるアーティストを当地からお招きしてのワークショップを行った。当該NGO団体は万博会場でも同趣旨の取組を展開された。万博にも繋がる当該取組は非常に意義深いものとなった。

実施主体

立命館大学国際平和ミュージアム

【問い合わせ窓口】

立命館大学国際平和ミュージアムオフィス

TEL : 075-465-8151

実施場所

立命館大学国際平和ミュージアム

実施時期

令和6年度～

関連HP

<https://rwp-museum.jp/>

その他

(外国語対応) 常設展示場の使用言語を、日本語、英語で展開。



万博後の取組

元々、京都は海外からの訪日客が多い街だが、(万博の波及効果もあったと考えており) 訪日外国人のミュージアム来館者数が昨年よりも増加した。万博終了後の10月もその傾向は顕著である。これは世界の方々に平和の大切さを伝える前向きな機会でもあるので、外国語でのガイド対応体制の一層の充実等、多言語での受け入れに更に注力していく。

“いのちをつむぐ”京丹後の魅力的なグルメの提供

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京丹後の健康長寿グルメを世界に発信し、「海の京都」・京丹後へのインバウンド等の誘客を促進するため、「丹後王国で納涼！ 夏の暑さを楽しもう」をテーマに各テナントによるクールメニューを提供

【実施成果】

- 入園者数：約32,000人

実施主体

道の駅丹後王国「食のみやこ」

【問い合わせ窓口】（一財）丹後王国食のみやこ0772-66-3081

実施場所

上記道の駅内店舗

実施時期

令和7年7月22日～8月24日

関連HP

<https://tangooukoku.com/>



その他

—

万博後の取組

メニューに加えて道の駅内の案内看板等にも外国語表記を取り入れ、インバウンド等へのPRなどを強化し、今後の誘客を図る。

“いのちを高める”京丹後の魅力的な自然の中での体験の提供

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京丹後の健康長寿グルメとともに京丹後の雄大な自然の中での体験コンテンツを世界に発信し、「海の京都」・京丹後へのインバウンド等の誘客を促進するため、ヘルスツーリズムツアーを実施

【実施成果】

- 企業関係者、病院関係者に対してツアーを展開

実施主体

道の駅丹後王国「食のみやこ」

【問い合わせ窓口】（一財）丹後王国食のみやこ0772-66-3081

実施場所

上記道の駅内

実施時期

令和7年4月～10月

関連HP

<https://tangooukoku.com/>



その他

—

万博後の取組

道の駅内の案内看板等にも外国語表記を取り入れ、インバウンド等へのPR、またヘルスツーリズム認証取得を進め、旅行会社のツアーへの組み込みなどを強化し、今後の誘客を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 安全で確実な京都のバリアフリー観光をのため、福祉タクシー（Voxy）、車椅子、電動モビリティWHILLを使用し、京都駅→伏見稲荷→清水寺→菓寮伊藤軒 本店→藤森神社にて、プロモーションを実施。旅行会社・観光施設・旅行介助スタッフへ認知拡大を行う。

【実施成果】

- 障害をお持ちの方への万博の見学同行、および京都への観光をサポートを旅行介助手にて対応。
- また旅行会社との提携を行い万博後の京都観光の高齢者旅行販売を拡大

実施主体

AMUSE株式会社

【問い合わせ窓口】地域共創人材事業部

実施場所

京都市内

実施時期

令和7年4月～10月

関連HP

<https://amuse-inc.com/>

その他

障害者・高齢者のサポートする企業等のアライアンス拡大（旅行会社1社・関西福祉タクシー2社）



万博後の取組

福祉タクシーや電動モビリティを活用した京都観光は、移動負担を軽減できる点で有効である一方で、一般利用者・旅行会社双方への認知が十分ではなく、利用につながる具体的導線が弱いことが課題として明確になった。体験コンテンツの情報発信を強化し、旅行会社・福祉関連事業者・観光施設との連携によるパッケージ化・予約導線の整備を進めることで、障害のある方の観光参加を継続的に促進する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 大阪・関西万博「いのちの週」への出展に向け、令和7年4月～8月の期間、京都市内の高齢者施設を中心に、利用者・地域住民・学生など多世代が参加する形で裂き織作品の制作を行った。本プロジェクトは、廃棄予定だった着物を裂き織として再生するアップサイクルの取り組みでもあり、京都の文化継承と環境保護を両立する活動として実施したものである。制作活動は単に作品を作るだけではなく、「高齢になっても、認知症になっても、できることがあり、役割を持てる」というメッセージを共有する重要な機会となった。
- ▶ 織る、裂く、布を渡すなどの工程を分担しながら協力して進めることで自然な交流が生まれ、参加者同士の会話や笑顔が増えるなど、地域共生の実践の場にもなった。また、認知症の方が作業に集中し、落ち着いた表情を取り戻す様子も多く見られ、家族や施設職員からは前向きな声が多く寄せられた。

【実施成果】

- ▶ 延べ参加者：約100人（高齢者福祉施設の利用者、地域住民など）
- ▶ 参加施設・団体：京都市内の高齢者施設14事業
- ▶ 制作物：裂き織のコースター、帯状につなげた作品

実施主体

NPO法人 地域共生開発機構ともつく

実施場所

京都市内の高齢者施設

実施時期

令和7年4月～8月

関連HP

なし

その他

—

【問い合わせ窓口】 ともつく 担当：田端 (090-9867-6935)



万博後の取組

学生や地域住民が制作に関わることで、世代や立場を超えた新しいつながりが生まれ、地域共生を実感できる場となった。一方で、活動を継続する上での課題も見えてきた。制作に必要な材料費や運営費は施設にとって負担が大きく、安定的な財源の確保が求められる。万博終了後は、制作に関わった施設や地域イベントで作品を展示し、ものづくりを通じた交流を継続している。また、裂き織を使った商品の販売も開始し、高齢者の就労的活動につながる取り組みとして続けている。さらに、福井県の認知症啓発イベントでも展示されるなど、他府県にも広がりが見られ、活動の波及が生まれている。

実施概要及び成果

【実施概要】 人々に日常的に防災意識を持ってもらうことを目的として、以下を実施した。

- ▶ **万博会場**：(1)地震計など自然災害の計測に用いる機器を展示し、防災研の活動をアピール。(2)火災・津波・地震のAIシミュレーション映像を制作・展示。(3)人々が日常的に着る防災ファッション（消防士が着用している生地、アートデザインをプリントしファッションとしたもの）を展示し、新しい防災のあり方をアピール。(4)人口雲の生成実験を来場者参加型で実施し、防災研究の一端をアピール（5月2日）。
- ▶ **防災研究所**：8月末に近畿大学附属和歌山高等学校の教員と学生有志に対して、防災研究所（京大吉田キャンパス坂記念館）土佐ラボにて、京大生とともに防災とアートの研究紹介のツアーを実施。
- ▶ **その他**：京阪電車の宇治駅～淀駅の間にある防災研究所宇治川オープンラボに、津波注意AR看板を180日（万博開催日数）設置。その区間を通過する電車の乗車約7万2000人の目にとまったと推計。

【実施成果】

- ▶ 万博会場では実施時期中に約2,000人の来場者があり、日常では体験することの少ない防災に関する知識や体験を得てもらうことによって、「人々に日常的に防災意識を持ってもらう」という当初の目的は十分達成された。
- ▶ 防災研究所のツアーには高校生22人が参加。

実施主体

京都大学防災研究所

【問い合わせ窓口】 広報：佐伯かおる：0774-38-4640
saeki.kaoru.6e@kyoto-u.ac.jp

実施場所

大阪・関西万博関西パビリオン
京都大学防災研究所 等

実施時期

令和7年9月8～14日、5月2日

関連HP

<https://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/news/23124/>

その他

京都大学防災研究所の担当者が常駐し、日本人のみならず外国人への説明なども行った。



万博後の取組

- ①「実施概要及び成果」に述べたように、普段防災意識を持つことの少ない来場者の日常的な防災意識を高めることは十分達成された。
- ②しかしながら、単独のイベントでは継続して防災意識を持ってもらうことは難しいと考えられる。したがって、これまで防災研究所で行ってきた見学・体験ツアーに力をいれ、より多くの人に防災研の見学・体験ツアーに参加してもらうような方策を進める予定である。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 人の気持ちや思考、街の構造や機能が“インクルーシブ”な状況になっていけば、“インクルーシブ”自体が文化となる。今回の取組では、世界に誇れる「インクルーシ文化」の構築を目指し、ゆめ工房のユーザーである障がいのある子どもたちをはじめとした、障がい者・ひきこもりの人たち・不登校の子どもたち・児童養護施設の子どもたち・ひとり親家庭・求職困難者などの社会的弱者、LGBTQ・外国人などのマイノリティなど、多様性のある人たちが幸せに暮らせる地域社会を創るために、企業・事業者と自治体が一体となり、人と人とがつながりながら地元で根付いたインクルーシブな商店街を創り上げ、そこを拠点として、インクルーシブなまちづくりを展開していく。

【実施成果】

- 障がいのある人たちを共に清掃活動をする商店街の清掃活動「ゆめひろい」を行い、世界の皆様にも見ていただいたり、体験していただいたりできるようにした。毎月1回開催し、10～15人が参加して下さる、持続的な取り組みとなっている。

実施主体

株式会社ゆめ工房

【問い合わせ窓口】 yumekobo@office.eonet.ne.jp

実施場所

京都市上京区・北野商店街

実施時期

令和5年6月～

関連HP

<https://www.instagram.com/yumekobo2018/>

その他

補装具・福祉機器レビューサイト『むぎのゆめ』も開始し、インクルーシ文化を加速させた

万博後の取組

- ①実施していく中で、京都だけでなく、日本国内においても、まだまだ“インクルーシブ”という概念自体が周知さえされていないことに気が付いた。まずは、周知していただき、そこから浸透させていく持続的な事業活動にしていく必要がある。インクルーシブを共感しあえる地域社会を京都から発信していき、インクルーシブな世界が“あたりまえ”な、「インクルーシ文化」を日本全国に拡がり発展させていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 当社は2025大阪・関西万博にて6月30日～7月2日の3日間、フューチャーライフヴィレッジ、TEAM EXPOパビリオンにブース出展し健康イベントを開催。
- 当日は、ロコモ度チェック・ロコトレ指導、血管年齢測定、野菜摂取量測定、認知症VR体験のブースを出展し、万博に来場された多くの人に健康に関する啓発活動を実施。

【実施成果】

- 3日間で当社のブースに来場された方は2336名で、多くの来場者の方に健康チェックを行い、健康意識を高めてもらう活動ができた。また海外から来られた方にも健康チェックやロコモ度チェック・ロコトレを体験して頂き、海外に向けてもロコモティブシンドロームの概念を発信できたのではないかと考えている。

実施主体

株式会社ケーエスケー

【問い合わせ窓口】 06-6909-4672

実施場所

大阪・関西万博会場

実施時期

令和7年6月30日～7月2日

関連HP

<https://www.web-ksk.co.jp/>

その他

海外からの来場者には外国語対応として翻訳アプリを使用



万博後の取組

今回の活動を通じ、日本人だけでなく世界中の人々も自身の健康に関する意識は高いと認識できた。万博参加を弾みに当社はこの活動を京都府をはじめ、近畿2府4県で継続して活動を行い、健康的で生きがいのある生活を送れる街づくりに貢献する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 認知症を正しく知っていただき、認知症啓発イベント「Live！ライトアップ2024」を万博機運醸成イベントとして実施し、当会本部事務局スタジオから全国21か所（京都府内は京都府庁）をオンラインで中継した。
- 国際アルツハイマー病協会（ADI）からの応援メッセージを紹介し、国際的な取り組みであることを発信した。

【実施成果】

- YouTubeライブは再生3,586回（令和7年11月時点）で、多様な層に認知症理解を促進した。
- 京都府庁でのライトアップや京都府支部による啓発活動により、府内の認知症施策の認知が高まった。
- 認知症当事者・家族が各地域から直接発信したことで、認知症を「身近なこと」と捉える契機となった。

実施主体

公益社団法人認知症の人と家族の会

実施場所

京都府庁、当会本部事務局スタジオ

実施時期

令和6年9月21日（土）19:00～20:00

関連HP

<https://www.alzheimer.or.jp/>

その他

イギリスにある国際アルツハイマー病協会の最高経営責任者パオラ・バーバリーノからのメッセージも紹介し、国際的な取り組みであることをアピールした。

【問い合わせ窓口】認知症の人と家族の会 本部事務局
メール：office@alzheimer.or.jp TEL:050-5358-6580



万博後の取組

- ① 課題・見えてきたこと
 - ・認知症への理解は進む一方、一般層の「自分ごと化」には継続した啓発が必要。
 - ・オンライン視聴が難しい層への情報提供方法の強化が課題。
- ② 万博後の方向性
 - ・ライトアップ等の啓発活動を継続・発展させ、動画等を広く活用して周知を強化する。
 - ・地域での参加型イベントを推進し、共生社会づくりに継続して取り組む。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博会期中、京都ゾーンにおいて認知症啓発ブース「オレンジの樹」を設置し、当事者・家族の声や支援情報を紹介した。
- 当事者・専門職によるミニ講演会を実施し、認知症への理解促進と参加者との交流を図った。
- ~~【実施成果】~~ 啓発イベント「Live！ライトアップ2025」を京都ゾーンから中継し、府内外へ広く情報を発信した。
- 来場者に対し、当事者の言葉を通じて「認知症を自分事として考える」きっかけを提供できた。
- ミニ講演会では専門職と当事者の視点を同時に伝えることで、認知症支援の理解が深まった。
- ~~ライトアップ中継により、京都ゾーンの取組を全国へ発信し、オンライン視聴を通じて認知症啓発を広く届けることができた。~~

実施主体

公益社団法人認知症の人と家族の会

実施場所

関西パビリオン京都ゾーン、当会本部事務局スタジオ等

実施時期

令和7年9月（大阪・関西万博会期中）

関連HP

<https://www.alzheimer.or.jp/>

その他

当事者発信型の啓発により、認知症理解の定着と地域連携の強化につながった。

【問い合わせ窓口】認知症の人と家族の会 本部事務局
メール：office@alzheimer.or.jp TEL:050-5358-6580



万博後の取組

- ① 課題・見えてきたこと
 - ・認知症を「自分事」として捉えるためには、継続的な発信が必要。
 - ・来場が難しい層への情報提供方法（オンライン・地域展開）の強化が課題。
- ② 万博後の方向性
 - ・当事者発信の啓発や地域での講演・相談の機会を継続して広げる。
 - ・オンライン発信を強化し、より多くの府民に認知症理解を促す。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 人は人の役に立てること、人から必要とされること、互いに貢献しあえることが生きる力になると考え、まだまだ「働きたい」という思いを持たれている認知症の方に、販売スタッフとして関わっていただき、京都物産を扱うお店をオープンした。京都府下に住まわれている認知症の方を中心に、活躍していただいた。
- 外国の方も来られることを想定して、大学生通訳ボランティアにも参加してもらい、さまざまな国の方が荷も対応できるように行った。

【実施成果】

- 入場規制がかかる人数が来店。常にお客様がブース内におられる状況であった。
- 商品をただ単に「販売する/購入する」だけの目的ではないブースなため、お客様との会話を楽しんだり交流にも力を入れたことにより、チラシ500枚が1日でなくなり足りなくなった。

実施主体

まあいいかlaboきょうと

【問い合わせ窓口】 まあいいかCafé 090-3354-3445

実施場所

関西パビリオン 多目的エリア

実施時期

令和7年10月5日/6日

関連HP

<https://maiika-kyoto.jimdofree.com/>

その他

英語/中国語/韓国語の通訳ボランティアを通して、多言語対応を行った。



万博後の取組

万博での活動を通して、さまざまな人に発信することができた。海外からのお客様にも通訳さんを通して、発信できた。思った以上の来場者があったため、チラシが足りなくなったほどであった。関心をもってくださった方が多くおられたことを受け、京都府下全域で取組み、京都から世界に発信していき、定着を図りたい。

実施概要及び成果

【実施概要】

- いくつかの種類のだら下展示と動画を流しながら用途の説明や体験会を実施

【実施成果】

- キッズスポーツフェスタの来場実績は親子連れ4000人
- ヘルス博の来場者実績は数百人（目標500人）

実施主体

株式会社リカバリー

【問い合わせ窓口】090-3301-0655

recovery.550603@gmail.com

実施場所

サカスタジアム、京都経済センター

実施時期

令和6年9月28日、11月21日

関連HP

<https://sangastadium-by-kyocera.jp/kyoto-kids-sports-festa>

その他

—



万博後の取組

- ・万博期間中に、京都府主催のイベントでらく下を多くの方に知っていただくことができた。一方、体験からその後のフォローが不十分だった点もあり商談に繋がらなかったこともあった。
- ・現在海外特許申請にかかる補助金にも採択されており、今後は海外での展開も見据え、多言語対応やらく下体験からその後のフォローまで体系化して、商談や実績を積んでいく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博会場に「健康体験コーナー（ベジチェック）」を設置し、子どもから高齢者、海外来場者まで幅広い層に楽しみながら健康を体感いただいた。ベジチェック体験者全員に「健康関連QOL」の意義を説明。
- LINE登録者には、京都本社への誘導を目的とした無料クーポン券や抹茶クロレラ茶体験案内を送付。
- 京都本社1階カフェでは、抹茶クロレラ、みたらし団子などの京都文化体験を提供。

【実施成果】

- 健康機器体験者のLINE登録者数：約620名 想定来場者数 約1000名
- 万博会場および1階店舗物販エリア来場者 全ての方へ健康関連QOLの意義を説明している。

実施主体

株式会社サン・クロレラ

【問い合わせ窓口】グローバル事業部PRチーム075-288-3040

実施場所

万博会場、京都烏丸五条本社1階カフェ&イベントスペース

実施時期

プレオープン令和7年8月5日～、
オープン10月1日～

関連HP

<https://www.sunchlorella.com/ja/>

その他

対応の為、通訳できるスタッフを配置（英語、中国語、スペイン語）、カフェインフリー&オーガニックメニュー有

万博後の取組

万博を契機に新たな顧客層との接点生まれ、幅広い層へ情報発信できたことは非常に有益であった。一方で、京都本社の説明は行ったものの、お客様との接点がLINEのみであったため、継続的なフォロー体制に課題が残る。万博後は、京都本社にてクロレラ抹茶体験の拡充を図ったり、各種イベントを実施する予定である。京都の各種企業様とのコラボイベントを通じて、京都の魅力を発信するとともに、新たなビジネス機会を創出するイベント拠点としての活用・定着化を目指す。

実施概要及び成果

【実施概要】

京都を訪れるすべての人に安心して楽しんで頂きたいとの思いから、観光客、修学旅行生、外国人はもとより、高齢者や障害のある方など、万博をきっかけに京都を訪れる誰もが京都の観光を楽しむことができる観光ツアーを提供。他にも、「公衆トイレ、観光トイレ、公園トイレに関するバリアフリー地図を常備」や「車いすの無料貸し出し」、「ホームヘルパー2級を取得した乗務員の常駐」等、様々なユニバーサルツーリズムを実施。

【実施成果】

万博期間中、180件以上の貸切ツアーを実施。利用者のうち8割が外国人で、万博を知らない方には万博を案内した事例もある。車椅子の無料貸し出しの実績は3件。ホームヘルパー2級を取得した乗務員については常駐していたものの、稼働実績はなし。

実施主体

京都UN観光

【問い合わせ窓口】ユニオン株式会社

uniontaxi.nakayama@gmail.com

実施場所

京都市南区上烏羽苗代町30

実施時期

令和6年4月1日～

関連HP

<http://www.kyoto-kanko.com/>



その他

外国語対応、高齢や障害の有無に関係なく楽しめるユニバーサルツーリズムの実施

万博後の取組

今後も継続して、差別のない誰でも楽しめる観光誘客に取り組む。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 医療的ケア児などのご家族が安心して宿泊するには多くの課題がある。そこで、弊社が運営する宿泊施設「水屋敷」では、宿泊者様のご自宅で使用されている介護ベッドや手すりなどの品番をお伺いし、同型やそれに近い商品を宿泊施設用に有料でカスタマイズし手配する取組をスタートさせた。※客室指定あり、介護ベッド使用の場合は（室内定員3名）
- 今回の万博を機に、海や山などの自然豊かな京都府京丹後市から、「子供ユニバーサルツーリズム」や「レスパイトケア」の必要性を発信していく。

【実施成果】

- 関西パビリオン京都ブースにて情報を発信していたが、幅広い世代の方々に「じつは家族がそうなの」とお話しいただくことも多く、「他の方に迷惑が掛かるかもしれない」と思い、行く事ができなかったとお話される事が多かった。今回色々なご提案をさせていただき、新たなユニバーサルツーリズムとして認識いただくきっかけになったのではないかと思います。

実施主体

株式会社小谷常

実施場所

水屋敷・澄海・レイクサイド琴引

実施時期

令和7年4月～

関連HP

<https://mizuyashiki.jp>

その他

筆談対応OK

【問い合わせ窓口】 odanitune@gmail.com

万博後の取組

子供から大人までその方に合わせた「新たなユニバーサルツーリズム」の情報発信を進めている。また、「介護して当たり前」という認識を変え、「レスパイトケアも当たり前」な世界になる様に、情報発信や宿泊プランの提案などを強化し、誰もが宿泊しやすい環境づくりに向け、広報活動も一層充実させている。令和8年度より、認知症の方向けのグループプランも順次公開中。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 日常的に医療的ケアが必要なお子さんをお持ちのご家族の中には家族だけでは「安心して旅 に行く事などが難しい」ご家族が居られる。そんなご家族達が参加出来るプロジェクトを京丹後市の旅館で開催。この取組は小児科医や様々な医療従事者が参加し、子供達の初めての体験をさせる為に協力をしている。このプロジェクトは前例がないが、回数を重ねる事で子供達の生きる力にもなると考えている。「思い出」はきっと、明日を生きる力になる様に。

【実施成果】

- 令和7年8月23日～24日、8月30日～31日に京丹後こども・みらいプロジェクト海を実施。
- 企業や個人などから「京丹後こども・みらいプロジェクト」を応援するために寄付の申出もいただいている。
- 9月23日には関西パビリオン京都ブースにて京丹後こども・みらいプロジェクトの広報をし、家族だけでは行く事が難しい現状を再認識した。

実施主体

一般社団法人KYOTANGO THREAD
CARAVAN

お問合せ先：info@kyotango-threadcaravan.com

実施場所

京丹後市 澄海・水屋敷・レイクサイド琴引など

実施時期

上記「実施結果」の通り
今後も定期的開催予定

関連HP

<https://kodomoxmirai.jp>



その他

医師・訪問看護師・訪問ヘルパー・訪問介護士のボランティアを募集している。

万博後の取組

令和8年7月・8月にも「京丹後こども・みらいプロジェクト」の開催が決定。当事者家族は「うちの子は無理」と思われている方が多く、行政をはじめ、該当児童を把握されている病院や企業などにもご協力いただき、参加しやすい環境を作る様にも摸索している。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 地域を繋ぎ、未来を育む、ママと子どもと街の未来を創造するイベントを開催幼児から小学生までの子ども達とママがハロウィンを楽しめるイベントを企画イズミヤショッピングセンター長岡様の協力により、パレードやコンサート、ワークショップ、おばけ探検などを行った。

【実施成果】

- 来場者約200名。万博時期に先立ち開催できたことで万博への関心、意識を向けることもできた。来場者からは子どもと一緒に楽しめる場所があって嬉しい、ほかの子ども達やママと触れる機会があるのもありがたいとの声があった。

実施主体

レザミスタイル

【問い合わせ窓口】 lesamies.style@gmail.com

実施場所

イズミヤショッピングセンター長岡

実施時期

令和6年10月26日

関連HP

<https://les-amies.amebaownd.com/>

その他

—



万博後の取組

子ども達だけでなくママが交流する場所の必要性を改めて感じた。孤独な育児に陥らないためにも、ママの視野を広げ、子ども達が主体的に生きられる世の中になるよう今後も活動していきたい。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 認知症の方による、万博酒場を計画したものの、以下の理由により断念。

【実施成果】

- 参加いただける認知症の方を集めることができなかった。これは、認知症の方が任意で集まる団体が殆どなく、またあったとしても、実績のない我々のサークルを信用いただけなかったことが原因だと考える。
- 今後の活動方針として、まずは、信用を得る活動に注力する。

実施主体

インキュベーション・サークルwelfare valley

【問い合わせ窓口】welfare.valley@gmail.com

実施場所

—

実施時期

—

関連HP

—

その他

—



万博後の取組

引き続き、認知症の方が生き生きと、認知症になっても輝き続けて暮らせる世の中を目指す。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 各個人の人生最後に残したい言葉を集める「LASTWORDS」。その言葉を考えることを通じて自身の死生観を見つめ直し、他者のいのちを再認識させることを目的とした取組。
- 万博内、ギャラリーWESTにて6月26日～6月30日で開催。
- 万博内、関西パビリオン京都府ブースにて9月8日～9月14日で開催。

【実施成果】

- ギャラリーWESTでは述べ1万5千人が来場
- 関西パビリオン京都府ブースでは述べ1万2千人が来場
- 普段考えない『死』について若者が発信することで、多くの方が新たに人生を考えるきっかけとなった。

実施主体

WAKAZO

【問い合わせ窓口】info@inochi-gakusei.com

実施場所

ギャラリーWEST
関西パビリオン

実施時期

6月26日～6月30日
9月8日～9月14日

関連HP

<https://wakazo-expo.com>

その他

—



万博後の取組

万博までに取り組んできた内容を学生団体として、どう今後活かしていけるのか現在検討中であるが、多くの方に死生観を考えていただく機会を今後も作れるようにLASTWORDSを次のステージに持っていけるよう新たな取り組みを模索している。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 2025年日本国際博覧会と同日程の4月13日(日)～10月13日(月・祝)、万博会場と会場外を繋ぎ、6か月間開催。メイン会場となる万博会場では、「EXPOメッセ」「ポップアップステージ南・北」「ウーマンズパビリオン」等複数の会場で、産学公の共創事業を繰り広げ、会場外では弊機構にて「公式参加国共創フォーラム」として継続開催している「第3回公式参加国共創サミット」や「第3回日本国際芸術祭サミット」を、世界遺産 浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺（西本願寺）様にて開催。
- さらに「文化芸術 × 科学技術 × 経済産業の共創が未来を拓く」のミッションに賛同される大阪～関西～全国を繋ぎ、美術館、博物館、企業、大学、団体等に連携いただく連携企画を展開。

【実施成果】

- 参加者数 約100,000名。ジャパンデーを含む7月2日～7月6日の会期で、大阪・関西万博会場のEXPOメッセ「WASSE」で開催した「第3回日本国際芸術祭 / 大阪・関西万博展」では、産学公54団体の皆様にご協力をいただき、計5日間の会期で延べ5万人以上のご来場者に向け、日本が誇る芸術や文化、テクノロジーやプロダクトを発信。「ポップアップステージ南・北」では、伝統芸能等のイベントを5回にわたり実施し、「ウーマンズパビリオン」では、サミット等を3回にわたり開催。さらに世界遺産 浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺（西本願寺）様にて開催した「公式参加国共創サミット」「日本国際芸術祭サミット」では、今年の「第2回」に続き、これまで以上の参加者にお越しいただいた。
- 「連携企画」に関しても43団体・67企画と多くの連携をいただき、芸術祭を華やかに彩っていただいた。回を重ねるごとに多くの方々からのご賛同を頂き、日本国際芸術祭が標榜する「アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創」の輪が幾重にも広がっている。

実施主体

(一社)夢洲新産業・都市創造機構

【問い合わせ窓口】電話番号：06-6136-8803

メール：office@yumeshimakikou.com

実施場所

2025年日本国際博覧会会場・
世界遺産 龍谷山 本願寺(西本願寺)

実施時期

令和7年4月13日～10月13日

関連HP

<https://yumeshimakikou.org/jiaf2025-top/>

その他

HP、リーフレット共に英語対応した。



万博後の取組

「日本国際芸術祭」は、大阪・関西万博の成功を更なる発展に繋げ、令和8年、令和9年と毎年継続し、多様な文化・価値観の相互理解を深め、「いのち輝く」未来社会の実現を掲げ、文化首都「京都」から「アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創と日本の最高の美と心」を世界に発信している。